Canon

PUB. DIJ-0458-001B

EOS C700
EOS C700 GS PL
EOS C700 FF
EOS C700 FF PL

デジタルシネマカメラ

Firmware ver. 1.0.8.1.00 C700
Firmware ver. 1.0.6.1.00 C700 GS PL
Firmware ver. 1.0.2.1.00 C700 FF C700 FF PL

使用説明書

本機の特長

C700 / C700 GS PLは4K対応のスーパー 35mm相当大判CMOSセンサーを、C700 FF / C700 FF PLはフルサイズCMOSセンサーをそれぞれ搭載（C700 GS PLはグローバルシャッター機能も搭載）。4K映像の記録／出力に対応する映画撮影に適したデジタルシネマカメラです。

シネマ画質4K記録システム

大判CMOSセンサーを搭載

有効画素数が、C700 / C700 GS PLは約885万画素、C700 FF / C700 FF PLは約1869万画素のCMOSセンサーを搭載し、映像エンジン「Triple DIGIC DV5」を搭載して、独自の高感度・低ノイズ技術により、ISO160からISO25600まで幅広い感度*1で撮影できます。さらに、Logガンマを使用することで撮像素子の特性を十分に引き出し、広いダイナミックレンジを実現します。また、C700 FF / C700 FF PLでは、1869万画素からのオーバーサンプリング処理により、高画質な4K映像を実現します。

*1 **C700 GS PL** では設定範囲が異なる。設定範囲は拡張することも可能。

レンズマウントとシャッター機構の異なる2モデル

EFマウント搭載モデル（**C700** **C700 FF**）では、100本を超えるEFレンズを使用可能。PLマウント搭載モデル（**C700 GS PL** **C700 FF PL**）では、業界標準のPLレンズの資産を活用できます。さらに **C700 GS PL** ではグローバルシャッターを搭載するため、動いている被写体をひずみ無く撮影できます。また、対応するEFシネマレンズ／放送用レンズ*2を装着*3すれば、本機からアイリスやズームを制御可能。アナモフィックレンズを使用した撮影も可能です。

*2 B4マウントアダプター MO-4E / MO-4Pが必要。

*3 レンズによっては12ピンケーブルの接続が必要。

用途に応じて選択できる「XF-AVC」と「Apple ProRes」

XF-AVCは、H.264 Intra FrameとH.264 Long GOPの2種類のコーデックで、用途に応じてYCbCr4:2:2 10ビット、RGB4:4:4 10 / 12ビット、YCbCr4:2:0 8ビットを選択できます。Apple ProResは、ProRes422 HQ 10ビット、ProRes4444 12ビット、ProRes422 10ビットを選択可能です。

4K以上の映像をRAWで記録／出力可能

本機に装着したレコーダー（📖 20）に4K以上の映像*4をRAWで記録可能。MON.端子／HDMI OUT端子の出力にACESのLUTを適用すれば、オンセットグレーディング（📖 21）も実現できます。

*4 RAWの記録解像度は機種によって異なる。

記録メディアにCFastカードとSDカードを採用

転送速度が高く汎用的なCFastカードに映像（XF-AVC、ProRes）と音声（4ch、24ビット。AES/EBU入力可）を記録可能。2つのCFastカードスロットに連続／同時記録できます。また、メインの動画の記録と同時に、サブ動画をCFastカード（XF-AVC）またはSDカード（XF-AVC Proxy）に記録できます（📖 80）。

優れた機動力と高い堅牢性、拡張性

堅牢性と拡張性を備えたモジュールデザイン

使いやすさと堅牢性を備えたボディーは、上面／底面に多数のネジ穴（1/4インチまたは3/8インチ）を備え、さまざまな付属／別売／市販アクセサリーを取り付け可能。0.7型、1920×1080画素（約622万ドット）の有機EL電子ビューファインダー EVF-V70、カメラの左右からの操作を可能とするリモートオペレーションユニットOU-700のほか、ショルダーサポートユニットSU-15、ショルダースタイルグリップユニットSG-1を使用して、ワンマンスタイル撮影することも可能。本体、EVF-V70、SG-1、およびリモートコントローラー RC-V100にアサインボタンを合計14個、本体のUSERアサインボタン（スクリーンボタン）を6個搭載。良く使う機能を割り当てて、操作性をカスタマイズできます。

Vマウントバッテリー／DC INと3種のDC OUT搭載

入力電源は、Vマウントタイプバッテリーまたは XLR 4ピンのDC IN 12V端子を使用します。また、DC OUT 24V、DC OUT 12V、D-TAPの各端子からの電源出力も可能です。

有線リモコンやWi-Fi ／イーサネットによるリモート撮影

リモートコントローラー RC-V100を装着すれば、カメラ設定や画質設定をリモートで調整して撮影可能。ワイヤレスファイルトランスミッター（別売）またはイーサネットを使用して、ネットワーク機器からリモート撮影することもできます（ブラウザーリモート）。画角の確認やカメラ設定、タッチAF ／追尾によるフォーカス調整やメタデータ入力なども可能です。

制作意図に応える多彩な表現力

スロー &ファストモーション記録による映像表現

撮影フレームレートを設定して、スローモーション（オーバークランク）撮影やファストモーション（アンダークランク）撮影が可能です。

高度に画質を調整するカスタムピクチャー（📖 97）

色空間、ガンマ、カラーマトリクスを、プリセットから選ぶか任意に設定した後、詳細な画質調整ができます。BT.2020やCinema Gamutなどの広色域に対応するほか、Canon Logの特徴を残したままダイナミックレンジを広くとるCanon Log 3ガンマを新たに搭載。用途に応じて選択できます。

ワークフローに対応する機能／ソフトウェア

IPストリーミングとFTP転送

Wi-FiまたはイーサネットでネットワークIに接続すれば、カメラの映像をIPストリーミングして、ライブ中継や速報映像の送信に利用できます。また、SDカードに記録したXF-AVC Proxy動画をFTPで転送することもできます。

XF Utilityと専用プラグインによるNLEとの連携

記録メディアに記録したXF-AVC形式の動画は、簡易ブラウザー XF Utilityを使って確認・管理できます。また専用プラグインを使用すれば、ノンリニア編集システムへの取り込みも簡単です（📖 189）。

Cinema RAW Developmentとプラグインによる RAW現像（📖 189）

レコーダーで記録したRAWデータは、Cinema RAW Developmentで現像*5して、DPX、OpenEXRなどの標準ファイル形式に書き出し可能。カラーグレーディング処理との連携もスムーズです。また、専用のRAWプラグインを使用すれば、RAWデータを直接NLEに取り込むこともできます。

*5 EDLの入力にも対応しています。

C700 C700 FF 進化したフォーカス機能

デュアルピクセルCMOS AFによるAF機能（📖 104）

コンティニュアスAFやワンショットAFに対応したほか、手動で大まかに調整すると合焦付近は自動調整する「AFブーストMF」を搭載。不確実な調整動作を行わないため、コンティニュアスAFよりも安定して調整できます。顔検出AFや顔以外の被写体への追尾も可能です。

デュアルピクセルフォーカスガイドを搭載（📖 106）

デュアルピクセルフォーカスガイドを表示すると、ピントの状態と調整方向、調整量が視覚的に確認可能。4K以上の高解像度の撮影時における、目視によるフォーカス調整を強力にアシストします。

使いやすさを向上させるさまざまな機能

充実したアシスト表示機能

ピーキング、拡大、マーカー、ゼブラパターン、白黒、フォルスカラー、波形モニターを出力したり、映像にLUTを適用したりすることが可能。出力先は、MON.端子／ HDMI OUT端子やビューファインダーから選択可能。また、水準器を表示してカメラの水平（レベル）を確認することもできます。

- 拡張すると5つの濃度から選べるNDフィルター。
- C700 C700 FF C700 FF PL フラッシュバンド補正。
- レンズの周辺光量／倍率色収差補正（📖 53）。
- 暗いところでの撮影に便利な自照式操作ボタン。
- ボイスメモを記録可能な内蔵モノラルマイク搭載。
- 画面表示の表示項目を選択するカスタムディスプレイ。
- カスタマイズ可能なマイメニュー（📖 38）。
- カメラの設定をSDカードに保存して、複数台の本機で共有可能（📖 163）。
- 撮影データを管理しやすいクリップファイル名。
- NLEやサーバーでの簡単検索を実現するさまざまなメタデータ記録（📖 138）。GPSレシーバーGP-E1（別売）を装着すればGPS情報を自動記録可能（📖 140）。

Contents

本機の特長 2
本書の読みかた 8

はじめに

商品を確認する 10
各部の名称 11
本体の名称 11
マイクホルダーの名称 16
ハンドルユニットの名称 17
クランプベースの名称 17
有機EL電子ビューファインダー EVF-V70(別売)の名称 18
4Kワークフローの紹介 20
ACESワークフローによるカラーグレーディング 21

準　備

設定保存用の電源を準備する 24
拡張ユニットを取り外す 24
コイン型リチウム電池 (CR2025)を入れる 25
拡張ユニットを取り付ける 26
電源を準備する 27
使用可能な電源 27
バッテリーを使う 27
DC IN 12V端子を使う 28
電源の残量を確認する 28
電源を出力する 29
電源を入れる／切る 29
日時と言語を設定する 30
日時を設定する 30
言語を変更する 31
本機の設定を変える 32
機能ボタンから設定画面を表示して設定する 32
メニューで設定を変える 34
本体メニュー操作の基本 34
モニタリングメニュー操作の基本 36
マイメニューを使う 38
カメラを準備する 42
本機の構成例 42
ハンドルユニットを取り付ける 44
本体を三脚に取り付ける 44
有機EL電子ビューファインダー EVF-V70(別売)を取り付ける 46
マイクホルダーを取り付ける 48
レンズを準備する 49
ビューファインダーの画面を調整する 54
記録メディアを準備する 55
使用可能な記録メディア 55
CFastカードを入れる 56
CFastカードを取り出す 57
SDカードを入れる／取り出す 57
初期化する 58
記録／再生に使用するCFastカードスロットを切り換える 59
CFastカードスロット記録方式を選ぶ 60
CFastカード／ SDカードの記録可能時間を確認する 60
クリップを修復する 61
ブラックバランスを調整する 62

撮　影

動画を撮影する 64
撮影する 64
HOME画面の画面表示 65
モニター画面の画面表示 67
クリップファイル名を設定する 70
冷却ファンの動作方法を選ぶ 71
映像の信号形式を選ぶ 73
スロー &ファストモーション記録を行う 76
サブ動画を同時に記録する 80
カメラダイレクト設定を使う 83

シャッタースピードを調整する 84
調整する 84
ISO感度／ゲインを調整する 87
設定可能な値 87
調整する 88
電子ダイヤルで調整する 89
NDフィルターを切り換える 91
アイリスを調整する 92
マニュアルで調整する 93
一時的にオートで調整する（プッシュオートアイリス） 94
オートで調整する（オートアイリス） 95
露出を調整する（AEシフト） 96
測光方式を設定する 96
基本的なガンマ／カラーを設定する 97
カスタムピクチャーファイルを選ぶ 97
ガンマ、色空間、カラーマトリクスを選ぶ 98
ホワイトバランスを調整する 99
ホワイトバランスの調整方法を選ぶ 99
オートホワイトバランス（AWB）で調整する 100
ホワイトバランスセットで調整する 100
プリセット設定／ユーザー設定で調整する 102
ホワイトバランスの設定を微調整する 103
フォーカスを調整する 104
マニュアルで調整する 106
C700 C700 FF ワンショットAFで調整する 109
C700 C700 FF AFブーストMFで調整する 110
C700 C700 FF コンティニュアスAFで調整する 111
C700 C700 FF AF枠の位置／サイズを変更する 113
C700 C700 FF 顔を検出してフォーカスを合わせる（顔検出AF） 114
C700 C700 FF 選んだ被写体を追尾する 116
マーカー／ゼブラ／フォルスカラーを表示する 117
マーカーを表示する 117
ゼブラパターンを表示する 119
フォルスカラーを表示する 120
タイムコードを設定する 121
カウントアップ方式を選ぶ 121
ドロップフレーム／ノンドロップフレームを切り換える 122
タイムコードを保持する（タイムコードホールド） 122
ユーザービットを設定する 123
任意の16進数を設定する 123
時刻または日付を設定する 123
外部機器と同期をとる 124
接続のしかた 124
外部のリファレンスビデオ信号に同期する（GENLOCK） 124
外部のタイムコード信号に同期する（タイムコード入力） 125
リファレンスビデオ信号を出力する 126
タイムコードを出力する 126
音声を記録する 127
記録音声と必要な設定 128
外部マイク／外部ライン入力機器を本機に接続する 129
INPUT端子の音声を設定する 130
録音する入力音声を選ぶ 130
録音レベルを調整する 131
カラーバー／テストトーンを出力する 134
カラーバーを表示／出力する 134
テストトーンを出力する 134
波形モニターを表示する 135
OKマーク／チェックマークを付加する 137
撮影中にOKマーク／チェックマークを付加する 137
メタデータを設定する 138
XF Utilityを使ってユーザーメモを設定する 138
撮影情報（シーン、テイク）を設定する 139
GPS情報を記録する 140
GPSレシーバーを取り付ける 140
GPSを有効にする 140
アナモフィックレンズで撮影する 142
RC-V100（別売）でリモート撮影する 143
静止画を記録する 144
記録する 144
静止画番号の付けかたを選ぶ 145

カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する 148
アサインボタンを使う 151
USERアサインボタンを使う 152
カスタムピクチャーを使用する 153
画質を調整してカスタムピクチャーファイルとして登録する 154
カスタムピクチャーファイルをコピーする 155
カスタムピクチャーファイルをクリップと一緒に保存する 156
カスタムピクチャーの設定項目 157
設定データの保存と読み出し 163
設定データを保存する 163
設定データを読み込む 163

再　生

クリップ／静止画を再生する 166
PLAY（再生操作）画面 166
クリップ／静止画を操作する 170
操作一覧 170
クリップ情報を表示する 171
OKマーク／チェックマークを付加／消去する 172
クリップ／静止画を消去する 172
クリップに付加されているユーザーメモ／GPS情報を消去する 173
カスタムピクチャーファイルをコピーする 174

接　続

出力信号形式 176
外部のモニター／レコーダーを接続する 179
接続のしかた 179
SDI OUT端子を使用する 179
MON.端子を使用する 180
HDMI OUT端子を使用する 181
出力映像に画面表示を重畳する 182
出力映像にLUTを適用する 183
ユーザー LUTを使用する 184
音声出力を選択する 188
音声出力チャンネルを選ぶ 188
クリップを保存／現像する 189
クリップをパソコンに保存する 189
RAWクリップを現像する 189

ネットワーク

ネットワークの接続設定をする 192
Wi-Fiで接続する 193
イーサネットで接続する 198
ネットワーク設定を確認／変更する 199
ネットワーク機器でリモート撮影する 200
設定する 200
ブラウザーリモートを起動する 201
リモート撮影する 204
映像をストリーミング送信する 213
ストリーミング送信の準備をする 213
ストリーミング送信を行う 216
クリップをFTPで転送する 217
FTP転送の準備をする 217
クリップをFTPで転送する 218

メニュー

設定画面／メニュー一覧 220
設定画面／メニューの階層 220
設定画面の設定項目 221
HOME画面 221
ALT画面 222
TC画面 223
PLAY画面 223

メニューの設定項目 224
カメラ設定メニュー 224
Custom Pictureメニュー 226
オーディオ設定メニュー 227
記録／メディア設定メニュー 228
モニタリング設定メニュー 230
アシスト設定メニュー 233
システム設定メニュー 235
★1マイメニュー 243

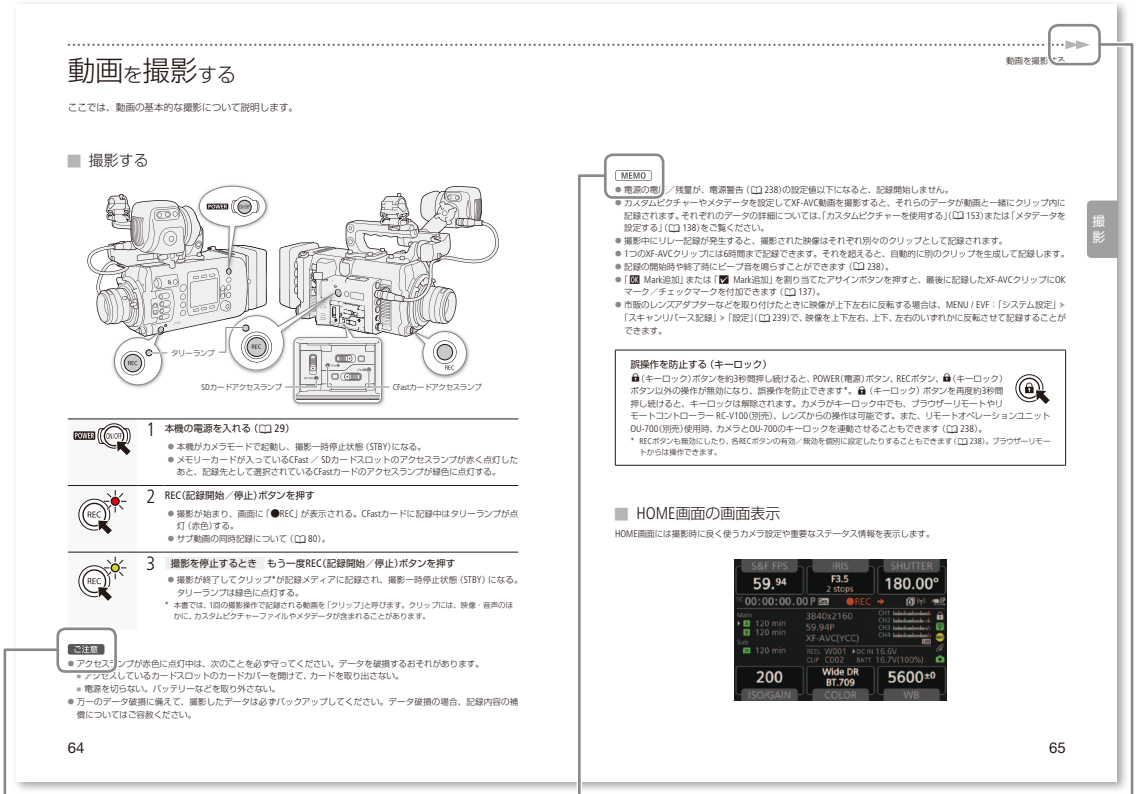
RAWレコーダー

準備する 246
CDX-36150レコーダーをカメラに取り付ける／取り外す 246
電源を入れる 247
Capture Driveを初期化する 248
記録する 249
メイン動画をCDX-36150レコーダーのCapture Driveに記録する 249
サブ動画をCFast ／ SDカードに記録する 254
再生する 255
クリップを操作する 256

その他

INFO画面を表示する 258
操作のしかた 258
LIVE情報画面 258
COLOR情報画面 259
CP情報画面 259
SYSTEM情報画面 261
VIDEO情報画面 261
MEDIA情報画面 262
トラブルシューティング 263
電源 263
撮影中 263
再生中 264
表示やランプ 264
画面や音 266
アクセサリー 267
ネットワーク接続 268
エラーメッセージ 270
ネットワーク機能使用時 273
安全上のご注意 275
取り扱い上のご注意／日常のお手入れ 276
カメラ本体 276
電源 276
メモリーカード 277
コイン型リチウム電池（CR2025） 277
その他のご注意 277
カメラ本体を清掃する（日常のお手入れ） 278
アクセサリー紹介 279
主な仕様 280
C700 / C700 GS PL / C700 FF / C700 FF PL本体 280
CDX-36150レコーダー 283
電源入出力端子のピン配置 284
対応レンズと機能 285
動画の記録可能時間の目安 287
寸法図（単位：mm） 290
索引 295

本書の読みかた



コラムのマーク

次のページに続くことを示すマーク

ご注意 必ず守っていただきたいこと

MEMO 知っておいていただきたいこと

本文中の表記

□	参照ページを示す
参考 ▸▸	参考になるページなどを示す
モニター画面	ビューファインダー (別売) またはMON.端子、HDMI OUT端子に出力する画面のこと
SDカード	SD / SDHC / SDXCメモリーカードのこと
メモリーカード	CFastカードまたはSDカードのこと
カメラモード	動画撮影モードのこと
メディアモード	再生モードのこと
アクセスランプ	CFastカードアクセスランプまたはSDカードアクセスランプのこと

- 本書で使用しているイラストはC700で、レンズはEF50mm F1.4 USMを取り付けています。また、作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
- 本書では、C700またはC700 FFの画面を使用しています。また、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。

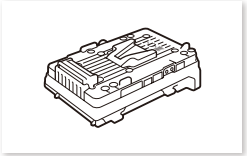
1 はじめに

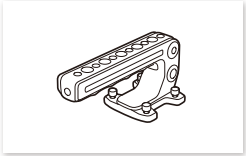
商品を確認する..... 10
各部の名称..... 11
4Kワークフローの紹介..... 20

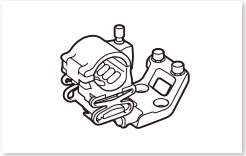
商品を確認する

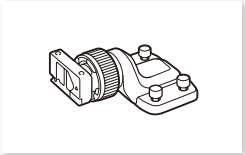
C700 / C700 GS PL / C700 FF / C700 FF PLには、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。

カメラ本体

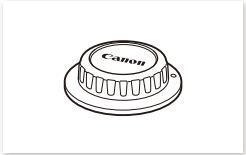

Vマウントバッテリーユニット
（本体装着）


ハンドルユニット

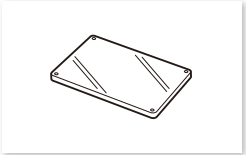

マイクホルダー


クランプベース

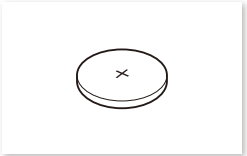
底面足（4個）



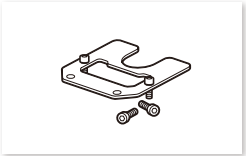
ボディキャップ
（本体装着）


液晶カバー（本体装着）

六角レンチ（1/4インチ
ボルト用、M4ボルト用）


コイン型リチウム電池
CR2025（設定保持用）

メジャーフック
（2個。本体装着）


CDX-36150用補強板*1と六角穴
付きボルト（1/4インチ／ 2個）

拡張ユニット
アタッチメント金具*2

*1 CDX-36150（Codex Recorder for Canon EOS C700）を取り付けるときに使用します。
*2 ワイヤレスファイルトランスミッター（別売）またはGPSレシーバー GP-E1（別売）を取り付けるときに使用します。

使う前に知っておいてください

必ずためし撮りをしてください

実際の撮影条件で事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、カメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」（263）をご確認ください。

記録内容の補償はできません

カメラや記録メディアなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

著作権にご注意ください

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

コントロールディスプレイやビューファインダー（別売）の画面について

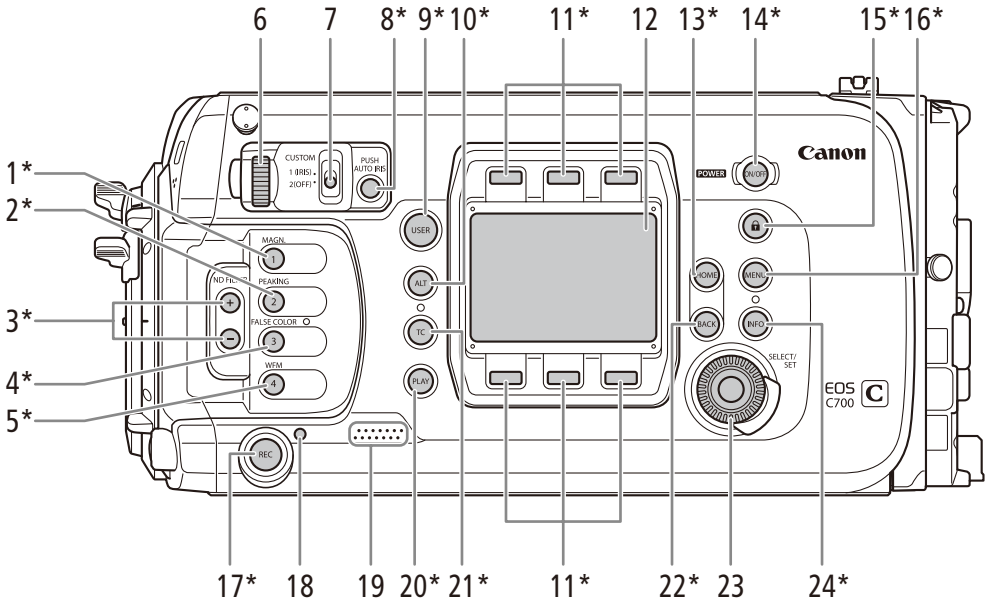
画面は精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、まれに点灯しない画素や常時点灯する画素が発生することがあります。

各部の名称

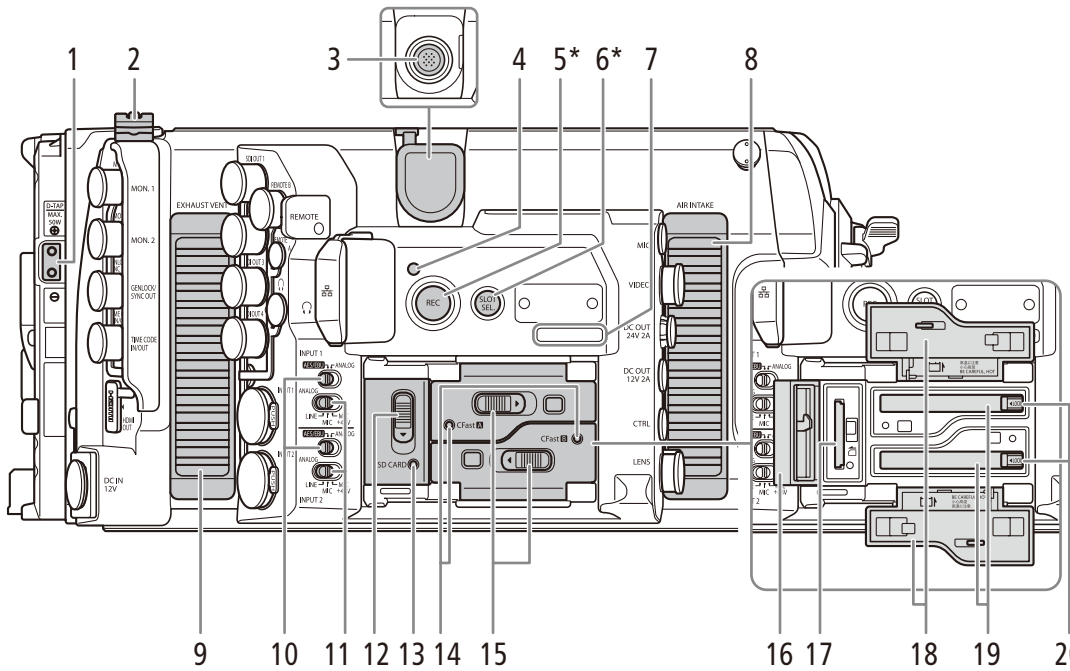
各部の機能と使いかたについては、▶▶🕮に記載されているページをご覧ください。

本体の名称

* の付いているボタンは自照式ボタンです（🕮 33）。



1 **MAGN.**（拡大）／カメラアサイン**1**ボタン ▶▶ 🕮 108、148
2 **PEAKING**（ピーキング）／カメラアサイン**2**ボタン ▶▶ 🕮 108、148
3 **ND FILTER**（NDフィルター）切り換え＋/－ボタン ▶▶ 🕮 91
4 **FALSE COLOR**（フォルスカラー）／カメラアサイン**3**ボタン ▶▶ 🕮 120、148
5 **WFM**（波形モニター）／カメラアサイン**4**ボタン ▶▶ 🕮 135、148
6 カメラ電子ダイヤル ▶▶ 🕮 89、93
7 **CUSTOM**（電子ダイヤル切り換え）スイッチ ▶▶ 🕮 89、93
8 **PUSH AUTO IRIS**（プッシュオートアイリス）ボタン ▶▶ 🕮 94、148
9 **USER**（ユーザー）ボタン ▶▶ 🕮 32、148
10 **ALT**（その他機能）ボタン ▶▶ 🕮 32
11 スクリーンボタン ▶▶ 🕮 32
12 コントロールディスプレイ ▶▶ 🕮 32
13 **HOME**（ホーム）ボタン ▶▶ 🕮 32
14 **POWER**（電源）ボタン ▶▶ 🕮 29
15 🔒**(**キーロック**)**ボタン ▶▶ 🕮 65
16 **MENU**（本体メニュー表示）ボタン ▶▶ 🕮 32、34
17 **REC**（記録開始／停止）ボタン ▶▶ 🕮 64
18 電源／タリーランプ ▶▶ 🕮 29、64
19 スピーカー ▶▶ 🕮 238
20 **PLAY**（再生操作）ボタン ▶▶ 🕮 32、166
21 **TC**（タイムコード）ボタン ▶▶ 🕮 32、121
22 **BACK**（戻る）ボタン ▶▶ 🕮 32、34
23 **SELECT**（選択）ダイヤル／**SET**（設定）ボタン ▶▶ 🕮 34
24 **INFO**（情報表示）ボタン ▶▶ 🕮 32、258



1 **D-TAP**端子 ▶▶ 🕮 29

2 ケーブルクランプ

3 拡張システム端子 ▶▶ 🕮 140、193

4 電源／タリーランプ ▶▶ 🕮 29、64

5 **REC**（記録開始／停止）ボタン ▶▶ 🕮 64

6 **SLOT SEL.**（スロット選択）ボタン ▶▶ 🕮 59

7 シリアル番号

8 **AIR INTAKE**（吸気口）▶▶ 🕮 71

9 **EXHAUST VENT**（排気口）▶▶ 🕮 71

10 **INPUT 1** ／ **INPUT 2**端子切り換えスイッチ ▶▶ 🕮 127

11 INPUT端子**ANALOG**（アナログ）入力切り換えスイッチ ▶▶ 🕮 127

12 SDカードカバー開くレバー ▶▶ 🕮 57

13 SDカードアクセスランプ ▶▶ 🕮 57

14 CFastカードアクセスランプ（**CFast A** ／ **CFast B**）▶▶ 🕮 56

15 CFastカードカバー開くレバー（**CFast A** ／ **CFast B**）▶▶ 🕮 56

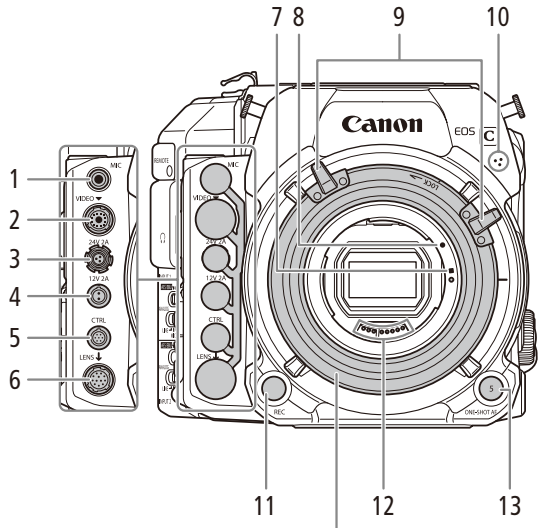
16 SDカードカバー ▶▶ 🕮 57

17 SDカードスロット ▶▶ 🕮 57

18 CFastカードカバー ▶▶ 🕮 56

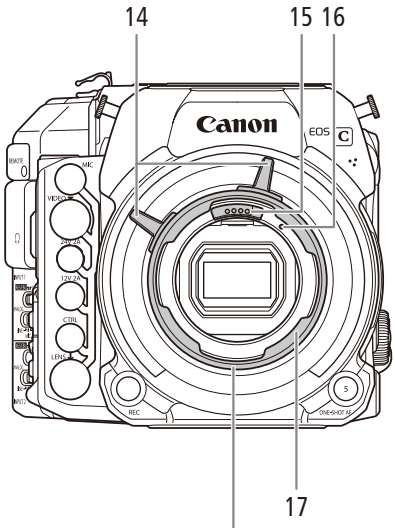
19 CFastカードスロット（**CFast A** ／ **CFast B**）▶▶ 🕮 56

20 CFastカード取り出しボタン ▶▶ 🕮 57



C700 **C700 FF**

EFレンズマウント（シネマロックタイプ）



C700 GS PL **C700 FF PL**

PLレンズマウント

7 EF-Sレンズ取り付け指標 ▶▶ 🕮 49
8 EFレンズ取り付け指標 ▶▶ 🕮 49
9 マウントレバー ▶▶ 🕮 49
12 EFレンズ接点 ▶▶ 🕮 276

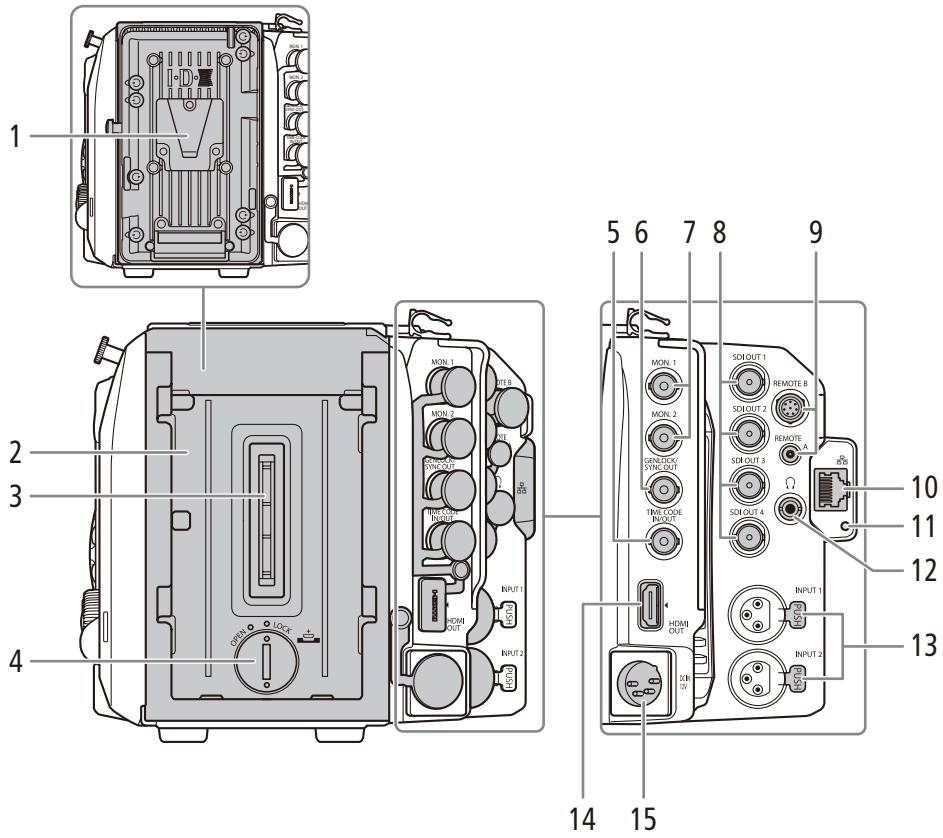
14 バヨネットリングレバー ▶▶ 🕮 52
15 PLレンズ接点 ▶▶ 🕮 276
16 位置決めピン ▶▶ 🕮 52
17 バヨネットリング ▶▶ 🕮 52

1 **MIC**（マイク）端子 ▶▶ 🕮 129
2 **VIDEO**端子 ▶▶ 🕮 46
3 **DC OUT 24V 2A**端子 ▶▶ 🕮 29
4 **DC OUT 12V 2A**端子 ▶▶ 🕮 29
5 **CTRL**（コントロール）端子
- リモートオペレーションユニット OU-700（別売）接続用

6 **LENS**（レンズ）端子 ▶▶ 🕮 49
10 モノラルマイク ▶▶ 🕮 127
11 **REC**（記録開始／停止）ボタン ▶▶ 🕮 64
13 **ONE-SHOT AF**（ワンショットAF）／カメラアサイン**5**ボタン ▶▶ 🕮 109、148

端子カバーを取り外す

本機の端子カバーは、すべて取り外すことができます。本体前面のMIC端子以下6個の端子用カバーは、6個すべての端子からカバーを外すと外れます。その他の端子カバーは、＋のドライバーでネジを外すと取り外すことができます。本体から取り外した端子カバーやネジは紛失しないようにご注意ください。



1 Vマウントバッテリー装着部 ▶▶ 🕮 27

2 拡張ユニット取り付け部 ▶▶ 🕮 24

3 拡張ユニットコネクター ▶▶ 🕮 24

4 コイン型リチウム電池カバー ▶▶ 🕮 25

5 **TIME CODE IN/OUT**端子 ▶▶ 🕮 124

6 **GENLOCK/SYNC OUT**端子 ▶▶ 🕮 124

7 **MON.1**(モニター 1) ／ **MON.2**(モニター 2)端子 ▶▶ 🕮 179

- 以降、両端子に共通の説明では「MON.端子」と呼ぶ。

8 **SDI OUT 1** ／ **SDI OUT 2** ／ **SDI OUT 3** ／ **SDI OUT 4**端子 ▶▶ 🕮 179

- 以降、両端子に共通の説明では「SDI OUT端子」と呼ぶ。

9 **REMOTE A**(リモートA)／**REMOTE B**(リモートB)端子 ▶▶ 🕮 143

- 別売／市販のリモコンを接続する。

10 品 (イーサネット)端子 ▶▶ 🕮 192

11 イーサネットアクセスランプ ▶▶ 🕮 199

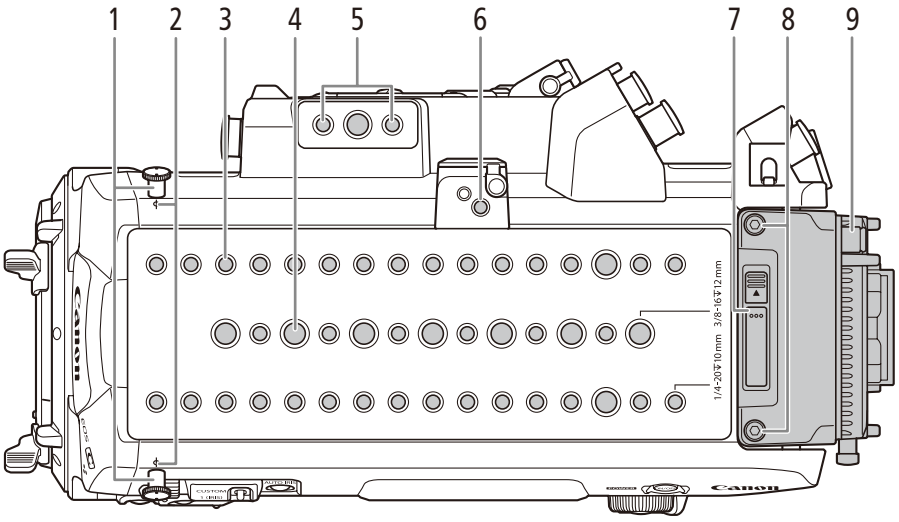
12 🎧(ヘッドホン)端子 ▶▶ 🕮 133

13 **INPUT 1** ／ **INPUT 2**端子 ▶▶ 🕮 127

- 以降、両端子に共通の説明では「INPUT端子」と呼ぶ。

14 **HDMI OUT**端子 ▶▶ 🕮 179

15 **DC IN 12V**端子 ▶▶ 🕮 28



1 メジャーフック
- 撮像面から被写体までの距離を、メジャーを使って正確に測るときに使う。

2 ϕ 撮像面マーク

3 1/4インチネジ穴（1/4-20 ／深さ10 mm。36個）

4 3/8インチネジ穴（3/8-16 ／深さ12 mm。10個）

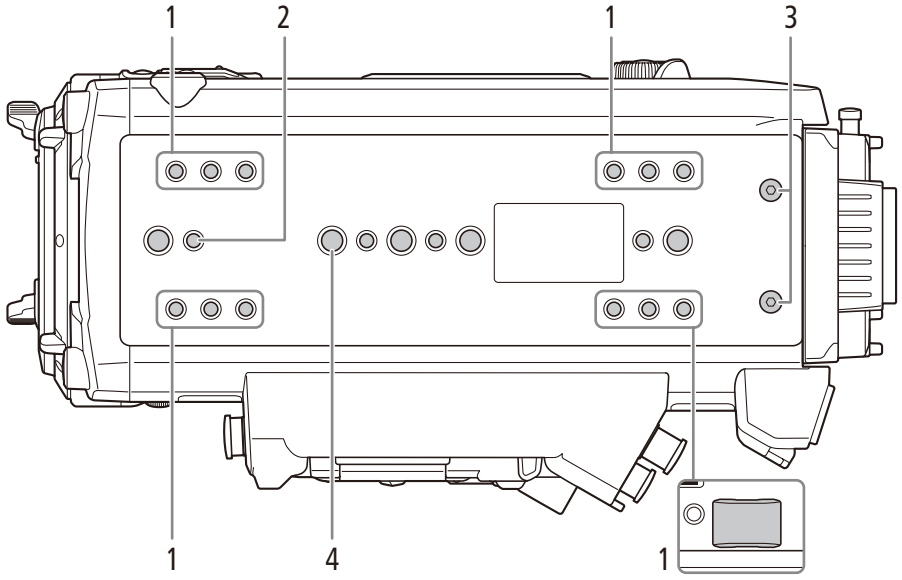
5 1/4インチネジ穴（1/4-20 ／深さ10 mm。2個）
- リモートオペレーションユニットの取り付け位置（推奨）。

6 拡張ユニットアタッチメント金具取り付け部 ▶▶ 🕮 140、193

7 拡張ユニットレバー ▶▶ 🕮 24

8 拡張ユニット固定用M4ネジ

9 Vマウントバッテリーユニット ▶▶ 🕮 24



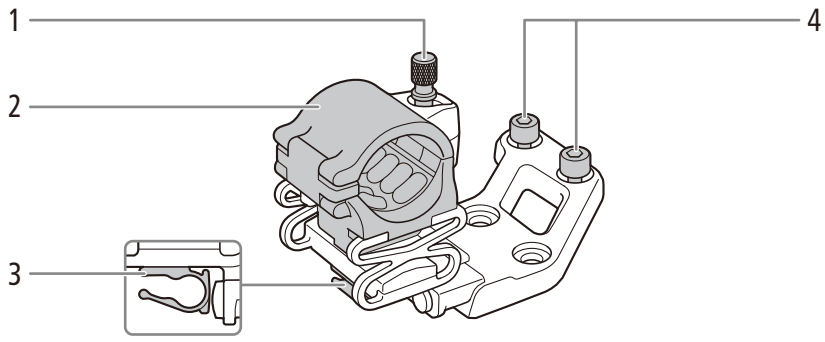
1 底面足取り付け部

2 1/4インチネジ穴（1/4-20 ／深さ10 mm。 16個）
▶▶ 🕮 44

3 拡張ユニット固定用M4ネジ

4 3/8インチネジ穴（3/8-16 ／深さ12 mm。5個）
▶▶ 🕮 44

■ マイクホルダーの名称



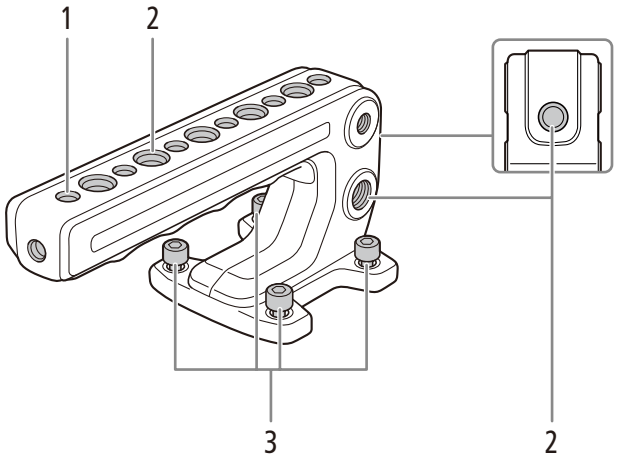
1 外部マイク固定ネジ ▶▶ 🕮 129

2 外部マイクホルダー ▶▶ 🕮 129

3 ケーブルクランプ ▶▶ 🕮 129

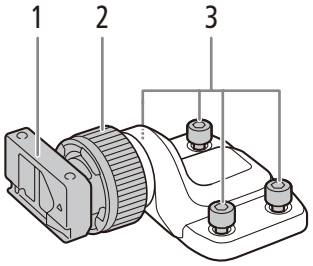
4 六角穴付きボルト（1/4インチ。2個） ▶▶ 🕮 48

ハンドルユニットの名称



1 1/4インチネジ穴（1/4-20 ／深さ10 mm。9個）
2 3/8インチネジ穴（3/8-16 ／深さ12 mm。8個）
3 六角穴付きボルト（1/4インチ。4個）

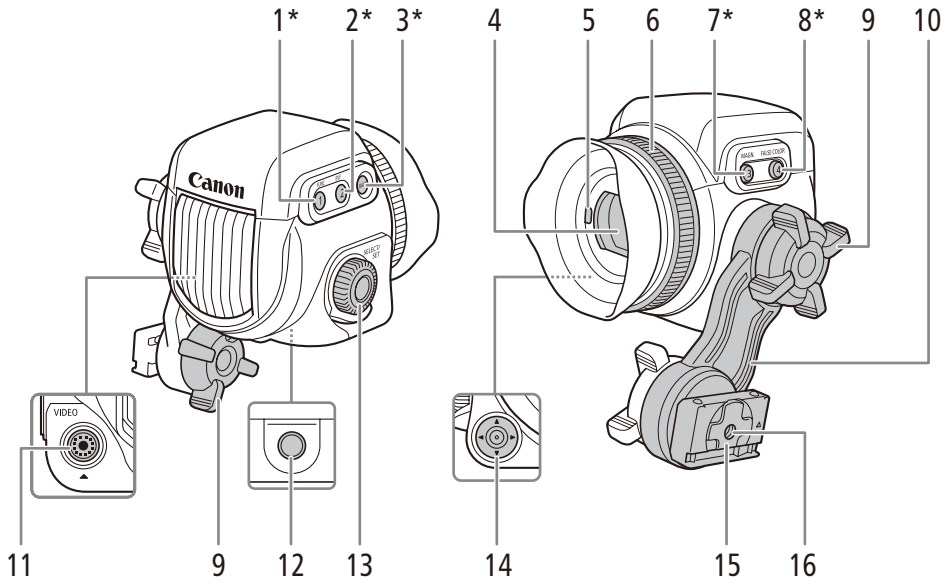
クランプベースの名称



1 クランプレール接続部 ▶▶ 46
2 クランプレール固定ネジ ▶▶ 46
3 六角穴付きボルト（1/4インチ。4個）

■ 有機EL電子ビューファインダー EVF-V70(別売)の名称

* の付いているボタンは自照式ボタンです (🕮 33)。



1 **FUNC** ／ビューファインダーアサイン**1**ボタン ▶▶ 🕮 83、148

2 **EVF**(モニタリングメニュー表示) ／ビューファインダーアサイン**2**ボタン ▶▶ 🕮 36、148

3 **BACK**(戻る)ボタン ▶▶ 🕮 36

4 ファインダー

5 アイセンサー ▶▶ 🕮 54

6 視度調整ダイヤル ▶▶ 🕮 47

7 **MAGN.**(拡大) ／ビューファインダーアサイン**3**ボタン ▶▶ 🕮 106、148

8 **FALSE COLOR**(フォルスカラー) ／ビューファインダーアサイン**4**ボタン ▶▶ 🕮 117、148

9 スイングアーム締め付けねじ ▶▶ 🕮 46

10 スイングアーム ▶▶ 🕮 46

11 **VIDEO**端子 ▶▶ 🕮 46

12 1/4インチネジ穴 (1/4-20 ／深さ25 mm)

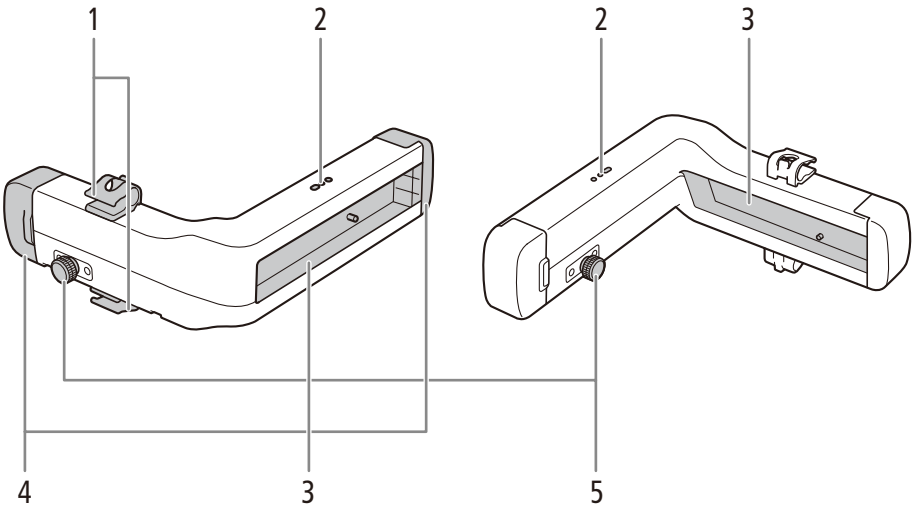
13 **SELECT**(選択)ダイヤル／ **SET**(設定)ボタン ▶▶ 🕮 36

14 ジョイスティック ▶▶ 🕮 36

15 クランプレール接続部 ▶▶ 🕮 46

16 1/4インチネジ穴 (1/4 20 ／深さ10mm)

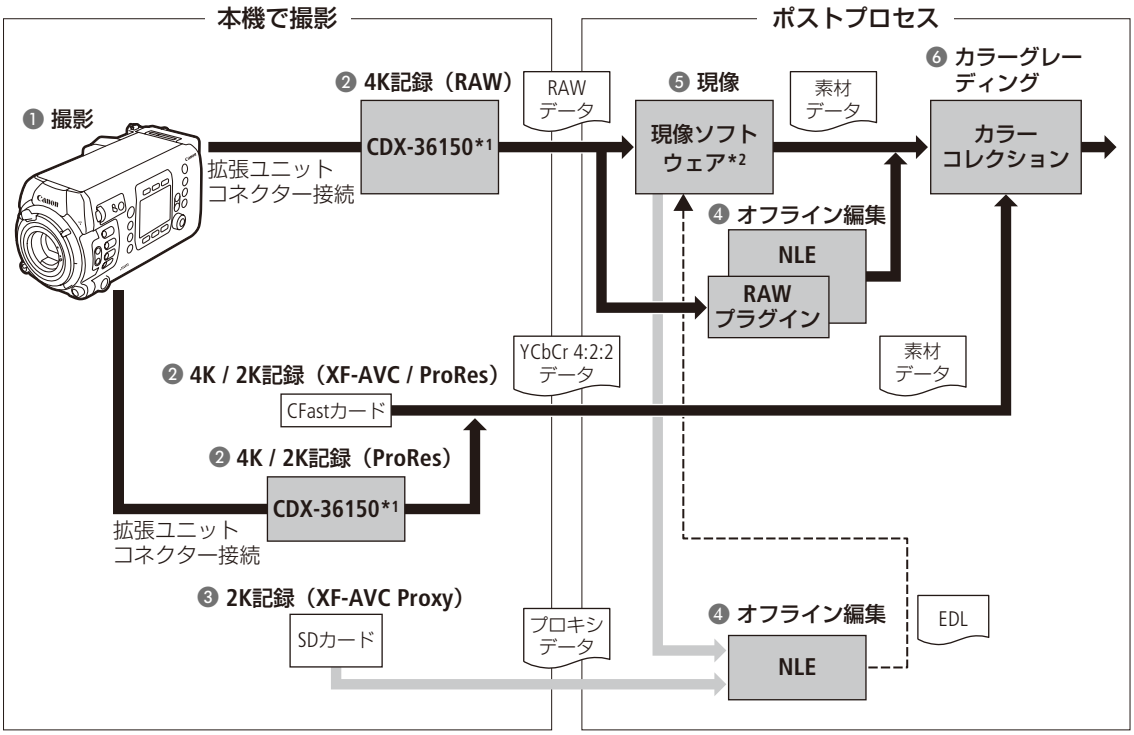
クランプレール（EVF-V70に付属）の名称



1 ケーブルクランプ ▶▶ 🕮 46
2 ケーブルクランプ用ネジ穴（4個） ▶▶ 🕮 46
3 レール ▶▶ 🕮 46
4 クランプレールふた ▶▶ 🕮 46
5 ロックつまみ

4Kワークフローの紹介

ここでは、本機を使って4K撮影を行う場合のワークフローの例を紹介します。



*1 Codex社製のCDX-36150（Codex Recorder for Canon EOS C700）のこと（🕮 245）。
*2 Cinema RAW Developmentのこと（🕮 189）。

1 4Kで撮影し（❶）、CDX-36150でRAWデータを記録するか、CFastカード／ CDX-36150に4K YCbCr 4:2:2データを記録する（❷）

参考 ▸▸「外部のモニター／レコーダーを接続する」（🕮 179）

- RAW記録とCFastカードへの4K記録を同時に行って、ポストプロセスの制作時間に応じて使い分けることもできる（🕮 80）。

2 RAWデータの記録と同時に、SDカードに2Kプロキシデータを記録する（❸）

3 SDカードに記録された2K映像または現像ソフトウェアで生成したプロキシデータをNLEソフトウェアに取り込み、オフライン編集を行う（❹）

参考 ▸▸「クリップをパソコンに保存する」（🕮 189）

4 RAWデータを記録したとき 現像ソフトウェアCinema RAW Developmentで現像（🕮 189）して、素材データを生成する（❺）

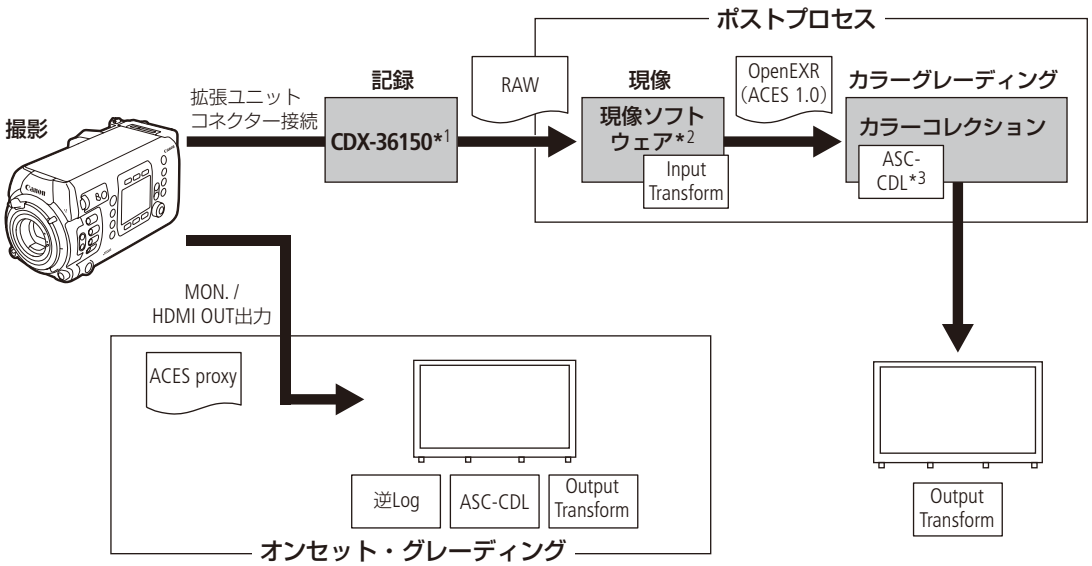
- 現像時にプロキシデータを生成することもできる。
- CFastカード／ CDX-36150に記録したYCbCr 4:2:2データは、そのまま素材データとして扱う。

5 素材データのカラーグレーディング処理を行う（❻）

ACESワークフローによるカラーグレーディング

映画芸術科学アカデミー（AMPAS）が策定したACES2065-1（Academy Color Encoding System）色空間を使用してカラーグレーディングを行うことができます。また、撮影現場でカラーグレーディング後の映像を確認しながら撮影することもできます（オンセット・グレーディング）*。

* ASC-CDLと3D LUTによるカラー調整に対応するモニターが必要。



*1 Codex社製のCDX-36150（Codex Recorder for Canon EOS C700）のこと。
*2 Cinema RAW Developmentのこと（🕮 189）。
*3 ASC-CDLに対応するカラーグレーディング機材が必要。

ACESproxy： オンセット・グレーディング時にMON.端子またはHDMI OUT端子から出力するACESproxyの映像データ。各端子のLUTを「ACESproxy」に設定すると出力できる（🕮 183）。
Input Transform： 入力機器の色情報をACES2065-1色空間に変換するテーブル。
Output Transform： ACES2065-1色空間を出力機器の色情報に変換するテーブル。
ASC-CDL： カラーグレーディングの調整情報を記述したリスト。

MEMO

2 準　備

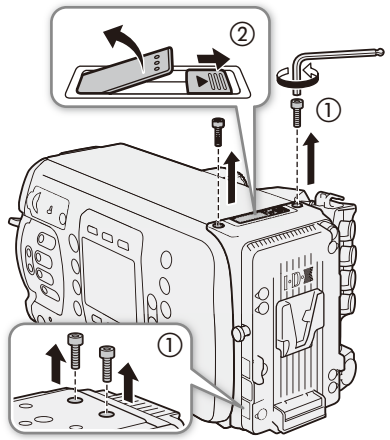
設定保存用の電源を準備する..... 24
電源を準備する..... 27
日時と言語を設定する..... 30
本機の設定を変える 32
メニューで設定を変える 34
カメラを準備する 42
記録メディアを準備する 55
ブラックバランスを調整する..... 62

設定保存用の電源を準備する

本機の設定を保存するためには、付属のコイン型リチウム電池（CR2025）を入れる必要があります。電池は、拡張ユニット*を取り外してから本体に取り付けます。

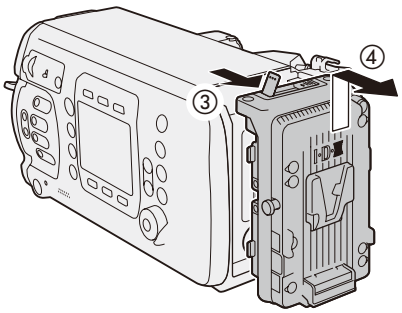
* 購入時はVマウントバッテリーユニットが装着されています。

■ 拡張ユニットを取り外す



1 拡張ユニットを固定する六角穴付きボルト（M4 ／上下各2箇所）を取り外す（①）
- M4ボルト用六角レンチ（付属）で取り外す。

2 拡張ユニットレバーのロックスイッチを▶方向にスライドさせる（②）
- レバーが起き上がる。



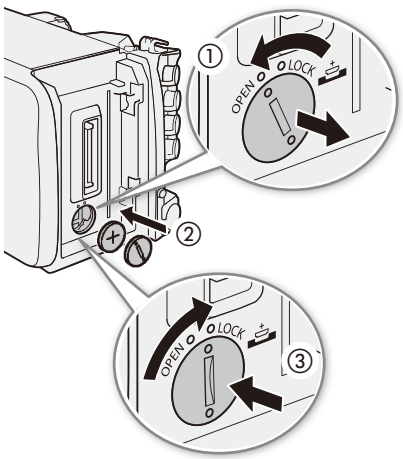
3 レバーをさらに引き起こしたあと、拡張ユニットをレンズと反対方向に引き出す（③）

4 拡張ユニットを上にスライドさせたあと、レンズと反対方向に取り出す（④）

5 拡張ユニットレバーを倒す

■ コイン型リチウム電池（CR2025）を入れる

電池が消耗したときは交換してください。本機には充電式リチウム電池が内蔵されているため、コイン型リチウム電池の交換中でも、本機の設定データは保持されます。



1 DC IN 12V端子に電源を装着していないことを確認する

2 コインなどを使って、コイン型リチウム電池カバーを外す（①）
- OPENからさらに回すと、カバーが浮き上がり取り外しやすくなる。

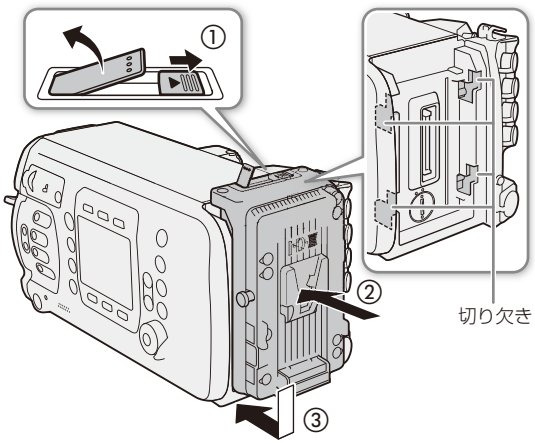
3 ＋側を手前にしてコイン型リチウム電池（付属）を入れる（②）

4 電池カバーを閉じる（③）

MEMO

- 充電式リチウム電池は、本機を約1か月使わないと完全に放電します。その状態でコイン型リチウム電池を取り外すと、本機の設定が初期状態に戻ります。メニューやカスタムピクチャーの設定は、あらかじめSDカードに保存してください（🕮 163）。
- 充電式リチウム電池を充電するときは、本機の電源を切り、電源（バッテリーまたはDC IN 12V端子）を取り付けてください。約24時間で充電できます。

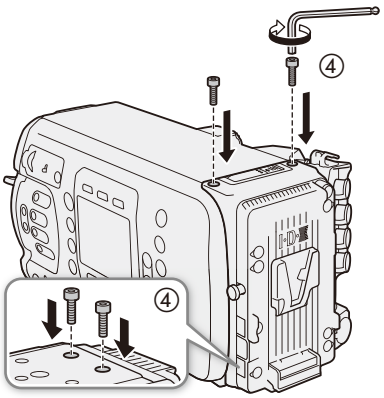
■ 拡張ユニットを取り付ける



1 拡張ユニットレバーのロックスイッチを▶方向にスライドさせる（①）
- レバーが起き上がる。

2 レバーをさらに引き起こしたあと、拡張ユニットの4箇所のツメを、カメラ本体の4箇所の切り欠きに合わせて、拡張ユニットをレンズ方向に押す（②）

3 拡張ユニットを下にスライドさせたあと、レンズ方向に押して取り付ける（③）



4 拡張ユニットレバーを倒して、ロックさせる

5 六角穴付きボルト（上下各2箇所）を取り付けて拡張ユニットを固定する（④）

ご注意
- ボルトを締める際、軽く締めた後でさらに締め付けるときは、約45 度までの回転としてください。250N・cm（2.5N・m）以上の締付トルクがかかると、固定部が破損する恐れがあります。

電源を準備する

電源は、Vマウントタイプのバッテリーまたは DC IN 12V端子から供給できます。バッテリーが取り付けられている状態で、DC IN 12V端子から電源供給すると、DC IN 12V端子からの電源で動作します。

■ 使用可能な電源

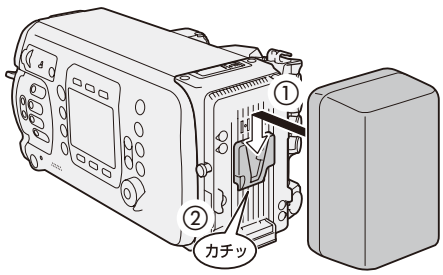
以下の仕様のバッテリー（市販）と外部電源アダプター（市販）が使用できます。電源機器は、お使いの国の安全規格に適合したものを使用してください。また、バッテリーや外部電源アダプターの取り扱いについては、メーカーの指示に従ってください。

供給方法	接続できる電源の仕様
バッテリー	Vマウントタイプバッテリー　／　DC 12V ～ 20V
DC IN 12V端子	XLR 4ピン（メス）コネクター　／　DC 11.5V ～ 20V、10A（許容最大負荷電流）

■ バッテリーを使う

Vマウントタイプのバッテリー（市販）の取り付け／取り外しについて説明します。

本体に取り付ける

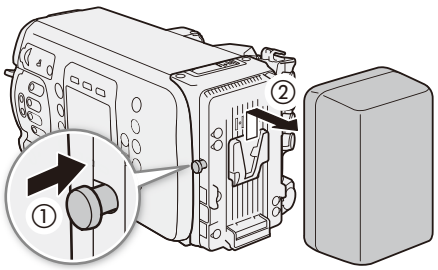


1 電源OFFを確認する

2 バッテリーのV字形の凸部を、Vマウントバッテリー装着部のV字形の凹部に合わせる（①）

3 バッテリーを図のように奥に押しつけながら下にスライドさせ、カチッと音がするまで入れる（②）

本体から取り外す

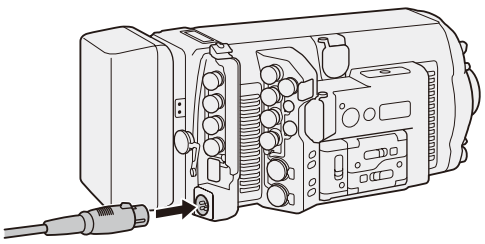


1 POWER（電源）ボタンを押して電源を切る（🕮 29）

2 Vマウントバッテリー装着部のリリースレバーを押しながら（①）、バッテリーを上にスライドさせて、バッテリーを取り出す（②）

DC IN 12V端子を使う

本機のDC IN 12V端子に外部電源アダプター（市販）をつないで使用できます。



1 POWER（電源）ボタンを押して電源を切る（🕮 29）

2 外部電源アダプターのXLR 4ピンコネクターをDC IN 12V端子に差し込む

ご注意

- DC IN 12V端子のコネクターを抜き差しするときは、必ず本機の電源を切ってください。

電源の残量を確認する

電源の残量は、HOME画面とモニター画面、SYSTEM情報INFO画面（**C700 FF** **C700 FF PL**）*の電圧表示で確認できます（🕮 65）。また、バッテリー／ DC IN 12V端子の電圧／残量が設定値に達したときに、画面の電圧表示の色や警告で通知するように設定することができます（電源警告。🕮 238）。警告の設定は、DC IN 12V端子とバッテリーのそれぞれについて電圧で設定でき、BMS（Battery Management System）に対応するバッテリーの使用時は、%でも設定できます。

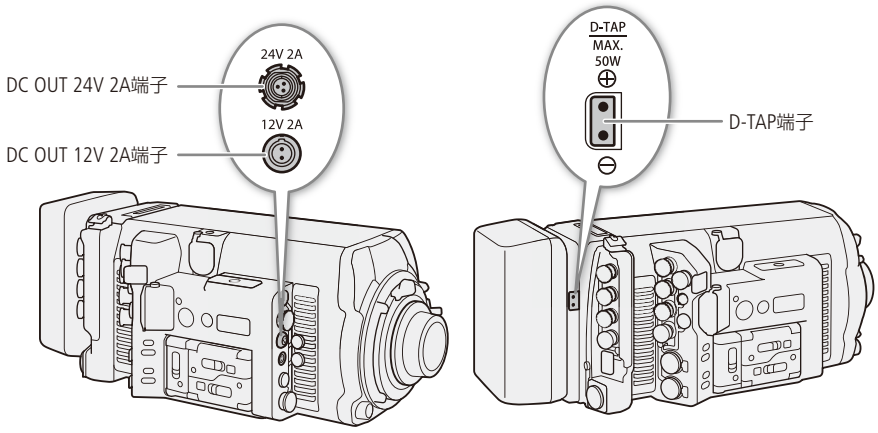
* CDX-36150レコーダーのDC IN ／バッテリーの電圧のみ。

MEMO

- 電源の電圧／残量が、電源警告（🕮 238）の設定値以下になると、記録開始しません。

電源を出力する

本機のDC OUT 24V 2A端子、DC OUT 12V 2A端子およびVマウントバッテリーユニットのD-TAP端子から、他の機器に電源を供給することができます。



出力端子	出力電源の仕様*
DC OUT 24V 2A端子	フィッシャーコネクターズ社製3ピンコネクター ／ DC 24 V 2.0 A(最大出力電流)
DC OUT 12V 2A端子	LEMO 2ピン コネクター ／ DC 12 V 2.0 A(最大出力電流)
D-TAP端子	D-TAP コネクター ／ 最大50W

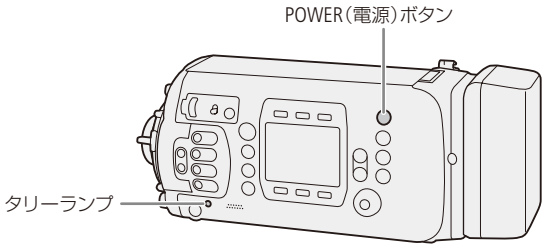
* 出力電圧、出力電流は、カメラに供給される電源によって変わることがあります。

ご注意

- 出力電源の仕様の範囲内で使用してください。
- 外部機器を接続するときは、極性を十分に確認して接続してください。誤った接続をすると故障の原因になります。

電源を入れる／切る

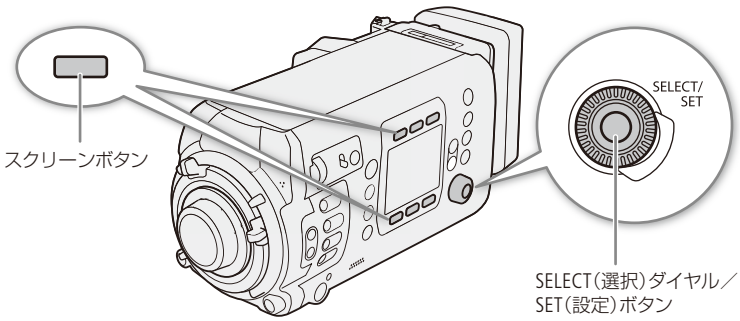
電源を取り付けてPOWER(電源)ボタンを押すと、本機の電源が入り本機がカメラモードで起動します。起動中はタリーランプが赤色で点灯し、正常に起動すると緑色の点灯に変わって、コントロールディスプレイにホーム画面が表示されます。電源を切るときはPOWER (電源) ボタンを押し続けます。コントロールディスプレイ上のカウントダウン表示が1を過ぎると終了処理が始まり、まもなく電源が切れます。



日時と言語を設定する

はじめてお使いになるときは、コントロールディスプレイに日付・時刻を設定する画面が表示されます*。以下の操作手順で日時を設定してください。 C700 FF C700 FF PL 初期設定の言語は英語です。以下で言語の変更のしかたを説明しています。

* 設定保持用のコイン型リチウム電池（CR2025）が消耗したときも同様です。



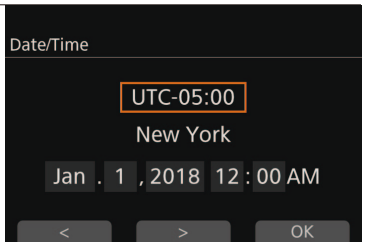
■ 日時を設定する

1 年月日時分の数字を選んで設定する

① SELECT（選択）ダイヤルを回してタイムゾーンを選び、SET（設定）ボタンを押す。
- カーソルが次の項目に移動する。

② ①の操作を繰り返して、日付／時刻を設定する。
- 「<」または「>」を押して、カーソルを左右に移動させることもできる。

③ 時報に合わせて「OK」を押す。
- 日時設定が完了する。



MEMO

日時設定、日時スタイル、タイムゾーンを変更するには

➔ MENU：「システム設定」➤「日時設定」（📖 235）

- 設定保持用のコイン型リチウム電池が消耗し、内蔵の充電式リチウム電池が完全に放電すると、日付／時刻の設定が解除されます。そのときは、コイン型リチウム電池（CR2025）を交換してください（📖 25）。
- GPSレシーバー GP-E1（別売）を使用すると、GPSから得られる時刻情報を本機に自動で設定できます（📖 140）。

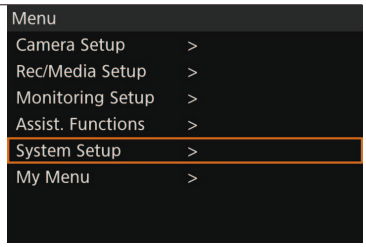
言語を変更する

カメラの画面表示の言語を変更できます。なお、言語を変更しても、一部の画面は英語で表示されます。

1 メニューボタンを押して本体メニューを表示する

2 言語を変更する

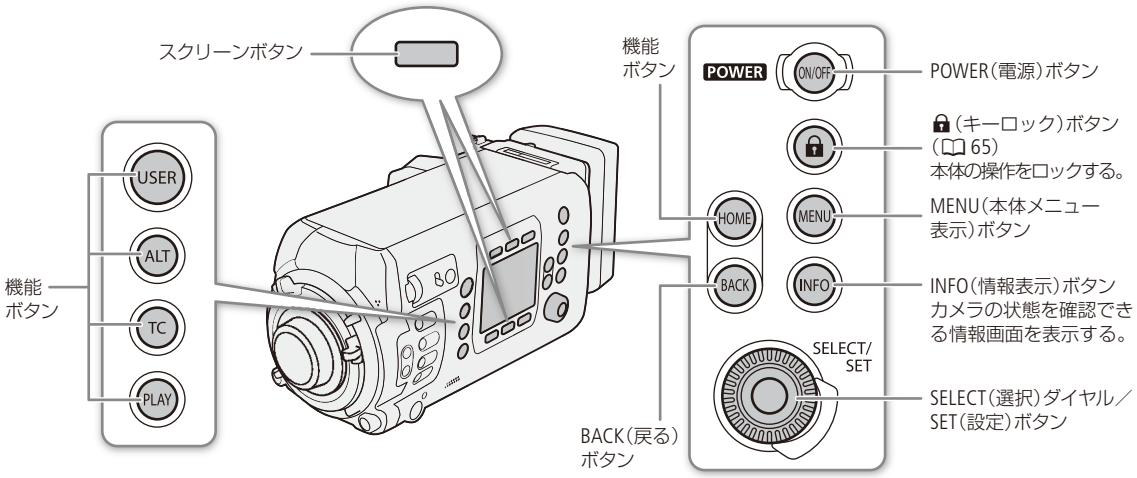
① SELECT（選択）ダイヤルを回して「System Setup」を選び、SET（設定）ボタンを押す。
② 同様にして「Language 」を選び、SET（設定）ボタンを押す。
③ 同様にして「日本語」を選び、SET（設定）ボタンを押す。



3 HOMEボタンを押して、本体メニューを閉じる

本機の設定を変える

本機の設定は、コントロールディスプレイに表示する「設定画面」と「本体メニュー」、およびモニター画面に表示する「モニタリングメニュー」で変更します。設定画面は、押した機能ボタンに応じて各種設定を行う画面です。リモートオペレーションユニットOU-700（別売）装着時は、OU-700上の機能ボタンやコントロールディスプレイで同様に設定できます。



■ 機能ボタンから設定画面を表示して設定する

機能ボタンには、HOME、USER、ALT、TC、PLAYの5つがあり、それぞれのボタンに応じた設定画面がコントロールディスプレイに表示されます。コントロールディスプレイの上下には、画面に応じて機能が可変の6つのスクリーンボタンがあり、各ボタンの機能はすぐ上または下の設定画面に表示されます。機能ボタンを押すと、現在の画面の表示内容にかかわらず、それに応じた設定画面が表示されます。各設定画面の詳細については、「設定画面／メニュー一覧」（🕮 220）をご覧ください。

HOME画面：フレームレート、アイリス／ ND、シャッター、ISO ／ゲイン、画質、ホワイトバランスの各設定が可能。また、カメラの状態やクリップ名情報、動画記録形式、メディア情報、バッテリー情報などを確認可能。本機の起動時に表示される画面。
USER画面： 6つのスクリーンボタンに任意の機能を割り当てて使用可能。
ALT画面： AF（オートフォーカス）（**C700** **C700 FF**）、フォーカスアシスト、オーディオ、水準器、ネットワークの各設定が可能。ALTはalternativeの略。
TC画面： タイムコードの設定が可能。
PLAY画面： 記録したクリップの再生操作を行う（メディアモード）。

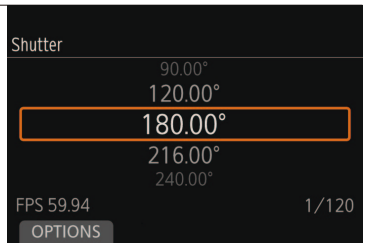
例：HOME画面でシャッタースピードを調整する場合

1 HOMEボタンを押す

- HOME画面が表示される。

2 「SHUTTER」を押す

- シャッタースピードの設定画面が表示される。



3 値を調整する

① SELECT(選択)ダイヤルを回して、設定内容を選ぶ。
- BACK(戻る)ボタンを押す*と、変更が中止されて1つ前の画面に戻る。

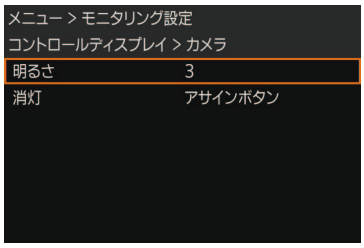
* 以降、この操作を「BACKを押す」と記載する。

② SET(設定)ボタンを押す*。
- 選んだ設定内容が決定され、一つ前の画面に戻る。

* 以降、この操作を「SETを押す」と記載する。

コントロールディスプレイの明るさを調整する

本体またはリモートオペレーションユニットOU-700(別売)のコントロールディスプレイの明るさを調整できます。



① MENU / EVF:「モニタリング設定」➤「コントロールディスプレイ」➤「カメラ」または「リモート OU-700」➤「明るさ」を順に選ぶ。
② 「1」～「5」(最も明るい)の5段階で明るさを選ぶ ➤ SETを押す。
【代替操作】HOME画面で、BACKを押しながらSELECT ダイヤルを回す

MEMO

- コントロールディスプレイの液晶カバーは、カバーの中央下部に爪を引っかけて手前に引くと外れます。お手入れなどでカバーを外したあとは、4 角を押さえて確実に取り付けてください。
- OU-700接続時に自動的に消灯するなど、カメラのコントロールディスプレイの消灯のしかたを設定できます(📖 230)。
- 「コントロールディスプレイ設定」を割り当てたアサインボタンを押して、「コントロールディスプレイ」サブメニューを表示することができます(📖 148)。
- 「コントロールディスプレイ表示」を割り当てたアサインボタンを押して、コントロールディスプレイ(本体)の表示を入/切することができます(📖 148)。

自照式ボタンの明るさを変えるには

- MENU:「システム設定」➤「LED」➤「ボタン照明」(📖 238)
- HOME画面で、HOMEボタンを押しながらSELECTダイヤルを回す。

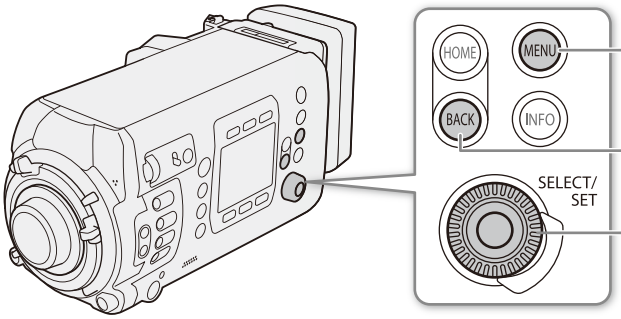
メニューで設定を変える

本機のさまざまな機能を本体メニューまたはモニタリングメニューによって設定することができます。また、よく使うメニュー項目をあらかじめマイメニューに登録して設定することもできます。ここではメニュー設定の基本操作や共通操作について説明しますので、本書の各項目で説明されているメニュー設定を操作するときの参考にしてください。メニューの種類については「設定画面／メニュー一覧」(🕮 220)をご覧ください。

■ 本体メニュー操作の基本

本体メニューはコントロールディスプレイに表示され、主に機能ボタンの設定画面に含まれない設定項目を設定します。MENUボタンを押すと、現在の画面の表示内容にかかわらず本体メニューが表示されます。

例：カメラのファームウェアバージョンを確認する場合



MENU(本体メニュー表示)ボタン
本体メニュー操作を開始するときに押して本体メニューを表示します。

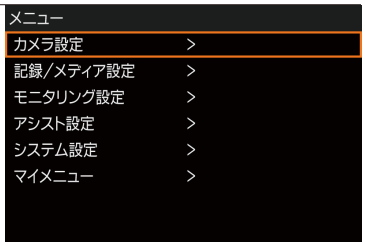
BACK(戻る)ボタン
メニューの1つ上の階層に戻ります。
実行前の操作はキャンセルされます。

SELECT(選択)ダイヤル
ダイヤルを回すと、メニュー上のカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。

SET(設定)ボタン
現在、選択しているメニュー項目や設定値に決定するときに押します。

1 本体メニューを表示させる

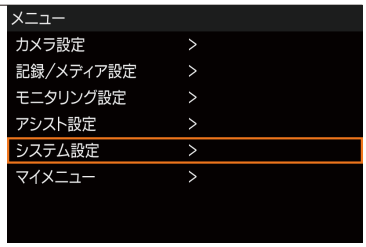
① MENUボタンを押す。
- コントロールディスプレイの画面に本体メニューが表示される。

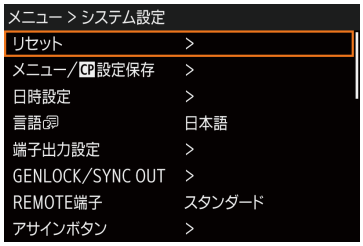


2 設定するメニューを選ぶ

① SELECT（選択）ダイヤルを回して、設定するメニューを選ぶ。
② SET（設定）ボタンを押す*。
- カーソルがメニュー項目に移動する。
- 表示しきれないメニュー項目があるときは、メニューの右端にスクロールバーが表示される。カーソルを上下に移動するとメニューがスクロールする。

* 以降、この操作を「SETを押す」と記載する。

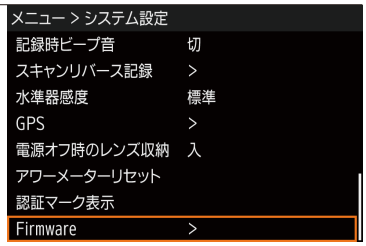




3 設定するメニュー項目を選ぶ

① SELECT（選択）ダイヤルを回して、設定するメニュー項目を選ぶ。
② SETを押す。
- カーソルが設定内容に移動する。
- メニュー項目の右側に表示される「>」は、下の階層にメニュー項目があることを示す。このメニュー項目を選んだときは、再度①、②の操作を行って、下の階層のメニュー項目を選ぶ。
- BACK（戻る）ボタンを押すと、カーソルが1つ上の階層に戻る。

* 以降、この操作を「BACKを押す」と記載する。



4 設定内容を選び、設定する

① SELECT（選択）ダイヤルを回して、設定内容を選ぶ。
② SETを押す。
- 選んだ設定内容を決定し、上の階層のメニュー項目に戻る。

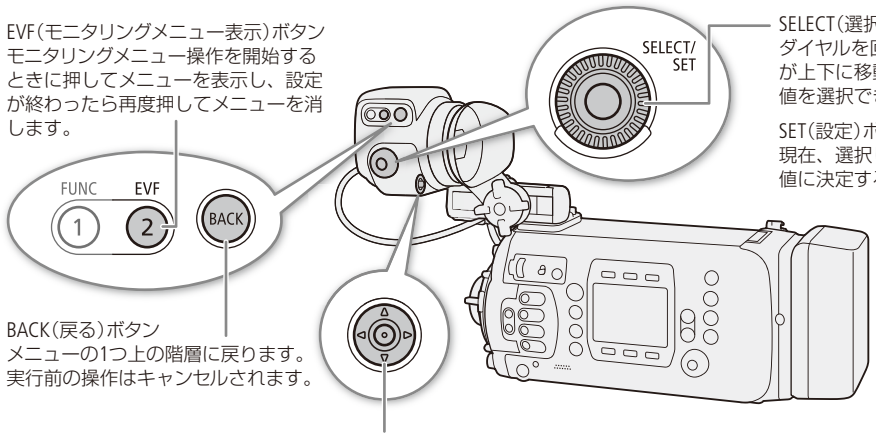
5 メニューを消す

① HOMEボタンを押す。
- 本体メニューが消えてHOME画面に戻る。

■ モニタリングメニュー操作の基本

モニタリングメニューは、映像出力端子（MON.端子、HDMI OUT端子）および有機EL電子ビューファインダー EVF-V70（別売）*を接続するVIDEO端子に出力され、本機のほとんどのメニュー設定を変更できます。設定操作は、EVF-V70またはリモートコントローラー RC-V100（別売。🕮 143）で行います。

* 以降、本節内では「EVF」と記載する。



例：フォーカスガイドを「入」にする場合

1 モニタリングメニューを表示させる

① EVF-V70のEVFボタンまたはRC-V100のMENUボタンを押す。

- モニター画面にモニタリングメニューが表示される。EVFボタンを押したときは、「モニタリング設定」➤「EVF-V70」が表示される。
- モニタリングメニューは、最後にメニューを消したときの状態が保持されたまま表示される（電源をOFF/ONすると初期状態に戻る）。

EVFボタンを押したとき

BACKを押して、メニューの最上位階層に移動する。

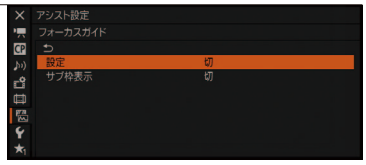
2 設定するメニューを選ぶ

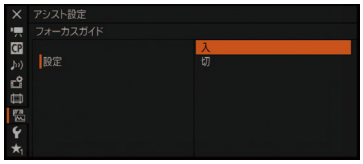
① EVFのジョイスティックを上下に押すかSELECT（選択）ダイヤルを回して、設定するメニューを選ぶ。
- 選んだメニューのサブメニューが表示される。

② ジョイスティックまたはSET（設定）ボタンを押す*。
- カーソルがメニュー項目に移動する。
- ジョイスティックを右に押して、カーソルをメニュー項目に移動することもできる。
- 表示しきれないメニュー項目があるときは、メニューの右端にスクロールバーが表示される。カーソルを上下に移動するとメニューがスクロールする。

* 以降、この操作を「SETを押す」と記載する。

3 設定するメニュー項目を選ぶ



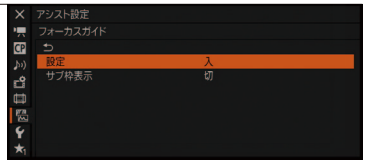


① ジョイスティックを上下に押すかSELECT（選択）ダイヤルを回して、設定するメニュー項目を選ぶ。

② SETを押す。
- カーソルが設定内容に移動する。
- メニュー項目の右側に表示される「>」は、下の階層にメニュー項目があることを示す。このメニュー項目を選んだときは、再度①、②の操作を行って、下の階層のメニュー項目を選ぶ。
- 「EVFのBACKボタンまたはRC-V100のCANCELボタンを押す*」、「ジョイスティックを左に押す」、「⮌を選ぶ」、のいずれかを行うと、カーソルが1つ上の階層に戻る。

* 以降、この操作を「BACKを押す」と記載する。

4 設定内容を選び、設定する



① ジョイスティックを上下に押すかSELECT（選択）ダイヤルを回して、設定内容を選ぶ。

② SETを押す。
- 選んだ設定内容を決定し、上の階層のメニュー項目に戻る。

5 メニューを消す

① EVFボタンを2回*押すか、RC-V100のMENUボタンを押す。
* 「モニタリング設定」>「EVF-V70」を表示しているときは1回。

操作説明におけるメニュー階層の表記のしかた

操作ボタン名：「階層1」➤「階層2」➤「階層3」

操作ボタン名には、HOME、USER、ALT、TC、PLAY、MENU、EVF*の各ボタン名を記載します。
先頭のボタンを押した後、表示される画面から以降の階層項目を順次選択します。

* 有機EL電子ビューファインダー EVF-V70(別売)のEVF(モニタリングメニュー)ボタン。

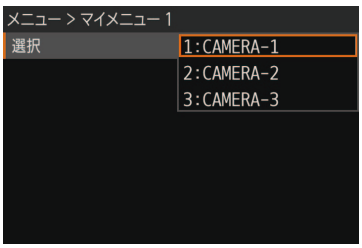
MEMO

- 他の機能の設定内容などによって設定できない項目は、灰色で表示されることがあります。
- 操作ガイドとして画面にSET、BACKが表示されることがあります。 このときはガイドに応じて、それぞれSETボタン、BACKボタンを押してください。
- 現在の設定内容の一部を、INFO画面で確認できます（📖 258）。
- HDMI OUT端子の出力解像度が4096×2160または3840×2160の場合、モニタリングメニューはHDMI OUT端子に出力されません。

マイメニューを使う

よく使うメニュー項目をあらかじめ登録しておき、必要なときに簡単に設定することができます。マイメニューにはメニュー項目を15個まで登録できます。また、マイメニューは本体メニューとモニタリングメニューでそれぞれ3セットずつ、合計6セット保存できるので、必要に応じて切り換えて使用できます。アサインボタン（📖 148）にマイメニューを割り当てておけば、1ボタン操作でモニタリングメニューのマイメニューを開くこともできます。

マイメニューを選択する

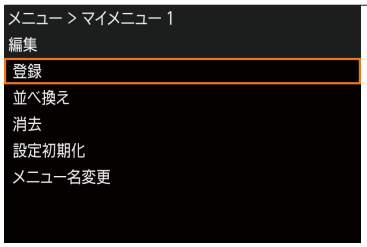


① MENU / EVF：「マイメニュー」* ➤「選択」を順に選ぶ。
* 選択中のマイメニューの番号が末尾に付く。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

マイメニューを登録する

現在選択しているマイメニューにメニュー項目を登録することができます。

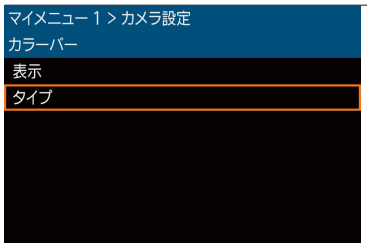
例：MENU / EVF：「カメラ設定」➤「カラーバー」➤「タイプ」を追加する場合



1 マイメニューの「登録」を選ぶ

① MENU / EVF：「マイメニュー」➤「編集」➤「登録」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
- メニューのタイトルが青色に変わり、マイメニューに登録するメニュー項目を選ぶ画面になる。

登録を中止するとき　BACKを押す。



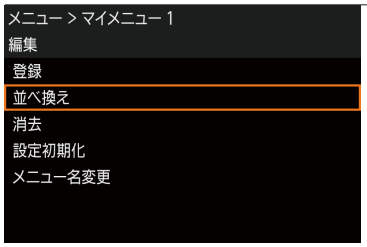
2 マイメニューに登録するメニュー項目を選ぶ

① MENU / EVF：「カメラ設定」➤「カラーバー」➤「タイプ」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
② 「OK」を押す（本体メニュー）か、「OK」を選んでSETを押す（モニタリングメニュー）。
- 「カラーバー　タイプ」が現在選択しているマイメニューに登録される。

③ 「OK」を押す（本体メニュー）か、SETを押す（モニタリングメニュー）。

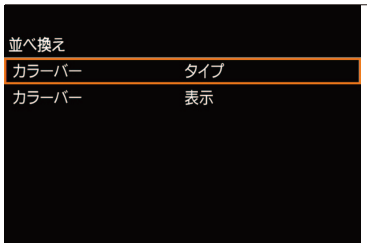
登録したメニュー項目を並べ換える

現在選択しているマイメニューに登録したメニュー項目を並べ換えることができます。



1 マイメニューの「並べ換え」を選ぶ

① MENU / EVF：「マイメニュー」➤「編集」➤「並べ換え」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 現在選択しているマイメニューに登録されているメニュー項目が一覧表示される。



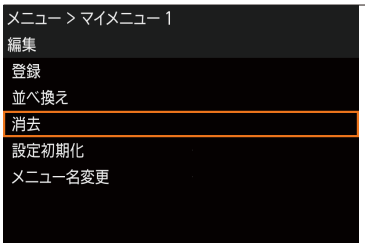
2 メニュー項目を選んで並べ換える

① 並べ換えるメニュー項目を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだメニュー項目の左に⬍が表示される。

② SELECTダイヤルを回すかジョイスティックを上下に押して、移動先を選ぶ ➤ SETを押す。
③ 「OK」を押す（本体メニュー）。
- メニュー項目が移動する。

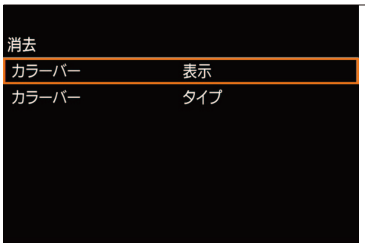
登録したメニュー項目を消去する

現在選択しているマイメニューに登録したメニュー項目を、1項目ずつまたはすべて消去することができます。



1 マイメニューの「消去」または「設定初期化」を選ぶ

① MENU / EVF：「マイメニュー」➤「編集」➤「消去」または「設定初期化」を選ぶ ➤ SETを押す。



2 消去する

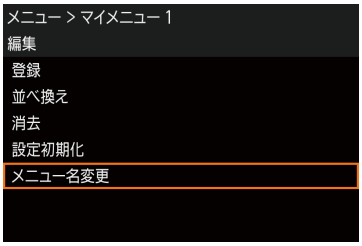
「消去」を選んだとき　消去するメニュー項目を選ぶ ➤ SETを押す。

① 本体メニュー：「消去」のときは「DELETE」を、「設定初期化」のときは「RESET」を、2つ同時に押す。
モニタリングメニュー：「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 「消去」を選んだときは選んだメニュー項目が、「設定初期化」を選んだときは、現在選択しているマイメニューに登録されているすべてのメニュー項目が、消去される。

② 「OK」を押す（本体メニュー）か、SETを押す（モニタリングメニュー）。

マイメニューの名前を変更する

6セットのマイメニューそれぞれに名前を設定できます。



① MENU / EVF：「マイメニュー」➤「編集」➤「メニュー名変更」を順に選ぶ。
② モニタリングメニューのときは、「Input」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ 8文字以内の任意の英数字記号を入力する。
参考 ➤➤「文字入力のしかた」（🕮 41）

文字入力のしかた

文字の入力は、操作しているメニューが本体メニューかモニタリングメニューか、および入力可能文字数が8文字以上か8文字未満かで操作する画面が異なります。

入力可能文字数が8文字以上の場合

【本体メニュー】

【モニタリングメニュー】

① SELECTダイヤルまたはジョイスティックを操作して、文字を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだ文字が入力フィールドに入力される。
- 「Aa1」(本体メニュー)で、大文字／小文字／数字・記号を切り換え可能。
- 「⌫」を押す(本体メニュー)か、選んでSETを押す(モニタリングメニュー)と1文字削除、「CLEAR」(本体メニュー)を押すと全文字削除可能。

② 同じ要領で残りの文字を選ぶ。
- 「<」／「>」を押す(本体メニュー)か、「↑」／「↓」／「←」／「→」を選んで押す(モニタリングメニュー)とカーソルを移動できる。
- 入力可能文字数と入力済み文字数を画面で確認可能。

③「OK」を押す(本体メニュー)か、「OK」を選んでSETを押す(モニタリングメニュー)。
- BACKを押すと入力を中止する。

入力可能文字数が8文字未満の場合

【本体メニュー】

【モニタリングメニュー】

① SELECTダイヤルを回すかジョイスティックを上下に押して、文字を選ぶ ➤ SETを押す。
- 次の文字入力対象になる。「<」／「>」(本体メニュー)またはジョイスティック(モニタリングメニュー)で切り換えることもできる。
- 「RESET」(本体メニュー)を押すと初期値に戻る。

② 同じ要領で残りの文字を選び、「OK」を押す(本体メニュー)か、「セット」を選んでSETを押す(モニタリングメニュー)。
- BACKを押すと入力を中止する。

カメラを準備する

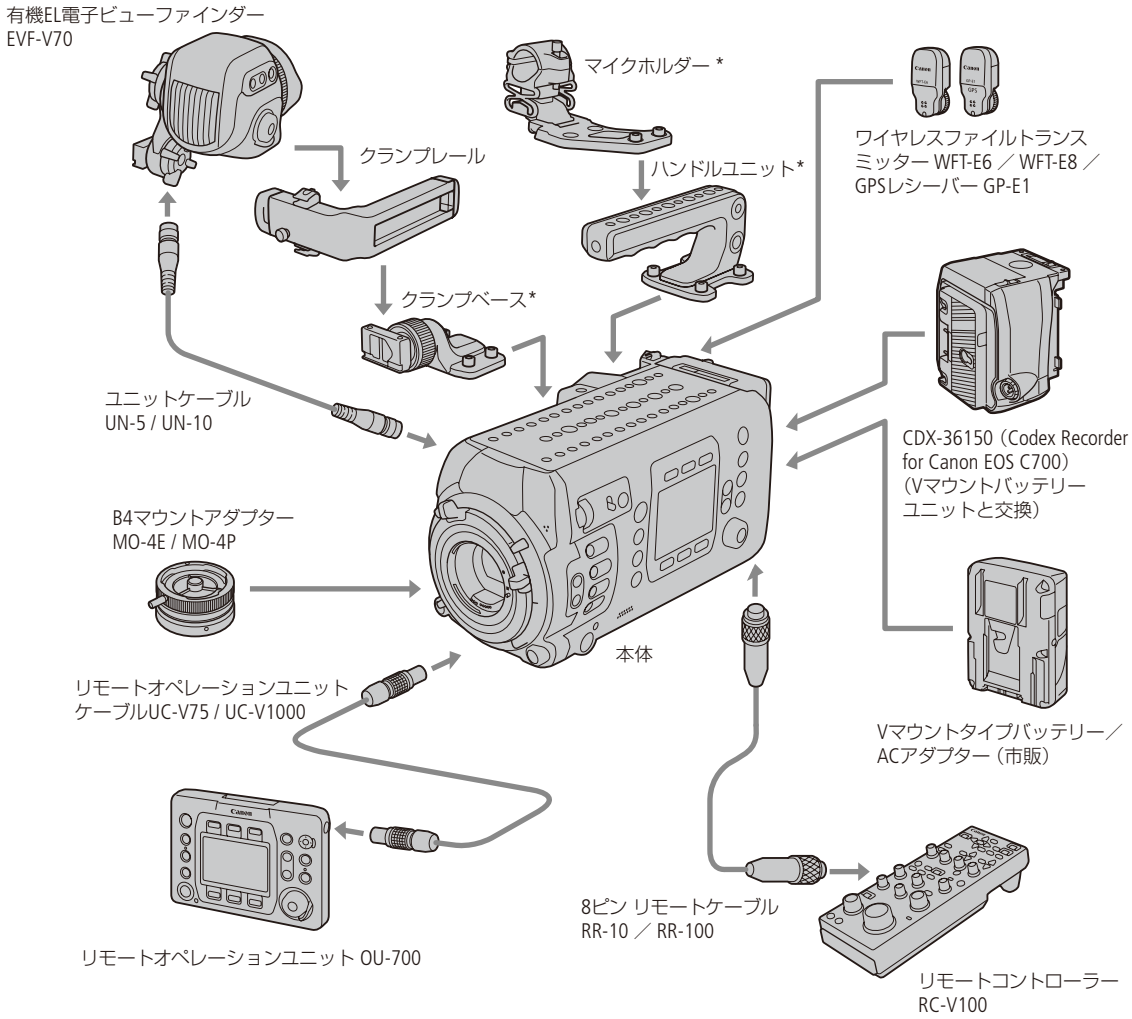
ここでは、本機の構成例を紹介した後、ハンドルユニットの取り付けや、三脚への取り付け、ビューファインダー（別売）、マイクホルダー、レンズの取り付けなど、はじめに行うカメラの準備について説明します。

■ 本機の構成例

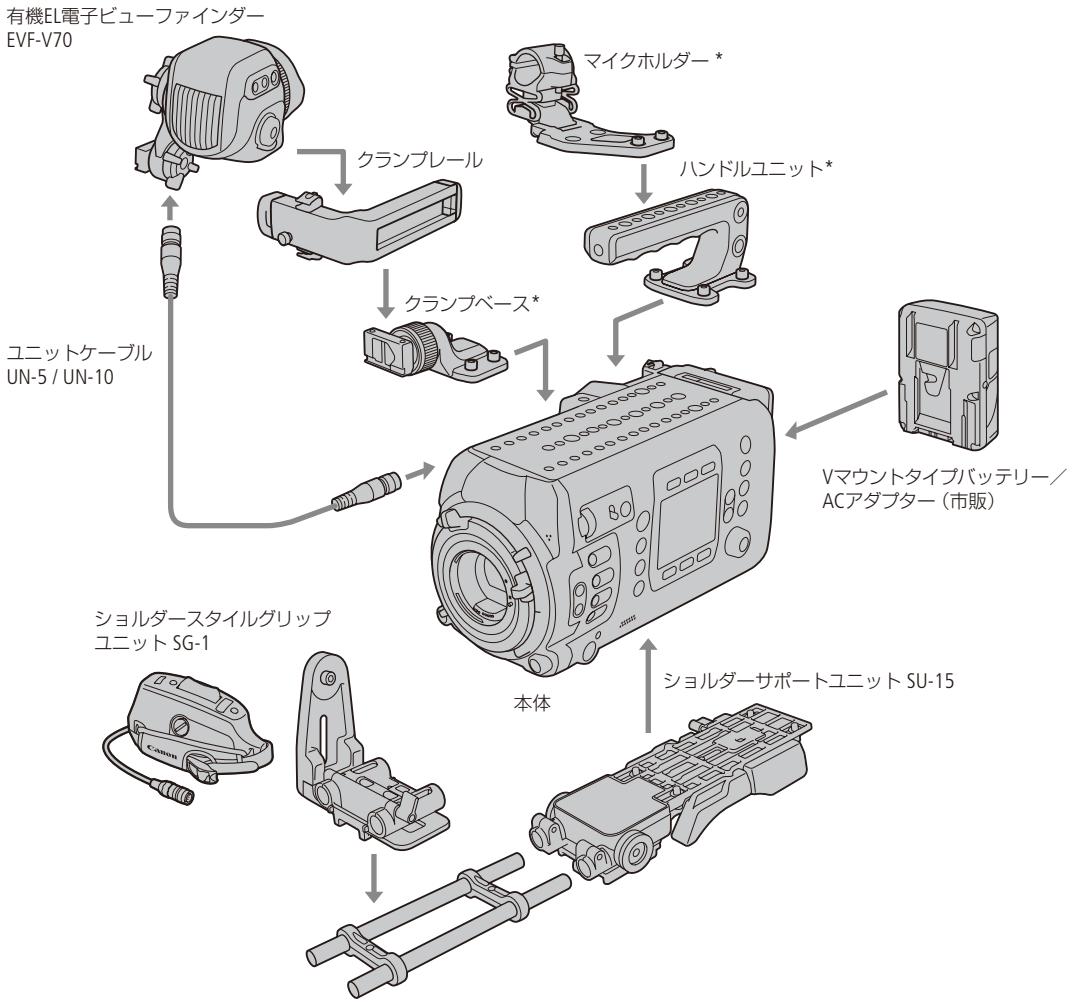
本機は、撮影シーンに応じて、付属品／別売品のさまざまなアクセサリーを組み合わせて撮影することができます。
* の付いているアクセサリーは付属品です。

チームで撮影する例

リモートオペレーションユニットOU-700は、本体のレンズ側から見て左側に取り付けることもできます。



ワンマンで撮影する例



ご注意

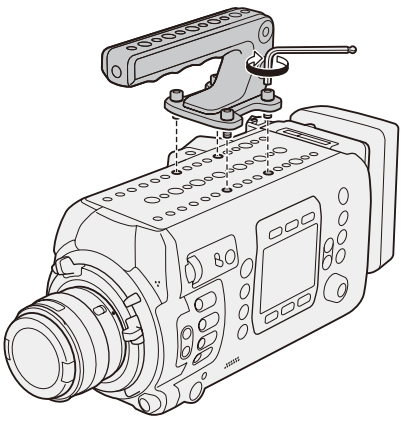
- 構成を変更するときは、本機やユニットが落下したりしないように、机などの安定した所で装着･調節してください。

MEMO

- ショルダースタイルグリップユニットSG-1（別売）を装着して、12ピンケーブルをLENS端子に接続すると、SG-1からモニタリングメニュー操作（🕮 36）、記録開始／停止、ズーム／アイリスの調整などを行うことができます。
- CDX-36150の取り付け方／使いかたは、9章「RAWレコーダー」の「準備する」（🕮 246）をご覧ください。

ハンドルユニットを取り付ける

レンズやアクセサリー取り付け後の重量バランスに応じて、ハンドルの取り付け位置を調整できます。



1 ハンドルを本体の上面に取り付ける

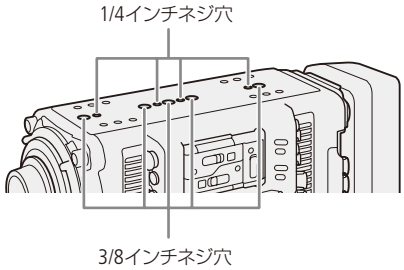
- 1/4インチボルト用六角レンチ（付属）を使用して、4本の六角穴付きボルトで固定する。

MEMO

- ハンドルユニットには3/8インチネジ穴と1/4インチネジ穴が切ってあり、マイクホルダーや市販のアクセサリーを取り付けることができます。

本体を三脚に取り付ける

本体の底面中央には、三脚取り付けに使用できる1/4インチネジ穴（深さ10 mm、4個）と3/8インチネジ穴（深さ12 mm、5個）が切ってあります。レンズやアクセサリー取り付け後の重量バランスに応じて取り付け位置を調整できます。



ご注意

- ネジの長さがネジ穴の深さを超える三脚を使用すると、本体を破損することがあります。

カメラの水平を確認する

水準器を使ってカメラの水平を確認することができます。水準器には、コントロールディスプレイの数値表示（Tilt、Roll）と、モニター画面のインジケーター表示（Rollのみ）とがあります。

1 水準器を表示する

① ALTボタンを押す。

● コントロールディスプレイにレベル（TiltとRoll）が表示される。

Tilt： 光軸の上下方向の傾き。

Roll：光軸を中心にした回転方向の傾き。

2 必要に応じて、現在のレベルを基準レベルとして設定する

① 「CAM LVL」を押す。

② 「SET」を2つ同時に押す。

MEMO

モニター画面のインジケーターを表示するには

➡ MENU：「モニタリング設定」➤「Custom Display 2」➤「水準器」（🕮 232）

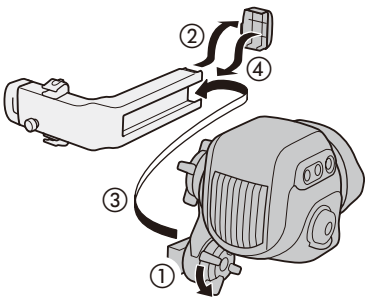
MENU：「システム設定」➤「水準器感度」で感度を変更することもできる。

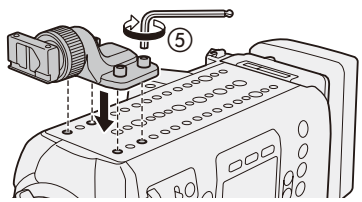
購入時の基準レベルに戻すには

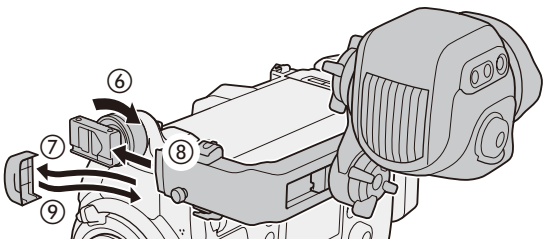
➡ MENU：「システム設定」➤「リセット」➤「水準器」（🕮 235）

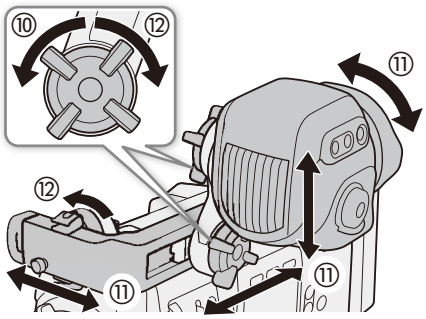
■ 有機EL電子ビューファインダー EVF-V70（別売）を取り付ける

本体に取り付けたクランプベースに、有機EL電子ビューファインダー EVF-V70（別売）を取り付けることができます。ビューファインダーはスイングアームの位置と角度を変えることで、見やすい位置に調整できます。また、有機ELパネルを保護するため、ビューファインダーをのぞいていないときは自動的に暗くなります。なお、本体とEVF-V70の接続には、別売のユニットケーブルUN-5またはUN-10が必要です。









1 POWER（電源）ボタンを押して電源を切る

2 スイングアームのクランプレール側の締め付けねじを緩める（①）

3 クランプレールのふたを取り外し（②）、ビューファインダーのクランプレール接続部を、「TOP」の記載を上に向けてクランプレールの端からスライドさせて取り付ける（③）

4 操作3で取り外したふたを取り付ける（④）

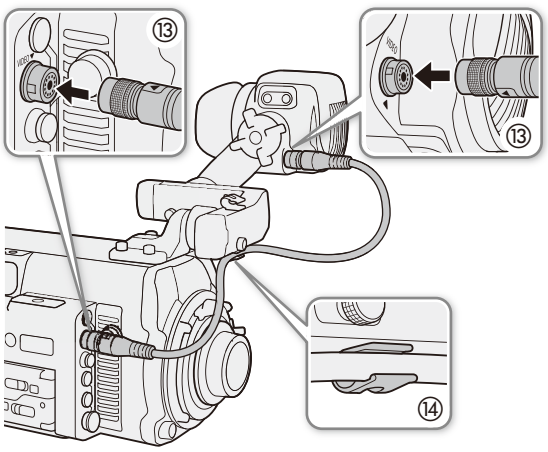
5 クランプベースを本体の上面に取り付ける（⑤）
- 1/4インチボルト用六角レンチ（付属）を使用して、4本の六角穴付きボルトで固定する。

6 クランプベースの締め付けねじを緩める（⑥）

7 クランプレールのもう一方のふたを取り外し（⑦）、本体に取り付けたクランプベースにスライドさせて取り付ける（⑧）

8 操作7で取り外したふたを取り付ける（⑨）

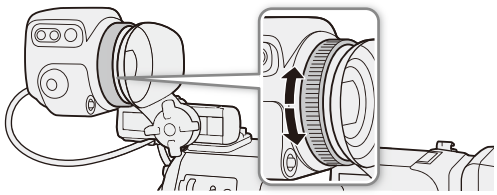
9 スイングアームのファインダー側の締め付けねじを緩めて（⑩）ビューファインダーの位置（前後／上下）、角度とクランプレールの位置を調節し（⑪）、すべての締め付けねじを締める（⑫）
- 手でビューファインダーを保持しながら操作する。
- 締め付けねじは、スイングアームの2箇所と、クランプベースの1箇所を締める。



10 本体とビューファインダーのVIDEO端子を、ユニットケーブルUN-5 / UN-10で接続する（⑬）
- プラグと端子の▼マークを合わせて接続する。

11 ケーブルをクランプにとめる（⑭）
- ケーブルクランプ用ネジ穴は4箇所あるので、必要に応じて付け換える。

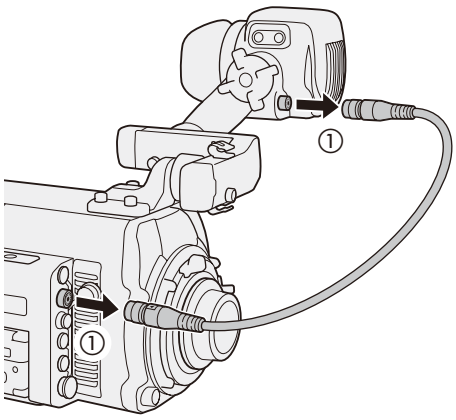
ビューファインダーの視度を調整する



1 本機の電源を入れる（29）

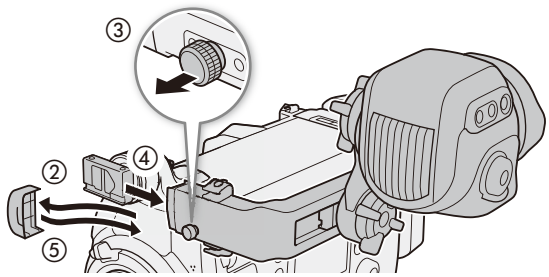
2 視度調整ダイヤルを回して視度を調整する

ビューファインダーを取り外す



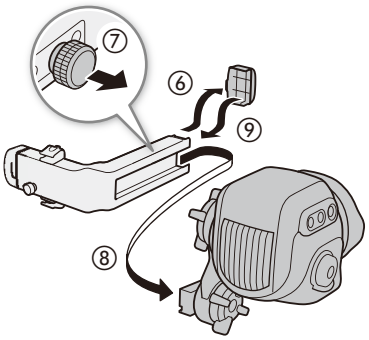
1 POWER（電源）ボタンを押して電源を切る

2 ユニットケーブルを本体とビューファインダーから抜く（①）



3 クランプベースの締め付けねじを緩めたあと、クランプレールのクランプベース側のふたを取り外し（②）、ロックつまみを引きながら（③）クランプレールをスライドさせてクランプベースから取り外す（④）

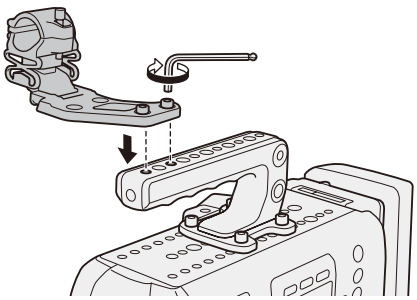
4 操作3で取り外したふたを取り付ける（⑤）



5 クランプレールを取り外すとき スイングアームの締め付けねじを緩めたあと、クランプレールのスイングアーム側のふたを取り外し（⑥）、ロックつまみを引きながら（⑦）ビューファインダーをスライドさせてクランプレールから取り外す（⑧）

6 操作5で取り外したふたを取り付ける（⑨）

■ マイクホルダーを取り付ける



1 マイクホルダーをハンドルユニットまたは本体の上面に取り付ける

- 1/4インチボルト用六角レンチ（付属）を使用して、2本の六角穴付きボルトで固定する。

■ レンズを準備する

レンズの取り付け／取り外しは、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。取り付けるレンズの説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

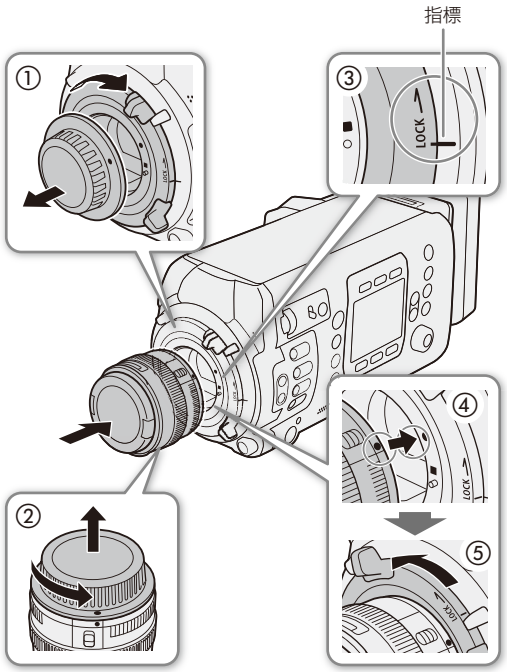
- レンズの取り付け／取り外しや、12ピンケーブルの抜き差しは、必ずカメラの電源を切ってから行ってください。カメラやレンズが故障する恐れがあります。
- レンズの取り付け／取り外しは、直射日光や強い照明を避けて行ってください。また、カメラやレンズを落とさないようにご注意ください。

MEMO

レンズを取り外したとき

- レンズ／本体のレンズマウント、レンズマウントの内部に手を触れないでください。
- 本体のレンズマウントにボディキャップを、レンズにダストキャップを取り付けてください。キャップはゴミやほこりを落としてから使用してください。

EFレンズを取り付ける C700 C700 FF



1 POWER（電源）ボタンを押して電源を切る

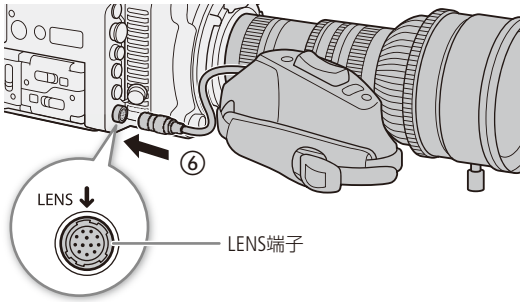
2 マウントレバーを時計回りに回して（①）、EFレンズマウントからボディキャップを取り外し、レンズからダストキャップを取り外す（②）

3 マウントレバーがレンズ取り付け位置にあることを確認する（③）
- マウントと本体の指標が合っていること。

4 本機とEFレンズの取り付け指標を合わせ、レンズをマウントに差し込む（④）
- EFレンズの指標は赤い丸、EF-Sレンズの指標は白い四角。

5 レンズを押さえ、マウントレバーを反時計回りに回して、レンズを固定する（⑤）

レンズが12ピンケーブルを備えるとき



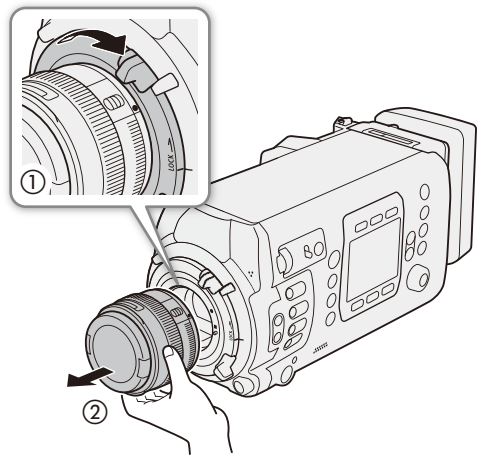
6 12ピンケーブルをLENS端子に接続する（⑥）
- 本機の電源がレンズのドライブユニットに供給可能になる。

7 POWER（電源）ボタンを押して電源を入れる

8 レンズ 必要に応じて、カメラから制御できるように設定する
- レンズのInfo画面で、「I/Fprior」を「Mount」にする*。
  * CN7x17 KAS S/E1、CN10×25 IAS S/E1またはCN20x50 IAS H/E1を装着時のみ。

参考 ▸▸レンズの説明書

EFレンズを取り外す C700 C700 FF



1 POWER（電源）ボタンを押して電源を切る

2 12ピンケーブルを接続している場合 LENS端子から12ピンケーブルを抜く

3 EFレンズの下から手を添え、マウントレバーを時計回りに回して（①）、EFレンズを取り外す（②）

4 EFレンズマウントにボディキャップを取り付ける

5 取り外したレンズにダストキャップを取り付ける

MEMO
- 手ブレ補正機能を搭載したEFレンズを使用する場合、手ブレ補正をONにするとバッテリーの持ちが悪くなることがあります。三脚使用時など補正の必要がないときは、手ブレ補正をOFFにすることをおすすめします。
- 取り付けたレンズによっては、次の動作になることがあります。
  - レンズ型名情報の一部が省略されて表示される。
  - フォーカスモードスイッチがAFのときに手動でフォーカス調整できない。
  - フォーカスプリセットが動作しない（超望遠レンズ）。
  - レンズに搭載されたパワーズーム機能が使用できない。
- 本機のセンサーサイズは、EF-Sレンズが対応するサイズ（APS-C）より大きいため、EF-Sレンズを装着すると、ケラレが発生することがあります。
- レンズのフォーカスモードスイッチをAFにして電源を切ると、自動的にレンズの全長を最短に収納できます（対応レンズのみ。🕮 242）。

EFレンズのファームウェアを更新する C700 C700 FF

本機に装着したEFレンズのファームウェアを更新することができます。EFレンズの最新のファームウェアについては、キヤノンのホームページでご確認ください。

① レンズのファームウェアをキヤノンのサイトからダウンロードしてSDカードに保存し、SDカードをSDカードスロットに入れる。
② レンズを取り付けたあと、MENU / EVF :「システム設定」➤「Firmware」➤「レンズ」を順に選ぶ。
- 取り付けているレンズのバージョン情報が画面に表示される。

「レンズ」が灰色になっていて選べないとき

- 取り付けたレンズがファームウェアの更新に対応していないか、本機に入れたSDカードにファームウェアが保存されていない。

レンズやSDカードを確認して①から操作する。

③「OK」を押す（本体メニュー）か、「OK」を選んでSETを押す（モニタリングメニュー）。
④ ファームウェアの更新ファイル（XXX.LFU）を選ぶ➤ SETを押す。
⑤「OK」を押す（本体メニュー）か、「OK」を選んでSETを押す（モニタリングメニュー）。
- レンズのファームウェアの更新が開始される。
- ファームウェアの更新は中止できない。

⑥ 更新が終了したら「OK」（本体メニュー）またはSET（モニタリングメニュー）を押す。

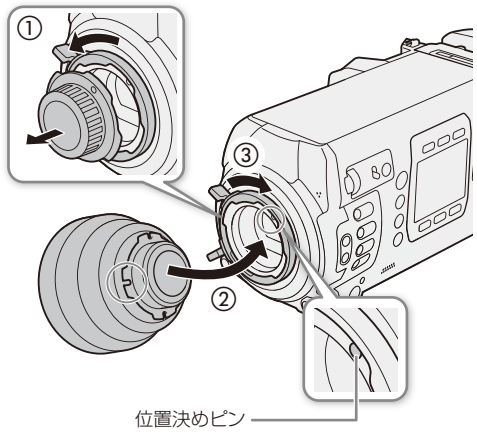
ご注意

ファームウェアの更新中は次のことを必ず守ってください。故障のおそれがあります。
- 電源を切らない。バッテリーやレンズを取り外さない。
- 他のボタンを操作しない。
- SDカードカバーを開けて、SDカードを取り出さない。

MEMO

- ACアダプターまたは十分に充電したバッテリーを装着して操作してください。
- エクステンダー EFを装着しているときは、取り外してから操作してください。

PLレンズを取り付ける C700 GS PL C700 FF PL



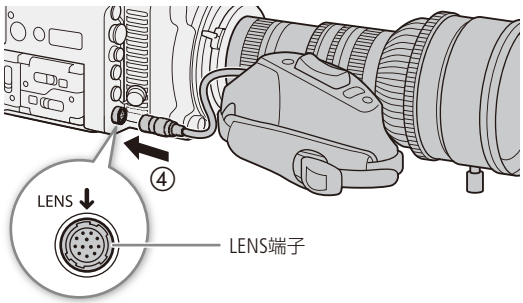
1 POWER(電源)ボタンを押して電源を切る

2 バヨネットリングレバーを反時計回りに回して、PLマウントからボディキャップを取り外す (①)

3 レンズの凹部を位置決めピンに合わせて、レンズをマウントに差し込む (②)

4 バヨネットリングレバーを時計回りに回して、レンズを固定する (③)

レンズが12ピンケーブルを備えるとき



5 12ピンケーブルをLENS端子に接続する (④)
- 本機の電源がレンズのドライブユニットに供給可能になる。

6 POWER(電源)ボタンを押して電源を入れる

7 レンズ 必要に応じて、カメラから制御できるように設定する
参考 ▸▸ レンズの説明書

MEMO

B4マウントアダプター MO-4E / MO-4P(別売)を使ってB4レンズを装着するとき

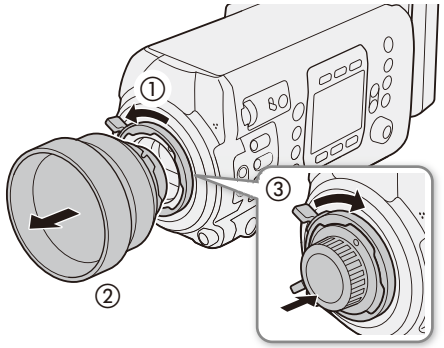
① MENU / EVF:「カメラ設定」➤「センサーモード」で「Super 16mm (Crop)」を選ぶ。

② MENU / EVF:「カメラ設定」➤「マウントアダプター」➤「MO-4E」(C700 C700 FF)または「MO-4P」(C700 GS PL C700 FF PL)を選ぶ。

- レンズの12ピンケーブルをLENS端子に接続すると、本機からズームやプッシュオートアイリスを制御することができる。
- L.C.A.C.*に対応するB4レンズを装着して12ピンケーブルで本機に接続したときは、倍率色収差を補正できる。補正しているときは、モニター画面にL.C.A.C.が表示される。

* 倍率色収差補正。Lens Chromatic Aberration Correctionの略。

PLレンズを取り外す C700 GS PL C700 FF PL



1 POWER(電源)ボタンを押して電源を切る

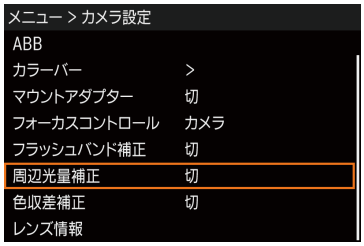
2 12ピンケーブルを接続している場合 LENS端子から12ピンケーブルを抜く

3 バヨネットリングレバーを反時計回りに回して(①)、PLレンズを取り外す(②)

4 PLマウントにボディキャップを取り付ける(③)

EFレンズの周辺光量、EFレンズ／放送用レンズの倍率色収差を補正する

レンズの特性により、映像の四隅の明るさが中央部に比べて暗くなる(周辺光量の低下)、映像の周辺部に色ずれや色にじみが発生する(倍率色収差)などの現象が見られますが、レンズごとの補正データを用いて補正することができます。また、L.C.A.C.に対応する放送用レンズ装着時は、倍率色収差を補正できます(52)。



① レンズを取り付けたあと、MENU / EVF:「カメラ設定」➤「周辺光量補正」または「色収差補正」を順に選ぶ。

「周辺光量補正」／「色収差補正」が灰色になっていて選べないとき

- 取り付けているEFレンズの補正データが本機にないか、または、取り付けている放送用レンズがL.C.A.C.に対応していない。EFレンズのときは次の操作を行う。

❶ 取り付けているレンズがこれらの補正に対応しているかどうか、キヤノンのホームページで確認する。

❷ これらの補正に対応している場合は、ファームウェアをダウンロードし、本機のファームウェアを更新する。

❸ ①から操作する。

② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

- 以降の撮影時、取り付けているレンズの周辺光量／倍率色収差が補正される。

MEMO

レンズごとの補正データについて

本機発売時点で販売している周辺光量／倍率色収差補正対応EFレンズ(一部を除く)の補正データは、あらかじめ本機に格納しています。将来発売されるレンズの補正データについては、補正データを含むファームウェアで本機のファームウェアを更新することによって、本機に取り込むことができます。最新のファームウェアについては、キヤノンのホームページでご確認ください。

周辺光量／倍率色収差の補正ができないとき

- EFレンズの補正データが本機に格納されていないとき。
- 他社製レンズを装着しているとき。他社製レンズを装着して各補正を「入」に設定できる場合でも、「切」にすることをおすすめします。

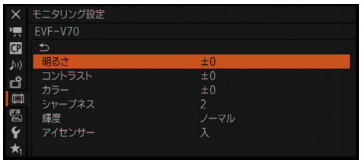
周辺光量補正を行うとき

- 撮影条件によっては、記録される映像の周辺部にノイズが発生することがあります。
- 距離情報を持たないレンズでは、補正量が少なくなります。
- ISO感度／ゲインが高くなるほど、補正量が少なくなります。
- センサーサイズの違いにより、EF-Sレンズのときは周辺光量の低下が大きくなることがあります。

ビューファインダーの画面を調整する

画面を調整する

本機に装着した有機EL電子ビューファインダー EVF-V70（別売）の明るさ、コントラスト、カラー、シャープネス、輝度の各項目を、それぞれ個別に調整できます。なお、この設定は記録される映像には影響しません。



1 調整する

① EVF-V70のEVFボタンを押す。
- EVF：「モニタリング設定」➤「EVF-V70」メニューが表示される。
【代替操作】「EVF-V70設定」アサインボタン

② 調整する項目を選ぶ➤SETを押す。
- 「明るさ」、「コントラスト」、「カラー」、「シャープネス」、「輝度」から選ぶ。

③ ジョイスティックを上下に押すか、SELECTダイヤルを回して調整する➤SETを押す。

④ 調整する項目について、②、③を繰り返す。

MEMO

ビューファインダーの映像を白黒にするには

➡ MENU：「モニタリング設定」➤「白黒」➤「VIDEO出力」（📖 231）

ビューファインダーの輝度を常に明るくするには

➡ EVF：「アイセンサー」（📖 230）

- Canon LogなどのLogガンマ使用時にビューファインダーの画面にLUTを適用して、BT.709などに変換することができます（📖 183）。

記録メディアを準備する

本機では、動画*1をCFastカードまたはSDカード*2に、静止画をSDカード*2に記録します。CFastカードスロットは2つあり、2つのCFastカードに同時に記録したり、自動的に切り換えて記録したりできます。記録メディアを使用するときは、はじめに本機で初期化してください（🕮 58）。

*1 主記録形式の動画（XF-AVC、ProRes。以降、「メイン動画」と記載）とサブ動画（XF-AVC Intra）はCFastカードに、オフライン編集用のサブ動画（XF-AVC Proxy）はSDカードに記録します。

*2 SDカードは、カスタムピクチャーファイルと設定データの保存や、ソフトウェアCanon XF Utility（🕮 189）で作成したユーザーメモファイルの取り込みにも使用します。

使用可能な記録メディア

本機で使用可能な記録メディアです。動作確認済みのメモリーカードなどの詳細情報は、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

CFastカード

CFast 2.0規格に準拠したCFastカード。

SDカード

メモリーカードのタイプ	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード
SDスピードクラス*1	CLASS 6 CLASS 10
メーカー *2	Panasonic、TOSHIBA、SanDisk

*1 SDカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。

*2 これらのメーカー製のSDカードについて、動画記録時の動作を確認しています（2018年5月現在）。

ご注意

CFastカードを使用するとき

カメラ内部の発熱により、カードが熱くなっていることがあります。撮影直後にカードを取り出すと、やけどの原因になる恐れや、カードを落下させてカードが破損する恐れがあります。

- 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画をバックアップしてから、本機でカードを初期化（SDカードのときは完全初期化）してください。特に、重要なシーンを記録する前には、本機でカードを初期化してください。

CFastカードまたはSDXCメモリーカードを使用するとき

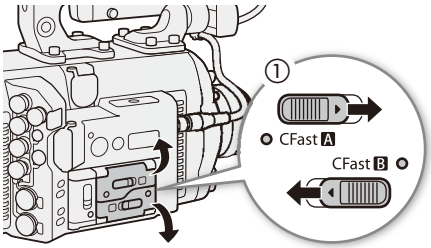
これらのメモリーカードは、exFAT形式で初期化されます。

- exFAT形式に対応した機器でのみ使用できます。exFAT形式に対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリーダー／ライターなどでご使用ください。対応状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わせください。
- exFAT形式に対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。**初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。**

MEMO

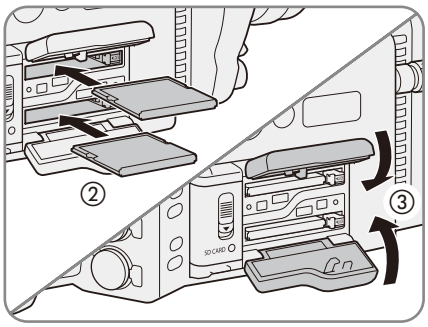
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

CFastカードを入れる



1 CFastカードカバー開くレバーを▶ ／ ◀方向にスライドさせる（①）

- CFastカードカバーが上または下に開く。



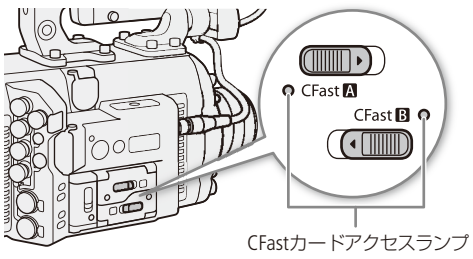
2 カードのおもて面を上にして、奥までしっかり入れる。（②）

3 CFastカードカバーを閉じる（③）

- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

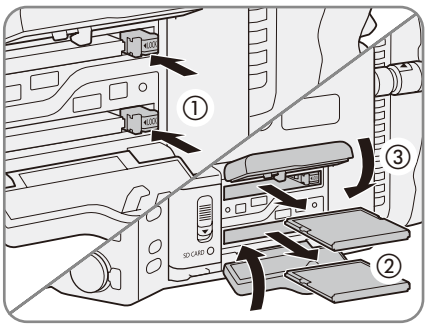
CFastカードアクセスランプの光りかた

	スロットの状態
点灯（赤）	カードにアクセス中
点灯（緑）	記録／再生可能でかつ、スロットが記録／再生先として選択されている
消灯	• カードが入っていない • 別のスロットが選択されている



アクセスランプは点灯しないようにすることもできます（🕮 238）。

CFastカードを取り出す



1 選択中のCFastカードを取り出すとき CFastカードアクセスランプが緑色に点灯していることを確認する
- アクセスランプが消灯しているCFastカードはいつでも取り出し可能。

2 CFastカードカバー開くレバーを▶ ／ ◀方向にスライドさせる
- CFastカードカバーが上または下に開く。
- アクセスランプが赤色で点灯するので、消灯するまで待つ。

3 CFastカード取り出しボタンを押す。(①)
- CFastカードが出てくる。

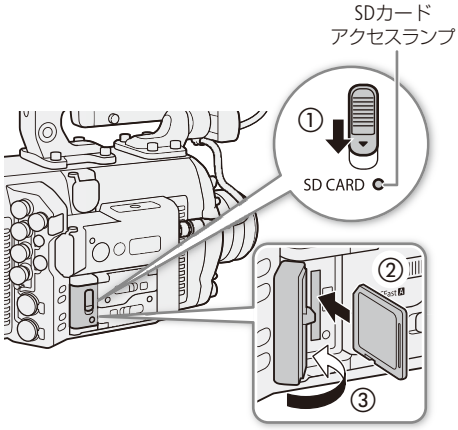
4 CFastカードを取り出す (②)

5 CFastカードカバーを閉じる (③)

ご注意

- CFastカードアクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - アクセスしているCFastカードスロットのカードカバーを開けない。

SDカードを入れる／取り出す



1 SDカードカバー開くレバーを▼方向にスライドさせる (①)
- SDカードカバーが左に開く。

2 カードのラベル面をレンズの逆側にして、カチッと音がするまでしっかり入れる (②)

SDカードを出すとき

❶ SDカードアクセスランプが消灯していることを確認する。
❷ カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

3 SDカードカバーを閉じる (③)
- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

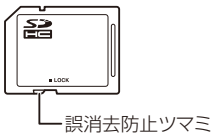
ご注意

- SDカードアクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - SDカードを取り出さない。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作2のような正しい向きで入れてください。

MEMO

誤ってデータを消さないために

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できます。



誤消去防止ツマミ

SDカードアクセスランプの光りかた

	SDカードスロットの状態
点灯（赤）	カードにアクセス中
点灯（緑色）	サブ動画（XF-AVC Proxy）が記録可能か、またはサブ動画（XF-AVC Proxy）／静止画が再生可能
消灯	カードが入っていないか、カードにアクセスしていない。カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっている

SDカードアクセスランプは点灯しないようにすることもできます（238）。

初期化する

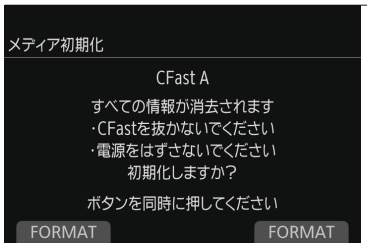
記録メディアをはじめて使用するときや、記録メディアに記録した動画／静止画などすべての情報を消去するときは初期化します。SDカードの初期化には「高速初期化」と「完全初期化」とがあり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。CDX-36150レコーダーのCapture Driveの初期化については「Capture Driveを初期化する」（248）をご覧ください。

1 初期化する記録メディアを選ぶ

① MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「メディア初期化」を順に選ぶ。
【代替操作】「メディア初期化」アサインボタン
② 「CFast A」、「CFast B」、「SDカード」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

「SD カード」を選んだとき

「完全初期化」または「高速初期化」を選ぶ ➤ SETを押す。



2 初期化を実行する

① 「FORMAT」を2つ同時に押す（本体メニュー）か、「OK」を選んでSETを押す（モニタリングメニュー）。

- 選んだカードが初期化され、すべての情報が消去される。

SDカードの「完全初期化」を中止するとき

「CANCEL」を押す（本体メニュー）か、SETを押す（モニタリングメニュー）。カードはそのまま使用できるが、データはすべて消去される。

② 「OK」（本体メニュー）またはSET（モニタリングメニュー）を押す。

ご注意

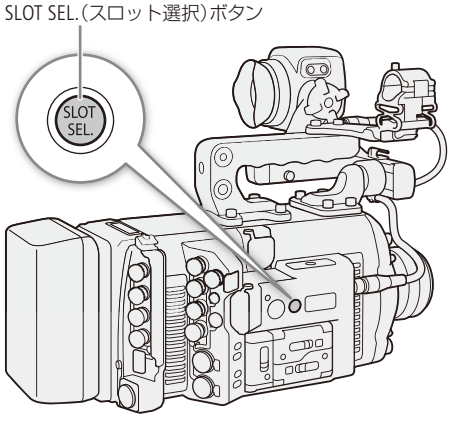
- 初期化すると、OKマークを付けた動画、静止画、プロテクトしたカスタムピクチャーファイルなど、CFastカード／SDカード内のすべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたいデータがあるときは、バックアップしてから初期化してください。
- 初期化中は次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - 初期化しているカードを取り出さない。
- SDカードの「完全初期化」は、カードによっては数分かかることがあります。

MEMO

- 動画記録中に、もう一方のCFastカードを初期化することができます。

■ 記録／再生に使用するCFastカードスロットを切り換える

本機は、2つのCFastカードスロットを備えています（CFast **A** / CFast **B**）。両方のスロットにCFastカードを入れているときは、必要に応じてスロットを切り換えることができます。



1 SLOT SEL.（スロット選択）ボタンを押す

- 選択されたスロットのCFastカードアクセスランプが緑色に点灯する。

MEMO

- 両方のスロットにCFastカードを入れていて、選択しているスロットのカードカバーを開けると、スロットが切り換わります。
- 記録中にSLOT SEL.ボタンを押しても、スロットは切り換わりません。
- ブラウザーリモートを使って撮影するときは、ブラウザーリモート画面の「SLOT SELECT」を押して切り換えることもできます。

CFastカードスロット記録方式を選ぶ

2つのCFastカードに、同時に映像を記録するダブルスロット記録と、連続して映像を記録するリレー記録があります。

ダブルスロット記録

同じ映像をA/B両方のCFastカードに同時に記録します。撮影中に撮影映像のバックアップを取ることができます。
MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「ダブル／リレー記録」➤「ダブルスロット記録」で「入」を選ぶ➤ SETを押す。

リレー記録

主記録形式が「XF-AVC（CFast）」の場合、撮影中にカードの空き容量がなくなると、自動的にもう一方のスロットに切り換わります。映像が途切れることなく連続して記録することができます。CFast A ⇔CFast B 両方向で連続記録が可能です。
MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「ダブル／リレー記録」➤「リレー記録」で「入」を選ぶ➤ SETを押す。

MEMO

- スローモーション撮影時はリレー記録されません。
- ダブルスロット記録中、記録容量の少ないCFastカードの空き容量がなくなると、両カードへの記録を停止します。なお、一方のCFastカードに書き込みエラーが発生しても、他方のCFastカードへの記録は継続します。
- ダブルスロット記録は、リレー記録またはスロー &ファストモーション記録との併用はできません。
- C700 FF C700 FF PL 主記録方式が「RAW CDX Capture Drive」のとき、センサーモードが「フルサイズ」でかつフレームレートが59.94P / 50.00Pの場合は、ダブルスロット記録を使用できません。

CFastカード／ SDカードの記録可能時間を確認する

各スロットに入っている記録メディアの記録可能時間（分単位）*と、選択されているスロットをHOME画面またはモニター画面で確認できます（🕮 67）。INFO画面（🕮 258）を表示すると、各カードの総容量、使用量、記録可能時間*を確認できます。

* 記録可能時間は、現在設定しているビットレート（🕮 73）を元に算出します。

クリップを修復する

記録中に停電する、記録中にメモリーカードを取り出すなどの原因によって、メモリーカードに記録したXF-AVC／ProResクリップに異常が発生することがあります。異常が発生したクリップは、修復することによって正常な状態に戻すことができます。修復が必要なクリップを含むカードをスロットに入れた際、コントロールディスプレイに(INFO)が表示され、INFO画面のLIVE情報画面に「CFast A（CFast B）（SD）修復が必要なクリップがあります」が出たときは、次の操作を行ってください。

1 PLAY画面で修復が必要なカードに切り換える

① PLAY：「PB MEDIA」➤「CFast（XF-AVC）」、「CFast（ProRes）」または「SDカード（XF-AVC）」を順に選ぶ➤ SETを押す。

② CFastカードを選んだとき　修復が必要なクリップを含むスロットに切り換える。

2 クリップを修復する

① クリップリストで「このクリップは修復が必要です」が表示されるクリップを選ぶ➤ SETを押す。

②「OPTIONS」➤「クリップ修復」を選ぶ➤ SETを押す。

③「RECOVER」を2つ同時に押す

- 選んだクリップが修復される。
- 「データの修復を終了しました。クリップを確認してください」が表示されたら終了。

④「OK」を押す。

MEMO

修復したXF-AVCクリップについて

- 0.5秒未満のクリップは消去されることがある。

- 修復を行っても正常な状態に戻らないことがあります。特に、ファイルシステムが壊れているとき、またはカードが物理的に壊れているときは修復できません。
- 修復は、本機で撮影したクリップのみ行えます。また、静止画は修復できません。

ブラックバランスを調整する

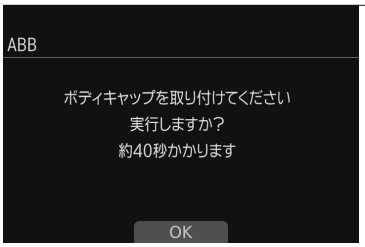
使用環境の温度が変わったときなど映像信号の黒がずれたときに、ブラックバランスを自動的に調整することができます。

1 本体にボディキャップを取り付ける

● レンズを取り付けているときは、本機の電源を切ってレンズを取り外し、ボディキャップを取り付ける（🕮 49）。

2 オートブラックバランス（ABB）を選ぶ

① 本機の電源を入れる。
② MENU：「カメラ設定」➤「ABB」を順に選ぶ。
● コントロールディスプレイに「ボディキャップを取り付けてください 実行しますか？」が表示される。以降、コントロールディスプレイを見ながら操作する。



3 ABBを実行する

① 「OK」を押す。
● 画面に「実行中」が表示され、ブラックバランス調整が行われる。このとき、ビューファインダーや出力端子に、映像は出力されない（画面が黒くなる）。
● 調整にかかる時間は次のとおり。
C700 FF C700 FF PL 約50秒
C700 C700 GS PL 約40秒

4 終了する

● 画面に「処理が完了しました」が表示されたら調整完了。「OK」を押して終了する。

画面に「エラー」が出たとき

● センサーの遮光が正しく行われていない。
「OK」を押し、再度操作1から操作する。

MEMO

ブラックバランス調整が必要な場合

- 本機を初めて使用するとき、または長時間使用しなかった後に使用するとき。
- 周囲の温度が大幅に変化したとき。
- ISO感度／ゲインの設定を変更したとき。
- センサーモードを変更したとき。
- MENU / EVF：「システム設定」➤「リセット」➤「全設定」で、本機の設定をリセットしたとき。

● ブラックバランス調整中、モニター画面の表示が乱れますが、故障ではありません。

撮　影

動画を撮影する.....64

映像の信号形式を選ぶ.....73

スロー &ファストモーション
記録を行う 76

サブ動画を同時に記録する 80

カメラダイレクト設定を使う.....83

シャッタースピードを調整する...84

ISO感度／ゲインを調整する 87

NDフィルターを切り換える 91

アイリスを調整する.....92

基本的なガンマ／カラーを
設定する.....97

ホワイトバランスを調整する.....99

フォーカスを調整する.....104

マーカー／ゼブラ／フォルス
カラーを表示する 117

タイムコードを設定する.....121

ユーザービットを設定する 123

外部機器と同期をとる.....124

音声を記録する.....127

カラーバー／テストトーンを
出力する.....134

波形モニターを表示する 135

OKマーク／チェックマークを
付加する.....137

メタデータを設定する 138

GPS情報を記録する.....140

アナモフィックレンズで
撮影する.....142

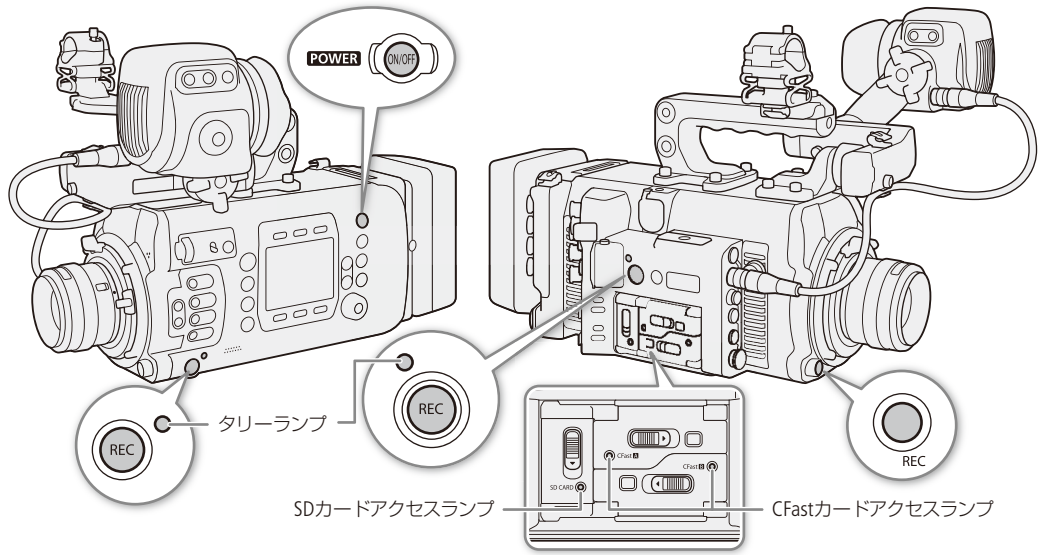
RC-V100(別売)で
リモート撮影する 143

静止画を記録する 144

動画を撮影する

ここでは、動画の基本的な撮影について説明します。

撮影する



1 本機の電源を入れる（29）

- 本機がカメラモードで起動し、撮影一時停止状態（STBY）になる。
- メモリーカードが入っているCFast ／ SDカードスロットのアクセスランプが赤く点灯したあと、記録先として選択されているCFastカードのアクセスランプが緑色に点灯する。

2 REC（記録開始／停止）ボタンを押す

- 撮影が始まり、画面に「●REC」が表示される。CFastカードに記録中はタリーランプが点灯（赤色）する。
- サブ動画の同時記録について（80）。

3 撮影を停止するとき　もう一度REC（記録開始／停止）ボタンを押す

- 撮影が終了してクリップ*が記録メディアに記録され、撮影一時停止状態（STBY）になる。タリーランプは緑色に点灯する。

* 本書では、1回の撮影操作で記録される動画を「クリップ」と呼びます。クリップには、映像・音声のほかに、カスタムピクチャーファイルやメタデータが含まれることがあります。

ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けて、カードを取り出さない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

MEMO

- 電源の電圧／残量が、電源警告（📖 238）の設定値以下になると、記録開始しません。
- カスタムピクチャーやメタデータを設定してXF-AVC動画を撮影すると、それらのデータが動画と一緒にクリップ内に記録されます。それぞれのデータの詳細については、「カスタムピクチャーを使用する」（📖 153）または「メタデータを設定する」（📖 138）をご覧ください。
- 撮影中にリレー記録が発生すると、撮影された映像はそれぞれ別々のクリップとして記録されます。
- 1つのXF-AVCクリップには6時間まで記録できます。それを超えると、自動的に別のクリップを生成して記録します。
- 記録の開始時や終了時にビープ音を鳴らすことができます（📖 238）。
- 「OK Mark追加」または「✓ Mark追加」を割り当てたアサインボタンを押すと、最後に記録したXF-AVCクリップにOKマーク／チェックマークを付加できます（📖 137）。
- 市販のレンズアダプターなどを取り付けたときに映像が上下左右に反転する場合は、MENU / EVF：「システム設定」➤「スキャンリバース記録」➤「設定」（📖 239）で、映像を上下左右、上下、左右のいずれかに反転させて記録することができます。

誤操作を防止する（キーロック）

🔒（キーロック）ボタンを約3秒間押し続けると、POWER（電源）ボタン、RECボタン、🔒（キーロック）ボタン以外の操作が無効になり、誤操作を防止できます*。🔒（キーロック）ボタンを再度約3秒間押し続けると、キーロックは解除されます。カメラがキーロック中でも、ブラウザーリモートやリモートコントローラー RC-V100（別売）、レンズからの操作は可能です。また、リモートオペレーションユニット OU-700（別売）使用時、カメラとOU-700のキーロックを連動させることもできます（📖 238）。

* RECボタンも無効にしたり、各RECボタンの有効／無効を個別に設定したりすることもできます（📖 238）。ブラウザーリモートからは操作できます。

HOME画面の画面表示

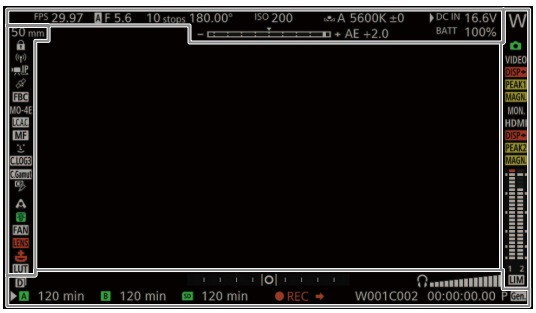
HOME画面には撮影時に良く使うカメラ設定や重要なステータス情報を表示します。

アイコン／表示	説明
000.00	**フレームレート***（🕮 73、76） * スロー &ファストモーション記録時は、撮影フレームレート
F0.0 / F00、T0.0 / T00、closed	**アイリス／ F値（T値）**（🕮 92）
00 stops	**NDフィルター**（🕮 91）
000.00°、1/0000、000.00Hz	**シャッタースピード**（🕮 84）
TC00:00:00.00 / TC00:00:00:00、R / P / F / E / H	**タイムコード**（🕮 121）
Gen.	**ゲンロック**（🕮 124）
撮影状態（記録モード）	
STBY、● REC	**動画記録**：撮影一時停止中／撮影中
S&F STBY、S&F ● REC	**スロー &ファストモーション記録** 撮影一時停止中／撮影中
➔	**記録コマンド状態**（🕮 229）
D	**ダブルスロット記録**（🕮 60）
AP 品	**ネットワーク接続状態**（🕮 199） 白色：接続完了 黄色：接続／切断処理中
Remote、IP	ネットワーク機能（🕮 200、213）
メイン動画／サブ動画の記録メディア状態／記録可能時間（分）（🕮 60）	
Main / Sub A / B 0000 min SDI-OUT RAW SD 0000 min CDX 0000 min	**CFastカード／ SDカード／ Capture Driveの状態** 緑色：記録可能／白色：認識中／ 黄色：空き容量が少ない。 選択中のCFastカードに▶が付く。
A P SD CD（赤色）	**CFastカードなし／ SDカードなし／ Capture Driveなし／記録不可能**
0000x0000	**解像度**（🕮 73）
00.00P、00.00i	**フレームレート**（🕮 73）

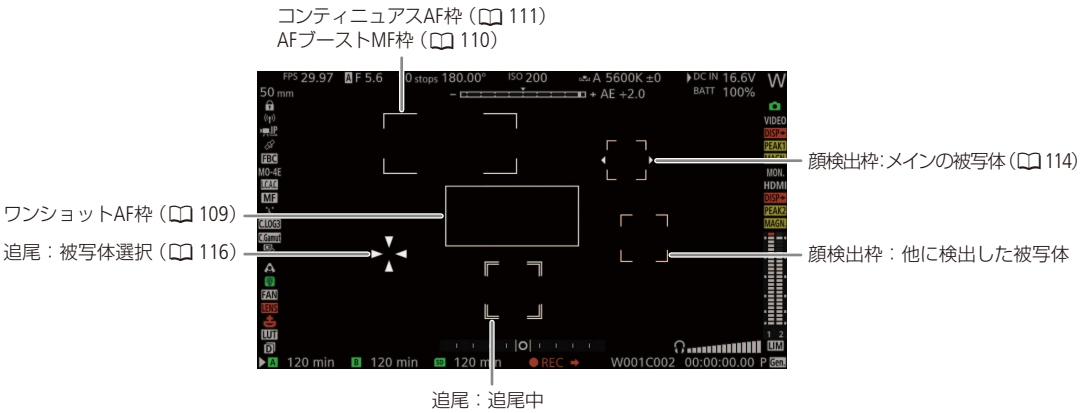
アイコン／表示	説明
XF-AVC（YCC）、XF-AVC（RGB）、ProRes（YCC）、ProRes（RGB）、RAW	**主記録形式**（🕮 73）
CH1 CH2 CH3 CH4	**オーディオレベルメーター**（🕮 131）
LIM	**オーディオリミッター**（🕮 132）
REEL A000	**カメラインデックス／リール番号**（🕮 70）
CLIP C000	**クリップ番号**（🕮 70）
DC IN 00.0V BATT 00.0V （000%）* （CDX）	**DC入力／バッテリーの電圧**（🕮 28） 赤色：電源警告の電圧のとき CDX：CDX-36150に接続された電源のとき選択中の電源に▶が付く。 * %表示はBMS対応バッテリー装着時のみ。
🔒	**キーロック**（🕮 65）
🌡（緑色／黄色／赤色）	**高温警告**（🕮 71） 内部温度が上昇すると🌡（黄色）が、本機を使い続けてさらに上昇すると🌡（赤色）が表示される。
INFO（黄色）	**INFOアイコン**（🕮 258）
🛰	**GPS信号の受信状態***（🕮 140） 衛星未捕捉時は点滅し、衛星を捕捉すると点灯する。 * GPSレシーバー GP-E1接続時のみ。
📷（緑色）、📷（赤色）	**静止画記録**（🕮 144） 📷：静止画記録不可
000000、00.0 dB	**ISO感度／ゲイン**（🕮 87）
Canon Log 3、Canon Log 2、Canon Log、Wide DR、Normal 1 ～ 4	**カスタムピクチャーのガンマ**（🕮 97）
C.Gamut、BT.2020、DCI-P3、BT.709	**カスタムピクチャーの色空間**（🕮 97））
0000±0、AWB	**ホワイトバランス**（🕮 99）

■ モニター画面の画面表示

ここでは、モニター画面の画面表示について説明します。各項目の表示の入／切はカスタムディスプレイ（「Custom Display 1」／「Custom Display 2」。🕮 232）で指定できます。以下の表内では「CD1」、「CD2」と省略表記します。HOME画面と共通の表示内容については、「HOME画面の画面表示」（🕮 65）に詳細を記載しています。



C700 C700 FF AF枠



画面の左側と中央

アイコン／表示	説明
0000 mm	**焦点距離**（目安）*1 CD1 ➤ 焦点距離
	キーロック（🕮 65） CD1 ➤ キーロック
	ネットワーク接続状態（🕮 199） CD2 ➤ ネットワーク機能
Remote、	ネットワーク機能（🕮 200、213） CD2 ➤ ネットワーク機能

アイコン／表示	説明
	GPS信号の受信状態（🕮 140） CD2 ➤ GPS
FBC	**フラッシュバンド補正** CD1 ➤ フラッシュバンド補正
MO-4B、MO-4P	**マウントアダプター** CD1 ➤ マウントアダプター
L.C.A.C.	**L.C.A.C.（放送用レンズの自動倍率色収差補正）**

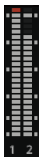
アイコン／表示	説明
MF AF	**C700 C700 FF フォーカスモード**（📖 104） CD1 ➤ フォーカスモード
	C700 C700 FF 顔検出AF（📖 114） CD1 ➤ フォーカスモード
C.LOG3 / C.LOG2 / C.LOG / Wide DR / NORM1 / NORM2 / NORM3 / NORM4、C.Gamut / BT.2020 DCI-P3 / BT.709	**カスタムピクチャーのガンマ／色空間**（📖 97） CD1 ➤ Custom Picture
CP	**カスタムピクチャー**（📖 153） Other Settings ➤ ActivateがOn CD1 ➤ Custom Picture
A	**測光方式**（📖 96） CD1 ➤ 測光方式
（緑色／黄色／赤色）	**高温警告**（📖 71） CD2 ➤ 温度／ファン
FAN	**冷却ファン**（📖 71） CD2 ➤ 温度／ファン
LENS（赤色）	**C700 C700 FF レンズ警告** CD1 ➤ レンズ
（赤色）	**コイン型リチウム電池警告**（📖 25） CD2 ➤ DC IN ／バッテリー
LUT	**LUT**（📖 183） CD1 ➤ LUT

画面の上側

アイコン／表示	説明
FPS 00.00 S&F FPS 00	**フレームレート***（📖 73、76） * スロー &ファストモーション記録時は、撮影フレームレート CD2 ➤ フレームレート
A F0.0 / F00、T0.0 / T00、closed	**アイリス／ F値（T値）**（📖 92）*1 CD1 ➤ Iris
00 stops	**NDフィルター**（📖 91） CD1 ➤ ND Filter
1/0000、000.00°、000.00Hz	**シャッタースピード**（📖 84） CD1 ➤ Shutter

アイコン／表示	説明
ISO 000000 GAIN 00.0dB	**ISO感度／ゲイン**（📖 87） CD1 ➤ ISO/Gain
	露出バー（📖 96） CD1 ➤ Exposure
AE ±0.00	**AEシフト**（📖 96） CD1 ➤ Exposure
AWB / A / B / / / WB1 / WB2 / WB3 / WB4 / WB5 00000 K±00	**ホワイトバランス**（📖 99） CD1 ➤ White Balance
DC IN 00.0V BATT 00.0V	**DC入力／バッテリーの電圧**（📖 28） CD2 ➤ DC IN ／バッテリー

画面の右側

アイコン／表示	説明
A	**カメラインデックス**（📖 70） CD2 ➤ カメラインデックス
（緑色）/ （赤色）	**静止画記録**（📖 144） CD2 ➤ 静止画記録可能枚数
端子出力 VIDEO、MON. / HDMI	
DISP（赤色）	**画面表示出力**（📖 182） CD2 ➤ オンスクリーン表示
PEAK1 、PEAK2（黄色）	**ピーキング**（📖 108） CD1 ➤ ピーキング
MAGN.（黄色）、MAGN.（赤色）	**拡大表示**（📖 108） CD1 ➤ Magnification
	**オーディオレベルメーター**（📖 131） CD2 ➤ Audio レベル
LIM	**オーディオリミッター**（📖 132） CD2 ➤ Audio レベル

画面の下側

アイコン／表示	説明
D	**ダブルスロット記録**（🕮 60） CD2 ➤ 記録モード
	水準器（🕮 45） CD2 ➤ 水準器
	ヘッドホン音量（🕮 133）
記録メディア状態／記録可能時間（分）（🕮 60） CD2 ➤ 記録可能時間	
A / B / SD 0000 min	**CFastカード／ SDカードの状態**
A B SD （赤色）	**CFastカードなし／ SDカードなし／記録不可能**
CDX 0000 min	**Capture Driveの状態**
CDX（赤色）	**Capture Driveなし／記録不可能**
撮影状態（記録モード） CD2 ➤ 記録モード	
STBY、●REC	**動画記録**：撮影一時停止中／撮影中

アイコン／表示	説明
S&F STBY、 S&F ●REC	**スロー &ファストモーション記録** 撮影一時停止中／撮影中
➔	**記録コマンド状態**（🕮 229） CD2 ➤ 記録コマンド
A000C000	**カメラインデックス、リール番号、クリップ番号**（🕮 70） CD2 ➤ リール番号／クリップ番号
00:00:00.00 / 00:00:00:00、 R / P / F / E / H	**タイムコード**（🕮 121） CD2 ➤ Time Code
Gen.	**ゲンロック**（🕮 124） CD2 ➤ Genlock

*1 C700 GS PL C700 FF PL では、アイリス調整に対応するEFシネマレンズ／放送用レンズ（🕮 285）、またはCooke社の通信規格「/i Technology」に対応するPLレンズ装着時のみ。

MEMO

記録領域の外側の映像（サラウンディングエリア）をモニター画面に表示するには

➔ MENU：「モニタリング設定」➤「サラウンディングエリア」（🕮 230）
サラウンディングエリアの表示方法や境界線の色を変更することもできる。
装着しているレンズによっては、サラウンディングエリアの四角でケラレが発生することがある。

映像が大部分の画面表示に重ならないように表示するには（フレーム表示）

➔ MENU：「モニタリング設定」➤「オンスクリーン表示」➤「VIDEO」または「MON.+HDMI」➤「フレーム表示」（🕮 231）

● 画面表示を表示しないようにすることもできます（🕮 182）。

■ クリップファイル名を設定する

本機内の記録メディアに記録されるクリップファイルの名前を設定します。カメラや記録メディアごとに割り振る文字や、任意の文字列（5文字）を設定することができます。

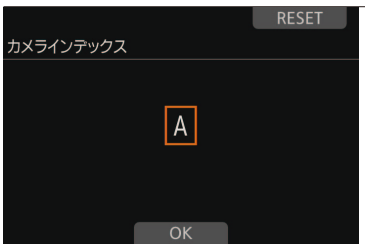
クリップファイル名の構成

A 0 0 1 C 0 0 1 _ y y m m d d X X _ C A N O N _ 0 1 P
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

	項目	内容
①	カメラインデックス	A ～ Zの1文字。カメラごとに異なる文字を設定する。
②	リール番号	001 ～ 999の3桁の数字。記録メディアごとに異なる番号が自動的に振られ、初期値を指定できる。新しい記録メディア*に交換すると、初回の記録時に番号が1つ繰り上がる。 * 購入または初期化直後のメディア。
③	クリップ番号	001 ～ 999の3桁の数字で、先頭に「C」が付いてC001 ～ C999となる。999を超えると「C」が「D」に変わり、D001 ～ D999となる。クリップ番号はクリップごとに自動的に振られる。任意の初期値を設定したり、初期値（C001）にリセットしたりすることもできる。 クリップ番号の付けかたは、記録メディアを交換しても連番を振る「通し番号」と、記録メディアの交換後、初回の記録時に「001」にリセットする「オートリセット」の2方式がある。
④	年月日	撮影した年月日が自動的に設定される。
⑤	ランダムID	クリップごとにランダムに付加される、A ～ Z、0 ～ 9からなる2文字。
⑥	ユーザー定義	A ～ Z、0 ～ 9からなる5文字。
⑦	プロキシ、ストリーム番号	プロキシ（XF-AVC Proxy）クリップのときに「_P」が自動的に付加される。記録先がSD / SDHCメモリーカードのときは、「P」の前にストリーム番号（01 ～ 99の数字）が付加される。ストリーム番号は、クリップ内の映像ファイル（ストリーム）が分割されると1つ繰り上がる。

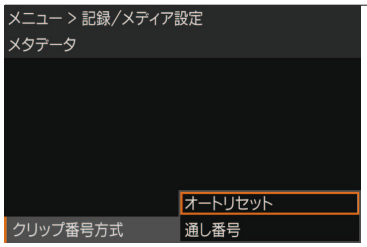
● 同時に記録したメイン動画とサブ動画（XF-AVC Proxy）のクリップは、ファイル名の①～⑥が同じになる。

設定する



1 カメラインデックスを設定する

① MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「メタデータ」➤「カメラインデックス」を順に選ぶ。
② 1文字の英大文字を入力する。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」（🕮 41）



2 クリップ番号方式を選ぶ

① 「クリップ番号方式」を選ぶ ➤ SETを押す。
② 「オートリセット」または「通し番号」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 「通し番号」を選んだときは操作3でクリップ番号を設定する。

3 リール番号／クリップ番号を設定する

① 「リール番号」または「クリップ番号」を選ぶ ➤ SETを押す。
② モニタリングメニューのときは、「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 「RESET」を選びSETを押すと、番号が「001」にリセットされる。

③ 3桁の数字を入力する。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」(🕮 41)

4 ユーザー定義を設定する

① 「ユーザー定義」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 「RESET」を選びSETを押すと、「CANON」にリセットされる。

② 5文字の英数字を入力する。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」(🕮 41)

MEMO

- XF-AVC動画とProRes動画を同じ記録メディアに記録すると、それぞれ異なるリール番号が設定されます。

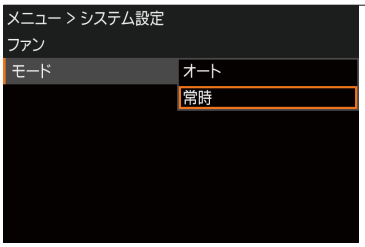
■ 冷却ファンの動作方法を選ぶ

本機内部の熱を排出する冷却ファンは、カメラモードではファンのモード設定に応じた方式で回転し、メディアモードでは常時回転します。ファンの回転速度は、カメラモードとメディアモード、およびカメラモードのときはファンのモードに応じて個別に設定できます。

カメラモードのとき

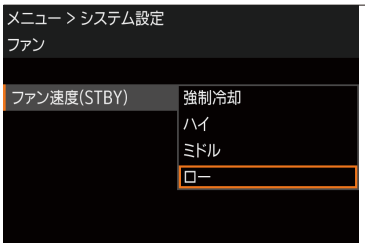
オート： 撮影一時停止中は回転し、撮影中（画面に●RECが表示中）は自動的に停止する。ただし、撮影中でも、本機の内部温度が上昇（🌡（赤色）が出る）すると、冷却ファンが自動的に回転する（画面に FAN が出る）。内部温度が十分下がると、再び冷却ファンは停止する。この設定は、冷却ファンの動作音を記録したくないときに使用する。撮影一時停止中の回転速度は、「ファン速度(STBY)」で、撮影中の回転速度は「ファン速度（REC）」でそれぞれ選択できる。

常時： 常に回転する（初期設定）。「ファン速度(常時)」で回転速度を選択できる。



1 ファンのモードを選ぶ

① MENU / EVF：「システム設定」➤「ファン」➤「モード」を順に選ぶ。
② 「オート」または「常時」を選ぶ ➤ SETを押す。



2 ファンの回転速度を選ぶ

① 「ファン速度（STBY）」、「ファン速度（REC）」または「ファン速度（常時）」を選ぶ ➤ SETを押す。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- 「強制冷却」を選ぶと、回転数を最大にした冷却が可能（「ファン速度（STBY）」のみ）。
- 撮影一時停止中（STBY）と撮影中（REC）の両方の回転速度を設定する。

メディアモードのとき

1 PLAYボタンを押す

- PLAY画面が表示される。

2 ファンの回転速度を選ぶ

① MENU / EVF：「システム設定」➤「ファン速度」を順に選ぶ。
② 「ハイ」、「ミドル」、「ロー」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

ご注意

- 冷却ファンの回転中は、EXHAUST VENT（排気口）から暖かい空気が排出されます。
- 冷却ファンの吸排気口（📖 12）をテープなどで塞がないでください。

MEMO

- 高温下など撮影環境によっては「オート」にしてもファンが停止しないことがあります。

映像の信号形式を選ぶ

CFastカードに映像（メイン動画）を記録するときの信号形式を設定します。信号形式は、解像度とカラーサンプリング、ビットレート、フレームレートの組み合わせからなります。フレームレートはシステム周波数によって、解像度／カラーサンプリングはセンサーモード（🕮 224）によって、それぞれ選択できる値が異なります。メディアモードでは、システム周波数のみ設定できます。CDX-36150（Codex Recorder for Canon EOS C700）への記録については「メイン動画をCDX-36150レコーダーのCapture Driveに記録する」（🕮 249）を、SDI OUT端子に接続した外部のレコーダーへの記録については「外部のモニター／レコーダーを接続する」（🕮 179）を、サブ動画については「サブ動画を同時に記録する」（🕮 80）をご覧ください。

選択できるセンサーモード

センサーモード	C700 FF C700 FF PL	C700 C700 GS PL
フルサイズ	●	–
Super 35 mm (Crop)	●	–
Super 35 mm	–	●
Super 16 mm (Crop)	●	●

XF-AVC（CFast）形式

センサーモード	解像度	カラーサンプリング	ビットレート*1	システム周波数／フレームレート							
				59.94 Hz				50.00 Hz			24.00 Hz
				59.94P	59.94i*2	29.97P	23.98P	50.00P	50.00i*2	25.00P	24.00P
フルサイズ Super 35 mm Super 35 mm (Crop)	4096×2160 3840×2160	YCC422 10 bit	810 Mbps Intra-frame	●	–	–	–	●	–	–	–
			410 Mbps Intra-frame	–	–	●	●	–	–	●	●
	2048×1080 1920×1080	RGB444 12 bit	440 Mbps Intra-frame	●	–	–	–	●	–	–	–
			225 Mbps Intra-frame	–	–	●	●	–	–	●	●
		RGB444 10 bit	410 Mbps Intra-frame	●	–	–	–	●	–	–	–
			210 Mbps Intra-frame	–	–	●	●	–	–	●	●
フルサイズ Super 35 mm Super 35 mm (Crop) Super 16 mm (Crop)	2048×1080 1920×1080	YCC422 10 bit	310 Mbps Intra-frame	●	–	–	–	●	–	–	–
			160 Mbps Intra-frame	–	–	●	●	–	–	●	●
			50 Mbps LongGOP	●*3	●*3	●	●	●*3	●*3	●	●

*1 ビットレートの方式はVBR（可変）。「Intra-frame」は1フレームごとに圧縮し、カット編集に適した高画質な圧縮方式。「Long GOP」は前後のフレームの差分を圧縮し、高圧縮で長時間の録画が可能。 C700 FF C700 FF PL「センサーモード」が「Super 16mm (Crop)」のときは、「310 Mbps Intra-frame」、「160 Mbps Intra-frame」、「50 Mbps LongGOP」のみ。

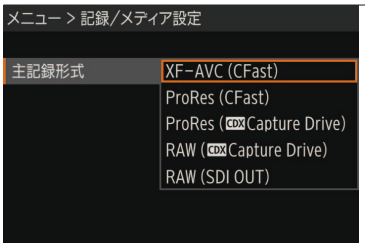
*2 解像度が1920×1080のときのみ。

*3 C700 FF C700 FF PL「センサーモード」が「フルサイズ」以外のときのみ。

ProRes(CFast)形式

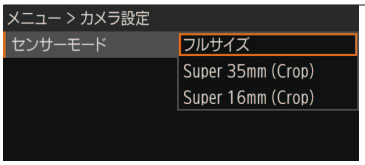
センサーモード	解像度	コーデック*1	システム周波数／フレームレート					
			59.94 Hz			50.00 Hz		24.00 Hz
			59.94P	29.97P	23.98P	50.00P	25.00P	24.00P
フルサイズ Super 35 mm Super 35 mm (Crop)	4096×2160 3840×2160	ProRes422 HQ 10 bit	–	●	●	–	●	●
	2048×1080 1920×1080	ProRes4444*2 12 bit	●	●	●	●	●	●
フルサイズ Super 35 mm Super 35 mm (Crop) Super 16 mm (Crop)	2048×1080 1920×1080	ProRes422 HQ 10 bit	●	●	●	●	●	●

*1 MENU：「記録／メディア設定」➤「ビットレート」の設定。
*2 アルファチャネルは未使用（444のみ）。



1 メイン動画の形式を選ぶ

① MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「主記録形式」を順に選ぶ。
【代替操作】HOME：「S&F FPS」➤「OPTIONS」➤「主記録形式」
② 「XF-AVC（CFast）」または「ProRes（CFast）」を選ぶ ➤ SETを押す。



2 センサーモードを選ぶ

① MENU / EVF：「カメラ設定」➤「センサーモード」を選ぶ ➤ SETを押す。
【代替操作】HOME：「S&F FPS」➤「OPTIONS」➤「センサーモード」
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

3 システム周波数を選ぶ

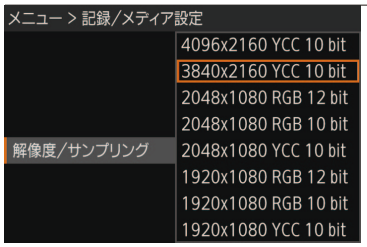
① MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「システム周波数」を選ぶ ➤ SETを押す。
【代替操作】HOME：「S&F FPS」➤「OPTIONS」➤「システム周波数」
② いずれかを選ぶ ➤「SET」を押す。
● 選んだシステム周波数に設定され、本機が再起動する。

4 フレームレートを選ぶ

● 24.00 Hzを選んだ場合、この操作は不要。

① 「フレームレート」を選ぶ ➤ SETを押す。
【代替操作】HOME：「S&F FPS」➤「OPTIONS」➤「フレームレート」

② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。



5 解像度とカラーサンプリングを選ぶ

① 「解像度／サンプリング」を選ぶ ➤ SETを押す。
【代替操作】HOME：「S&F FPS」➤「OPTIONS」➤「解像度／サンプリング」

② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

6 ビットレートを選ぶ

① 「ビットレート」を選ぶ ➤ SETを押す。
【代替操作】HOME：「S&F FPS」➤「OPTIONS」➤「ビットレート」

② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

● 1枚の記録メディアに、異なるシステム周波数で撮影したXF-AVCクリップを混在して記録することはできません。
● 各種出力端子からの信号については、「出力信号形式」(🕮 176)をご覧ください。
● IPストリーミングの動作中は、主記録形式、システム周波数、フレームレート、解像度／サンプリングを変更できません。

スロー &ファストモーション記録を行う

再生時のフレームレート*と異なるフレームレート（撮影フレームレート）で、プログレッシブ方式で記録できます。再生時のフレームレートより高いフレームレートで撮影し、再生するとスローモーション効果が得られ、再生時のフレームレートより低いフレームレートで撮影し、再生するとファストモーション効果が得られます。なお、主記録形式が「XF-AVC（CFast）」でフレームレートと撮影フレームレートが同じときは音声が記録されます。それ以外の場合は、音声は記録されません（ミュート）。CDX-36150レコーダーに記録するときは、「メイン動画をCDX-36150レコーダーのCapture Driveに記録する」（📖 249）をご覧ください。

* 記録信号形式で設定しているフレームレート。

C700 **C700 GS PL** 設定可能な撮影フレームレート（XF-AVC（CFast）形式）

フレームレート			撮影フレームレート		
59.94P			1、2、3、6、15、30、60	90、120	150、180、210、240
29.97P			1、2、3、6、15、30、32、36、40、44、48、52、56、60	90、120	150、180、210、240
23.98P 24.00P			1、2、3、6、12、24、26、28、30、32、36、40、44、48、52、56、60	72、96、120	144、168、192、216、240
50.00P			1、5、15、25、50	54、58、75、100	125、150、175、200
25.00P			1、5、15、25、26、28、30、34、38、42、46、50	54、58、75、100	125、150、175、200
Super 35 mm	4096×2160 3840×2160	YCbCr 4:2:2 10 bit	●*1	–	–
	2048×1080 1920×1080	RGB 4:4:4 10 / 12 bit	●	–	–
	2048×1080 1920×1080	YCbCr 4:2:2 10 bit	●	●	–
Super 16 mm (Crop)	2048×1080 1920×1080		●	●	●*2*3
センサーモード	解像度	カラーサンプリング	解像度／カラーサンプリングに応じて使用できる撮影フレームレート		

*1 フレームレートが23.98P / 24.00Pで、撮影フレームレートが30fpsを超える場合、ビットレートが360 Mbpsになる。
*2 フレームレートが59.94P / 50.00Pで、撮影フレームレートが125fps以上の場合、ビットレートが170 Mbpsになる。
*3 フレームレートが59.94P / 50.00P以外で、撮影フレームレートが125fps以上の場合、ビットレートが90 Mbpsになる。

C700 FF **C700 FF PL** 設定可能な撮影フレームレート（XF-AVC（CFast）形式）

フレームレート			撮影フレームレート		
59.94P			1、2、3、6、15、30、60	–	90、120、150
29.97P			1、2、3、6、15、30、32、36、40、44、48、52、56、60	–	90、120、150
23.98P 24.00P			1、2、3、6、12、24、26、28、30、32、36、40、44、48、52、56、60	72	96、120、144、168
50.00P			1、5、15、25、50	54、58、75	100、125、150
25.00P			1、5、15、25、26、28、30、34、38、42、46、50	54、58、75	100、125、150
フルサイズ Super 35 mm (Crop)	4096×2160 3840×2160	YCbCr 4:2:2 10 bit	●*1	–	–
	2048×1080 1920×1080	RGB 4:4:4 10 / 12 bit	●	–	–
	2048×1080 1920×1080	YCbCr 4:2:2 10 bit	●	●*2	–
Super 16 mm (Crop)	2048×1080 1920×1080		●	●	●*3*4
センサーモード	解像度	カラーサンプリング	解像度／カラーサンプリングに応じて使用できる撮影フレームレート		

*1 フレームレートが23.98P / 24.00Pで、撮影フレームレートが30fpsを超える場合、ビットレートが360 Mbpsになる。
*2「センサーモード」が「Super 35mm (Crop)」のときのみ。
*3 フレームレートが59.94P / 50.00Pで、撮影フレームレートが125fps以上の場合、ビットレートが170 Mbpsになる。
*4 フレームレートが59.94P / 50.00P以外で、撮影フレームレートが125fps以上の場合、ビットレートが90 Mbpsになる。

設定可能な撮影フレームレート（ProRes（CFast）形式）

フレームレート			撮影フレームレート		
59.94P			1、2、3、6、15、30、60	—	90、120、150、180*1
29.97P			1、2、3、6、15、30	32、36、40、44、48、52、56、60	90、120、150、180*1
23.98P 24.00P			1、2、3、6、12、24、26、28、30	32、36、40、44、48、52、56、60	72、96、120、144、168
50.00P			1、5、15、25、50	—	54、58、75、100、125、150
25.00P			1、5、15、25	26、28、30、34、38、42、46、50	54、58、75、100、125、150
フルサイズ Super 35 mm Super 35 mm (Crop)	4096×2160 3840×2160	ProRes422 HQ	●*2	—	—
	2048×1080 1920×1080	ProRes4444	●	●	—
	2048×1080 1920×1080	ProRes422 HQ	●	●	—
Super 16 mm (Crop)	2048×1080 1920×1080	ProRes422 HQ*3 ProRes422	●	●	●
センサーモード	解像度	コーデック*4	解像度／コーデックに応じて使用できる撮影フレームレート		

*1 C700 C700 GS PL のみ。
*2 フレームレートが59.94P / 50.00Pのとき以外。
*3 C700 FF C700 FF PL のみ。
*4 MENU：「記録／メディア設定」➤「ビットレート」の設定。

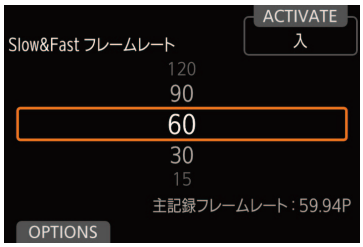
設定可能な撮影フレームレート（RAW (SDI OUT)形式）

フレームレート	解像度	撮影フレームレート
59.94P	4096×2160	1、2、3、6、15、30、60
29.97P		1、2、3、6、15、30、32、36、40、44、48、52、56、60
23.98P 24.00P		1、2、3、6、12、24、26、28、30、32、36、40、44、48、52、56、60
50.00P		1、5、15、25、50
25.00P		1、5、15、25、26、28、30、34、38、42、46、50

設定する

1 スロー &ファストモーション記録を有効にする

① HOME：「S&F FPS」➤「ACTIVATE」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「記録／メディア設定」➤「Slow & Fastモーション」
② 「入」を選ぶ➤ SETを押す。
- スロー &ファストモーション記録モードになる。
- C700 C700 GS PL MENU / EVF：「カメラ設定」➤「センサーモード」が「Super 16mm (Crop)」のときは、240Pまでの撮影フレームレートが選択できる。このとき、解像度は2K（2048×1080または1920×1080）、カラーサンプリングはYCC422 10 bitに変更される。
- 画面に「S&F STBY」が表示される。



2 撮影フレームレートを設定する

① SELECTダイヤルを回して、値を選ぶ➤ SETを押す。
- フレームレート、解像度、カラーサンプリングの設定によって選択できる値が異なる。
【代替操作】カメラダイレクト設定（🕮 83）

スロー &ファストモーション記録モードで撮影する

1 RECボタンを押す

- 設定した撮影フレームレートで記録される。
- 画面に「S&F●REC」が表示され、タリーランプが点灯（赤色）する。

2 撮影を停止するとき もう一度RECボタンを押す

- 撮影が終了し、クリップとして記録される。
- 画面に「S&F STBY」が表示され、タリーランプは緑色に変わる。
- HOME：「S&F FPS」➤「ACTIVATE」で「切」を選ぶと、スロー &ファストモーション記録モードが終了する。

MEMO

- スロー &ファストモーション記録モードで撮影中に、撮影フレームレートを変更することはできません。
- タイムコードは、TIME CODE IN/OUT端子とMON.端子から出力されません（🕮 126）。
- 撮影フレームレートの値が小さいと、記録停止に数秒程度の時間がかかることがあります。
- システム周波数を変更すると、スロー &ファストモーション記録モードは解除され、設定値はリセットされます。

サブ動画を同時に記録する

RAW記録／出力しながら、CFastカードにサブ動画（XF-AVC）、またはSDカードにサブ動画（XF AVC Proxy）を記録したり、CFastカードにメインの動画を記録しながらSDカードにサブ動画（XF-AVC Proxy）を記録したりすることができます。サブ動画（XF-AVC）の解像度やカラーサンプリングはメニューで選択できます。サブ動画（XF-AVC Proxy）の記録信号形式は2K YCbCr 4:2:0 8 bitで、ビットレート*は24 Mbps ／ 35 Mbpsと比較的低いため、オフライン編集に向いています。また、サブ動画（XF-AVC Proxy）は、LUTを指定すれば、メイン動画と異なる色空間／ガンマに変換して記録することもできます。

* メイン動画の記録信号形式に応じて自動的に決まります。

サブ動画の記録信号形式

サブ動画の記録先	メイン動画の記録信号形式		サブ動画の記録信号形式*1		
	解像度	フレームレート	解像度*2	カラーサンプリング	ビットレート
SDカード（XF-AVC Proxy）	4512×2376 C700 4512×1920 C700 4096×2160 2048×1080	59.94P*4 50.00P*4	2048×1080	YCbCr 4:2:0 8 bit	35 Mbps Long GOP
	4272×2376 C700 GS PL 3840×2160 1920×1080		1920×1080		
	5952×3140 C700 FF C700 FF PL 5952×2532 C700 FF C700 FF PL 4512×2376 C700 4512×1920 C700 4096×2160 2048×1080	29.97P 25.00P 24.00P 23.98P	2048×1080		24 Mbps Long GOP
	4272×2376 C700 GS PL 3840×2160 1920×1080		1920×1080		
	1920×1080	59.94i*4 50.00i*4	1920×1080		
CFast（XF-AVC）	5952×3140 C700 FF C700 FF PL 5952×2532 C700 FF C700 FF PL 4512×2376 C700 4272×2376 C700 GS PL 4512×1920 C700 4096×2160 2048×1080	59.94P*4 50.00P*4	4096×2160 3840×2160*3	YCbCr 4:2:2 10 bit	810 Mbps Intra-frame
			2048×1080 1920×1080*3		310 Mbps Intra-frame
		29.97P 25.00P 24.00P 23.98P	4096×2160 3840×2160*3		410 Mbps Intra-frame
			2048×1080 1920×1080*3		160 Mbps Intra-frame

*1 フレームレートと音声信号形式はメイン動画と同一。

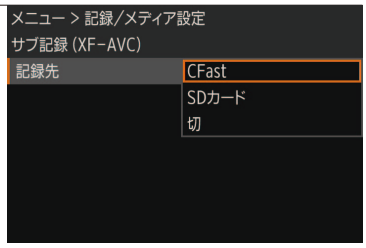
*2 記録先がSDカードのときは、メイン動画の解像度から自動的に決まる。記録先がCFastのときは、MENU / EVF：「メディア／記録設定」➤「サブ記録（XF-AVC）」➤「解像度／サンプリング」の設定（🕮 228）による。

*3 メイン動画の解像度が4512×1920のときを除く。

*4 C700 FF C700 FF PL センサーモードが「フルサイズ」以外のときのみ。

1 サブ動画の同時記録を有効にする

① MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「サブ記録（XF-AVC）」➤「記録先」を順に選ぶ。
② 「CFast」*または「SDカード」を選ぶ➤ SETを押す。
* RAW記録／出力時のみ。



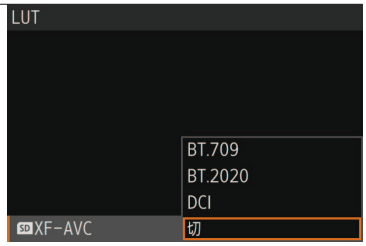
2 記録先がCFastのとき　解像度／サンプリングを選ぶ

① 「解像度／サンプリング」を選ぶ➤ SETを押す。
② いずれかを選ぶ➤ SETを押す。

3 Logガンマを使用していて、サブ動画（XF-AVC Proxy）を記録するとき

必要に応じて、LUTを選ぶ

① HOME：「COLOR」➤「LUT」➤「SD XF-AVC」を順に選ぶ。
【代替操作】「LUT設定」（モニタリングメニュー）
② 「BT.709」、「BT.2020」、「DCI」、「切」のいずれかを選ぶ➤ SETを押す。



4 RECボタンを押して、記録開始／一時停止する

- メイン動画の記録開始と同時に、サブ動画の記録が開始される。
- もう一度RECボタンを押すと、メイン動画とともにサブ動画の記録が一時停止され、クリップがCFastまたはSDカードに記録される。

ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けて、カードを取り出さない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。

MEMO

- 同時記録中にメイン動画の記録が停止すると、サブ動画の記録も停止します。
- スロー &ファストモーション記録のときは、サブ動画は記録されません。
- リレー記録によってCFastスロットが切り換わると、同時にSDカードに記録しているサブ動画（XF-AVC Proxy）のクリップも分割されます。
- SDHCメモリーカードに記録する場合、クリップ内の映像ファイル（ストリーム）は約4 GB毎に分割されます。本機では連続して再生されます。
- カスタムピクチャーのガンマ、色空間の設定によって、選択できるLUTが異なります。また、これらの設定を変更すると、LUTの設定は「切」になります。

CFastカードスロットにカードが入っていないとき

- 主記録形式が「XF-AVC（CFast）」のときは、サブ動画（XF-AVC Proxy）のみ記録される。
- 主記録形式が「ProRes（CFast）」のときは、サブ動画（XF-AVC Proxy）も記録されない。

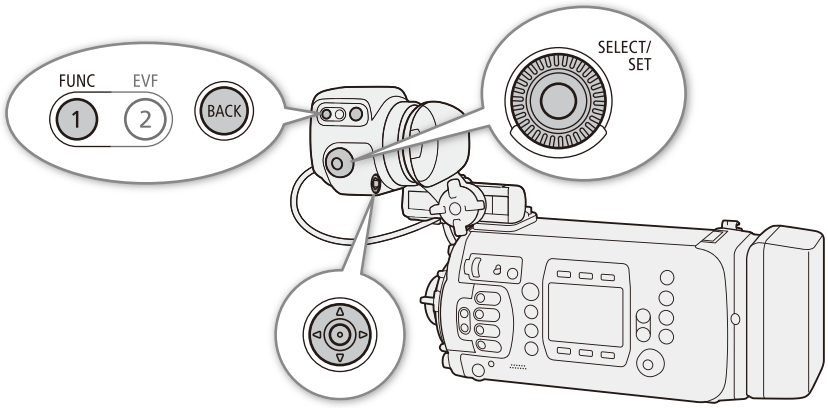
カメラダイレクト設定を使う

モニター画面を見ながら、以下の項目を設定できます（カメラダイレクト設定）。ここでは基本的な操作を説明します。各機能の詳細については、それぞれのページをご覧ください。

設定できる項目

- スロー &ファストモーション記録の撮影フレームレート*
- シャッタースピード
- ISO感度／ゲイン
- ホワイトバランス
- ホワイトバランスの色温度／プリセット調整

* スロー &ファストモーション記録モードのときのみ。



FUNC
1

1 カメラダイレクト設定に入る

① ビューファインダー（別売）のFUNCボタンまたは「FUNC」を割り当てたアサインボタンを押す。
- モニター画面のいずれかの表示にオレンジ色の下線が表示される。

② FUNCボタンを押すか、ジョイスティックを左右に押して、設定したい項目に切り換える。
- 操作するたびに設定対象が順に切り換わる。

【代替操作】「Slow&Fastフレームレート」、「Shutter」、「ISO/GAIN」、「White Balance」アサインボタン

2 値を調整する

① ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して、調整方法や数値を選ぶ ➤ SETを押す。
- 設定が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。画面のオレンジ色の表示は解除される。
- BACKを押すと、設定が中止されてカメラダイレクト設定を終了する。

シャッタースピードを調整する

シャッタースピードを調整すると、動きの速い被写体（スポーツや乗り物など）を鮮明に撮影する、低照度のシーンを明るく撮影するなど被写体や撮影環境に合わせて撮影できます。シャッタースピードの調整には、次の5種類のモードがあります。ブラウザーリモート（200）を使って調整することもできます。

スピード：　秒数でシャッタースピードを設定する。設定時の刻み幅は、メニューで1/3段と1/4段から選べる。

アングル：　開角度でシャッタースピードを設定する。

クリアスキャン：　周波数でシャッタースピードを設定する。モニター画面に黒い帯が出ないようにするときなど。

スロー：　フレームレートより低速のシャッタースピードを秒数で設定する。低照度の場所で撮影するときなど。スロー &ファストモーション記録のときは選択できない。

切：　各フレームレートの基準シャッタースピードを使用する。

設定可能なシャッタースピード

選択できるシャッタースピードはフレームレートによって異なります。

			フレームレート					
			59.94P / 59.94i	29.97P	23.98P	24.00P	50.00P / 50.00i	25.00P
シャッタースピードのモード	スピード*1	1/3段刻み	1/1 ～ 1/2000秒（全34設定）					
		1/4段刻み	1/1 ～ 1/2000秒（全45設定）					
	アングル*1		360.00°、240.00°、180.00°、120.00°、90.00°、60.00°、45.00°、30.00°、22.50°、15.00°、11.25°、スピードモードの1/120、1/100、1/60、1/50、1/40、3/100、1/30、1/25秒に相当するアングル値					
	クリアスキャン*1		23.98 Hz ～ 250.38 Hz			24.00 Hz ～ 250.40 Hz		
	スロー *2		1/4、1/8、1/15、1/30秒	1/4、1/8、1/15秒	1/3、1/6、1/12秒		1/3、1/6、1/12、1/25秒	1/3、1/6、1/12秒
	切*1		1/60秒	1/30秒	1/24秒	1/24秒	1/50秒	1/25秒

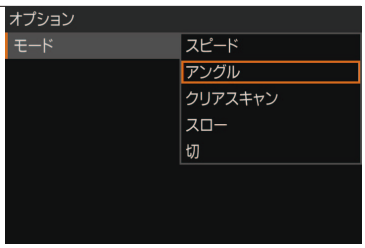
*1 スロー &ファストモーション記録の場合、設定できる値は撮影フレームレートによって変わる。
*2 スロー &ファストモーション記録のときは使用できない。

調整する

SHUTTER

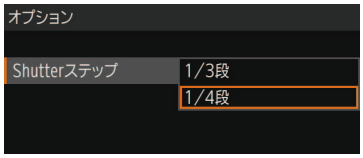
1 シャッタースピードのモードを選ぶ

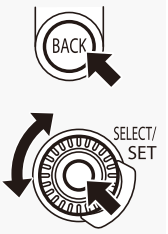
① HOME：「SHUTTER」➤「OPTIONS」➤「モード」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「カメラ設定」➤「Shutter」➤「モード」
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す



2 「スピード」を選んだとき　設定時の刻み幅を選ぶ

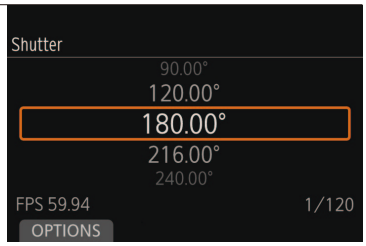
① 「Shutterステップ」を選ぶ ➤ SETを押す。
【代替操作】EVF：「カメラ設定」➤「Shutter」➤「Shutterステップ」
② 「1/3段」または「1/4段」を選ぶ ➤ SETを押す。





3 値を調整する

① BACKを押す。
【代替操作】カメラダイレクト設定（🕮 83）
② SELECTダイヤルを回して数値を選ぶ ➤ SETを押す。



スローによる撮影について

スローを使うと、明るさが不足している場所で被写体を明るく撮影できます。また、動いている被写体をパンするときに背景を流す、ズームに残像効果を加えるなどの特殊効果として使用することもできます。

- 通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。

MEMO

C700 C700 FF C700 FF PL 人工光源の照明下でフリッカーが気になるとき

蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出ることがあります。フリッカーは、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制できることがあります。電源周波数が50Hzのときは1/25秒、3/100秒、1/50秒または1/100秒を、60Hzのときは1/30秒、1/40秒、1/60秒または1/120秒を選んでください。アングルなどでこれらの秒数に対応する値を指定することもできます。

小絞りによるボケを防ぐには

晴天下などの明るい場所で撮影するときに絞りを絞り込むと、小絞りによるボケが発生することがあります。この現象は、NDフィルターの濃度を濃くするか、シャッタースピードを高速にして、絞りを開くことによって防止できます。

C700 **C700 FF** **C700 FF PL** フラッシュバンドを補正するには

フレームレートが59.94i/P、50.00i/Pのいずれかで、シャッタースピードのモードが「切」、スロー &ファストモーション記録が「切」のときは、複数フレームにまたがるフラッシュバンドを1フレームに補正できます。

➔ MENU / EVF：「カメラ設定」➤「フラッシュバンド補正」

次の場合、フラッシュバンド補正は解除されます。

- フレームレート、解像度／サンプリングを変更したとき
- シャッタースピードのモード、スロー &ファストモーション記録の入／切を変更したとき
- 電源のOFF / ON、メディアモードへの切り換えを行ったとき

- シャッタースピードのモードをスローにすると、モニター画面に赤、緑、青の輝点が出ることがあります。このときはシャッタースピードを上げるか、ISO感度／ゲインを下げてください。
- 輝度の高い被写体が動いている場合や、ストロボなどで瞬間的に輝度が高くなる場合に、シャッタースピードが遅いと高輝度部に色が付くことがあります。このときは、ISO感度／ゲインを上げて撮影すると解消されることがあります。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）のSHUTTER SELECTボタン、SHUTTER上／下ボタンで、シャッタースピードのモード／設定値をそれぞれ切り換えることもできます。

ISO感度／ゲインを調整する

映像アンプの増幅量をISO感度またはゲインで設定できます。設定時の刻み幅は、ISO感度／ゲインそれぞれ個別に設定できます。ブラウザーリモート（🕮 200）を使って調整することもできます。

設定可能な値

C700 C700 FF C700 FF PL

	刻み幅	設定可能な値*1	
			感度拡張時のみ*2
ISO感度	1段	160*3、200、400、800、1600、3200、6400、12800、25600	100、51200、102400
	1/3段	160、200、250、320、400、500、640、800、1000、1250、1600、2000、2500、3200、4000、5000、6400、8000、10000、12800、16000、20000、25600	100、125、32000、40000、51200、64000、80000、102400
ゲイン	ノーマル（3 dB）	−2 dB*3、0 dB ～ 42 dB	−6 dB、−3 dB、45 dB ～ 54 dB
	ファイン（0.5 dB）	−2 dB ～ 42 dB	42.5 dB ～ 54 dB

C700 GS PL

	刻み幅	設定可能な値*1	
			感度拡張時のみ*2
ISO感度	1段	640*3、800、1600、3200、6400、12800、25600	400、51200、102400
	1/3段	640、800、1000、1250、1600、2000、2500、3200、4000、5000、6400、8000、10000、12800、16000、20000、25600	400、500、32000、40000、51200、64000、80000、102400
ゲイン	ノーマル（3 dB）	−2 dB*3、0 dB ～ 30 dB	−6 dB、−3 dB、33 dB ～ 42 dB
	ファイン（0.5 dB）	−2 dB ～ 30 dB	30.5 dB ～ 42 dB

*1 推奨のダイナミックレンジを実現するために必要な感度

	Canon Log / Wide DR	Canon Log 2 / Canon Log 3
C700 C700 FF C700 FF PL	ISO 400（ゲイン6 dB）以上	ISO 800（ゲイン12 dB）以上
C700 GS PL	ISO 1600（ゲイン6 dB）以上	ISO3200（ゲイン12 dB）以上

*2 HOME：「ISO/GAIN」➤「OPTIONS」➤「感度拡張」を「入」にすると、推奨以外の感度を選択できる。
*3 「感度拡張」が「切」のときのみ設定可能。

調整する

1 設定方法を選ぶ

① HOME：「ISO/GAIN」➤「OPTIONS」➤「選択」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「カメラ 設 定 」➤「ISO/Gain」➤「選択」
② 「ISO」または「Gain」を選ぶ➤SETを押す。

2 設定時の刻み幅を選ぶ

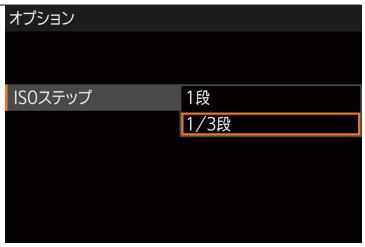
「ISO」を選んだとき

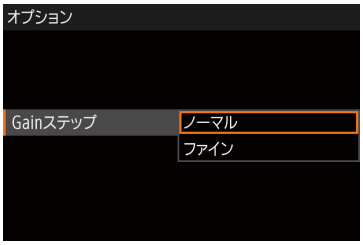
① 「ISOステップ」を選ぶ➤SETを押す。
② 「1段」または「1/3段」を選ぶ➤SETを押す。

「Gain」を選んだとき

① 「Gainステップ」を選ぶ➤SETを押す。
② 「ノーマル」または「ファイン」を選ぶ➤SETを押す。

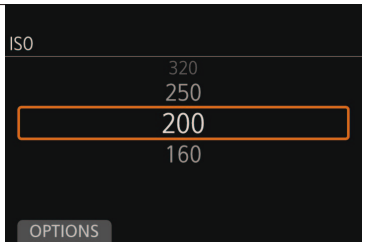
【代替操作】EVF：「カメラ設定」➤「ISO/Gain」➤「ISOステップ」または「Gainステップ」





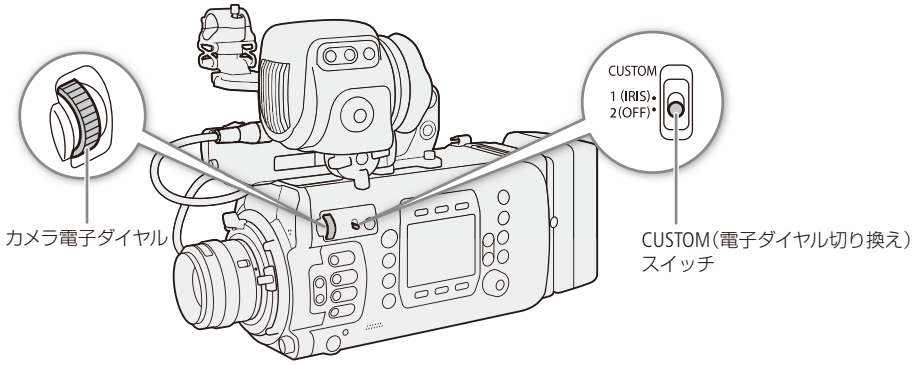
3 値を調整する

① BACKを押す。
【代替操作】カメラダイレクト設定（🕮 83）
② SELECTダイヤルを回して数値を選ぶ➤SETを押す。



■ 電子ダイヤルで調整する

電子ダイヤルにISO感度／ゲインを割り当てると、カメラ本体の電子ダイヤルでISO感度／ゲインを調整できます。電子ダイヤルは、CUSTOM(電子ダイヤル切り換え)スイッチで2つの機能を切り換えて使用でき、CUSTOMスイッチの2つの機能はメニューで設定できます。



例：　CUSTOM(電子ダイヤル切り換え)スイッチのポジション2にISO/Gainを割り当てて調整する場合

1 CUSTOMスイッチにISO感度／ゲインを割り当てる

① MENU / EVF:「システム設定」➤「CUSTOMスイッチ」➤「2」を順に選ぶ。
② 「ISO/Gain」を選ぶ➤SETを押す。
- CUSTOMスイッチのポジション2にISO/Gainが割り当てられる。

2 CUSTOMスイッチを「2」に切り換える

3 電子ダイヤルを回してISO感度／ゲインを調整する

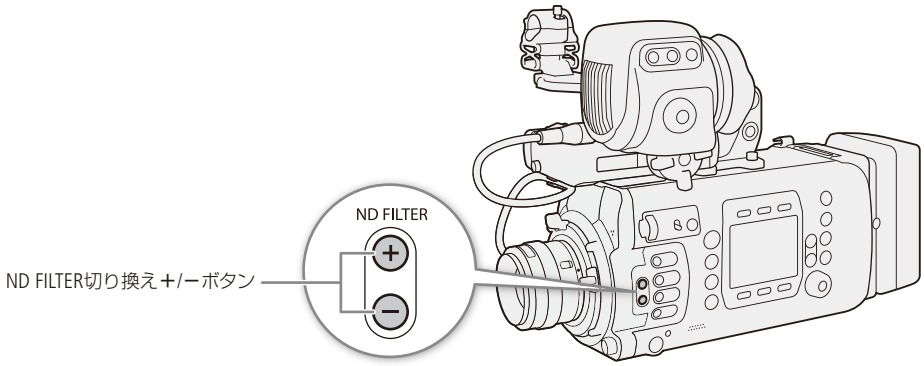
MEMO

- ISO感度／ゲインを上げるとモニター画面が多少ざらつくことがあります。
- ISO感度／ゲインを上げると、モニター画面に赤、緑、青の輝点が出ることがあります。このときはシャッタースピードを上げるか、ISO感度／ゲインを下げてください。
- ISO感度／ゲインの切り換え時、モニター画面にノイズが現れることがあります。撮影中は、ISO感度／ゲインを切り換えないでください。
- MENU：「システム設定」➤「電子ダイヤル方向」➤「カメラ」で、電子ダイヤルの操作方向を変更することができます（🕮 237）。
- ISO感度／ゲインの値を、リモートコントローラー RC-V100（別売）のISO/GAIN上／下ボタンを押して調整することもできます。

NDフィルターを切り換える

NDフィルターを使用することにより、明るい屋外の撮影でもアイリスを開けて被写界深度の浅い映像表現が可能となります*。NDフィルターは標準では3段階から選択でき、拡張設定をすると5段階から選択できます。切り換えは、本機のほかブラウザーリモート（🕮 200）を使って操作することもできます。

* アイリスを絞り込んだときに発生する「小絞りによるボケ」の回避にも使用できます。



ND FILTER

1 NDフィルターを切り換える

① ND FILTER（NDフィルター）切り換え＋ボタンを押す。
【代替操作】HOME：「IRIS」➤「ND+」または「ND－」
- ＋ボタンを押すたびに、次の順にNDフィルターが切り換わる（－ボタンは逆順）。

OFF → 2 stops → 4 stops → 6 stops → 8 stops* → 10 stops* → OFF

* HOME：「IRIS」➤「OPTIONS」➤「ND濃度拡張」が「入」のときのみ選択可能。

② 希望のNDフィルターに切り換わるまで①の操作を繰り返す。
- 切り換えたNDフィルターが画面に表示される。

MEMO

- シーンによっては、NDフィルターを入／切すると、わずかに発色が変化することがあります。このときはホワイトバランスをセットして撮影すると効果的です（🕮 100）。
- 8 stops ／ 10 stopsと他の濃度を切り換えると、次のようになることがあります。
  - ピントがずれる。レンズの距離目盛りもずれる。
  - レンズによっては無限遠にピントが合わない。
- ND FILTERボタンは、MENU：「システム設定」➤「ND FILTERボタン」で無効にすることができます（🕮 238）。

リモートコントローラー RC-V100（別売）を使う

- RC-V100のND切り換えボタンを押して、NDフィルターを切り換え可能（本機のND FILTER切り換え＋ボタンと同じ動作）。
- RC-V100のNDフィルターランプは、2 stops ～ 8 stops選択時はランプの1 ～ 4が点灯し、10 stops選択時はランプの1と4が同時に点灯する。

アイリスを調整する

被写体の明るさに応じてアイリス（絞り）を調整します。本機では次の3種類の方法でアイリスを調整できます*。設定可能な値（F値）は取り付けたレンズによって異なり、設定時の刻み幅は、「1/2段」または「1/3段」をメニューで設定できます。装着しているレンズの最小の刻み幅で調整することもできます。また、ショルダースタイルグリップユニットSG-1（別売）を装着すると、SG-1からカメラのアイリスを調整できます。

C700 GS PL **C700 FF PL** PLレンズ装着時は、レンズの12ピンケーブルを本機に接続すると、アイリスが調整できます。

* レンズによって使用できる調整方法が異なる（🕮 285）。

マニュアルアイリス：　電子ダイヤルやHOME画面、ブラウザーリモート（🕮 200）で手動調整する。

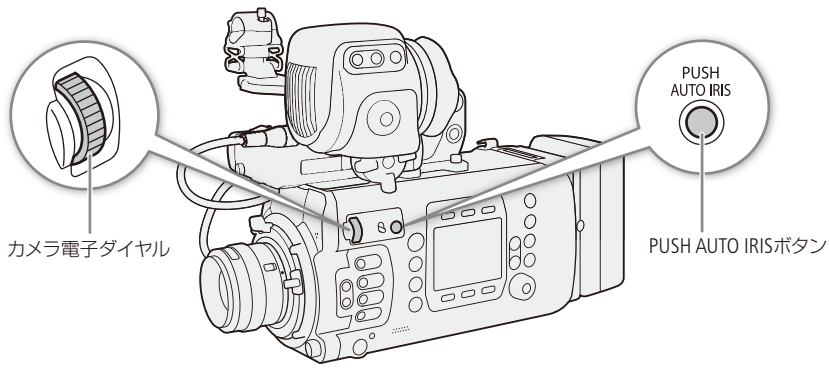
プッシュオートアイリス：　PUSH AUTO IRISボタンやブラウザーリモート（🕮 200）で一時的に自動調整する。

オートアイリス：　適正露出になるように常に自動調整する。

カメラからのアイリス調整に対応するEFシネマレンズ／放送用レンズを使うとき

レンズ側の操作部／設定がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート
CN7×17 KAS S/E1、CN7×17 KAS S/P1 CN10×25 IAS S/E1、CN10×25 IAS S/P1 CN20×50 IAS H/E1、CN20×50 IAS H/P1 放送用レンズ（🕮 285）	アイリス動作モード切替えスイッチ	A
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	アイリスオート／マニュアル切替えスイッチ	A



MEMO

ショルダースタイルグリップユニットSG-1を装着している場合

本機からアイリスを調整するときは、SG-1のアイリス制御切り換えスイッチをAに設定してください。詳細はSG-1の使用説明書をご覧ください

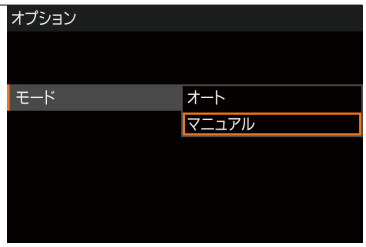
■ マニュアルで調整する

HOME画面から調整する

1 アイリスモードをマニュアルに設定する

● オートアイリス対応レンズ装着時のみ設定可能。非対応レンズ装着時はマニュアル固定となる。

① HOME：「IRIS」➤「OPTIONS」➤「モード」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「カメラ設定」➤「Iris」➤「モード」
【代替操作】「Irisモード」アサインボタン



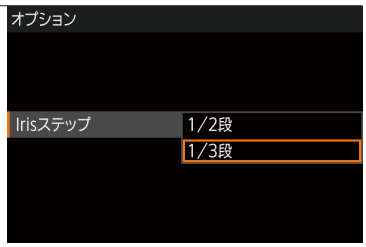
② 「マニュアル」を選ぶ➤SETを押す。

● アイリス調整に対応するEFシネマレンズ／放送用レンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする（92）。

2 設定時の刻み幅を選ぶ

① 「Irisステップ」を選ぶ➤SETを押す。
【代替操作】EVF：「カメラ設定」➤「Iris」➤「Irisステップ」

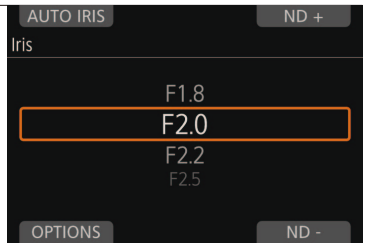
② 「1/2段」または「1/3段」のいずれかを選ぶ➤SETを押す。



● HOME：「IRIS」➤「OPTIONS」➤「Irisファイン」を「入」にすると、装着しているレンズの最小の刻み幅で調整できる（画面には「Irisステップ」の刻み幅で表示する）。

3 F値を調整する

① BACKを押す。
② SELECTダイヤルを回してF値を選ぶ➤SETを押す。
【代替操作】「Iris+」／「Iris−」アサインボタン



電子ダイヤルで調整する

対応レンズを装着している場合、電子ダイヤルにアイリスを割り当てると、カメラ本体の電子ダイヤルを使って、レンズの最小の刻み幅でアイリスを調整できます。電子ダイヤルは、CUSTOM（電子ダイヤル切り換え）スイッチで2つの機能を切り換えて使用でき、CUSTOMスイッチの2つの機能はメニューで設定できます。

1 アイリスモードを設定可能なときはマニュアルに設定する（93）

- アイリス調整に対応するEFシネマレンズ／放送用レンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする（92）。

2 CUSTOMスイッチを「1」に切り換える

- CUSTOMスイッチにIrisが割り当てられていないときは、89ページの操作1の要領で割り当てる。

3 電子ダイヤルを回してF値を調整する

- 調整したF値が画面に表示される。

MEMO

- MENU：「システム設定」➤「電子ダイヤル方向」➤「カメラ」で、電子ダイヤルの操作方向を変更することができます（237）。
- 接点のないEFレンズやEFシネマレンズ*を装着しているときは、本機でアイリスを調整できません。レンズ側で調整してください。

  * アイリス調整に対応するEFシネマレンズ／放送用レンズ（285）を除く。
- ズーム操作によりF値が変化するEFレンズを使うときは、HOME：「IRIS」➤「OPTIONS」➤「Zoom連動F値補正」で、ズームに連動してF値を補正するかどうかを指定できます（225）。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）でアイリスを調整するときは、RC-V100のIRIS（アイリス）ダイヤルを右に回すとF値が小さくなり、左に回すとF値が大きくなります（初期状態）。

表示をT値に切り換えるには（EFシネマレンズのみ）

➤ HOME：「IRIS」➤「OPTIONS」➤「Iris表示」（225）

- 画面に表示されるF値（T値）がレンズの指標と異なることがあります。
- アイリス調整に対応するEFシネマレンズまたは放送用レンズを装着時、アイリスがクローズに近づくと、モニター画面のF値（T値）が灰色で表示されます。
- アイリス調整に対応するEFシネマレンズまたは放送用レンズを装着して、アイリスがオープンまたはクローズの状態からF値を変更するとき、アイリスが動作するまでに複数回の操作が必要なことがあります。

■ 一時的にオートで調整する（プッシュオートアイリス）

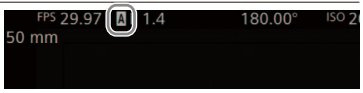
PUSH AUTO IRIS（プッシュオートアイリス）ボタンを押している間、絞りを自動的に調整して適正な露出にします。

1 アイリスモードを設定可能なときはマニュアルに設定する（93）

- アイリス調整に対応するEFシネマレンズ／放送用レンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする（92）。

PUSH AUTO IRIS

2 PUSH AUTO IRISボタンを押し続ける



【代替操作】HOME：「IRIS」➤「AUTO IRIS」

- 適正露出になるように絞りが自動的に調整される。
- モニター画面のF値の左にAが表示され、調整にともなってF値が更新される。

PUSH AUTO IRIS

3 PUSH AUTO IRISボタンを離す

- 絞りの自動調整が終了し、ボタンを離したときのF値が固定される。F値の左のAは消える。

MEMO

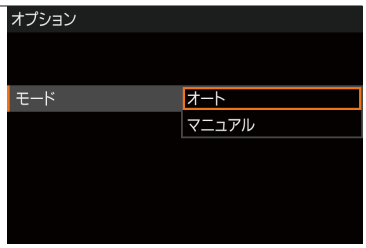
- アイリスを自動で調整するときの応答性を、HOME：「IRIS」➤「OPTIONS」➤「AEレスポンス」で設定できます（🕮 224）。
- スロー &ファストモーション記録のときは、プッシュオートアイリスを使用できません。

オートで調整する（オートアイリス）

対応するEFレンズ（🕮 285）を装着しているときは、アイリスを常に自動調整できます。

IRIS

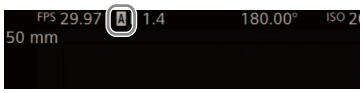
1 アイリスモードをオートに設定する



① HOME：「IRIS」➤「OPTIONS」➤「モード」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「カメラ設定」➤「Iris」➤「モード」
【代替操作】「Irisモード」アサインボタン

② 「オート」を選ぶ➤SETを押す。

- アイリス調整に対応するEFシネマレンズ／放送用レンズ装着時は、レンズのアイリス設定をオートにする（🕮 92）。
- 適正露出になるように絞りが自動的に調整される。
- モニター画面のF値の左にAが表示され、調整にともなってF値が更新される。

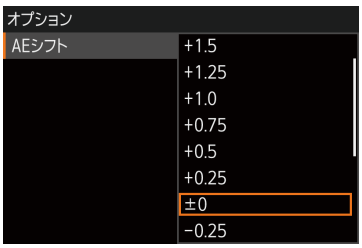


MEMO

- スロー &ファストモーション記録のときは、オートアイリスを使用できません。
- C700 FF C700 FF PL「センサーモード」を「フルサイズ」に設定して、EF-Sレンズまたはスーパー 35mmのレンズを装着したときは、適正な露出になりません。
- 次のときはF値が変わることがあります。
  - EFシネマレンズの内蔵エクステンダーとアイリス補正機能を使用にしていて、オートアイリスからマニュアルアイリスに切り換えたとき。
  - Iris表示のT値／ F値を切り換えたとき。
  - レンズのアイリス設定のオート／マニュアルを切り換えたとき。
- アイリスのゲインを調整できるEFシネマレンズ／放送用レンズの装着時、レンズのアイリスゲインが高いと撮影シーンによってはハンチング（絞りが不安定になること）が発生することがあります。このときは、レンズのアイリスゲインを初期設定に戻してください。

露出を調整する（AEシフト）

プッシュオートアイリスやオートアイリスで絞りを自動調整するとき、露出を意図的に補正して明るめや暗めに撮影することができます。補正量は－2段～＋2段まで17段階で設定できます。

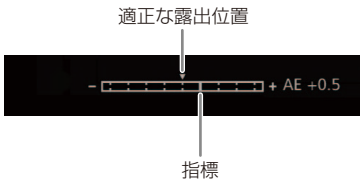


① HOME：「IRIS」➤「OPTIONS」➤「AEシフト」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「カメラ設定」➤「AE」➤「AEシフト」
② いずれかの値を選ぶ➤SETを押す。

－2.0、－1.75、－1.5、－1.25、－1.0、－0.75、－0.5、－0.25、±0、+0.25、+0.5、+0.75、+1.0、+1.25、+1.5、+1.75、+2.0

【代替操作】「AEシフト+」／「AEシフト－」アサインボタン

露出バー

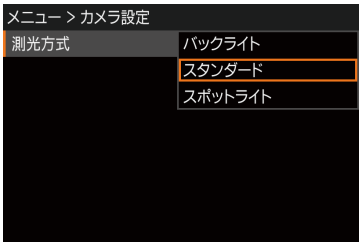


現在の露出位置を露出バー *の指標の位置で確認できます。図の「適正な露出位置」は補正量が±0の時の明るさの目標値を示します。測光方式（🕮 96）を変更すると、適正露出は変化します。

* 1/2段の刻み幅で－2段～ +2段まで表示でき、この範囲を超えると指標が点滅します。

測光方式を設定する

プッシュオートアイリスやオートアイリスで絞りを自動調整する場合、撮影シーンに合わせて測光方式を設定すると、より適正な明るさで撮影することができます。



① MENU / EVF：「カメラ設定」➤「測光方式」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ➤SETを押す。

バックライト：　逆光のシーンを撮影するとき、画面中の暗部をより明るく制御する。
スタンダード：　画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。
スポットライト：　スポットライトが当たった被写体を撮影するとき、スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。

● バックライトを選ぶと画面に[icon]が、スポットライトを選ぶと画面に[icon]が表示される。
【代替操作】「バックライト」／「スポットライト」アサインボタン

基本的なガンマ／カラーを設定する

ガンマ、色空間、カラーマトリクスを組み合わせたプリセットが、あらかじめカスタムピクチャーに用意されています。プリセットを使って簡単に設定を行うか、ガンマ、色空間、カラーマトリクスを個々に設定することができます。カスタムピクチャーの詳細については「カスタムピクチャーを使用する」(🕮 153)をご覧ください。なお、RAW形式のガンマは、この設定にかかわらずRAW用のガンマとなります。

ガンマ、色空間、カラーマトリクスのプリセットについて

あらかじめ次の組み合わせのプリセットが用意されています。プリセットを使わないときは、「CP MAIN」でガンマ、色空間、カラーマトリクスを個別に選択できます。プリセットまたは個別に選んだ後、「CP OTHERS」で詳細な設定を調整することもできます (🕮 154)。

プリセット (Preset)	ガンマ (Gamma)	色空間 (Color Space)	カラーマトリクス (Color Matrix)	特徴
Canon Log 3 : C.Gamut	Canon Log 3	Cinema Gamut	Neutral	ポストプロダクション処理を前提としたCanon Log 3ガンマを使用。Canon Logの特徴を残したままダイナミックレンジを拡大した。色空間はCinema Gamut、BT.2020 Gamut、DCI-P3 Gamut、BT.709 Gamutの4種類から選択する。
Canon Log 3 : BT.2020	Canon Log 3	BT.2020 Gamut	Neutral	
Canon Log 3 : DCI-P3	Canon Log 3	DCI-P3 Gamut	Neutral	
Canon Log 3 : BT.709	Canon Log 3	BT.709 Gamut	Neutral	
Canon Log 2 : C.Gamut	Canon Log 2	Cinema Gamut	Neutral	ポストプロダクション処理を前提としたCanon Log 2ガンマを使用。Canon Logよりダイナミックレンジが広く、暗部の階調性が高い。色空間はCinema Gamut、BT.2020 Gamut、DCI-P3 Gamut、BT.709 Gamutの4種類から選択する。
Canon Log 2 : BT.2020	Canon Log 2	BT.2020 Gamut	Neutral	
Canon Log 2 : DCI-P3	Canon Log 2	DCI-P3 Gamut	Neutral	
Canon Log 2 : BT.709	Canon Log 2	BT.709 Gamut	Neutral	
Canon Log	Canon Log	BT.709 Gamut	Cinema EOS Original	ポストプロダクション処理を前提としたCanon Logガンマを使用。ダイナミックレンジが広く、ポストプロダクションに適した色調。
BT.2020	Wide DR	BT.2020 Gamut	Neutral	広いダイナミックレンジを実現。色空間はBT.2020 GamutとBT.709 Gamutから選択。
BT.709	Wide DR	BT.709 Gamut	Neutral	

MEMO

Canon LogなどのLogガンマを使用する

- ポストプロダクション処理を前提とするガンマで、撮像素子の特性を最大限に引き出す広いダイナミックレンジを実現できます。
- 撮影中、ビューファインダー (VIDEO端子)や映像出力端子の出力にLUTを適用し、モニタリングに適したガンマ／色空間に変換できます。
- 撮影したクリップをポストプロダクション処理する際、LUT(ルックアップテーブル) *を適用できます。

* 最新のLUTデータについては、キヤノンのホームページでご確認ください。

■ カスタムピクチャーファイルを選ぶ

撮影に使用するカスタムピクチャーファイルを選択します。あらかじめ、画質設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておくと、リストから選ぶだけで希望の画質に調整することができます。カスタムピクチャーファイルの編集／登録、名称変更、プロテクト、コピーを行うときも、その対象となるカスタムピクチャーファイルを選びます。

1 カスタムピクチャーファイルを選ぶ

① HOME：「COLOR」➤「CP OTHERS」➤「ファイル」➤「選択」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「Custom Picture」➤「ファイル」➤「選択」
- カスタムピクチャーの選択画面が表示される。
- 本機に保存されているカスタムピクチャーファイル（C1 ～ C20）が選択可能になる。
- SDカードに入っているカスタムピクチャーファイルを使うときは、あらかじめ本機にコピーする（155）。

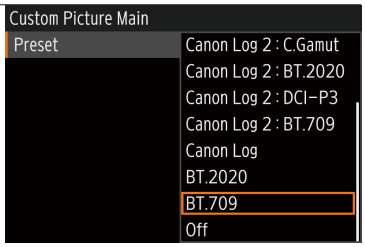
② SELECTダイヤルを回して、いずれかのカスタムピクチャーファイルを選ぶ➤OK（本体メニュー）またはSET（モニタリングメニュー）を押す。
- 選んだカスタムピクチャーファイルに登録されている設定で本機が調整される。
- 現在のガンマと色空間の設定が、HOME画面に常に表示される。

■ ガンマ、色空間、カラーマトリクスを選ぶ

1 プリセットを選ぶ

① HOME：「COLOR」➤「CP MAIN」➤「Preset」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「Custom Picture」➤「Preset」

② いずれかを選ぶ➤SETを押す。
- プリセットを使用しないときは「Off」を選ぶ。
- プリセットを選んだときは、以降の操作は不要。

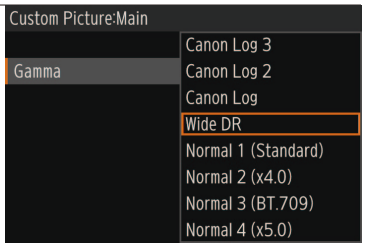


2 「Off」を選んだとき　ガンマ、色空間、カラーマトリクスを個別に選ぶ

① 「Gamma」を選ぶ➤SETを押す。
【代替操作】EVF：「Custom Picture」➤「Main Settings」➤「Gamma」

② いずれかを選ぶ➤SETを押す。
参考 ▸▸「Main Settings」➤「Gamma」、「Color Space」、「Color Matrix」（157）

③ 同様に「Color Space」と「Color Matrix」を選んで、色空間とカラーマトリクスを選択する。



ホワイトバランスを調整する

照明や太陽光などの光源の色温度に応じて、ホワイトバランスを設定することができます。調整のしかたには次の4種類があります。蛍光灯下で撮影するときは、ホワイトバランスセットで調整してください。ブラウザーリモート（🕮 200）を使って調整することもできます。

オートホワイトバランス（AWB）：　常に適切なホワイトバランスになるように自動調整する。

ホワイトバランスセット：　グレーカードや白い無地の被写体を写して基準白色を取り込む。セットAとセットBの2種類の設定を登録でき、色温度（K）と色補正値（CC）*の微調整が可能。

プリセット設定：　「☀（太陽光）」または「☀（電球）」のいずれかを選ぶ。色温度（K）と色補正値（CC）*の微調整が可能。

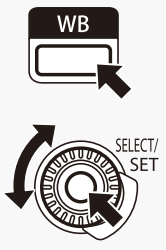
ユーザー設定：　2000K ～ 15000Kの範囲の色温度で設定し、5種類の設定を保存できる。色温度（K）と色補正値（CC）*の微調整が可能。任意の設定名に変更することも可能。

* マゼンタ／グリーン方向の補正。Color Compensation。

MEMO

- カスタムピクチャーの「Color Matrix Tuning」または「White Balance」を設定しているときは、それらの設定がホワイトバランス設定より優先されます。
- HOME：「WB」➤「OPTIONS」➤「ショックレスWB」を「入」にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値がなめらかに変化します（🕮 225）。
- HOME：「WB」➤「OPTIONS」➤「色温度ステップ」で、色温度の単位を「ミレッド」（5ミレッド単位）または「ケルビン」（100ケルビン単位）から選ぶことができます（🕮 225）。「ミレッド」に設定した場合でも、ケルビンに換算して画面に表示されます。なお、色温度ステップを変更すると、ホワイトバランスの設定が変わることがあります。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）のA ／ Bボタン、PRESETボタン、🎨ボタン、AWBボタンを使って、調整することもできます。
- 本機で表示または設定する色温度は目安です。

ホワイトバランスの調整方法を選ぶ



1 **調整方法を選ぶ**

① HOME：「WB」を選ぶ。
【代替操作】カメラダイレクト設定（🕮 83）

② SELECTダイヤルを回して、いずれかの調整方法を選ぶ。
【代替操作】「AWB AWB」、「🎨セットA」、「🎨セットB」、「☀太陽光」、「☀電球」、「WB1 USER_01」～「WB5 USER_05」アサインボタン

■ オートホワイトバランス（AWB）で調整する

常に適切なホワイトバランスになるように自動で調整します。光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスも自動的に調整し直されます。

1 オートホワイトバランスを選ぶ

① 調整方法に「AWB AWB」を選ぶ（99）。
② SETを押す。
- 画面にAWBと、色温度（K）／色補正値（CC）が表示される。

MEMO

オートホワイトバランスでうまくいかないとき

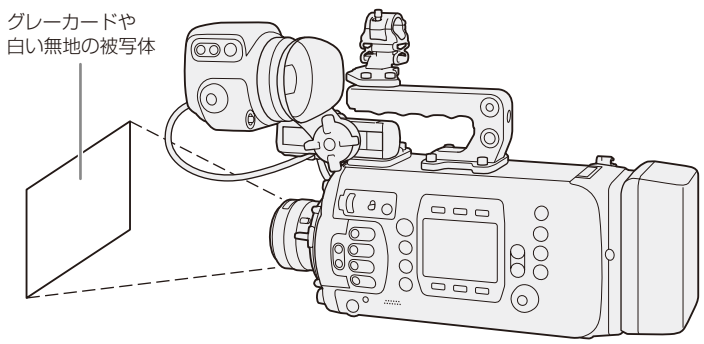
次のような条件で撮影する場合、画面の色が不自然なときは（ホワイトバランスセット）で調整してください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯／ LED照明下での撮影。

- オートホワイトバランスの応答性を、HOME：「WB」➤「OPTIONS」➤「AWBレスポンス」で設定できます（225）。
- 「AWBホールド」を割り当てたアサインボタンを押して、オートホワイトバランスの動作を一時停止させることができます。もう一度押すか、他の調整方法に切り換えると解除されます。

■ ホワイトバランスセットで調整する

実際に撮影する環境下で基準白色を取り込みます。「セットA」と「セットB」の2種類の設定を登録できます。



1 ホワイトバランスセットを選ぶ

① 調整方法に「セットA」または「セットB」を選ぶ（99）。
② 基準白色の取り込みを行わないとき SETを押す。
- 操作4に進む。

③ HOME画面のときは「WB SET」を押す。

2 実撮影と同じ照明条件下にグレーカードや白い無地の被写体を置き、画面の中央に写す

3 基準白色を取り込んで、登録する

① HOME画面のときは「OK」を押す。
【代替操作】「White Balanceセット」アサインボタン（カメラダイレクト設定）
- コントロールディスプレイで「」が点滅表示し、モニター画面で「A」または「B」が速く点滅する。
- 調整中は、グレーカードや白い無地の被写体をモニター画面の中央に写し続ける。
- 「実行中」→「WB画面」（モニター画面では点滅→点灯）に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

4 必要に応じて微調整する（103）

MEMO

ホワイトバランスセットで調整するとき

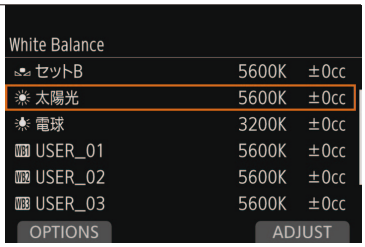
- 場所や明るさが変わったときは、セットし直してください。
- 光源によっては、ごくまれにが点滅したままになる（モニター画面では調整値も一緒に点滅）ことがありますが、その場合でもオートホワイトバランスより適切に調整されていますので、そのまま撮影できます。
- 調整後に色温度値と色補正値が灰色で表示されることがあります。これは、表示可能な範囲を超えたためで、調整自体は適切に行われています。

■ プリセット設定／ユーザー設定で調整する

色温度を指定するか、屋外（太陽光）用、または屋内（電球）用にプリセットされた設定を選んでホワイトバランスを調整します。色温度は、設定範囲が2000K ～ 15000Kの範囲で設定できます。

1 プリセット設定／ユーザー設定を選ぶ

① 調整方法に「☀太陽光」、「✱電球」、「WB1 USER_01」～「WB5 USER_05」のいずれかを選ぶ（📖 99）。



2 必要に応じて微調整する（📖 103）

3 SETを押す

ユーザー設定の名前を変更する

1 名前を変更するユーザー設定を選ぶ

① 調整方法に「WB1 USER_01」～「WB5 USER_05」のいずれかを選ぶ（📖 99）。

2 名前を変更する

① 「RENAME」を押す。
② 8文字の英数字、記号で名前を入力する。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」（📖 41）

ホワイトバランスの設定を微調整する

オートホワイトバランス以外の調整方法で行ったホワイトバランス設定は、色温度（K）と色補正値*（CC）の2つの方法で微調整することができます。

* マゼンタ／グリーン方向の補正。

調整可能な範囲

調整方法	調整可能範囲	
	色温度（K）	色補正値（CC）
☀太陽光	4300K ～ 8000K	−5 CC ～ +5 CC
電球	2700K ～ 3700K	
WB1ユーザー設定／ホワイトバランスセット	2000K ～ 15000K	−20 CC ～ +20 CC

1 微調整する調整方法を選ぶ（99）

2 微調整する

① 「ADJUST」を押す。
【代替操作】カメラダイレクト設定（83）
② 「< >」またはSETを押して「色温度」または「CC」を選ぶ。
③ SELECTダイヤルを回して、値を選ぶ ➤ SETを押す。
- おおまかに調整するときは、「≪」または「≫」を押して調整可能。
- 「RESET」を押すと初期値（5600K、±0 CC。☀のときは3200K）に戻る。

④ 調整が終わったら、「OK」を押す。

MEMO

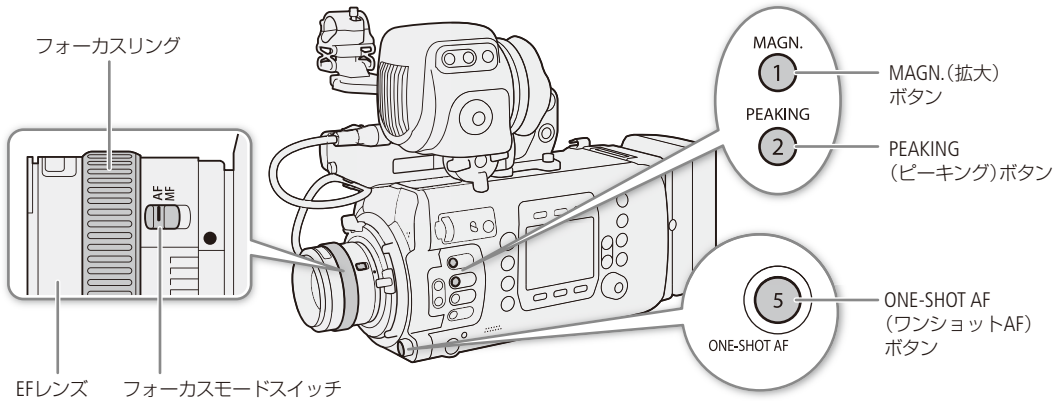
- ホワイトバランスセットの調整後、色温度／色補正値が灰色で表示されているときは、微調整できません。

フォーカスを調整する

フォーカス調整のしかた*1には次の6種類があり、AFの方式にはデュアルピクセルCMOS AFを使用します。マニュアルフォーカスで調整中は、デュアルピクセルフォーカスガイドやピーキング（輪郭強調）表示、拡大表示などのフォーカスアシスト機能を使うとピントを合わせやすくなります。ブラウザーリモート（🕮 200）を使って調整することもできます。

マニュアルフォーカス：	レンズのフォーカスリングを回すか、ブラウザーリモートのフォーカス操作ボタンを押して手動でフォーカスを調整する。
ワンショットAF*2：	ONE-SHOT AFボタンやブラウザーリモートで一時的に自動調整する。
AFブーストMF*2：	大まかな調整はマニュアルで行い、合焦位置に近づくとAFで自動調整する。AFロックでフォーカス位置を固定することも可能。
コンティニュアスAF*2：	フォーカスを常に自動調整する。AFロックでフォーカス位置を固定することも可能。
顔検出AF*2：	人物の顔を検出して自動的にピントを合わせ、被写体が動いても追尾する。
追尾*2：	選んだ被写体を認識し、被写体が動いても追尾する。

*1 レンズによって使用できる調整方法が異なる（🕮 285）。
*2 **C700** **C700 FF** のみ。マニュアルフォーカスレンズ装着時を除く。



調整方法と必要な設定

調整方法		EFレンズのフォーカスモードスイッチ*1	AFモード*2
マニュアルフォーカス	フォーカスリング	MF	—
		AF*3	ワンショット
	ブラウザーリモート	AF	
ワンショットAF	ONE-SHOT AFボタン	AF	ワンショット
	ブラウザーリモート		
AFブーストMF	フォーカスリング＋自動	AF	AFブーストMF
	ブラウザーリモート＋自動	AF	
コンティニュアスAF	自動（カメラ本体）	AF	連続
	自動（ブラウザーリモート）		
顔検出AF*4 ／追尾*5	カメラ本体	AF	ワンショット／AFブーストMF ／連続
	ブラウザーリモート		

*1 フォーカス調整に対応するEFシネマレンズ／放送用レンズ（🕮 285）の操作については、下表を参照のこと。
*2 ALT：「AF」➤「OPTIONS」➤「AFモード」の設定。
*3 レンズによってはフォーカスリングによる調整ができないことがある。
*4 ALT：「AF」➤「FACE」で有効にする。
*5 ALT：「AF」➤「TRACKING」で有効にする。

カメラからのフォーカス調整に対応するEFシネマレンズ／放送用レンズを使うとき

レンズ側の操作部／設定がレンズによって異なります。詳細はレンズの説明書をご覧ください。

レンズ	レンズの操作部名称	オート	マニュアル
CN7×17 KAS S/E1、CN7×17 KAS S/P1 CN10×25 IAS S/E1、CN10×25 IAS S/P1 CN20×50 IAS H/E1、CN20×50 IAS H/P1 放送用レンズ（🕮 285）	フォーカスサーボ／マニュアル切替えノブ	SERVO	MANU.
CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	オートフォーカス／マニュアルフォーカス切替えスイッチ	AF	MF

■ マニュアルで調整する

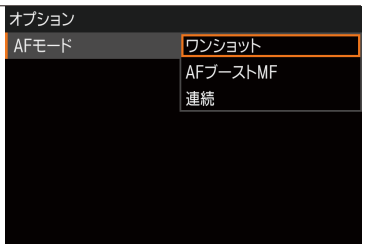
マニュアルでフォーカスを調整します。

1 AFモードを「ワンショット」に設定する

① ALT：「AF」➤「OPTIONS」➤「AFモード」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「カメラ設定」➤「フォーカス」➤「AFモード」

② 「ワンショット」を選ぶ➤SETを押す。

● EFレンズの場合は、レンズのフォーカスモードスイッチをMFにしても良い。フォーカス調整に対応するEFシネマレンズ／放送用レンズの場合は、レンズのフォーカス設定をマニュアルにしても良い（🕮 105）。



2 フォーカスリングを回して、ピントを合わせる

【代替操作】ALT：「AF」➤SELECTダイヤルで調整

MEMO

● EFレンズによっては、フォーカスモードスイッチをAFにしたまま、フォーカスリングで調整できるものがあります。
● ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。
● 電源を入れたままで放置するとピントがボケることがあります。これはレンズとカメラ内部の温度上昇によってピント面がわずかに移動するためです。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。
● フォーカス調整時にレンズの先端部分やフォーカスリングが動くときは、動いている部分に触れないでください。
● リモートコントローラー RC-V100（別売）を使うとき、初期設定では、RC-V100のFOCUS（フォーカス）ダイヤルを右に回すと無限方向に、左に回すと至近方向に調整できます。

レンズ（12ピンシリアル通信を使用）のアクセサリーでフォーカス調整するには

➤ MENU / EVF：「カメラ設定」➤「フォーカスコントロール」（🕮 226）

フォーカスアシスト機能を使う

フォーカスを調整するとき、デュアルピクセルフォーカスガイド、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示を使うと、ピントが合わせやすくなります。デュアルピクセルフォーカスガイドとピーキング、ピーキングと拡大表示を同時に使うこともできます。

C700 C700 FF デュアルピクセルフォーカスガイド

デュアルピクセルフォーカスガイドをONにすると、現在のフォーカス位置から合焦位置への調整方向と調整量を、ガイド枠で視覚的に表示します。ガイド枠の意味（調整方向、調整量）は次のとおりです。「顔検出」と併用すると、ガイド枠はメインの被写体と判断した顔の目の付近に表示されます。

1 デュアルピクセルフォーカスガイドを有効にする

① ALT：「F. ASSIST.」➤「GUIDE」を選ぶ。
【代替操作】EVF：「アシスト設定」➤「フォーカスガイド」➤「設定」➤「入」
【代替操作】「フォーカスガイド」アサインボタン

ガイド枠を移動するとき（追尾がONまたは顔検出枠表示中を除く）

「FRAME」➤「▲」／「▼」／「◀」／「▶」を押して移動させる。
【代替操作】ビューファインダーのジョイスティック／ SELECTダイヤル操作
● 「CENTER」を押すと中央に戻る。

2 必要に応じて、サブ枠を表示する

① ALT：「F. ASSIST.」➤「OPTIONS」➤「フォーカスガイド」➤「サブ枠表示」を「入」にする。
● ビューファインダーのSETを押すと、フォーカスガイド枠とサブ枠が入れ換わる。

MEMO

● 次の画面を表示中に、本体のSETを押すとフォーカスガイド枠とサブ枠が入れ換わります。
- AF画面（ALT：「AF」）、AF枠移動画面（ALT：「AF」➤「FRAME」）
- フォーカスアシスト画面（ALT：「F.ASSIST.」）、フォーカスアシスト枠移動画面（ALT：「F. ASSIST. 」➤「FRAME」）

● オートフォーカスでピントが合いにくい撮影条件／設定（📖 112）では、ガイドが正しく表示されないことがあります。

デュアルピクセルフォーカスガイドが使えないとき
- ワンショットAFの調整中や、コンティニュアスAFで調整中。
- 現在のF値がF11以上のとき。
- 一部のEFシネマレンズ（📖 285）を除く、マニュアルフォーカスレンズ装着時。

● デュアルピクセルフォーカスガイドを「顔検出」と併用する場合、顔の向きによっては、ガイドが目の位置からずれることがあります。

ピーキング

ピーキングには、ピーキング1とピーキング2があり、メニューで切り換えて使用します。

PEAKING

1 PEAKING(ピーキング)ボタンを押す

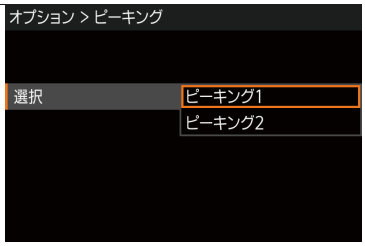
【代替操作】ALT：「F. ASSIST.」➤「PEAKING」
【代替操作】EVF：「アシスト設定」➤「ピーキング」➤「MON.+HDMI 出力」➤「入」

- MON.端子とHDMI OUT端子のモニター画面に PEAK1 または PEAK2 が表示され、画面の映像の輪郭が合焦状態に応じて強調される。
- もう一度、PEAKINGボタンを押すと、ピーキング表示が解除される。
- EVF：「アシスト設定」➤「ピーキング」➤「VIDEO出力」で、ビューファインダーに表示することもできる。

ALT

2 ピーキング1またはピーキング2を選ぶ

① ALT：「F. ASSIST.」➤「OPTIONS」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「アシスト設定」
② 「ピーキング」➤「選択」を順に選ぶ。
③ 「ピーキング 1」、「ピーキング 2」のいずれかを選ぶ➤SETを押す。



拡大表示

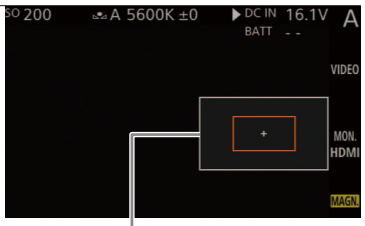
2種類の倍率で表示できます。使用できる倍率はセンサーモードによって異なります。

MAGN.

1 MAGN.(拡大)ボタンを押す

【代替操作】ALT：「F. ASSIST.」➤「MAGN.」
【代替操作】EVF：「アシスト設定」➤「Magnification」➤「MON.+HDMI 出力」➤「入」

- モニター画面に MAGN. が表示され、MON.端子とHDMI OUT端子の出力画面の中心部*を中心に拡大される。
  * 各種AF枠や顔検出枠、フォーカスガイド枠が表示されているときは、枠の中心部となる。
- 拡大領域の位置を示す表示が画面に出る。
- ビューファインダーのMAGN.ボタンまたはEVF：「アシスト設定」➤「Magnification」➤「VIDEO出力」で、ビューファインダーの画面を拡大することもできる



2 必要に応じて拡大位置の移動、倍率の切り換えを行う

① ALT：「F. ASSIST.」➤「✣ FRAME」➤「▲」／「▼」／「◀」／「▶」を押して、拡大位置を移動させる。

【代替操作】ビューファインダーのジョイスティック／ SELECTダイヤル操作

- 拡大位置を中央に戻すときは、「CENTER」（スクリーンボタン）またはBACK（ビューファインダー）を押す。
- もう一度MAGN.ボタンを押すと拡大表示が解除される。

② SETを押すたびに、次のように倍率が切り換わる。

約2倍→約4倍→約2倍

C700 FF **C700 FF PL** センサーモード（🕮 224）が「フルサイズ」のとき：

約3倍→約6倍→約3倍

【代替操作】ビューファインダーのジョイスティックを押す

MEMO

ピーキング／拡大表示を使うとき

- ピーキングの色、ゲイン、周波数は、ALT：「F. ASSIST.」➤「OPTIONS」➤「ピーキング」➤「ピーキング 1」または「ピーキング 2」でそれぞれ設定できます。
- ビューファインダーまたは出力端子（MON.端子、HDMI OUT端子）に出力できます。各出力はメニューで個別に入／切できます（🕮 233、234）。なお、HDMI OUT端子の出力解像度が4096×2160または3840×2160の場合、HDMI OUT端子には出力しません。
- 「ピーキング」サブメニューまたは「Magnification」サブメニューの「フォーカスアシスト白黒」（🕮 233）で、画面の映像を自動的に白黒表示にできます。
- 記録される動画／静止画には影響しません。
- ALT：「F. ASSIST.」➤「OPTIONS」➤「Magnification」➤「記録時有効」を「入」にすると、記録中に拡大表示を使用できます。このとき、顔検出／追尾と、ブラウザーリモートのライブビュー映像表示は使用できません。

C700 C700 FF ワンショットAFで調整する

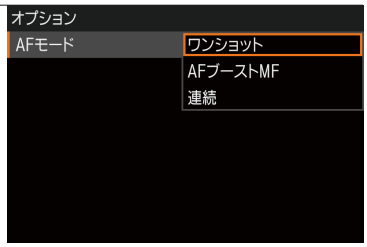
AF枠内の被写体に自動でピントを合わせます。操作を行ったときに1度だけ合焦動作を行います。AF枠の位置・サイズは変更できます。

1 EFレンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする（🕮 105）。
- 画面にAFが表示される。

2 AFモードを「ワンショット」に設定する

① ALT:「AF」➤「OPTIONS」➤「AFモード」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF:「カメラ設定」➤「フォーカス」➤「AFモード」
② 「ワンショット」を選ぶ➤SETを押す。
③ 必要に応じてAF枠の位置／サイズを変更する（📖 113）。



3 ONE-SHOT AFボタンを押し続ける

- モニター画面に白い枠（ワンショットAF枠）が表示され、自動的にフォーカスの調整を行う。顔検出AF（📖 114）使用中は、メインの被写体と判断した顔の枠が白いAF枠に変わる。
- ピントが合うと、枠が緑色に変わる。ピントが合わないときは、枠が赤色に変わる。
- ONE-SHOT AFボタンを離すと枠が消える。

MEMO

ワンショットAFが動作しないとき

- スロー &ファストモーション記録のとき。
- シャッタースピードのモードがスローで、設定値が1/4秒または1/3秒のとき。
- 顔検出AFが「顔限定」で、顔が検出されていないとき。
- 放送用レンズ（📖 285）またはPLレンズ装着時。

- 現在のF値がF11以上のときは、従来方式（コントラストAF）で調整します。

C700 C700 FF AFブーストMFで調整する

ねらった被写体に対して、大まかなフォーカス調整をマニュアルで行い、合焦位置に近づくとAFで自動調整します。4K以上の高解像度の撮影でピントが甘くなるのを防ぎたいときなどに使用します。また、調整情報が検出できないときに不確実な調整動作を行わないため、コンティニュアスAFよりも安定して調整できます。

1 EFレンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする（📖 105）。
- 画面にAFが表示される。

2 AFモードを「AFブーストMF」に設定する

① ALT:「AF」➤「OPTIONS」➤「AFモード」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF:「カメラ設定」➤「フォーカス」➤「AFモード」
② 「AFブーストMF」を選ぶ➤SETを押す。
- フォーカス位置が手動調整領域内のときは、画面に黄色の枠(AFブーストMF枠)が表示される。

③ 必要に応じてAF枠の位置／サイズを変更する(113)。

3 フォーカスリングを回して、調整する

- フォーカス位置が合焦位置に近づき自動調整領域に入ると、画面の枠が白色に変わり、自動的にピント合わせを行う。
- フォーカス位置が自動調整領域内にある間は、常に自動調整する。

C700 C700 FF コンティニュアスAFで調整する

本体記録領域の縦横それぞれ80%のエリア内の被写体を対象にして、フォーカスを常に自動調整します。

1 EFレンズのフォーカスモードスイッチをAFにする

- フォーカス調整に対応するEFシネマレンズの装着時は、レンズのフォーカス設定をオートにする(105)。
- 画面にAFが表示される。

2 AFモードを「連続」に設定する

① ALT:「AF」➤「OPTIONS」➤「AFモード」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF:「カメラ設定」➤「フォーカス」➤「AFモード」
② 「連続」を選ぶ➤SETを押す。
- 画面に白い枠(コンティニュアスAF枠)が表示され、継続したピント合わせを行う。

③ 必要に応じてAF枠の位置／サイズを変更する(113)。
- 顔検出AF(114)使用中は、メインの被写体と判断した顔に白い枠が表示される。

MEMO

オートフォーカスで調整するとき

- ピントが合う位置は、被写体条件や明るさ、ズーム位置などの撮影条件によってわずかに変動します。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。
- 至近端の内側にピント位置があるときは、レンズ端でAF 枠が赤色になります。

ピント合わせに時間がかかるとき

- フレームレートが29.97P、25.00P、24.00P、23.98Pのいずれかのとき。
- 一部のEFレンズでは、ピントが合うまでの時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。詳細情報については、キヤノンのホームページでご確認ください。

オートフォーカスの調整速度や応答性を変更するとき

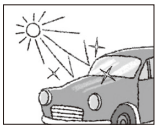
対応するEFレンズ装着時はオートフォーカスの調整速度や応答性を変更できます。対応レンズの詳細については、キヤノンのホームページをご覧ください。

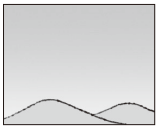
- ALT：「AF」➤「OPTIONS」➤「AFスピード」で、AFスピード*を10段階で選択できます（🕮 225）。
  * ピントが合うまでの速度。
- ALT：「AF」➤「OPTIONS」➤「AFスピード適用条件」で、AFスピードの設定が常に有効か、記録中のみ有効かを選択できます（🕮 226）。
- ALT：「AF」➤「OPTIONS」➤「AFレスポンス」で、AFの応答性を7段階で選択できます（🕮 226）。
- コンティニュアスAFで調整中にONE-SHOT AFボタンを押し続けると、一時的に最大のAFスピード／応答性で調整します。ピントが大きく外れた状態から素早く合焦させたいときや、合焦状態を維持して被写体に追従したいときなどに使用します。

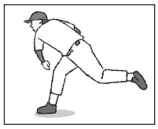
コンティニュアスAF が動作しないとき

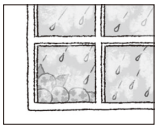
- フォーカスモードスイッチがないEFレンズを装着時。
- アイリスの調整中。オートアイリスに対応したEFレンズ（🕮 285）装着時を除く。
- REMOTE端子に接続したリモコンでフォーカス操作中。
- スロー &ファストモーション記録のとき。
- 放送用レンズ（🕮 285）およびPLレンズ装着時。

オートフォーカスでピントが合いにくい撮影条件／設定


強い光が反射


明暗差がない


動きが速い


水滴が付いたガラス越しの撮影

夜景

繰り返し模様

- ISO感度／ゲインの感度を拡張して（🕮 87）、拡張領域のISO/Gain値を設定しているとき
- カスタムピクチャーのガンマ（🕮 97）をCanon LogなどのLogガンマまたはWide DRに設定したとき
- 絞りを小絞りに設定したとき
- 遠近の被写体が同時に含まれるとき

フォーカス位置を固定する（AFロック）

コンティニュアスAFまたはAFブーストMF中にフォーカス位置を固定することができます。

AF LOCK

1 オートフォーカスの動作中 「AF LOCK」を選ぶ

① ALT：「AF」➤「AF LOCK」を押す。
【代替操作】「AFロック」アサインボタン
- フォーカスが固定され、モニター画面の白い枠（AF枠）と AF が灰色に変わる。顔を検出中は、メインの被写体の顔に灰色の枠が表示される。
- もう一度押すと解除される。

MEMO

AFロックが自動的に解除されるとき

- 電源の切／入、システム周波数の変更を行ったとき。
- レンズを着脱したとき。
- AFモードを「ワンショット」に変更したとき。
- スロー &ファストモーション記録のとき。

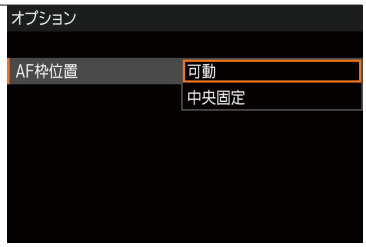
C700 C700 FF AF枠の位置／サイズを変更する

オートフォーカスで調整するときに、モニター画面に表示されるAF枠の位置・サイズを変更することができます。なお、顔検出中や被写体の追尾中は、顔や被写体に合わせてAF枠の位置／サイズは自動的に変更されます。

ALT

1 AF枠の位置を変更する

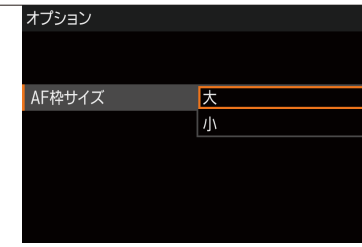
① ALT：「AF」➤「OPTIONS」➤「AF枠位置」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「カメラ設定」➤「フォーカス」➤「AF枠位置」
② いずれかを選ぶ➤ SETを押す。
可動： AF枠の位置を変更可能。
中央固定： AF枠は中央に固定。



③ 「可動」を選んだとき BACK➤「✣ FRAME」➤「▲」／「▼」／「◀」／「▶」を押して、AF枠の位置を変更する。
【代替操作】ビューファインダーのジョイスティック／ SELECTダイヤル操作
- 「CENTER」（スクリーンボタン）またはBACK（ビューファインダー）を押すと、AF枠の位置が中央に戻る。

2 AF枠のサイズを変更する

① ALT：「AF」➤「OPTIONS」➤「AF枠サイズ」を選ぶ。
【代替操作】EVF：「カメラ設定」➤「フォーカス」➤「AF枠サイズ」
② いずれかを選ぶ➤SETを押す。
大： 標準的なAF枠のサイズ。
小：「大」の横幅を1/3にしたサイズ。



C700 C700 FF 顔を検出してフォーカスを合わせる（顔検出AF）

人物の顔を検出して、検出した複数の人物の中からメインの被写体を自動的に決定し、メインの被写体が動いても自動的に追尾します。オートフォーカス機能を併用すれば、メインの被写体に自動的にピントを合わせることができます（顔検出AF）。また、デュアルピクセルフォーカスガイドを使用すれば、メインの被写体に手動でフォーカス調整することもできます。さらに、メインの被写体を変更することもできます。

1 顔検出を有効にする

① ALT：「AF」➤「FACE」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「カメラ設定」➤「フォーカス」➤「顔検出」➤「入」
【代替操作】「顔検出」アサインボタン
● 本体メニューのときは、もう一度押すと「切」になる。

② 「OPTIONS」➤「顔検出AF」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「カメラ設定」➤「フォーカス」➤「顔検出AF」
【代替操作】「顔検出AF」アサインボタン
③ 顔が検出されないときの動作を選ぶ➤SETを押す。
顔優先：AFモードの設定に応じた調整方法になる。
顔限定：ピントが固定される。
● モニター画面に（顔優先）または（顔限定）が表示される。

2 カメラを人物に向ける

- 検出したすべての顔に枠が表示される。複数の顔が検出されたときはメインの被写体を自動的に決定し、メインの被写体の顔の枠に◀と▶が付く。
- 顔限定の場合、顔検出時は AF が白色で、顔非検出時は AF が灰色で表示される。
- コンティニュアスAFのときは、メインの被写体と判断した顔に継続してピントを合わせる。
- ワンショットAFのときは、ONE-SHOT AFボタンを押すと、メインの被写体と判断した顔にピントを合わせる。
- 追尾（🕮 116）と併用すると、メインの被写体を確実に追尾することができる。

フォーカス対象の人物を選ぶとき

ALT：「AF」または「F.ASSIST.」➤「✥ FRAME」で「◀」／「▶」を押すと、メインの被写体が切り換わる。
【代替操作】ビューファインダーのジョイスティック（左右）／ SELECTダイヤル操作

AFモード／フォーカス操作と顔検出AFの動作

AFモード	フォーカス操作	顔検出AF			
		顔優先		顔限定	
		顔の検出あり	顔の検出なし	顔の検出あり	顔の検出なし
ワンショットAF	ボタン押下なし（マニュアルフォーカス）	マニュアルフォーカス			
	ボタン押下あり（ワンショットAF動作中）	検出した顔に合焦	AF枠内の被写体に合焦	検出した顔に合焦	マニュアルフォーカス
コンティニュアスAF	自動調整				
AFブーストMF	自動調整中				
	自動調整していないとき（黄色の枠が表示中）	マニュアルフォーカス			

MEMO

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れたりしているとき。顔が上下逆さまのとき。

顔検出AFが使用できない場合

- シャッタースピードが1/30秒未満（システム周波数が59.94 Hz時）、1/25秒未満（同50.00 Hz時）、1/24秒未満（同24.00 Hz時）のとき。
- スロー &ファストモーション記録モードのとき。
- フォーカスガイドのサブ枠を表示しているとき。
- マニュアルフォーカスレンズ装着時。
- ALT：「F. ASSIST.」➤「OPTIONS」➤「Magnification」➤「記録時有効」が「入」のとき。

- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。そのときは「顔検出」を「切」にしてください。

C700 C700 FF 選んだ被写体を追尾する

ねらった被写体を追尾し、AFモードの設定に応じて、追尾対象の被写体にピントを合わせることができます。

1 追尾を有効にする

① ALT：「AF」➤「TRACKING」を順に選ぶ。
【代替操作】「追尾」アサインボタン（モニタリングメニュー）

- 追尾待機モードになり、モニター画面に[ ]が表示される。
- 「追尾」アサインボタンまたはBACK（ビューファインダー）を押すと追尾待機モードを終了する。

2 追尾する被写体を選ぶ

① 「▲」／「▼」／「◀」／「▶」を押して、[ ]の中央を被写体に合わせる。

- 「CENTER」を押すと[ ]が画面の中央に移動する。

② 「START ⊡」を押す。
【代替操作】ジョイスティックを上下左右に押して被写体を選ぶ ➤ SETを押す。

- 追尾に失敗（[ ]が約1秒間赤色になる）したときは、もう一度被写体を選ぶ。

3 顔検出枠または[ ]が追尾枠に変わり、選んだ被写体の追尾が開始される

- コンティニュアスAFのときは、被写体にピントを合わせ続ける。
- ワンショットAFのときは、ONE-SHOT AFボタンを押すと、被写体にピントを合わせる。
- 本体のSELECTダイヤルを回すとフォーカスを調整できる。
- 「CANCEL ⊡」（スクリーンボタン）またはBACK（ビューファインダー）を押すと追尾を終了し、AFモードに応じたAF枠が表示される。
- SETまたは「追尾」アサインボタンを押すと、追尾待機モードに戻る。

MEMO

- 特徴が似た別の被写体を誤って追尾することがあります。そのときは、被写体を選択しなおしてください。

追尾が使用できない場合

「顔検出AFが使用できない場合」（🕮 115）と同じです。

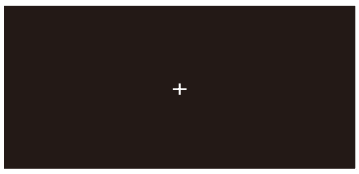
マーカー／ゼブラ／フォルスカラーを表示する

撮影時、モニター画面*に各種マーカーやゼブラパターンを表示することができます。これらの表示はビューファインダーまたは出力端子（MON.端子、HDMI OUT端子）に出力でき、個別に入／切できます（🕮 234）。記録される映像には影響しません。

* 画面表示の重畳（🕮 182）を入にしている出力先。

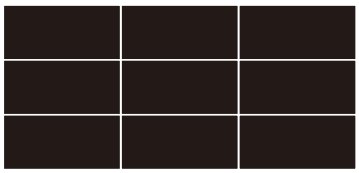
マーカーを表示する

構図を決める際のガイドとして、次の6種類のマーカーを表示することができます。



センターマーカー

水平マーカー



グリッド

セーフティーゾーンマーカー *1

アスペクトマーカー *2

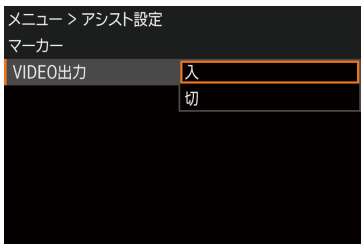
サブ記録領域マーカー

*1 セーフティーゾーンの領域は基準となる領域と、それに対する面積で設定できます。

*2 アスペクト比は「4:3」、「13:9」、「14:9」、「16:9」、「1.375:1」、「1.66:1」、「1.75:1」、「1.85:1」、「1.90:1」、「2.35:1」、「2.39:1」の11個または任意のカスタム比から選択できます。

マーカー表示を有効にする

マーカー表示を有効にします。ここで有効にしないと、マーカーを選んだだけでは表示されません。



① MENU / EVF：「アシスト設定」➤「マーカー」➤「VIDEO出力」または「MON.+HDMI出力」を順に選ぶ。

② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

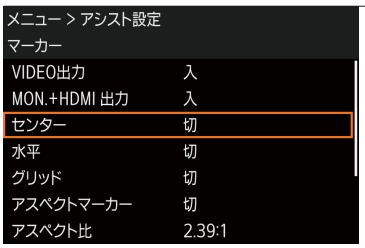
- マーカーが表示可能になる。
- マーカー表示をしないときは、ここで「切」を選ぶ。

【代替操作】「マーカー」、「マーカー：VIDEO」、「マーカー：MON.+HDMI」アサインボタン

表示したいマーカーを選ぶ

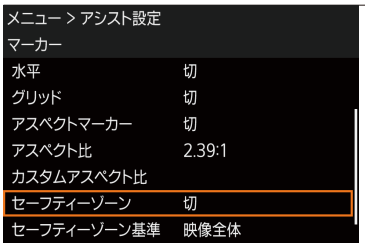
異なるマーカーを同時に表示することができます。ここでまず、表示したいマーカーを選択し、必要に応じて個別の設定をします。

例：センターマーカーとセーフティーゾーンマーカーを選択する場合



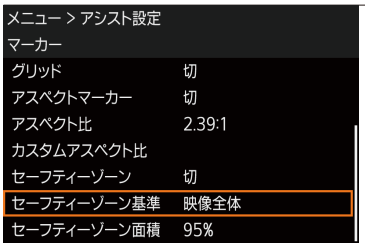
1 表示するマーカー（センターマーカー）を選ぶ

① MENU / EVF：「アシスト設定」➤「マーカー」➤「センター」を順に選ぶ。
② 「切」以外を選ぶ ➤ SETを押す。
- 指定した色のセンターマーカーが選択される。
- センターマーカー表示を解除するときは、ここで「切」を選ぶ。



2 表示するマーカー（セーフティーゾーンマーカー）を選ぶ

① 「セーフティーゾーン」を選ぶ。
② 「切」以外を選ぶ ➤ SETを押す。
- 指定した色のセーフティーゾーンマーカーが選択される。
- セーフティーゾーンマーカーを表示しないときは、ここで「切」を選ぶ。



3 マーカー（セーフティーゾーンマーカー）の個別設定（セーフティーゾーン基準、セーフティーゾーン面積）を行う

① 「アスペクトマーカー」を選ぶ。
② 「切」以外を選ぶ ➤ SETを押す。
- アスペクトマーカーの表示が有効になる。

③ 「セーフティーゾーン基準」を選ぶ ➤ SETを押す。
④ 「映像全体」または「アスペクトマーカー領域」を選ぶ ➤ SETを押す。
⑤ 「セーフティーゾーン面積」を選ぶ ➤ SETを押す。
⑥ 「80%」、「90%」、「92.50%」、「95%」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択した基準と面積を元にセーフティーゾーンの領域が変更される。

MEMO

アスペクトマーカーのアスペクト比をカスタマイズするには

① MENU / EVF：「アシスト設定」➤「マーカー」➤「アスペクト比」で「カスタム」を選ぶ ➤ SETを押す。
② 「カスタムアスペクト比」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ カスタムアスペクト比の数値を入力する。
参考 ➤➤「文字入力のしかた」（🕮 41）

- アスペクトマーカーのアスペクト比（カスタムアスペクト比を含む）が、記録信号形式のアスペクト比と一致する場合、アスペクトマーカーは表示されません。

ゼブラパターンを表示する

露出オーバーで白とびするおそれがある領域に、縞状のパターンを表示することができます。ゼブラパターンには「ゼブラ1」と「ゼブラ2」の2種類があり、2つを同時に表示することもできます。

ゼブラ1

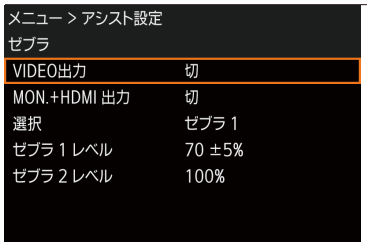
設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターン1を表示する。輝度レベルは5 ±5% ～ 95 ±5%の範囲（5%刻み）で設定可能。

ゼブラ2

設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターン2を表示する。輝度レベルは0% ～ 100%の範囲（5%刻み）で設定可能。

ゼブラ1+ゼブラ2

ゼブラ1とゼブラ2を同時に表示する。両者の表示条件が重なる領域では、ゼブラ1を優先して表示する。

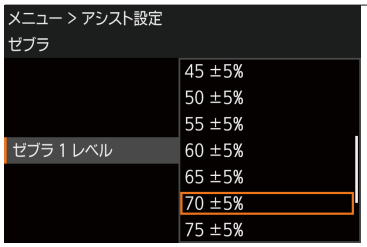


1 ゼブラパターンを有効にする

① MENU / EVF：「アシスト設定」➤「ゼブラ」➤「VIDEO出力」または「MON.+HDMI出力」を選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
【代替操作】「ゼブラ」、「ゼブラ：VIDEO」、「ゼブラ：MON.+HDMI」アサインボタン

2 ゼブラパターンを選ぶ

① MENU / EVF：「アシスト設定」➤「ゼブラ」➤「選択」を順に選ぶ。
② 「ゼブラ 1」、「ゼブラ 2」、「ゼブラ 1+2」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。



3 ゼブラパターンの輝度レベルを設定する

① 「ゼブラ 1 レベル」または「ゼブラ 2 レベル」を選ぶ。
② 輝度レベルを選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

- HDMI OUT端子の出力解像度が4096×2160または3840×2160の場合、HDMI OUT端子に出力されません。

■ フォルスカラーを表示する

撮影時、フォルスカラーを表示して、映像の輝度レベルを色で確認することができます。

本体のFALSE COLORボタンを押すと映像出力端子（MON.端子、HDMI OUT端子）の映像に、ビューファインダーのFALSE COLORボタンを押すとビューファインダー（VIDEO端子）の映像に、フォルスカラーが重畳されます。

【代替操作】MENU / EVF：「アシスト設定」➤「フォルスカラー」

【代替操作】「フォルスカラー：VIDEO」、「フォルスカラー：MON.+HDMI」、「フォルスカラー：MON.1」、「フォルスカラー：MON.2」、「フォルスカラー：HDMI」アサインボタン

MEMO

フォルスカラーのインデックスを表示するには

➤ MENU / EVF：「アシスト設定」➤「フォルスカラー」➤「インデックス表示」

フォルスカラーが出力されないとき

- HDMI OUT端子の出力解像度が4096×2160または3840×2160のとき（HDMI OUT端子に出力されない）。
- カラーバーを表示しているとき。

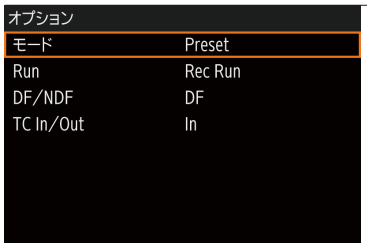
色	意味
赤	White clipping（白クリップ）
黄	Just below white clipping　（白クリップの直ぐ下）
ピンク	One stop over 18% gray（18%グレイより1段高いグレイ）
緑	18% gray（18%グレイ）
青	Just above black clipping（黒クリップの直ぐ上）
紫	Black clipping（黒クリップ）
無彩色	上記以外の明るさ

タイムコードを設定する

撮影時に内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともに記録メディアに記録されるほか、SDI OUT端子、MON.端子またはTIME CODE IN/OUT端子（🕮 126）に出力できます。再生時は、記録メディアから読み出したタイムコードをSDI OUT端子またはMON.端子に出力できます。また、外部のタイムコードジェネレーターに同期することもできます（🕮 124）。また、「システム周波数」が「59.94 Hz」のときは、ドロップフレームとノンドロップフレームを選択できます。

■ カウントアップ方式を選ぶ

歩進モード	歩進方法	内容
Preset（プリセット）	Rec Run（レックラン）	タイムコードは記録時に歩進する。タイムコードの初期値は任意に設定可能。同一のメディアに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。
	Free Run（フリーラン）	タイムコードは、記録状態に関係なく常に歩進する。初期値は任意に設定可能。
Regen.（リジェネ）	–	タイムコードは記録時に歩進する。記録メディアに記録されている最後のタイムコードを読み出し、その続きから歩進する。同一のメディアに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。



1 歩進モードを選ぶ

① TC：「OPTIONS」➤「モード」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「システム設定」➤「Time Code」➤「モード」
② いずれかを選ぶ➤SETを押す。
- 「Regen.」を選んだときは、以降の操作は不要。

2 「Preset」を選んだ場合　歩進方法を選ぶ

① 「Run」を選ぶ➤SETを押す。
② 「Rec Run」または「Free Run」を選ぶ➤SETを押す。

3 「Preset」を選んだ場合　任意の初期値を設定する

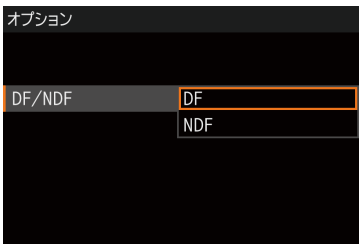
① BACK➤「SET TC」を押す。
【代替操作】EVF：「システム設定」➤「Time Code」➤「設定」➤「セット」
② 時、分、秒、フレームの数値を入力する。
参考 ➤「文字入力のしかた」（🕮 41）
- 「RESET」（本体メニュー）を押すと、タイムコードが「00:00:00.00」にリセットされる。
- 「Free Run」を選んでいるときは、この時点で設定値のタイムコードから歩進する。

MEMO

- 主記録形式が「ProRes（CFast）」でCFastカードが入っていないときは、SDカードが入っていても記録しません。そのため、歩進モードが「Regen.」でも、SDカードに記録されている最後のタイムコードは読み出しません。

ドロップフレーム／ノンドロップフレームを切り換える

ドロップフレーム（DF）またはノンドロップフレーム（NDF）を切り換えることができます。なお、フレームレートが29.97P、59.94i、59.94P以外のときはNDFに固定されます。



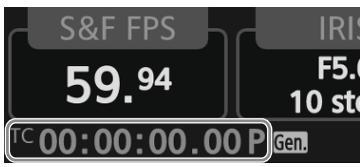
① TC：「OPTIONS」➤「DF ／ NDF」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「システム設定」➤「Time Code」➤「DF ／ NDF」
② 「DF」または「NDF」を選ぶ ➤ SETを押す。
- DFとNDFで画面上のタイムコード表示が次のように異なる。
  DFのとき　00：00：00．00
  NDFのとき　00：00：00：00

タイムコードを保持する（タイムコードホールド）

「Time Codeホールド」を割り当てたアサインボタン（🕮 148）を押すと画面に表示されるタイムコードを保持できます*。タイムコード保持中は、画面に「**H**」が表示されます。なお、保持中でもタイムコードは歩進し、保持を解除すると歩進していたタイムコードが表示されます。

* TIME CODE IN/OUT端子、SDI OUT端子またはMON.端子に重畳されるタイムコードはホールドされません。HDMI OUT端子の出力映像に表示されるタイムコードはホールドされます。

タイムコードの表示について



R：　Regen.（リジェネ）設定時
P：　Rec Run（レックラン）設定時
F：　Free Run（フリーラン）設定時
E：　タイムコード外部入力時
H：　タイムコードホールド時
表示なし：再生時

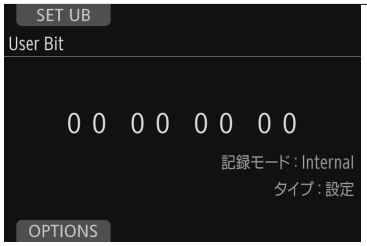
MEMO

- タイムコードのフレームカウントは、フレームレートが23.98P / 24.00Pのときは0 ～ 23、25.00P / 50.00i / 50.00Pのときは0 ～ 24、それ以外は0 ～ 29となります。
- ドロップフレーム、ノンドロップフレームを混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
- コイン型リチウム電池の残量があれば、バッテリーなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。
- 「Time Code」アサインボタンで、モニタリングメニューの「Time Code」サブメニューを表示することもできます。

ユーザービットを設定する

8桁の16進数（0 ～ 9、A ～ Fの英数字）、時刻または日付（年月日）をユーザービットとして設定し、映像と一緒にXF-AVCクリップに記録できます。ユーザービットには、撮影情報や記録した映像の管理情報など、映像に付加したい情報を自由に設定することができます。外部機器からタイムコードと同時にユーザービットを入力しているときは、外部入力したユーザービットを記録することもできます（125）。タイムコードを出力するときは、ユーザービットも同時に出力されます（126）。

任意の16進数を設定する



1 「SET UB」を選ぶ

① TC：「UB」➤「SET UB」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「システム設定」➤「User Bit」➤「タイプ」➤「設定」➤「セット」

2 8桁の英数字を入力する

参考 ▸▸「文字入力のしかた」（41）
● 「RESET」を押すと、ユーザービットが「00 00 00 00」にリセットされる。

時刻または日付を設定する

① TC：「UB」➤「OPTIONS」➤「タイプ」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「システム設定」➤「User Bit」➤「タイプ」
② 「時刻」または「日付」を選ぶ ➤ SETを押す。

外部機器と同期をとる

ゲンロック（GENLOCK）によって、外部の映像機器と本機の映像信号を同期させることができます。同期にはGENLOCK/SYNC OUT端子を使い、外部の同期信号を本機に入力するときはGenlock入力に、本機から同期信号を出力するときはSync出力に、メニューで切り換えます。また、本機のタイムコードを外部入力のタイムコードに同期させることもできます。同じジェネレーターのタイムコードを複数のカメラに入力すれば、マルチカメラ撮影を行うことができます。本機のタイムコードを他のカメラに出力してマルチカメラ撮影を行うこともできます。さらに、撮影／再生時にSDI OUT端子／ MON.端子の出力を編集機などに入力して、編集機で同一タイムコードの映像を記録することもできます。

■ 接続のしかた

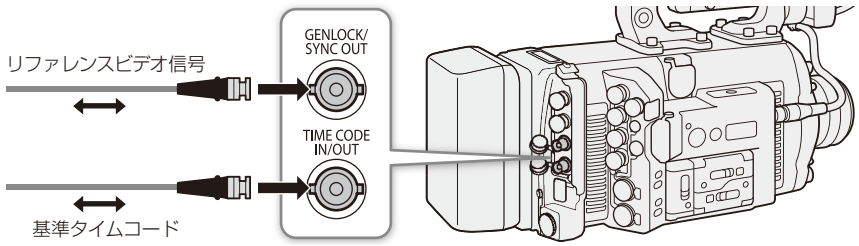
映像信号を同期させるとき

GENLOCK/SYNC OUT端子に下図のように接続して、リファレンスビデオ信号*を入出力します。GENLOCK/SYNC OUT端子はメニュー（後述）で端子の機能を切り換えて使用します。

* リファレンスビデオ信号として、入力にはHD三値信号またはアナログ·ブラックバースト信号が、出力にはHD三値信号が使用できます。

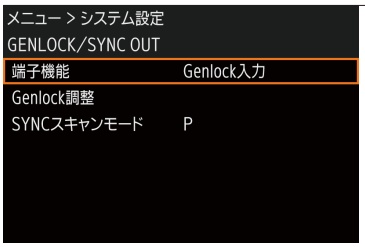
タイムコードを同期させるとき

TIME CODE IN/OUT端子に下図のように接続して、タイムコード信号を入力します。TIME CODE IN/OUT端子の入力／出力はメニュー（後述）で切り換えます。



■ 外部のリファレンスビデオ信号に同期する（GENLOCK）

同期信号（HD三値信号またはアナログブラックバースト信号）をGENLOCK/SYNC OUT端子に入力すると、自動的に内部のV同期／ H同期の位相を合わせます。なお、位相差0を中心として、約±0.4Hの範囲でH位相を調整することもできます。



1 GENLOCK ／ SYNC OUT端子の機能を「Genlock入力」に設定する

① MENU / EVF:「システム設定」➤「GENLOCK ／ SYNC OUT」➤「端子機能」を順に選ぶ。

② 「Genlock入力」を選ぶ ➤ SETを押す。

2 H位相を調整する

① 「Genlock調整」を選ぶ ➤ SETを押す。

② －1023から1023の範囲で調整値を入力する。

参考 ➤「文字入力のしかた」（📖 41）

● 「RESET」を押すと、H位相が調整前の値に戻る。

MEMO

- 同期可能なGENLOCK信号が入力されると約10秒後に同期が安定します。
- 入力されたGENLOCK信号を検知すると、画面に Gen. が点滅して表示され、入力信号に本機がロックすると点灯に変わります。
- 不正なGENLOCK信号が入力されると、同期が安定しないことがあります。この場合、タイムコードの記録も乱れることがあります。

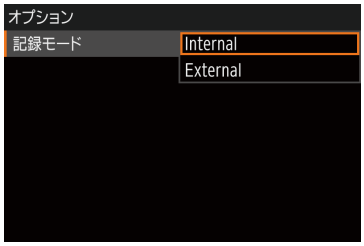
外部のタイムコード信号に同期する（タイムコード入力）

TIME CODE IN/OUT端子に入力されるLTC規格の信号を、タイムコードとして記録メディアに記録します。同時に入力されるユーザービットも記録できます。なお、TIME CODE IN/OUT端子は、メニューで入力モードに切り換えます。本機のタイムコードのカウントアップ方式（📖 121）が「Free Run（フリーラン）」のときのみ、タイムコードを入力できます。

① TC：「OPTIONS」➤「TC In ／ Out」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「システム設定」➤「Time Code」➤「TC In ／ Out」
② 「In」を選ぶ ➤ SETを押す。

外部入力したユーザービットを記録する

タイムコードと一緒に入力されるユーザービットを記録することができます。



① TC：「UB」➤「OPTIONS」➤「記録モード」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「システム設定」➤「User Bit」➤「記録モード」
② 「External」を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

- 記録信号形式のフレームレートが23.98P / 24.00Pのときは24フレーム信号のタイムコード、25.00P / 50.00i / 50.00Pのときは25フレーム信号のタイムコード、その他のフレームレートのときは30フレーム信号のタイムコードを入力できます。
- タイムコードが入力されると本機のタイムコードが同期します。TIME CODE IN/OUT端子からケーブルを外しても、外部ロック状態は保持されます。
- 入力されたタイムコードに本機がロックすると、画面のタイムコードの右に「E」が表示されます。
- タイムコードが入力されない、または不正な値が入力されているときは、TC：「OPTIONS」➤「モード」と「Run」で設定した内部タイムコードが記録されます。
- DF/NDFは、外部入力されるタイムコードのdropped frame bitになります。

タイムコードの同期が乱れる場合

ケーブルを外した状態で次の操作を行うと、タイムコードの同期が乱れます。ケーブルを再度接続すると、正しいタイムコードに復帰します。

- 電源の入／切、PLAY画面への切り換え
- 記録信号形式の変更

リファレンスビデオ信号を出力する

本機のGENLOCK/SYNC OUT端子から同期信号としてリファレンスビデオ信号（HD三値信号）を出力できます。出力される信号は、SDI OUT端子の出力信号形式とメニューの設定（後述）によって決まります。

① MENU / EVF：「システム設定」➤「GENLOCK ／ SYNC OUT」➤「端子機能」を順に選ぶ。
② 「HD Sync出力」を選ぶ➤ SETを押す。
③ 必要に応じて、「SYNCスキャンモード」で、「P」と「PsF」を切り換える。

SDI OUT端子の出力信号形式		SYNC OUT端子（HD三値信号）
解像度	フレームレート	
4096×2160 3840×2160 2048×1080 1920×1080	29.97P	1080/29.97 (P/PsF)
	25.00P	1080/25.00 (P/PsF)
	24.00P	1080/24.00 (P/PsF)*
	23.98P	1080/23.98 (P/PsF)
4096×2160、3840×2160、 2048×1080、1920×1080	59.94 (P/i)	1080/59.94i
	50.00 (P/i)	1080/50.00i

* スロー &ファストモーション記録モードの場合、システム周波数が59.94 Hzのときは1080/59.94i、50.00 Hzのときは1080/50.00i、24.00 Hzのときは1080/60.00iとなる。また、MENU / EVF：「カメラ設定」➤「センサーモード」を「Super 16mm (Crop)」に設定しているときのスロー &ファストモーション記録は、1080/60.00iとなる。

タイムコードを出力する

本機のタイムコードを、LTC規格の信号でTIME CODE IN/OUT端子から出力します。その際、ユーザービットも同時に出力されます。また、SDI OUT端子／ MON.端子の出力にはエンベデッドタイムコードが重畳されます。TIME CODE IN/OUT端子から出力するときは、メニューで出力モードに切り換えます（🕮 125）。

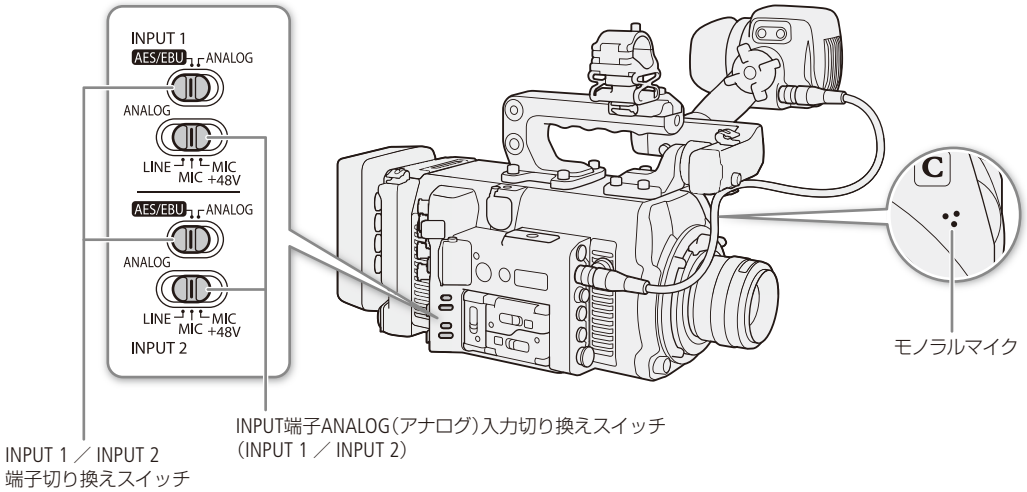
MEMO

- スロー &ファストモーション記録時と再生時は、タイムコードを出力しません。
- 「センサーモード」が「フルサイズ」でかつフレームレートが59.94P/50.00Pの場合、MON.端子にタイムコードは重畳されません。

音声を記録する

本機では、4チャンネルのリニアPCM記録方式の音声（24 bit、48 kHz）を記録／再生できます。収録する音声は、INPUT端子（外部マイク、外部ライン、デジタル（AES/EBU））、MIC端子、モノラルマイク*（内蔵）から選びます。また、SDI OUT端子／ MON.端子またはHDMI OUT端子から出力される映像信号には音声信号が重畳されます。この音声信号を外部レコーダーで記録することもできます。

* ボイスメモの用途に使用します。



■ 記録音声と必要な設定

CH1 ～ CH4の各チャンネルに記録される入力音声は、INPUT 1 ／ INPUT 2端子切り換えスイッチとメニュー設定から決まります。

記録音声				必要な設定				
CH1	CH2	CH3	CH4	「CH1/2 IN」*1	「CH3/4 IN」*1	INPUT 1 ／ INPUT 2 端子切替スイッチ		「CH2 Input」*2
						INPUT 1	INPUT 2	
INPUT1端子（AES/EBU）		MIC端子（L）	MIC端子（R）	INPUT端子	MIC端子	AES/EBU	－	－
INPUT1端子（AES/EBU）		INPUT2端子（AES/EBU）		INPUT端子	INPUT端子	AES/EBU	AES/EBU	－
INPUT1端子（AES/EBU）		－	INPUT2端子	INPUT端子	INPUT端子	AES/EBU	ANALOG	－
INPUT1端子（AES/EBU）		モノラルマイク	モノラルマイク	INPUT端子	モノラルマイク	AES/EBU	－	－
INPUT1端子	INPUT2端子	MIC端子（L）	MIC端子（R）	INPUT端子	MIC端子	ANALOG	－	INPUT2
INPUT1端子	INPUT1端子	MIC端子（L）	MIC端子（R）	INPUT端子	MIC端子	ANALOG	－	INPUT1
INPUT1端子	INPUT1端子	INPUT2端子（AES/EBU）		INPUT端子	INPUT端子	ANALOG	AES/EBU	INPUT1
INPUT1端子	－	INPUT2端子（AES/EBU）		INPUT端子	INPUT端子	ANALOG	AES/EBU	INPUT2
INPUT1端子	INPUT2端子	INPUT1端子	INPUT2端子	INPUT端子	INPUT端子	ANALOG	ANALOG	INPUT2
INPUT1端子	INPUT1端子	INPUT1端子	INPUT2端子	INPUT端子	INPUT端子	ANALOG	ANALOG	INPUT1
INPUT1端子	INPUT2端子	モノラルマイク	モノラルマイク	INPUT端子	モノラルマイク	ANALOG	－	INPUT2
INPUT1端子	INPUT1端子	モノラルマイク	モノラルマイク	INPUT端子	モノラルマイク	ANALOG	－	INPUT1
MIC端子（L）	MIC端子（R）	INPUT1端子	INPUT2端子	MIC端子	INPUT端子	－	ANALOG	－
MIC端子（L）	MIC端子（R）	INPUT2端子（AES/EBU）		MIC端子	INPUT端子	－	AES/EBU	－
MIC端子（L）	MIC端子（R）	MIC端子（L）	MIC端子（R）	MIC端子	MIC端子	－	－	－
MIC端子（L）	MIC端子（R）	モノラルマイク	モノラルマイク	MIC端子	モノラルマイク	－	－	－
モノラルマイク	モノラルマイク	INPUT1端子	INPUT2端子	モノラルマイク	INPUT端子	－	ANALOG	－
モノラルマイク	モノラルマイク	MIC端子（L）	MIC端子（R）	モノラルマイク	MIC端子	－	－	－
モノラルマイク	モノラルマイク	INPUT2端子（AES/EBU）		モノラルマイク	INPUT端子	－	AES/EBU	－
モノラルマイク	モノラルマイク	モノラルマイク	モノラルマイク	モノラルマイク	モノラルマイク	－	－	－

*1 ALT: AUDIO ➤「CH1/2 IN」または「CH3/4 IN」の設定（🕮 130）。

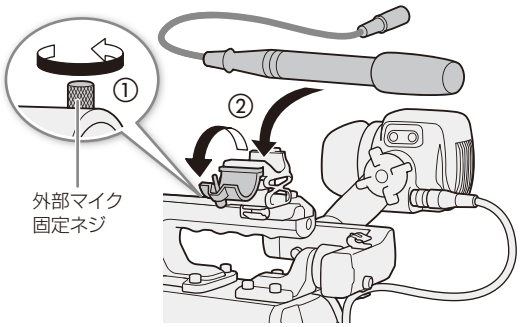
*2 ALT: AUDIO ➤「OPTIONS」➤「Audio Input」➤「CH2 Input」の設定（🕮 131）。

MEMO

● 各記録チャンネルの設定状態は、ALT：「AUDIO」画面で確認できます。

■ 外部マイク／外部ライン入力機器を本機に接続する

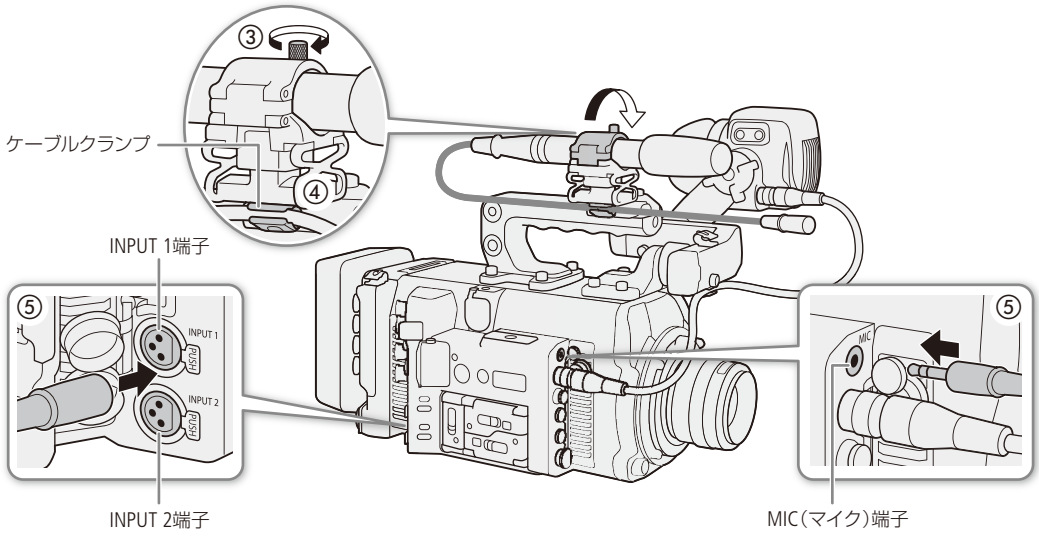
INPUT端子にはXLRコネクターの外部マイク／外部ライン入力機器（アナログ）または外部デジタルオーディオ機器（AES/EBU）を、MIC（マイク）端子にはΦ3.5mmステレオミニプラグの外部マイクをそれぞれ接続できます。なおマイクホルダーには、Φ19 ～ 24 mmのマイクを固定できます。



1 マイクのとき　外部マイク固定ネジを緩め（①）、外部マイクホルダーを開く（②）

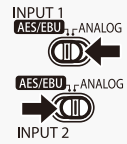
2 マイクのとき　外部マイクを取り付けて固定し（③）、ケーブルをクランプにとめる（④）

3 外部マイク／外部ライン入力機器のケーブルを本機に接続する（⑤）

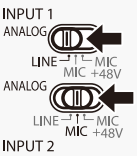


■ INPUT端子の音声を設定する

INPUT 1端子とINPUT 2端子の音声入力はそれぞれ個別に設定できます。



1 INPUT 1 ／ INPUT 2端子切り換えスイッチをAES/EBUまたはANALOGにする



2 ANALOGを選んだとき　INPUT端子ANALOG（アナログ）入力切り換えスイッチをLINE（ライン）またはMIC（マイク）にする

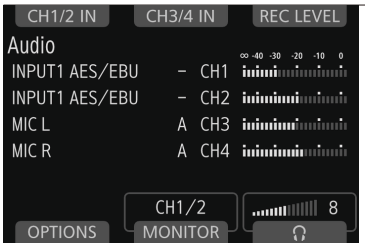
- ファンタム電源が必要なマイクを使うときはMIC＋48Vに切り換える。ファンタム電源をONにするときはマイクを接続してから行い、OFFにするときは接続したまま行う。
- INPUT端子を1チャンネルのみ使用するときは、INPUT 1端子を使用する。

ご注意

- アナログ入力の場合、＋48V対応のマイク以外の機器を接続するときは、必ずLINEまたはMICを使用してください。「MIC+48V」のままで使用すると、接続したマイクなどの機器が故障することがあります。

■ 録音する入力音声を選ぶ

録音する音声はCH1/CH2とCH3/CH4の2チャンネルごとに選択します。「記録音声と必要な設定」（🕮 128）を参考にして設定してください。



1 録音する音声を選択する

① ALT：「AUDIO」➤「CH1/2 IN」を選ぶ。
【代替操作】EVF：「オーディオ設定」➤「Audio Input」➤「CH1/CH2 Input選択」または「CH3/CH4 Input選択」
② 「INPUT端子」、「MIC端子」または「モノラルマイク」のいずれかを選ぶ➤SETを押す。
③ 「CH3/4 IN」を選ぶ。
④ ②と同様にいずれかの入力音声を選ぶ➤SETを押す。

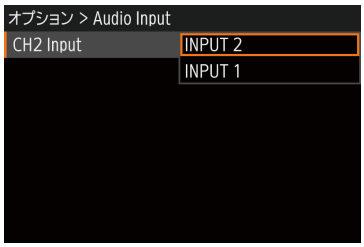
MEMO

モノラルマイクを使う

モノラルマイクを使ってボイスメモ（モノラル音声）を記録すると、編集時、映像と音声を同期しやすくなります。

CH2に記録する入力音声を選ぶ

CH1/CH2の入力がINPUT端子（アナログ入力）のときは、CH2に録音する入力音声をINPUT 1端子とINPUT 2端子から選択できます。CH1にINPUT 1端子の音声を記録し、CH2にINPUT 1端子の音声のバックアップを記録するときなどに使用します。その場合、CH1 / CH2の録音レベルを独立して設定することもできます。



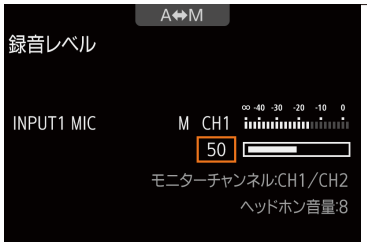
① ALT：「AUDIO」➤「OPTIONS」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「オーディオ設定」
②「Audio Input」➤「CH2 Input」を順に選ぶ。
③「INPUT 2」または「INPUT 1」を選ぶ➤ SETを押す。
INPUT 2：INPUT 1／INPUT 2端子の入力をそれぞれCH1 / CH2として録音する。
INPUT 1：INPUT 1端子の入力をCH1 / CH2の両方に録音する。INPUT 2端子の音声は録音されない。

■ 録音レベルを調整する

INPUT端子（アナログ）またはMIC端子の録音レベルを調整します。INPUT端子（アナログ）の録音レベルはチャンネルごとに、MIC端子の録音レベルはCH1 / CH2、CH3 / CH4の2チャンネルまとめて、オート／マニュアルを設定できます。オートにすると自動調整され、マニュアルにすると0 ～ 100の範囲で手動調整できます。INPUT端子（AES/EBU）のときは、録音レベルを調整しません。また、モノラルマイクの録音レベルは常にオートで調整されます。

1 調整方法を選ぶ

① ALT：「AUDIO」➤「REC LEVEL」を順に選ぶ。
②「CH1」、「CH2」、「CH3」、「CH4」、「CH1/2」、「CH3/4」のいずれかを押す。
【代替操作】EVF：「オーディオ設定」➤「Audio Input」➤「録音レベル CH1」～「録音レベル CH4」、「録音レベルCH1/CH2」、「録音レベルCH3/CH4」のいずれか
③「A ↔ M」を押す（本体メニュー）か、「オート」または「マニュアル」を選んでSETを押す（モニタリングメニュー）。
● 本体メニューのときは、押すたびにオート（A）とマニュアル（M）が切り換わる。
④ 本体メニューで「A」（オート）を選んだときは、SETを押す。



2 「M」（マニュアル）を選んだとき　録音レベルを調整する

① モニタリングメニューのときは、「マニュアル」を選んだチャンネルのレベル調整（「CH1レベル」～「CH4レベル」、「CH1/CH2レベル」、「CH3/CH4レベル」のいずれか）を選ぶ➤ SETを押す。
② SELECTダイヤルを回して、0（－∞）～ 50（0dB）～ 100（+18dB）の範囲で録音レベルを調節する。
● 画面に表示されるオーディオレベルメーターの－18 dB（－20 dBのひとつ右隣り）より右が時々点灯するように調節する。
③ SETを押す。

INPUT端子（アナログ）のCH1とCH2、CH3とCH4の録音レベル調整を連動させる

INPUT 1 ／ INPUT 2端子が同じ音声入力（外部ラインまたは外部マイク）に設定されている場合、録音レベルをオートに設定すると、CH1とCH2、またはCH3とCH4のレベル調整を連動させることができます。ALT：「AUDIO」➤「OPTIONS」➤「Audio Input」➤「CH1/CH2 ALCリンク」または「CH3/CH4 ALCリンク」（📖 227）で設定します。

INPUT端子（アナログ）の音声信号レベルを制限する

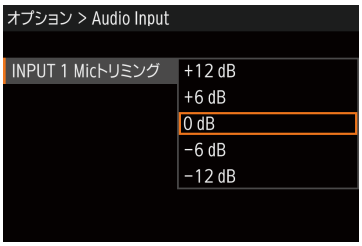
過大な音声入力によるひずみを防止するために、音声信号レベルを制限することができます。録音レベルをマニュアルで調整するときに、入力信号が歪みはじめるレベルになると自動的に信号レベルを制限して歪みを低減します。INPUT 1端子／ INPUT 2端子のいずれかがアナログでかつマニュアルレベル調整のときに設定できます。設定は、ALT：「AUDIO」➤「OPTIONS」➤「Audio Input」➤「INPUT 1/2 リミッター」（📖 227）で行います。

MEMO

- 録音レベルを調整するときは、ヘッドホンでモニターしながら行うことをおすすめします。オーディオレベルメーター上で適切に表示されていても、入力レベルが過大な場合、音声がひずむことがあります。
- 「Audioレベル」を割り当てたアサインボタンを押して、モニター画面のオーディオレベルメーターの表示を入／切することができます。（📖 148）

INPUT端子（アナログ）の入力感度を調整する

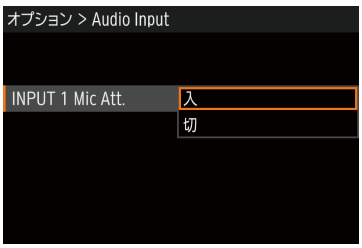
INPUT 1端子／ INPUT 2端子のいずれかがアナログ入力で、かつINPUT端子ANALOG（アナログ）入力切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに機能します。



① ALT：「AUDIO」➤「OPTIONS」
【代替操作】EVF：「オーディオ設定」
② 「Audio Input」➤「INPUT 1 Micトリミング」または「INPUT 2 Micトリミング」を順に選ぶ。
③ 下記のいずれかを選ぶ➤SETを押す。
+12 dB、+6 dB、0 dB、−6 dB、−12 dB

INPUT端子（アナログ）のアッテネーターを使う

INPUT 1端子／ INPUT 2端子のいずれかがアナログ入力で、かつINPUT端子ANALOG（アナログ）入力切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに機能します（Att. : Attenuator）。



① ALT：「AUDIO」➤「OPTIONS」
【代替操作】EVF：「オーディオ設定」
② 「Audio Input」➤「INPUT 1 Mic Att.」または「INPUT 2 Mic Att.」を順に選ぶ。
③ 「入」を選ぶ➤SETを押す。
- マイク信号にアッテネーター（20 dB）がかかる。

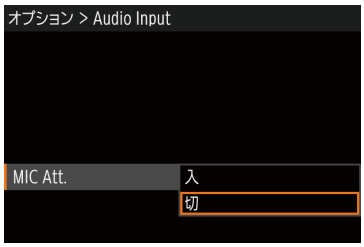
MIC端子のローカットを使う

収録する音に合わせてローカットを使用できます。

① ALT：「AUDIO」➤「OPTIONS」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「オーディオ設定」
② 「Audio Input」➤「MICローカット」を順に選ぶ。
③ 次のいずれかを選ぶ➤ SETを押す。
入： 海辺やビルの近くなど風の影響を受ける屋外で撮影する場合に、風の「ボコボコ」という音の影響を低減する。収録する低い音の一部も風の音と一緒に低減される。
切： 一般的な音を録音するとき。

MIC端子のアッテネーターを使う

必要に応じてアッテネーターを使用できます。



① ALT：「AUDIO」➤「OPTIONS」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「オーディオ設定」
② 「Audio Input」➤「MIC Att.」を順に選ぶ。
③ 「入」を選ぶ➤ SETを押す。
● マイク信号にアッテネーター（20 dB）がかかる。

ヘッドホンでモニターする

Φ3.5 mmステレオミニプラグのヘッドホンを🎧（ヘッドホン）端子（📖 14）に接続して、収録される音声をモニターできます。

MEMO

音量を調整するには

- ALT：「AUDIO」➤「🎧」で調整する。
- PLAY：MENU ➤「オーディオ設定」➤「ヘッドホン音量」で調整する。
- 「ヘッドホン+」または「ヘッドホン−」を割り当てたアサインボタンで操作する（📖 148）。

カラーバー／テストトーンを出力する

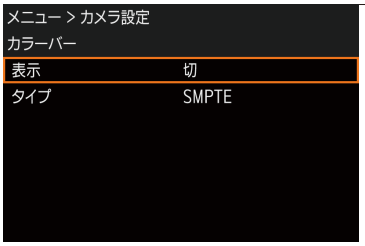
測定器の調整やモニターの輝度・色相・彩度の調整を行うためのカラーバーを出力できます。また、同時に1 kHzのテストトーンを出力することもできます。主記録形式が「XF-AVC（CFast）」の場合、カラーバーとテストトーンは記録メディア（CFastカード、SDカード）に記録したクリップにも保存されます。

出力先

	ビューファインダー（VIDEO端子）	SDI OUT端子	MON.端子	HDMI OUT端子	∩（ヘッドホン端子）
カラーバー	●	●	●	●	—
テストトーン	—	●	●	●	●

■ カラーバーを表示／出力する

表示／出力するカラーバーは、SMPTE準拠、EBU準拠、ARIB準拠のいずれかをメニューで選べます。



1 カラーバーを表示する

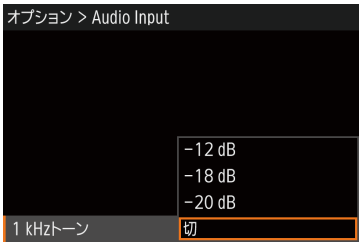
① MENU / EVF：「カメラ設定」➤「カラーバー」➤「表示」を順に選ぶ。
【代替操作】「カラーバー」アサインボタン
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す ➤ SETを押す。
● モニター画面にカラーバーが表示される。
③ 「タイプ」を選ぶ ➤ SETを押す。
④ 「SMPTE」、「EBU」、「ARIB」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
● 電源を切る、PLAY画面に切換える、のいずれかを行うと、自動的に「切」になる。

MEMO

● 主記録形式がProResまたはRAWの場合、カラーバーは表示／出力されません。

■ テストトーンを出力する

テストトーンのレベルは、接続する機器に合わせて－12 dB、－18 dB、－20 dBから選ぶことができます。



① ALT：「AUDIO」➤「OPTIONS」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「オーディオ設定」
② 「Audio Input」➤「1 kHzトーン」を順に選ぶ。
③ 「－12 dB」、「－18 dB」、「－20 dB」、「切」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
● 選択したレベルのテストトーンが出力される。

波形モニターを表示する

モニター画面に波形モニター（Waveform Monitor）を表示することができます。波形モニターのタイプは6種類から選択できます。また、波形の倍率を1倍と2倍から選択できます。

1 モニター表示を有効にする

① WFM（波形モニター）ボタンを押す。

- MON.端子とHDMI OUT端子の出力映像に、波形モニターが表示される。WFM（波形モニター）ボタンを押すたびにモニター表示が入/切される。

【代替操作】MENU / EVF：「アシスト設定」➤「Waveform Monitor」➤「MON.+HDMI出力」➤「入」
PLAY：MENU ➤「アシスト設定」➤「Waveform Monitor」➤「MON.+HDMI出力」➤「入」

- ビューファインダーに表示する時は、MENU / EVF：「アシスト設定」➤「Waveform Monitor」➤「VIDEO出力」を「入」にするか、「Waveform Monitor」／「WFM：VIDEO」アサインボタンを押す。
- MENU / EVF：「アシスト設定」➤「Waveform Monitor」➤「位置」で、波形モニターの表示位置（右／左）を選択できる。

2 波形モニターのタイプを選ぶ

① MENU / EVF：「アシスト設定」➤「Waveform Monitor」➤「タイプ」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

ライン：	ライン表示する。
ライン+スポット：	ライン表示に重ねて、赤枠内の波形を赤色で表示する。
ラインセレクト：	赤い横線における波形を表示する。
フィールド：	フィールド表示する。
RGB：	R、G、B信号をパレード表示する。
YPbPr：	Y、Pb、Pr信号をパレード表示する。

3 ラインセレクトを選んだとき　波形を表示するラインのY座標を設定する

① 「ラインセレクト」を選ぶ ➤ SETを押す。
② ラインのY座標値を入力する。

参考 ▶▶「文字入力のしかた」（🕮 41）

- 撮影時、垂直解像度が1080のときは0 ～ 1079の範囲（1ライン刻み）で、垂直解像度が1080以外のときは0から（垂直解像度－2）の範囲（2ライン刻み）で設定する。
- 再生時は、記録解像度に応じて、0 ～ 1079の範囲（1ライン刻み）、0 ～ 2158の範囲（2ライン刻み）、0 ～ 3138の範囲（2ライン刻み）*のいずれかで設定する。

* C700 FF C700 FF PL のみ。

4 波形の倍率を選ぶ

① 「Gain」を選ぶ ➤ SETを押す。
② 「1x」（1倍）または「2x」（2倍）を選ぶ ➤ SETを押す。

「2x」を選んだとき

❶ 「Yポジション」を選ぶ ➤ SETを押す。

- 波形モニターの縦軸（輝度）の表示範囲が50%になり、表示開始輝度（%）を選択できる。

❷ 「0%」、「15%」、「30%」、「45%」、「50%」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

- ビューファインダー（VIDEO端子）または出力端子（SDI OUT端子、MON.端子、HDMI OUT端子）の映像にLUTを適用していても、波形モニターの波形には影響しません。
- 拡大表示を使用中、波形モニターは表示されません。
- モニタリングメニューでカスタムピクチャーの「Knee」（ニー）を設定しているとき、ニーポイントに相当する輝度値に横線を表示します。

OKマーク／チェックマークを付加する

最後にCFastカードに記録したXF-AVCクリップに、OKマークまたはチェックマークを付加することができます。OKマークが付加されたクリップは、本機での消去が禁止されるため、重要なクリップを保護することができます。OKマーク／チェックマークは、PLAY画面で付加することもできます（🕮 172）。

■ 撮影中にOKマーク／チェックマークを付加する

例：カメラアサイン4ボタンに「OK Mark追加」または「✓ Mark追加」を割り当てて、マークを付加する場合

1 カメラアサイン4ボタンに「OK Mark追加」または「✓ Mark追加」を割り当てる（🕮 148）

2 撮影が終了したあと　OKマークまたはチェックマークを付加する

① カメラアサイン4ボタンを押す。

- モニター画面に「OK Mark」が表示され、直前に撮影したXF-AVCクリップにOKマークが付加される。
- チェックマークのときは、画面に「✓ Mark」が表示される。

MEMO

- OKマークとチェックマークは、同じクリップに同時に付加することはできません。

メタデータを設定する

本機で記録したXF-AVCクリップにはメタデータが付加されます。付加されたメタデータは、ソフトウェアCanon XF Utility（以下、XF Utility）で表示して確認したり、検索に使用したりすることができます。
設定されるメタデータは、以下のとおりです。設定のしかたは項目によって異なります。

		メタデータ				
		ユーザーメモ	GPS情報	撮影情報	カメラ設定情報	UMID所有権情報（📖 229）
		クリップタイトル、撮影場所、撮影内容		シーン、テイク	シャッター、ISO感度／ゲインなどの撮影時設定	
設定	カメラ	–	●*1	●	–*2	●
	XF Utility	●	●*3	–	–	–
	ブラウザーリモート	●	●	–	–	–
参照	XF Utility	●	●	●	●	–

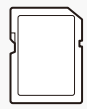
*1 GPSレシーバー GP-E1（別売）装着時のみ、撮影時に自動的に記録される（📖 140）。
*2 撮影時に自動的に記録される。
*3 記録されたクリップに対してのみ設定可能。

XF Utilityを使ってユーザーメモを設定する

はじめにXF Utilityでユーザーメモの情報を入力してSDカードに保存します。次に、本機でSDカード内のユーザーメモを選んで撮影すると、記録されるクリップにユーザーメモの情報が付加されます。XF Utilityについては「クリップをパソコンに保存する」（📖 189）をご覧ください。

1 XF Utilityでユーザーメモを設定し、SDカードに保存する

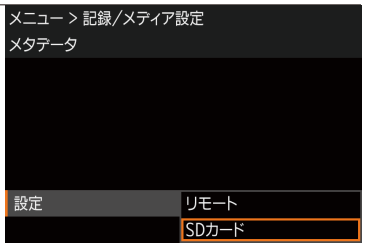
参考 ▸▸ XF Utilityの使用説明書



2 ユーザーメモが保存されているSDカードを本機のSD CARDスロットに入れる

3 メタデータの設定方法を選ぶ

① MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「メタデータ」➤「設定」を順に選ぶ。
② 「SDカード」を選ぶ ➤ SETを押す。



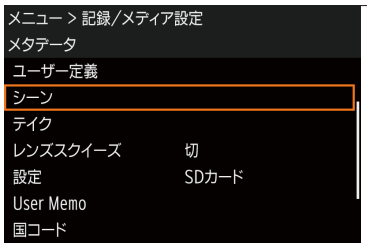
4 ユーザーメモファイルを選ぶ

① 「User Memo」を選ぶ ➤ SETを押す。
② SELECTダイヤルを回して、SDカードに保存されているユーザーメモのファイル名のいずれかを選ぶ。
③ 「OK」を押す（本体メニュー）か、SETを押す（モニタリングメニュー）。
- 「切」を選ぶと、ユーザーメモはクリップに記録されない。

MEMO

- ユーザーメモを設定して撮影するときは、SDカードを抜かないでください。SDカードを抜くとユーザーメモはクリップに付加されません。
- XF Utilityを使ってユーザーメモを設定するとき、設定は撮影前に行ってください。CFastカードに記録されたクリップのユーザーメモを本機で変更することはできません*。
  * XF Utilityを使用して変更することができます。
- GPSレシーバー GP-E1（別売）を装着してGPSを有効にしているときは、SDカードからユーザーメモを指定しても、ユーザーメモは付加されません。

■ 撮影情報（シーン、テイク）を設定する



1 「シーン」または「テイク」を選ぶ

① MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「メタデータ」➤「シーン」または「テイク」を順に選ぶ。

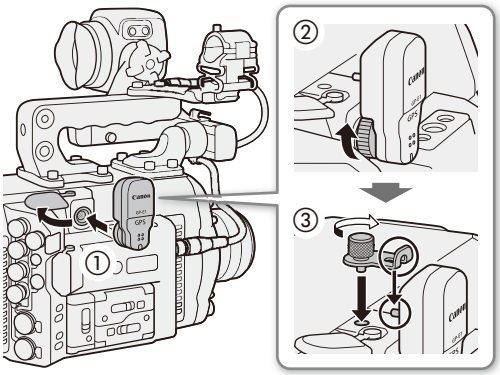
2 任意の文字列を入力する

① モニタリングメニューのときは、「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。
② 文字列を入力する。
参考 ➤➤「文字入力のしかた」（🕮 41）。

GPS情報を記録する

本機の拡張システム端子（📖 12）にGPSレシーバー GP-E1（別売）を装着して撮影すると、XF-AVCクリップのメタデータ（📖 138）にGPSから取得した位置情報（緯度、経度、標高。以下「GPS情報」）を記録できます。GPS情報の記録の有無は、クリップ情報画面で確認できます（📖 171）。また、Canon XF Utility（📖 189）では、GPS情報を使ってクリップを検索することができます。GP-E1の取り付け方や詳細についてはGP-E1の説明書をご覧ください。

GPSレシーバーを取り付ける



1 POWER（電源）ボタンを押して電源を切る

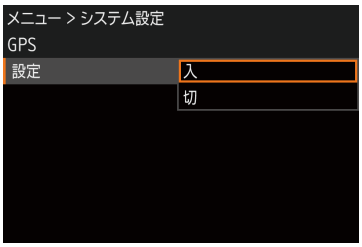
2 GPSレシーバーを拡張システム端子に差し込み（①）、GPSレシーバーの締め付けねじを回す（②）

3 拡張ユニットアタッチメント金具で固定する（③）

MEMO

- SDI OUT端子、MON.端子またはHDMI OUT端子に接続したケーブルを、GPSレシーバーの近くに配置しないでください。信号の受信に影響することがあります。

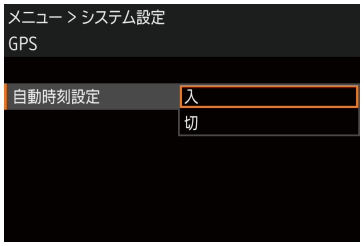
GPSを有効にする



① MENU / EVF：「システム設定」➤「GPS」➤「設定」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
- GPS機能が有効になる。画面に🛰が点滅表示されGPS衛星を探索する。
- 衛星を捕捉すると🛰が点灯に変わり、以降に記録するクリップにGPS情報が付加される。

日時を自動的に設定する

GPSから取得した時刻情報を使って本機の日時を自動的に設定できます。



① MENU / EVF：「システム設定」➤「GPS」➤「自動時刻設定」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ➤ SETを押す。
- 以降、本機を起動後、最初に時刻設定可能な衛星捕捉状態になったときに日時を自動設定する。
- GPS自動時刻設定が有効のときは、MENU / EVF：「システム設定」➤「日時設定」は使用できません。

ご注意

- GPSレシーバーは、使用する国／地域の法令等の規制に従って使用してください。国／地域によってはGPSの使用などが規制されていることがあります。国外で使用するときは特にご注意ください。
- 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分ご注意ください。
- 動画に記録されるGPS情報には、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS情報が記録された動画を他人に渡したり、インターネットなどの不特定多数の人々が閲覧可能な環境に掲載したりするときは、十分ご注意ください。
- GPSレシーバーは、磁石やモーターの近くなど強い磁気を発生する場所には絶対に置かないでください。

MEMO

GPSから取得した情報を確認するには

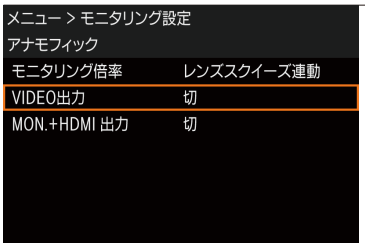
➤ MENU：「システム設定」➤「GPS」➤「情報表示」

- C700 FF C700 FF PL 表示単位系の初期設定が「Feet」に設定されています。MENU：「モニタリング設定」➤「表示単位系」で変更できます（🕮 232）。
- バッテリーなどの電源を交換したときや本機の電源を切ったときは、GPS衛星からの信号の受信に時間がかかることがあります。
- 動画に記録されるGPS情報は、撮影開始時点の位置情報です。

アナモフィックレンズで撮影する

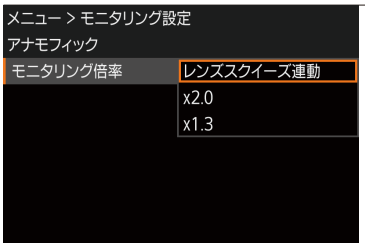
アナモフィックレンズを装着して撮影することができます。撮影中および再生時、モニター画面では、メニューで設定した倍率で横方向に拡大した映像を確認できます。また、アナモフィックレンズの横方向のスクイーズ倍率をメタデータとして記録することもできます（229）。

モニター画面のモニタリング倍率を設定する



1 アナモフィック表示を有効にする

① MENU / EVF：「モニタリング設定」➤「アナモフィック」➤「VIDEO出力」または「MON.+HDMI出力」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
【代替操作】「アナモフィック」、「アナモフィック：VIDEO」、「アナモフィック：MON.+HDMI」アサインボタン



2 モニタリング倍率を設定する

① MENU / EVF：「モニタリング設定」➤「アナモフィック」➤「モニタリング倍率」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
レンズスクイーズ連動：MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「メタデータ」➤「レンズスクイーズ」の設定に連動する。
x2.0：横方向に2倍に拡大する。
x1.3：横方向に1.3倍に拡大する。

MEMO

横方向のスクイーズ倍率をメタデータに記録するには

➤ MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「メタデータ」➤「レンズスクイーズ」（229）

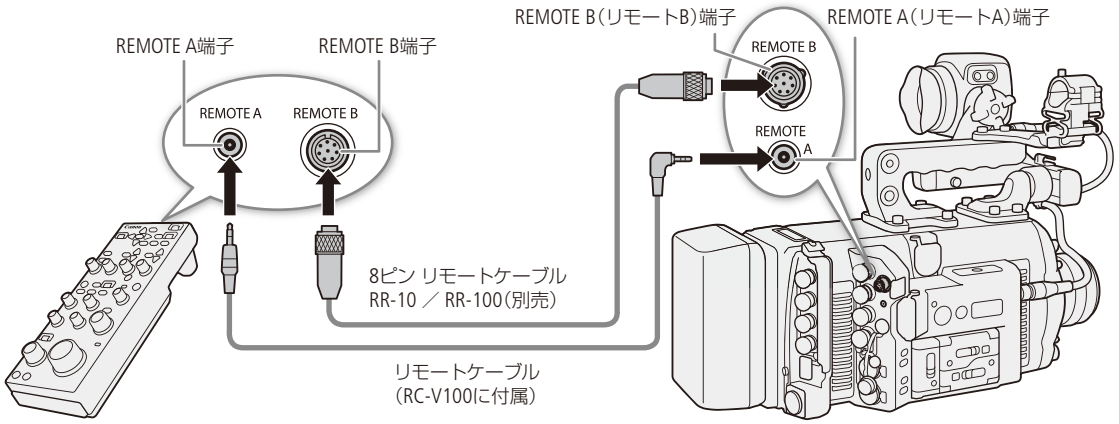
横方向に拡大しない場合

- HDMI OUT端子の出力解像度が4096×2160または3840×2160の場合の、HDMI OUT端子の出力映像。
- 静止画やブラウザーリモートのライブビュー映像。

● アナモフィック表示は、ビューファインダーまたは出力端子（MON.端子、HDMI OUT端子）に出力できます。各出力はメニューで個別に入／切できます（231）。

RC-V100(別売)でリモート撮影する

本機のREMOTE A端子またはREMOTE B端子 (🕮 14) にリモートコントローラー RC-V100 (別売) を接続すると、リモートで操作できます。電源の入／切やメニュー操作に加えて、撮影時は、アイリス、シャッターなどのカメラ設定や、ニー、シャープネスなどの画質調整ができます。また、REMOTE B端子で接続すると、RC-V100の自照式ボタンがすべて点灯可能となるほか、RC-V100からの複数の操作を同時に受け付けることができます。接続のしかたやRC-V100の詳細については、RC-V100の説明書をご覧ください。



1 カメラの電源を切り、RC-V100を本機につなぐ

- あらかじめ、RC-V100の端子切り換えスイッチを、使用する端子に切り換える。

2 カメラの電源を入れる

3 RC-V100を有効にする

① MENU / EVF：「システム設定」➤「REMOTE端子」を順に選ぶ。
② 「RC-V100 (REMOTE B)」または「RC-V100 (REMOTE A)」を選ぶ➤SETを押す。

MEMO

本機で動作しないボタン／ダイヤル

- AGCボタン
- AUTO KNEEボタン

- AUTO IRISボタンは、対応するEFレンズ (🕮 285)を装着しているときのみ使用可能です。
- ZOOMダイヤルは、ズーム調整に対応するEFシネマレンズ／放送用レンズ (🕮 285)を装着しているときのみ使用可能です。
- RC-V100の画質調整 (🕮162)は、HOME:「COLOR」➤「CP OTHERS」➤「Other Settings」➤「Activate」が「On」のときのみ使用できます (🕮154)。
- REMOTE A端子とREMOTE B端子を同時に使うことはできません。
- リモートコントローラー RC-V100を8ピン リモートケーブル (別売) で接続する場合は、RC-V100のシリアル番号を確認してください。シリアル番号が01 XXXXのときは、RC-V100のファームウェアの更新が必要です。ファームウェアの更新をご希望のお客様は、お客様相談センターにご相談ください。

静止画を記録する

撮影一時停止中に、静止画をSDカードに記録することができます。記録される静止画のサイズは次のとおりです。

動画の解像度	静止画サイズ	1枚あたりのファイルサイズ（目安）
5952×3140 C700 FF C700 FF PL 4512×2376 C700 4272×2376 C700 GS PL 4096×2160 2048×1080	2048×1080	約930 KB
5952×2532 C700 FF C700 FF PL 4512×1920 C700	2048×872	約820 KB
3840×2160 1920×1080	1920×1080	約880 KB

記録する

「Photo」を割り当てたアサインボタンを押して、静止画を記録できます。

例：カメラアサイン4ボタンに「Photo」を割り当てて、静止画を記録する場合

1 カメラアサイン4ボタンに「Photo」を割り当てる（📖 148）

2 動画撮影一時停止中 静止画を記録する

① カメラアサイン4ボタンを押す。

- 「📷」が表示され、静止画がSDカードに記録される。
- 記録中はSDカードアクセスランプが点灯する。

ご注意

SDカードアクセスランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- SDカードを取り出さない。

MEMO

- 静止画を記録するときは、SDカードの誤消去防止ツマミの「LOCK」を解除してください。

■ 静止画番号の付けかたを選ぶ

本機で記録する静止画には、連続した番号（静止画番号）が自動的に付けられます。静止画を保存するフォルダーの名前と、静止画のファイル名は、静止画番号から作成されます。静止画番号の付けかたはメニューで設定できます。

フォルダー名

フォルダー名の上3桁は100 ～ 999の番号、「_」以下の下4桁は記録した月日を表します。

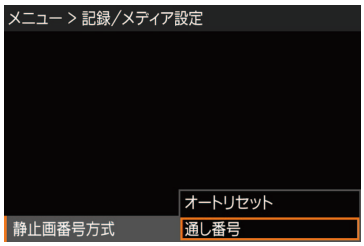
ファイル名

ファイル名の上4文字は「IMG_」の固定文字列、下4桁は静止画固有の番号（0001 ～ 9999）です。

静止画番号

- 静止画番号の上3桁はファイルが格納されているフォルダー名の上3桁（100 ～ 999）、下4桁は静止画固有の番号（0001 ～ 9999）に対応します。
- 静止画番号は、パソコンで見るときのSDカード内のファイルの場所も表します。6月1日に記録した静止画番号が「100-0007」の静止画は、「DCIM ￥100_0601」というフォルダーの中に「IMG_0007.JPG」というファイル名で表示されます。

設定値	内容
オートリセット	初期化されたSDカードに記録する場合、常に100-0001から始まる。SDカード内にすでに静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。
通し番号	最後に記録した静止画の続き番号から始まる。ただし、SDカード内に記録されている静止画番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。通常はこの設定をおすすめします。



① MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「静止画番号方式」を順に選ぶ。
② 「オートリセット」または「通し番号」を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

- 1つのフォルダーには500ファイルまで保存でき、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。

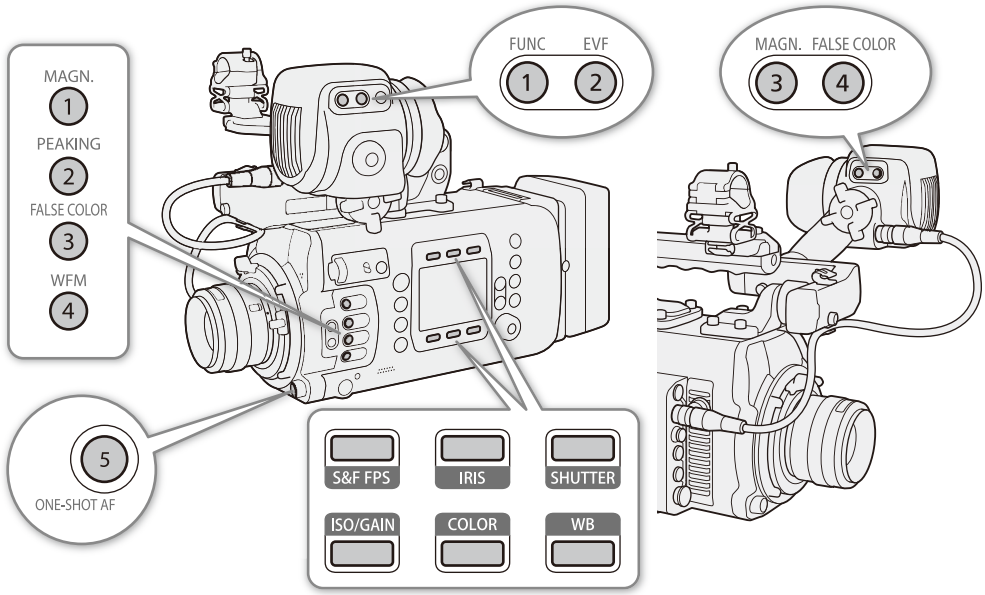
MEMO

4 カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する... 148
カスタムピクチャーを使用する ... 153
設定データの保存と読み出し..... 163

アサインボタンの機能を変更する

使用頻度の高い機能にアサインボタンを割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。本機には、本体に5個、有機EL電子ビューファインダー EVF-V70（別売）に4個、ショルダースタイルグリップユニットSG-1（別売）に1個のアサインボタンがあり、リモートコントローラー RC-V100（別売）を取り付ければ、さらに4個のアサインボタンを使用できます。また、USER画面を表示中は6個のスクリーンボタン（USERアサインボタン）に機能を割り当てて使用できます。USERアサインボタンは3画面分登録できます。リモートオペレーションユニットOU-700（別売）装着時は、OU-700のUSER画面でも6個のUSERアサインボタンを使用可能です。なお、ビューファインダーなどの装着状況によって、使用できるアサインボタンが異なります。



本体、ビューファインダー、グリップのアサインボタンには、初期設定でそれぞれのボタン名の機能が割り当てられています。アサインボタンには次の機能を割り当てることができます。PLAY画面では、ビューファインダーとリモートコントローラーのアサインボタンを使用でき、撮影時とは別に割り当てることができます。PLAY画面で使用できる機能については下表をご覧ください。

機能名	内容
C700 C700 FF One-Shot AF	ワンショットAFを実行する。
C700 C700 FF AFロック	コンティニュアスAF中またはAFブーストMFのAF動作中にフォーカス位置を固定する。
C700 C700 FF 顔検出AF	顔検出AFの顔優先／顔限定を切り換える。
C700 C700 FF 顔検出	顔検出の入／切を切り換える。
C700 C700 FF 追尾	追尾の入／切を切り換える。
C700 C700 FF フォーカスガイド	デュアルピクセルフォーカスガイドの入／切を切り換える。
ピーキング ピーキング VIDEO ピーキング MON.+HDMI	ピーキングの入／切を切り換える。機能名に含まれる端子のみ、または出力可能な全端子を対象とする。

機能名	内容
Magnification Magn.：VIDEO Magn.：MON.+HDMI	拡大表示の入／切を切り換える。機能名に含まれる端子のみ、または出力可能な全端子を対象とする。
Push Auto Iris*1	プッシュオートアイリスを実行する。
Irisモード*1	アイリスのモードを切り換える。
Iris +*1 ／ Iris −*1	F値を調整する。押すたびに、絞りを開く（Iris +）／絞る（Iris −）。
ND + ／ ND −	NDフィルターを正順（濃くなる方向）／逆順（薄くなる方向）に切り換える。
AEシフト+*1 ／ AEシフト−*1	露出を明るめ／暗めに調整する。
バックライト	測光方式のバックライト／スタンダードを切り換える。
スポットライト	測光方式のスポットライト／スタンダードを切り換える。
ゼブラ ゼブラ：VIDEO ゼブラ：MON.+HDMI	ゼブラパターン表示の入／切を切り換える。機能名に含まれる端子のみ、または出力可能な全端子を対象とする。
フォルスカラー フォルスカラー：VIDEO フォルスカラー：MON.+HDMI フォルスカラー：MON.1 フォルスカラー：MON.2 フォルスカラー：HDMI	フォルスカラーの入／切を切り換える。機能名に含まれる端子のみ、または出力可能な全端子を対象とする。
フォルスカラーインデックス表示	フォルスカラーインデックス表示の入／切を切り換える。
Waveform Monitor*2 WFM：VIDEO*2 WFM：MON.+HDMI*2	波形モニターの表示の入／切を切り換える。機能名に含まれる端子のみ、または出力可能な全端子を対象とする。
LUT LUT：VIDEO LUT：MON.1 LUT：MON.2 LUT：HDMI LUT：SDI OUT 1/2/3/4 LUT：SDI OUT 1/2 LUT：SDI OUT 3/4	LUTの入／切を切り換える。機能名に含まれる端子のみ、または適用可能な全端子を対象とする。
White Balanceセット	ホワイトバランスセットの白取り込みを実行する。
AWBホールド	オートホワイトバランスのホールドの入／切を切り換える。
AWB AWB	ホワイトバランスの調整方法をオートホワイトバランスに変更する。
セットA ／ セットB	ホワイトバランスの調整方法をセットAまたはセットBに変更する。
太陽光	ホワイトバランスの調整方法を太陽光に変更する。
電球	ホワイトバランスの調整方法を電球に変更する。
WB1 USER_01 ～ WB5 USER_05	ホワイトバランスの調整方法をユーザー設定01 ～ 05に変更する。
コントロールディスプレイ設定*2	モニタリングメニューの「コントロールディスプレイ設定」サブメニューを表示する。
コントロールディスプレイ表示*2	コントロールディスプレイ（本体）の表示の入／切を切り換える。

機能名	内容
EVF-V70設定*2*3*4	モニタリングメニューの「EVF-V70」サブメニューを表示する。
オンスクリーン表示*2 オンスクリーン表示：VIDEO*2 オンスクリーン表示：MON.+HDMI*2	端子からの出力映像に画面表示を重畳する／しないを切り換える。機能名に含まれる端子のみ、または出力可能な全端子を対象とする。
マーカー マーカー：VIDEO マーカー：MON.+HDMI	マーカーの入／切を切り換える。機能名に含まれる端子のみ、または出力可能な全端子を対象とする。
アナモフィック アナモフィック：VIDEO アナモフィック：MON.+HDMI	アナモフィックの拡大出力の入／切を切り換える。機能名に含まれる端子のみ、または出力可能な全端子を対象とする。
カラーバー	カラーバーの入／切を切り換える。
Photo	静止画を記録する。
Time Code*3*4	モニタリングメニューの「Time Code」サブメニューを表示する。
Time Codeホールド*2	画面に表示されるタイムコード値を保持／保持解除を切り換える。
OK Mark追加*2	OKマークを付加する。
☑ Mark追加*2	チェックマークを付加する。
ヘッドホン+*2 ／ヘッドホン−*2	ヘッドホンの音量を大きく／小さくする。
モニターチャンネル*2	∩(ヘッドホン)端子から出力される音声のチャンネルを切り換える。押すたびに出力チャンネルが切り換わる。
Audioレベル*2	モニター画面のオーディオレベルメーター表示の入／切を切り換える。
FUNC*3*4	カメラダイレクト設定に入る。
Slow&Fastフレームレート*3*4	スロー &ファストモーション記録モードのときに、カメラダイレクト設定のスロー &ファストモーション記録の撮影フレームレート設定に切り換える。
Shutter*3*4	カメラダイレクト設定のシャッタースピード設定に切り換える。
ISO/Gain*3*4	カメラダイレクト設定のISO感度／ゲイン設定に切り換える。
White Balance*3*4	カメラダイレクト設定のホワイトバランス設定に切り換える。
Custom Picture*3*4	モニタリングメニューの「Custom Picture」メニューを表示する
マイメニュー	アサインボタンで操作したときはモニタリングメニューの、USERアサインボタンで操作したときは本体メニューの「マイメニュー」をそれぞれ表示する。
メディア初期化*2*3	モニタリングメニューの「メディア初期化」サブメニューを表示する。
ユーザー設定*3*4	任意のメニュー項目を表示する。モニタリングメニューのみ。

*1 ショルダースタイルグリップユニットSG-1には割り当て不可。
*2 PLAY画面で使用可能な機能。
*3 モニタリングメニューのみで操作可能。
*4 USERアサインボタンでは使用できない。

■ アサインボタンを使う

機能を変更する

例：カメラアサイン4ボタンに「フォーカスガイド」を割り当てる場合

1 機能を割り当てる

① MENUボタンを押しながら機能を割り当てるアサインボタン（この場合は、カメラアサイン4ボタン）を押す

● ①で押したアサインボタンに割り当てる機能選択画面が表示される。

【代替操作】MENU / EVF：「システム設定」➤「アサインボタン」➤「カメラ」

② 「フォーカスガイド」を選ぶ➤SETを押す。

「ユーザー設定」を選んだとき

● メニューのタイトルが青色に変わり、割り当てるメニュー項目を選ぶ画面になる。

SELECTダイヤルを回して任意のメニュー項目を選ぶ➤SETを押す。

● 「ユーザー設定」が選んだメニュー項目の名称（先頭に★が付く）に変わる。

アサインボタンに割り当てた機能を使う

必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用します。

MEMO

● アサインボタンを押すと、画面に機能の詳細項目を選ぶメニューが表示されることがあります。そのときは、SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETを押します。

● MENU / EVF：「システム設定」➤「リセット」➤「アサインボタン」で、アサインボタンの割り当てを初期状態に戻すことができます（🕮 235）。

■ USERアサインボタンを使う

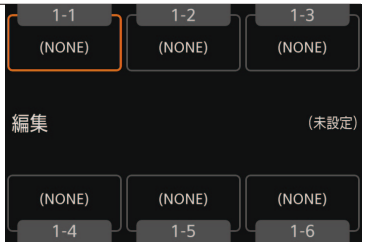
機能を変更する

例：USERアサインボタン1に「ゼブラ」を割り当てる場合

1 機能を割り当てる

① USERボタンを押す。
- USERボタンを押すたびに、USER画面が1→2→3→1の順で切り換わるので、機能を割り当てるUSER画面を表示する。
- SELECTダイヤルを回して操作することもできる。

② SETを押す。
③ SELECTダイヤルを回して、USERアサインボタン1を選ぶ➤SETを押す。
④ SELECTダイヤルを回して、「ゼブラ」を選ぶ➤SETを押す。
- USERアサインボタンの上下の機能名は英語で表示される。



USERアサインボタンに割り当てた機能を使う

1 機能を使う

① USERボタンを押す。
- USER画面が表示される。
- USERボタンを押すたびに、USER画面が1→2→3→1の順で切り換わる。SELECTダイヤルを回して操作することもできる。

② 機能を割り当てたUSERアサインボタンを押す。

カスタムピクチャーを使用する

撮影条件に合わせる、意図的に効果をつけるなど画質を調整するためのさまざまな設定を行うことができます。調整した設定値はカスタムピクチャーファイルとして本機やSDカードに保存し、必要に応じて再利用できます。また、カスタムピクチャーを設定してXF-AVC動画を撮影すると、カスタムピクチャーファイルをクリップと一緒に保存でき（🕮 156）、本機にコピー（🕮 174）することもできます。カスタムピクチャーファイルは本機とSDカードに20セット保存でき、本機とSDカードとの間で相互にコピーできます。
なお、カスタムピクチャーの設定は、RAW記録／出力には影響しません。

機能分類	機能	設定項目	🕮
光の階調に関わるグループ	ガンマ	Gamma	157
	ブラックガンマ	Black Gamma	159
	マスターペデスタル	Black － Master Pedestal	158
	マスターブラック	Black － Master Black	158
	ニー	Knee	159
	セットアップ	Other Functions － Setup Level	161
	100%オーバー	Other Functions － Over 100%	161
輪郭やノイズに関わるグループ	シャープネスレベル	Sharpness － Level	159
	シャープネス水平帯域	Sharpness － H Detail Freq.	159
	シャープネスHVバランス	Sharpness － HV Detail Bal.	159
	シャープネスリミット	Sharpness － Limit	160
	シャープネスセレクト	Sharpness － Select	160
	ニーアパーチャー	Sharpness － Knee Aperture	160
	輝度適応シャープネス	Sharpness － Level Depend	160
	コアリングレベル	Sharpness － Coring － Level	159
	輝度適応コアリング	Sharpness － Coring － D-Ofst / D-Curve	159
	ノイズリダクション	Noise Reduction	160
	スキンディテール	Skin Detail	160
	セレクティブNR	Selective NR	160
色の方向性、強さ、変換に関するグループ	色空間	Color Space	158
	カラーマトリックス	Color Matrix	158
	ローキーサチュレーション	Low Key Satur.	159
	ニーサチュレーション	Knee － Saturation	159
	カラーゲイン	Color Matrix Tuning－Gain	161
	色相	Color Matrix Tuning－ Phase	161
	色調	Color Matrix Tuning － R-G / R-B / G-R / G-B / B-R / B-G	161
	ホワイトバランス	White Balance	161
	カラーコレクション	Color Correction	161

MEMO

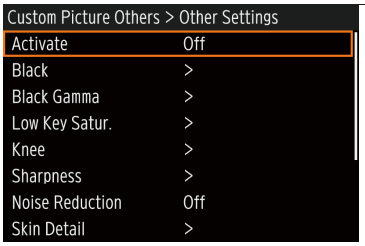
- SDカードまたはCFastカードに保存したカスタムピクチャーファイルは、C700 / C700 GS PL / C700 FF / C700 FF PLのみで使用可能です。

■ 画質を調整してカスタムピクチャーファイルとして登録する

撮影時に良く使う画質調整設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておくと、次に使用するときに、リストから選ぶだけで同じ設定を簡単に再現できます。

1 カスタムピクチャーファイルを選ぶ（📖 97）

2 プリセットを選ぶか、ガンマ、色空間、カラーマトリクスを個別に選ぶ（📖 97）



3 画質調整の設定を行う

参考 ▸▸「Other Settings」（📖 158）

例： Master Pedestal（マスターペデスタル）を調整する場合

① HOME：「COLOR」➤「CP OTHERS」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「Custom Picture」
② 「Other Settings」➤「Activate」を順に選ぶ。
③ 「On」を選ぶ➤ SETを押す。
● 「Other Settings」の設定が有効になる。
④ 「Black」➤「Master Pedestal」を順に選ぶ。
⑤ SELECTダイヤルを回して値を選ぶ➤ SETを押す。
● Other Settingsで調整時は CP がモニター画面に表示される。

設定を初期設定に戻すとき

❶ HOME：「COLOR」➤「CP OTHERS」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「Custom Picture」
❷ 「ファイル」➤「リセット」を順に選ぶ。
❸ 「RESET」を2つ同時に押す（本体メニュー）か、「OK」を選んでSETを押す（モニタリングメニュー）。

4 カスタムピクチャーファイルの名前を設定する

① HOME：「COLOR」➤「CP OTHERS」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「Custom Picture」
② 「ファイル」➤「名称変更」を順に選ぶ。
③ モニタリングメニューのときは、「Input」を選ぶ➤ SETを押す。
④ 8文字以内の英数字・記号で名前を入力する。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」（📖 41）

MEMO

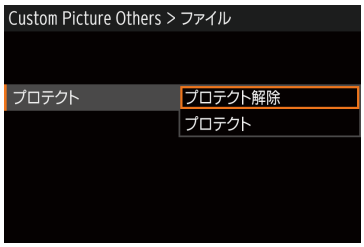
RC-V100リモートコントローラー（別売）を使うとき

■ リモートコントローラー RC-V100のCUSTOM PICT.ボタンを押して、EVF：「Custom Picture」メニューを表示することもできます。

- プロテクトしたカスタムピクチャーファイルを選んでいると、カスタムピクチャーの設定をRC-V100から調整できません（161）。
- RC-V100で画質の調整を行うと、選択中のカスタムピクチャーファイルの設定が変更／登録されます。大切なカスタムピクチャーファイルはSDカードにコピーし、変更しても良いカスタムピクチャーファイルを選んでから、RC-V100で調整してください。

カスタムピクチャーファイルをプロテクトする

必要に応じて、カスタムピクチャーファイルをプロテクトすることができます。



① プロテクトするカスタムピクチャーファイルを選ぶ（97）。
② HOME：「COLOR」➤「CP OTHERS」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「Custom Picture」
③「ファイル」➤「プロテクト」を順に選ぶ。
④「プロテクト」を選ぶ➤SETを押す。
● カスタムピクチャーファイル名に🔑が付く。

カスタムピクチャーファイルをコピーする

カスタムピクチャーファイルを本機とSDカードとの間で相互にコピーすることができます。

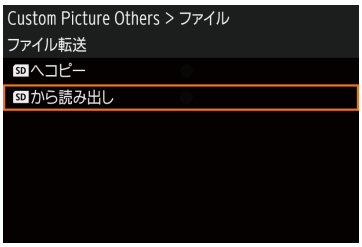
SDへコピー：　選択中のカスタムピクチャーファイルをSDカードにコピーする。新規に追加するか、既存のカスタムピクチャーファイルを上書きするかを選ぶことができる。

SDから読み出し：　選択中のカスタムピクチャーファイルをSDカードのカスタムピクチャーファイルで上書きする。

選択中のカスタムピクチャーファイルをSDカードにコピーする

① カスタムピクチャーファイルを選ぶ（97）。
② HOME：「COLOR」➤「CP OTHERS」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「Custom Picture」
③「ファイル」➤「ファイル転送」➤「SDへコピー」を順に選ぶ。
④ SELECTダイヤルを回して、SDカード内のコピー先となるカスタムピクチャーファイルまたは「新規ファイル」*を選ぶ。
* SDカード内のカスタムピクチャーファイルが20セット未満のときは、「新規ファイル」が表示される。
⑤「OK」を押す（本体メニュー）か、SETを押す（モニタリングメニュー）。
⑥「COPY」を2つ同時に押す（本体メニュー）か、「OK」を選んでSETを押す（モニタリングメニュー）。
● 選択中のカスタムピクチャーファイルがSDカードにコピーされる。
●「新規ファイル」を選んだときは、自動的に最後に追加される。
⑦「OK」を押す（本体メニュー）か、SETを押す（モニタリングメニュー）。

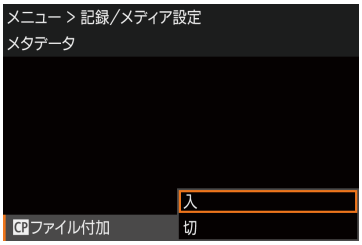
選択中のカスタムピクチャーファイルをSDカードのカスタムピクチャーファイルで置き換える



① プロテクトしていないカスタムピクチャーファイルを選ぶ（📖 97）。
② HOME：「COLOR」➤「CP OTHERS」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「Custom Picture」
③「ファイル」➤「ファイル転送」➤「SD から読み出し」を順に選ぶ。
④ SELECTダイヤルを回して、SDカード内のコピー元となるカスタムピクチャーファイルを選ぶ。
⑤「OK」を押す（本体メニュー）か、SETを押す（モニタリングメニュー）。
⑥「LOAD」を2つ同時に押す（本体メニュー）か、「OK」を選んでSETを押す（モニタリングメニュー）。
● 選択中のカスタムピクチャーファイルが置き換わる。
⑦「OK」を押す（本体メニュー）か、SETを押す（モニタリングメニュー）。

■ カスタムピクチャーファイルをクリップと一緒に保存する

調整を行った画質設定でXF-AVC動画を撮影すると、カスタムピクチャーファイルがクリップと一緒に保存されます。クリップと一緒に保存したカスタムピクチャーファイルは、本機にコピーして再利用することができます（📖 174）。



① MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「メタデータ」➤「CP ファイル付加」を順に選ぶ。
②「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

■ カスタムピクチャーの設定項目

カスタムピクチャーで設定できる項目について説明します。初期設定は太字で記載しています。

設定項目／内容・設定値

Preset

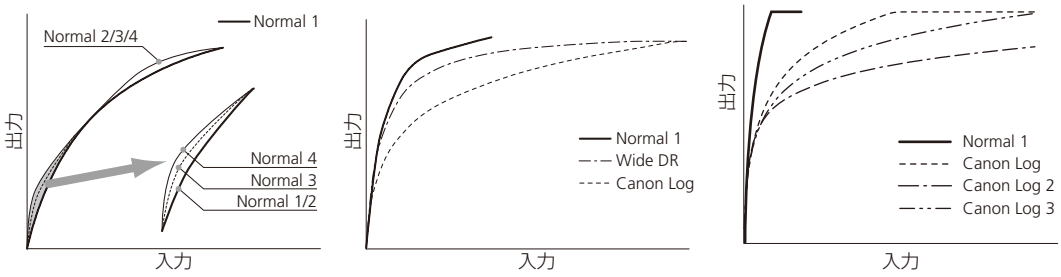
あらかじめ用意された標準的な設定。Canon Log 2などのLogガンマを使用する設定は、ポストプロダクション処理が前提となる。ガンマ、色空間、カラーマトリクスの組み合わせは次のとおり。

Canon Log 3 : C.Gamut	：Canon Log 3 ／ Cinema Gamut ／ Neutral
Canon Log 3 : BT.2020	：Canon Log 3 ／ BT.2020 Gamut ／ Neutral
Canon Log 3 : DCI-P3	：Canon Log 3 ／ DCI-P3 Gamut ／ Neutral
Canon Log 3 : BT.709	：Canon Log 3 ／ BT.709 Gamut ／ Neutral
Canon Log 2 : C.Gamut	：Canon Log 2 ／ Cinema Gamut ／ Neutral
Canon Log 2 : BT.2020	：Canon Log 2 ／ BT.2020 Gamut ／ Neutral
Canon Log 2 : DCI-P3	：Canon Log 2 ／ DCI-P3 Gamut ／ Neutral
Canon Log 2 : BT.709	：Canon Log 2 ／ BT.709 Gamut ／ Neutral
Canon Log	：Canon Log ／ BT.709 Gamut ／ Cinema EOS Original
BT.2020	：Wide DR ／ BT.2020 Gamut ／ Neutral
BT.709	：Wide DR ／ BT.709 Gamut ／ Neutral
切	

Main Settings ➤ Gamma

Preset（プリセット）が「切」のときに、映像全体のテイストを決めるガンマカーブを選択する。

Canon Log 3:	Canon Logの特徴を残したまま、ダイナミックレンジを広くしたガンマ。ポストプロダクション処理が前提。
Canon Log 2：	Canon Logに対して、暗部の階調表現をより豊かにしたガンマ。ポストプロダクション処理が前提。
Canon Log：	ダイナミックレンジを広くとる。ポストプロダクション処理が前提。
Wide DR：	広いダイナミックレンジを確保。TVモニターに出力するとき。
Normal 1 (Standard)：	TVモニターで見るとき。
Normal 2 (x4.0)：	TVモニターで見るとき。Normal 1に対して高輝度部をより明るく撮影。
Normal 3 (BT.709)：	TVモニターで見るとき。Normal 2に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。
Normal 4 (x5.0)：	TVモニターで見るとき。Normal 3に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。



設定項目／内容・設定値

Main Settings ➤ Color Space

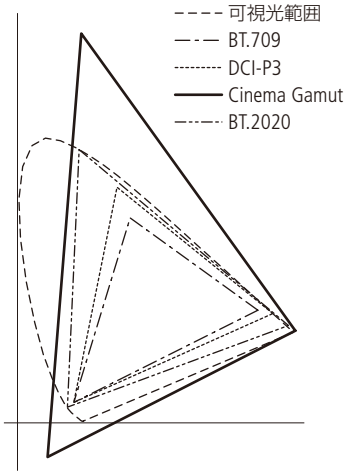
Preset(プリセット)が「切」のときに、映像の色空間を選択する。

Cinema Gamut： センサーの特性に基づいてキヤノンが開発した色空間(Cinema Gamut)でBT.2020より広い色域をカバーする。ACES2065-1色空間に変換して使用することを想定している。

BT.2020 Gamut： UHDTV(4K/8K)用に規定されたITU-R BT.2020規格に準拠した色空間。

DCI-P3 Gamut： DCI(Digital Cinema Initiatives)で規格化されている色空間。

BT.709 Gamut： sRGB規格に準拠した標準的な色空間。



Main Settings ➤ Color Matrix

Preset(プリセット)が「切」のときに、映像の色調を選択する。

Neutral： 忠実な色再現。

Production Camera： 映画制作用の色再現。

Cinema EOS Original： EOS C500の4K出力 (BT.709)と同等の色再現。

Video： EOS C300 / C500でカスタムピクチャーをOFFにしたときと同等の色再現。

Off： 色調を調整しない。

Other Settings ➤ Activate 《 On、**Off** 》

Other Settings(その他の設定)の調整の有効／無効を設定する。

Other Settings ➤ Black ➤ Master Pedestal 《 ±50(**±0**) 》

黒のレベルを調整する。値を高くするほど暗部が明るくなり、コントラストが弱くなる。マイナスの値にすると、黒が沈む。
「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log 2」、「Canon Log」を選択時は、無効。

Other Settings ➤ Black ➤ Master Black Red、Master Black Green、Master Black Blue 《 ±50(**±0**) 》

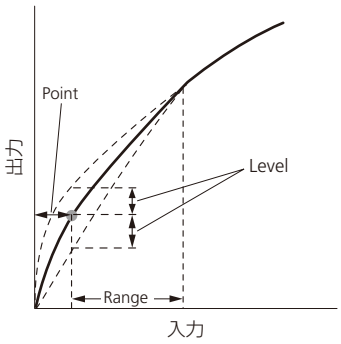
黒の色かぶりをRGB個別に補正する。
「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log 2」、「Canon Log」を選択時は、無効。

設定項目／内容・設定値

Other Settings ➤ Black Gamma

低輝度部のガンマを補正する。各値を変えることで、図の範囲内で黒側のガンマカーブを調整する。「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log 2」、「Canon Log」、「Wide DR」を選択時は、無効。

Level [±50（**±0**）]：　基準ガンマからの高さ
Range [−20 ～ 50（**±0**）]：Pointからの幅
Point [−20 ～ 50（**±0**）]：　頂点の位置



Other Settings ➤ Low Key Satur.

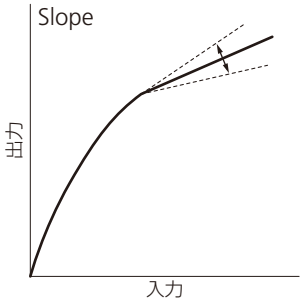
低輝度領域の色の濃い／薄いを調整する。

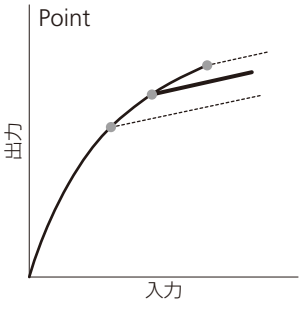
Activate [On、**Off**]：　Onにすると、ローキーサチュレーションによる調整を有効する。
Level [±50（**±0**）]：　低輝度領域の色の濃さ、薄さを設定する。

Other Settings ➤ Knee

高輝度部分に圧縮をかけて、とびの発生を抑える。「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log 2」、「Canon Log」、「Wide DR」を選択時は、無効。

Activate [**On**、Off]：　Onにすると、ニーの調整を有効にする。
Slope [−35 ～ 50（**±0**）]：　ニーの傾き。
Point [50 ～ 109（**95**）]：　ニーポイント。
Saturation [±10（**±0**）]：　高輝度部における色の濃さ・薄さ。





Other Settings ➤ Sharpness ➤ Level　《 −10 ～ 50（**±0**）》

輪郭強調のレベルを調整する。

Other Settings ➤ Sharpness ➤ H Detail Freq.　《 ±8（**±0**）》

水平の輪郭強調の中心周波数を設定する。値を大きくするほど周波数が高くなり、輪郭強調は細くなる。

Other Settings ➤ Sharpness ➤ Coring Level、Coring D-Ofst、Coring D-Curve

輪郭強調によって発生するノイズ成分を低減する（コアリング）。輝度に応じてコアリングのレベルを変えることもできる（輝度適応コアリング）。

Coring Level [−30 ～ 50（**±0**）]：コアリングのレベル。大きくすると、微小な輪郭が強調されなくなり、ノイズを低減できる。
Coring D-Ofst [**0** ～ 50]：　最低輝度のコアリングレベル（レベルディペンド・オフセット）。
Coring D-Curve [**0** ～ 8]：　Coring LevelからCoring D-Ofstまでの変化のしかた（レベルディペンド・カーブ）。

Other Settings ➤ Sharpness ➤ HV Detail Bal.　《 ±8（**±0**）》

輪郭強調の水平成分と垂直成分の比率を調整する。値を大きくすると垂直成分が大きくなり、値を小さくすると水平成分が大きくなる。

設定項目／内容・設定値
Other Settings ➤ Sharpness ➤ Limit 《 ±50(**±0**) 》
輪郭強調の大きさを制限するレベルを調整する。
Other Settings ➤ Sharpness ➤ Select 《 **0** ～ 15 》
Levelで設定した通常の輪郭強調に加えて、より高い周波数成分を含む輪郭強調をかけるときに設定する。数値が大きくなるほど高い周波数成分を含む輪郭強調のレベルが強くなる。通常の輪郭強調では鮮明になりにくい被写体に使用する。
Other Settings ➤ Sharpness ➤ Knee Aperture Gain、Knee Aperture Slope
ニーポイントより輝度が高い領域だけに輪郭強調をかける。「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log 2」、「Canon Log」、「Wide DR」を選択時は、無効。 Knee Aperture Gain [**0** ～ 9]： 輪郭強調の強さ。 Knee Aperture Slope [0 ～ 3（**1**）]：輪郭強調の傾きを0(なし)、1(急) ～ 3(なだらか)の4段階で設定する。
Other Settings ➤ Sharpness ➤ Level Depend Level、Level Depend Slope、Level Depend Offset
低輝度部分の輪郭強調を弱める。 Level Depend Level [**0** ～ 50]： 処理対象の低輝度部分の輝度。 Level Depend Slope [**0** ～ 3]： 低輝度と高輝度部との間の傾きを0(なし)、1(急) ～ 3(なだらか)の4段階で設定する。 Level Depend Offset [**0** ～ 50]： 低輝度部の輪郭強調のレベルを設定し、値を大きくするほど低輝度部の輪郭強調が弱められる。
Other Settings ➤ Noise Reduction 《 −1、**Off**、1 ～ 12 》
ノイズを低減するノイズフィルターを選択する。数値が大きくなるほど、ノイズ低減効果が大きくなる。 Offにしても、弱いノイズフィルターが適用される。−1にすると、ノイズフィルターが完全に解除される。
Other Settings ➤ Skin Detail
肌色部分のノイズを低減して肌を美しく撮影するための設定を行う。調整中、設定した肌色部分を検出すると、ビューファインダー（VIDEO端子）や出力端子（MON.端子、HDMI OUT端子）の出力映像上にゼブラパターンで表示する。 Effect Level [High、Middle、Low、**Off**]： 肌色を検出して、きれいな肌を演出するためのフィルターを調整する。調整は3段階のレベルで設定でき、Highがもっとも強く調整される。 Hue [±16（**±0**）]： 検出する肌色の色相。 Chroma [0 ～ 31（**16**）]： 検出する肌色の彩度。 Area [0 ～ 31（**16**）]： 検出する肌色の色相の幅。 Y Level [0 ～ 31（**16**）]： 検出する肌色の輝度レベル。
Other Settings ➤ Selective NR
特定の色域を検出してノイズを低減するための設定を行う。調整中、設定した色部分を検出すると、ビューファインダー（VIDEO端子）や出力端子（MON.端子、HDMI OUT端子）の出力映像上にゼブラパターンで表示する。 Effect Level [High、Middle、Low、**Off**]： 特定の色を検出して、その色の範囲を美しく演出するためのフィルターを調整する。調整は3段階のレベルで設定でき、Highがもっとも強く調整される。 Hue [0 ～ 31(**0**)]： 検出する色の色相。 Chroma [0 ～ 31（**16**）]： 検出する色の彩度。 Area [0 ～ 31（**16**）]： 検出する色の色相の幅。 Y Level [0 ～ 31（**16**）]： 検出する色の輝度レベル。

設定項目／内容・設定値
Other Settings ➤ Color Matrix Tuning
映像の色調を微調整する。 Gain [±50（**±0**）]：　色の濃さを調整する。 Phase [±18（**±0**）]：色相を調整する。 R-G [±50（**±0**）]：　シアンからグリーン、レッドからマゼンタの色調を調整する。 R-B [±50（**±0**）]：　シアンからブルー、レッドからイエローの色調を調整する。 G-R [±50（**±0**）]：　マゼンタからレッド、グリーンからシアンの色調を調整する。 G-B [±50（**±0**）]：　マゼンタからブルー、グリーンからイエローの色調を調整する。 B-R [±50（**±0**）]：　イエローからレッド、ブルーからシアンの色調を調整する。 B-G [±50（**±0**）]：　イエローからグリーン、ブルーからマゼンタの色調を調整する。
Other Settings ➤ White Balance ➤「R Gain」、「B Gain」　《 ±50（**±0**）》
ホワイトバランスのシフト量を赤色の濃淡（R Gain）と青色の濃淡（B Gain）で調整する。
Other Settings ➤ Color Correction
特定の範囲の色調を補正する。調整中、設定した範囲の色調部分を検出すると、ビューファインダー（VIDEO端子）や出力端子（MON.端子、HDMI OUT端子）の出力映像上にゼブラパターンで表示する（Area A(B) Revision LevelまたはArea A(B) Revision Phaseの調整中を除く）。 Select Area [**Off**、Area A、Area B、Area A&B]：　補正する色の範囲をAエリアとBエリアの2種類設定でき、補正はいずれかまたは両方を選択できる。 Area A（B）Setting Phase [**0** ～ 31]：　AエリアまたはBエリアの色相を設定する。 Area A（B）Setting Chroma [0 ～ 31（**16**）]：　AエリアまたはBエリアの彩度を設定する。 Area A（B）Setting Area [0 ～ 31（**16**）]：　AエリアまたはBエリアの色相の幅を設定する。 Area A（B）Setting Y Level [0 ～ 31（**16**）]：　AエリアまたはBエリアの輝度レベルを設定する。 Area A（B）Revision Level [±50（**±0**）]：　AエリアまたはBエリアにおける、色の濃さの補正量を設定する。 Area A（B）Revision Phase [±18（**±0**）]：　AエリアまたはBエリアにおける、色相の補正量を設定する。
Other Settings ➤ Other Functions ➤ Setup Level　《 ±50（**±0**）》
Black ➤ Master Pedestalで設定した黒レベルに付加するセットアップの調整量を設定する。「Gamma」に「Canon Log 3」、「Canon Log 2」、「Canon Log」を選択時は、無効。
Other Settings ➤ Other Functions ➤ Over 100%　《 **Through**、Press、Clip 》
100%を超える信号の出力のしかたを設定する。 Through：　信号をそのまま出力する。 Press：　108%までの信号全体を100%に圧縮する。 Clip：　白レベルを100%でクリップする。
ファイル ➤ 選択　《 **C1** ～ C20 》
カスタムピクチャーファイルを選択する。
ファイル ➤ 名称変更　《 8文字以内の英数字・記号（**CP000001**）》
カスタムピクチャーファイルの名前を変更する。
ファイル ➤ プロテクト　《 **プロテクト解除**、プロテクト）》
カスタムピクチャーファイルをプロテクトする。
ファイル ➤ リセット
選択しているカスタムピクチャーファイルの設定を初期状態に戻す。

設定項目／内容・設定値
ファイル ➤ ファイル転送
現在選択しているカスタムピクチャーファイルをSDカードまたは本機にコピーする。 SDへコピー：　選択している本機内のカスタムピクチャーファイルをSDカードにコピーする。 SDから読み出し：SDカード内のカスタムピクチャーファイルを本機にコピーし、選択しているカスタムピクチャーファイルを置き換える。

MEMO

- リモートコントローラー RC-V100（別売）を接続して、「Other Settings」➤「Activate」を「On」にすると、次の項目をRC-V100から調整できます。
  - BlackのMaster Pedestal、Master Black Red / Blue
  - Black GammaのLevel
  - KneeのSlope*、Point*
  - SharpnessのLevel
  - White BalanceのR Gain / B Gain

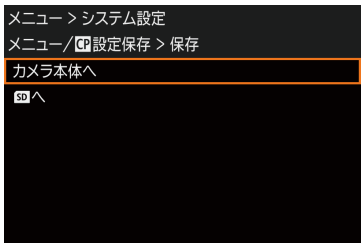
* KneeのActivateがOnのときのみ。

設定データの保存と読み出し

本機の各種の設定情報（設定データ）を本体またはSDカードに保存できます。設定データは、必要に応じて読み出して再利用できます。複数のカメラ（C700 / C700 GS PL同士またはC700 FF / C700 FF PL同士）を同じ設定にするときに便利です。

設定データを保存する

設定データを本体またはSDカードに保存します。

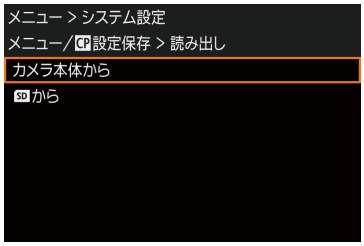


① MENU / EVF：「システム設定」➤「メニュー / CP 設定保存」➤「保存」を順に選ぶ。
② 「カメラ本体へ」または「SD へ」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ 「SAVE」を2つ同時に押す（本体メニュー）か、「OK」を選んでSETを押す（モニタリングメニュー）。
- 現在のメニュー設定やカスタムピクチャーが、②で選んだ保存先に保存される。保存されている設定データは、現在の設定で上書きされる。

④ 「OK」を押す（本体メニュー）か、SETを押す（モニタリングメニュー）。

設定データを読み込む

本体またはSDカードに保存されている設定データを読み込んで本機に設定します。



① MENU / EVF：「システム設定」➤「メニュー / CP 設定保存」➤「読み出し」を順に選ぶ。
② 「カメラ本体から」または「SD から」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ 「LOAD」を2つ同時に押す（本体メニュー）か、「OK」を選んでSETを押す（モニタリングメニュー）。
- 設定データが本機に読み込まれる。
- 設定データが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する。

MEMO

保存されない設定

- HOME画面のIRISのF値（T値）、NDの濃度、SHUTTERの値、ISO/GAINの値、WBの調整方法と微調整値（色温度、色補正値）*1
- ALT：「NETWORK」➤ いずれかのネットワーク機能 ➤「OPTIONS」で設定したパスワード*2

*1 ユーザー設定の名前、微調整値を除く。
*2 初期設定値を除く。

- 設定データを読み込むとき、本機にプロテクトされたカスタムピクチャーファイルがあっても、上書きされます。
- カメラ本体に保存した設定データは、MENU / EVF：「システム設定」➤「リセット」➤「全設定」で本機をリセットすると、消去されます。
- C700 / C700 GS PL同士またはC700 FF / C700 FF PL同士で設定データの保存／読み出しができます。なお、C700 / C700 GS PLで保存した設定データを、C700 FF / C700 FF PLで読み込むと、一部の設定が初期値になります。また、ファームウェアのバージョンが新しいカメラで保存した設定データは、古いファームウェアのカメラでは読み込めないことがあります。

MEMO

5

再　生

クリップ／静止画を再生する..... 166
クリップ／静止画を操作する..... 170

クリップ／静止画を再生する

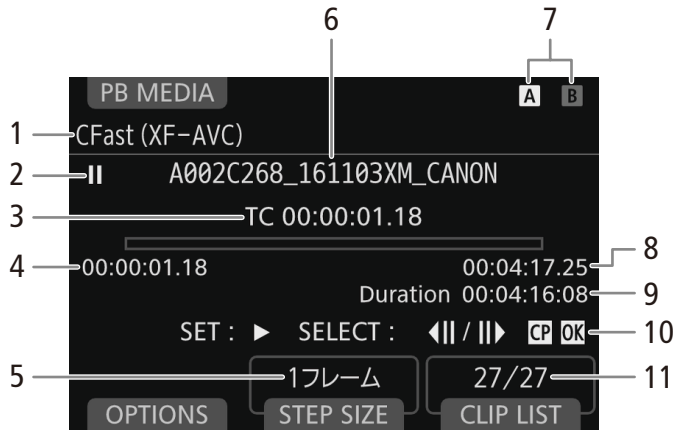
ここでは、撮影した映像（クリップ）の再生について説明します。CDX-36150のCapture Driveに記録したクリップを再生するときは9章「RAWレコーダー」の「再生する」（📖 255）をご覧ください。
外部のモニターに接続して再生するときは、「接続」（📖 175）をご覧ください。

PLAY（再生操作）画面

PLAYボタンを押すとカメラがメディアモードに切り換わります。コントロールディスプレイにはPLAY画面が表示されます。PLAY画面では、現在の主記録形式で最後に記録したクリップの再生一時停止状態となり、クリップの情報が表示されます。HOMEボタンなど他の機能ボタンを押すとメディアモードは終了し、押したボタンの画面に切り換わります。

システム周波数を変更する

クリップ撮影時のシステム周波数の設定が、本機の設定と異なると再生できません。本機のシステム周波数を再生するクリップと同じ設定にしてください。
PLAY：MENU ➤「記録／メディア設定」➤「システム周波数」



6 ～ 7、11 ～ 16には、選択しているクリップの情報が表示されます。

1 再生メディア（記録形式）

2 再生状況

▶ PLAY	再生中
II PAUSE	再生一時停止中
II▶	コマ送り
◀II	コマ戻し

3 現在の再生位置のタイムコード

4 記録開始フレームのタイムコード

5 フレーム送り量

6 クリップファイル名

7 記録メディア

- CFastカードの場合、現在選択しているカードをハイライト表示する。

8 記録終了フレームのタイムコード

9 記録時間

10 OKマーク* ／チェックマーク* ▶▶ 📖 172

11 クリップ番号／クリップ総数

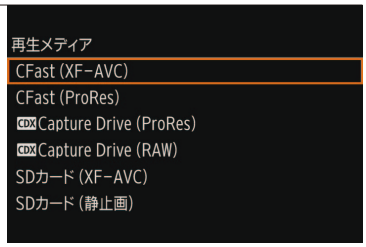
* XF-AVCクリップのみ。

再生するメディアと記録形式を選ぶ

再生するクリップ／静止画のメディアと記録形式を選びます。

1 再生するクリップ／静止画のメディアと記録形式を選ぶ

① PLAY：「PB MEDIA」を選ぶ。
【代替操作】PLAY：「CLIP LIST」➤「PB MEDIA」
② いずれかを選ぶ➤SETを押す。
- 選んだメディア／記録形式の最新のクリップまたは静止画の情報が表示される。



CFastカードを切り換える

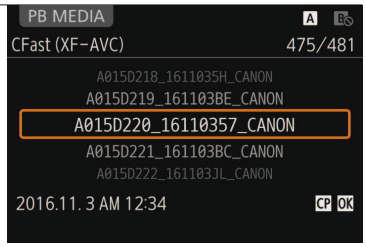
両方のCFastカードスロットにCFastカードを入れているときは、SLOT SELECT（スロット選択）ボタンを押して、再生するCFastカードを切り換えることができます（59）。

クリップを再生する

PLAY画面の「CLIP LIST」で選んだクリップを再生します。クリップを再生すると、モニター画面に再生映像が表示されます。

1 再生するクリップを選ぶ

① 「CLIP LIST」を押す。
② SELECTダイヤルを回して、クリップを選ぶ。



2 SETボタンを押す

- 再生が始まり、モニター画面に映像が表示される。
- 再度、SETボタンを押すと再生一時停止となり、SELECTダイヤルを回して再生開始フレームを選べる。
- 選んだクリップの再生が終わると、クリップの最終フレームで再生一時停止となる。

フレームの送り量を変更するとき

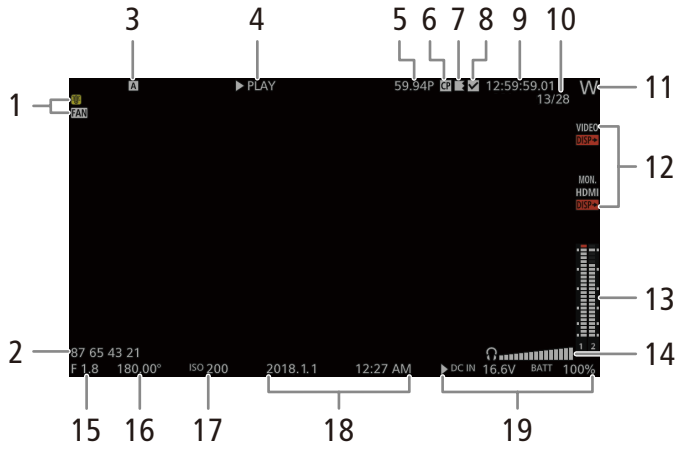
「STEP SIZE」➤「1フレーム」、「1sec」、「10%」のいずれかを選ぶ。

ご注意

アクセスランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けない。

再生時のモニター画面表示



1 高温警告／ファン ▶▶ 71

2 ユーザービット*1 ▶▶ 123

3 CFast ／ SDカード／ Capture Drive ▶▶ 59

4 再生状況

▶ PLAY	再生中
❚❚ PAUSE	再生一時停止中
❚❚▶	コマ送り
◀❚❚	コマ戻し

5 撮影フレームレート*1 ／フレームレート ▶▶ 73

- 撮影フレームレートは、スロー &ファストモーション記録で記録されたクリップのみ。

6 カスタムピクチャー *1 ▶▶ 153

- カスタムピクチャーファイルが一緒に記録されているクリップのとき表示される。

7 リレー記録*1 ▶▶ 60

- リレー記録が発生したクリップに表示される。リレーが発生したときの位置によって、▮（先頭）、▮（中間）、▮（終端）がある。

8 OKマーク*1 ／チェックマーク*1 ▶▶ 172

9 タイムコード ▶▶ 121

10 クリップ番号／クリップ総数

11 カメラインデックス*2

12 画面表示出力 ▶▶ 182

13 オーディオレベルメーター *3

14 ヘッドホン音量

15 F値*1*4 ▶▶ 92

16 シャッタースピード*1*4 ▶▶ 84

17 ISO感度／ゲイン*1*4 ▶▶ 87

18 収録日と記録開始時間*1*5

19 DC入力／バッテリーの電圧

*1 XF-AVCクリップのみ。
*2 MENU / EVF：「モニタリング設定」➤「Custom Display」➤「カメラインデックス」が「入」のときに表示される。
*3 MENU / EVF：「モニタリング設定」➤「Custom Display」➤「Audio レベル」が「入」のときに表示される。
*4 MENU / EVF：「モニタリング設定」➤「Custom Display」➤「カメラデータ」が「入」のときに表示される。
*5 MENU / EVF：「モニタリング設定」➤「Custom Display」➤「日付/時刻」が「入」のときに表示される。

音声を聞く

再生中は、音声をヘッドホンで聞くことができます。音量は、PLAY：MENU ➤「オーディオ設定」➤「ヘッドホン音量」で調整できます。アサインボタン（📖 148）で調整することもできます。音声はSDI OUT端子、MON.端子とHDMI OUT端子にも出力されます（📖 179）。

MEMO

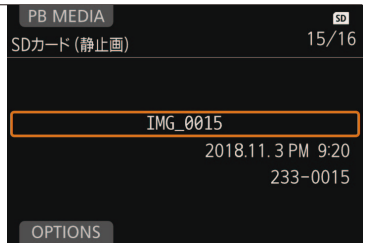
- モニターするチャンネルの選択については、「音声出力チャンネルを選ぶ」（📖 188）をご覧ください。

静止画を再生する

静止画を再生します。静止画はモニター画面に表示されます。

1 「PB MEDIA」に「SDカード（静止画）」を選ぶ（📖 167）

- SDカード内の最後に記録された静止画がモニター画面に表示される。
- SELECTダイヤルを回すと、前後の静止画に移動できる。



ご注意

- SDカードアクセスランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - SDカードを取り出さない。

MEMO

- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
  - 本機以外の製品で記録したとき。
  - パソコンで作成や加工、ファイル名の変更をしたとき。

クリップ／静止画を操作する

PLAY画面で選んでいるクリップに対する操作や情報表示を行うことができます。

操作一覧

機能	内容	記録形式				🕮
		XF-AVC（CFast）	ProRes（CFast）	XF-AVC Proxy（SDカード）	静止画	
クリップ情報表示	クリップ情報画面を表示する。	●	●	●	–	171
OK Mark追加／ OK Mark消去	OKマークを付加／消去する。	●*1	–	–	–	172
☑ Mark追加／ ☑ Mark消去	チェックマークを付加／消去する。	●*1	–	–	–	172
消去	クリップ／静止画を消去する。	●	●	●	●	172
User Memo消去	クリップに付加されているユーザーメモ／ GPS情報を消去する。	●	–	●	–	173
CP ファイルコピー	カスタムピクチャーファイルを本機にコピーする。	●	–	●	–	174
クリップ修復	クリップを修復する。	●	●	●	–	61
FTP転送	クリップをFTPで転送する。	–	–	●	–	217

*1 クリップにOKマーク／チェックマークが既に付加されているときは、「消去」になる。

ご注意

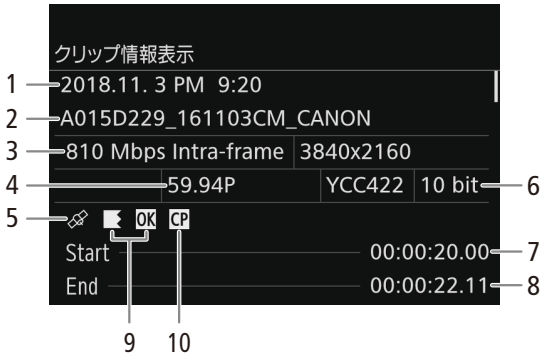
- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - アクセスしているカードスロットのカードカバーを開けない。

MEMO

- SDカードに記録したクリップの操作を行うときは、SDカードの誤消去防止ツマミの「LOCK」を解除してください。

■ クリップ情報を表示する

選択しているクリップの情報を確認できます。基本的なクリップ情報（撮影設定、タイムコード、マーク情報など）のほか、レンズ型名情報／ユーザーメモ、カスタムピクチャーの情報を確認することができます。



1 撮影開始日時

2 クリップファイル名 ▶▶ 🕮 70

3 ビットレート／解像度

4 スロー &ファストモーション記録情報* ／フレームレート

- スロー &ファストモーション記録で記録したクリップのときは、「S&F REC」が表示され、フレームレートの表示が「撮影フレームレート／再生フレームレート」になる。

5 GPS情報マーク* ▶▶ 🕮 140

6 カラーサンプリング ▶▶ 🕮 73

7 記録開始フレームのタイムコード

8 記録終了フレームのタイムコード

9 OKマーク* ／チェックマーク* ／リレー記録マーク*

10 カスタムピクチャー *

11 収録時間

12 付加されているカスタムピクチャーの設定内容*

13 レンズ情報*

14 ユーザーメモ*

* ProResクリップのときは表示しない。

1 クリップ情報を表示する

① PLAY：「OPTIONS」 ➤「クリップ情報表示」を順に選ぶ。

- クリップ情報画面が表示される。

② SELECTダイヤルを回すと、画面をスクロールさせることができる。

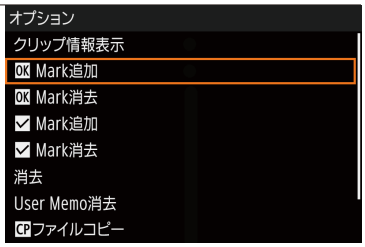
- PLAYボタンを押すとPLAY画面に戻る。

■ OKマーク／チェックマークを付加／消去する

CFastカードに記録したXF-AVCクリップにOKマーク／チェックマークを付加することができます。OKマークが付加されたクリップは、本機での消去が禁止されるため、重要なクリップを保護できます。

1 PLAY画面でクリップを選ぶ

2 マークを付加する



① 「OPTIONS」➤「OK Mark追加」または「✓ Mark追加」を順に選ぶ➤SETを押す。
② 「OK」を押す。
- 「OK Mark」が表示され、OKマークが付加される。
- チェックマークのときは、「✓ Mark」が表示される。

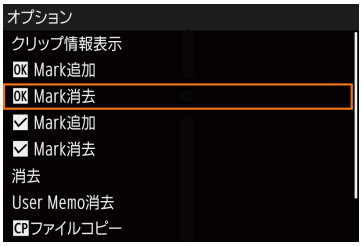
③ 「OK」を押す。
- OKマークを付加したクリップには、画面にOKが、チェックマークを付加したクリップには、画面に✓が表示される。

【代替操作】「OK Mark追加」アサインボタンまたは「✓ Mark追加」アサインボタン

MEMO

- OKマークとチェックマークは同じクリップに同時に付加することができないため、OKマークが付加されたクリップにチェックマークを付加すると、OKマークは解除されます。チェックマークが付加されたクリップにOKマークを付加したときも同様に、チェックマークが解除されます。

OKマーク／チェックマークを消去する



① マークを消去するXF-AVCクリップを選ぶ。
② PLAY：「OPTIONS」➤「OK Mark消去」または「✓ Mark消去」を順に選ぶ。
③ 「OK」を押す。
- 選択したクリップのOKマークまたはチェックマークが消去される。

④ 「OK」を押す。

■ クリップ／静止画を消去する

記録したクリップ／静止画を消去することができます。OKマークが付加されたXF-AVCクリップは消去できません。消去するときは、先にOKマークを消去する必要があります。

① 消去するクリップ／静止画を選ぶ。
② PLAY：「OPTIONS」➤「消去」を順に選ぶ。
③「DELETE」を2つ同時に押す。
- 選択したクリップ／静止画が消去される。
- クリップ／静止画の消去は中止できない。

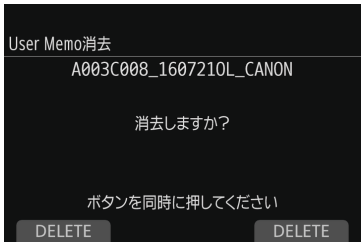
④「OK」を押す。

ご注意

- 一度消したクリップ／静止画は元に戻せません。消す前にクリップ／静止画を確認してください。

■ クリップに付加されているユーザーメモ／ GPS情報を消去する

選択したクリップに付加されているユーザーメモ／ GPS情報を消去することができます。

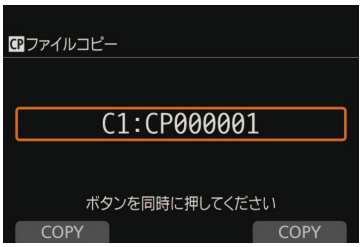


① ユーザーメモ／ GPS情報を消去するクリップを選ぶ。
② PLAY：「OPTIONS」➤「User Memo消去」を順に選ぶ。
③「DELETE」を2つ同時に押す。
- 選択したクリップに付加されているユーザーメモ／ GPS情報が消去される。

④「OK」を押す。

カスタムピクチャーファイルをコピーする

選択したXF-AVCクリップと一緒に記録されているカスタムピクチャーファイルを、本機にコピーすることができます。



① コピー元のクリップを選ぶ。
② PLAY：「OPTIONS」➤「CP ファイルコピー」を順に選ぶ。
- カスタムピクチャーの設定内容が表示される。
- SELECTダイヤルを回すと、画面をスクロールさせることができる。

③「FILE」を押す ➤ SELECTダイヤルを回して、コピー先のカスタムピクチャーファイルを選ぶ。
- 「C1」～「C20」からコピー先を選ぶ。

④「COPY」を2つ同時に押す。
- 選択したクリップと一緒に記録されているカスタムピクチャーファイルがコピーされる。

⑤「OK」を押す。

MEMO

- コピー先に、プロテクトされたカスタムピクチャーファイルを選択することはできません。

6 接　続

出力信号形式 176

外部のモニター／レコーダーを
接続する 179

出力映像にLUTを適用する 183

音声出力を選択する 188

クリップを保存／現像する 189

出力信号形式

SDI OUT端子／ MON.端子、HDMI™ OUT端子からの出力は、記録・再生の映像信号形式とメニューの設定によって切り換わります。CDX-36150レコーダーに記録するときは、「メイン動画をCDX-36150レコーダーのCapture Driveに記録する」(🕮 249)を、CDX-36150のCapture Driveに記録したクリップを再生するときは9章「RAWレコーダー」の「再生する」(🕮 255)をご覧ください。

撮影時の記録信号形式とSDI OUT端子の出力信号形式

記録信号形式			各SDI OUT端子の出力*3*4				必要な端子数	信号
主記録形式*1	解像度／カラーサンプリング	フレームレート*2	1	2	3	4		
RAW (SDI OUT)	4096×2160 RAW	60P以下	フレームシーケンシャル RGBA1	RGBA2			2	3G
		30P以下	RGBA				1	
XF-AVC(CFast) ProRes(CFast)	4096×2160 3840×2160 YCbCr 4:2:2 10 bit	60P以下	スクウェアディビジョン 左上	右上	左下	右下	4	3G
		30P以下	スクウェアディビジョン 左上	右上	左下	右下	4	HD
	2048×1080 1920×1080 RGB 4:4:4 12/10 bit*5	60P以下	RGB				2	Dual link 3G
		30P以下	RGB				1	3G
	2048×1080 1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit	240P以下	フレームシーケンシャル YCC1	YCC2	YCC3	YCC4	4	3G
		120P以下	フレームシーケンシャル YCC1	YCC2			2	
		60P以下	YCC				1	
		30P以下、59.94i*6、50.00i*6	YCC				1	HD

*1 MENU：「記録／メディア設定」➤「主記録形式」の設定 (🕮 73)。
*2 出力信号形式のフレームレートは、記録信号形式と同じ (スロー &ファストモーション記録時を除く)。
*3 カラーサンプリングは「解像度/サンプリング」(🕮 73)の設定と同じ。
*4 必要な端子数が1本または2本の場合、残りの端子にも同じ信号が出力される (表中の網掛け部)。
*5 RGB 4:4:4 10 bitは、XF-AVC(CFast)のときのみ。
*6 1920×1080のみ。

撮影時の記録信号形式と出力信号形式（SDI OUT端子以外）

<table>
<tr><th rowspan="4">「主記録形式」*1</th><th colspan="2">記録信号形式</th><th colspan="4">出力信号形式</th></tr>
<tr><th rowspan="3">フレームレート*2</th><th rowspan="3">解像度</th><th colspan="2">MON.端子*3</th><th colspan="2">HDMI OUT端子*3*5*6</th></tr>
<tr><th colspan="2">「MON.出力」*4</th><th colspan="2">「HDMI最大解像度」*7</th></tr>
<tr><th>2048×1080 / 1920×1080</th><th>1920×1080</th><th>4096×2160 / 3840×2160</th><th>1920×1080</th></tr>
<tr><td>RAW
（SDI OUT）</td><td>59.94P
50.00P
29.97P
25.00P
24.00P
23.98P</td><td>4096×2160</td><td>2048×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td rowspan="6">1920×1080
YCbCr4:2:2 10 bit</td><td>1920 x 1080、720×480（59.94Pのみ）、720×576（50.00Pのみ）</td><td rowspan="6">1920 x 1080、720×480（59.94Pのみ）、720×576（50.00Pのみ）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">XF-AVC（CFast）、ProRes（CFast）</td><td rowspan="4">59.94P
50.00P
29.97P
25.00P
24.00P
23.98P</td><td>4096×2160</td><td>2048×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td>4096×2160</td></tr>
<tr><td>3840×2160</td><td>1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td>3840×2160</td></tr>
<tr><td>2048×1080</td><td>2048×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td rowspan="3">1920 x 1080、720×480（59.94Pのみ）、720×576（50.00Pのみ）</td></tr>
<tr><td>1920×1080</td><td rowspan="2">1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td></tr>
<tr><td>59.94i
50.00i</td><td>1920×1080</td></tr>
</table>

*1 MENU：「記録／メディア設定」➤「主記録形式」の設定（📖 73）。

*2 出力信号形式のフレームレートは、記録信号形式と同じ（スロー＆ファストモーション記録時を除く）。

*3 画面表示の重畳（📖 182）、ピーキング／ゼブラパターンなどアシスト表示が出力可能（📖 108）。HDMI OUT端子の4K（水平解像度が4096または3840）出力時を除く。

*4 MENU：「システム設定」➤「端子出力設定」➤「MON.出力」の設定（📖 236）。

*5 MON.端子出力がOFFのときはモニターの能力に応じた解像度で出力する。MON.端子出力がONで、モニターが出力信号を受けられないときは出力を停止する。記録信号形式の水平解像度が2048のときは、映像の両端が切り取られる。

*6 カラーサンプリングは、モニターに応じてYCbCr 4:2:2 10 bit、YCbCr 4:4:4 8 bit、RGB 8 bitから自動的に選ばれる。出力解像度が4096×2160または3840×2160で、フレームレートが59.94P ／ 50.00Pのときは、YCbCr 4:2:0 8 bitとなる。

*7 MENU：「システム設定」➤「端子出力設定」➤「HDMI最大解像度」の設定（📖 236）。

再生時の出力信号形式

再生信号形式		出力信号形式				
解像度	フレームレート	SDI OUT端子*1	MON.端子		HDMI OUT端子*3*4	
			「MON.出力」*2		「HDMI最大解像度」*5	
			2048×1080 / 1920×1080	1920×1080	4096×2160 / 3840×2160	1920×1080
4096×2160	59.94P 50.00P 29.97P 25.00P 24.00P 23.98P	4096×2160 YCbCr 4:2:2 10 bit	2048×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit	1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit	4096×2160*6	1920×1080、720×480（59.94Pのみ）、720×576（50.00Pのみ）
3840×2160		3840×2160 YCbCr 4:2:2 10 bit	1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit		3840×2160*6	
2048×1080		2048×1080 ／ RGB 4:4:4 12/10 bit*7、 YCbCr 4:2:2 10 bit	2048×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit		1920×1080、720×480（59.94Pのみ）、720×576（50.00Pのみ）	
1920×1080		1920×1080 ／ RGB 4:4:4 12/10 bit*7、 YCbCr 4:2:2 10 bit	1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit			
1920×1080	59.94i 50.00i	1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit				

*1 サブ動画（XF-AVC Proxy）クリップの再生時、MON.端子に画面表示を重畳すると、SDI OUT端子にも重畳される。

*2 MENU：「システム設定」➤「端子出力設定」➤「MON.出力」の設定（🕮 236）。

*3 MON.端子が「切」のときはモニターに応じてHDまたはSDが出力される。MON.端子が有効で、モニターが出力信号を受けられないときは出力を停止する。

*4 カラーサンプリングは、モニターに応じてYCbCr 4:2:2 10 bit、YCbCr 4:4:4 8 bit、RGB 8 bitから自動的に選ばれる。

*5 MENU：「システム設定」➤「端子出力設定」➤「HDMI最大解像度」の設定（🕮 236）。

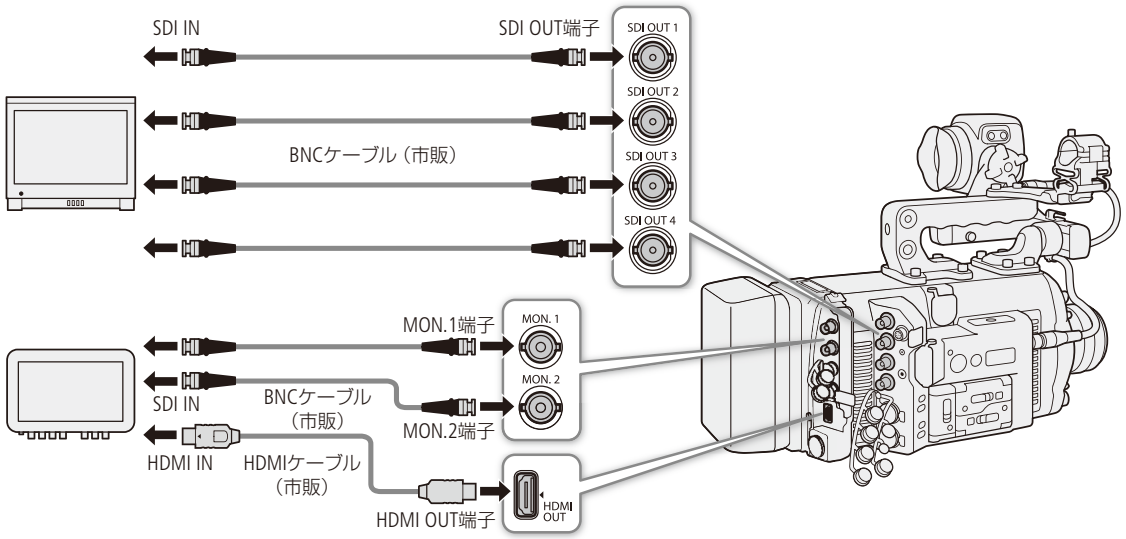
*6 SDI OUT端子が「切」のときのみ出力可能。

*7 RGB 4:4:4 10 bitは、XF-AVC（CFast）のときのみ。

外部のモニター／レコーダーを接続する

カメラの映像を外部モニターや外部レコーダーに出力するときは、接続する機器に応じて使用する端子を決めて本機と外部機器を接続したあと、使用する端子の出力信号形式をメニューで設定します（参考 ▸▸「出力信号形式」（🕮 176））。

■ 接続のしかた

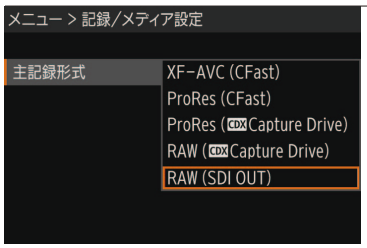


■ SDI OUT端子を使用する

SDI OUT端子から出力される映像信号には、オーディオ信号（4チャンネル*1）とタイムコード信号、メタデータ、クリップファイル名情報*2が重畳されます。SDI OUT 端子に外部レコーダーを接続すると、外部レコーダーに4K ／ 2K映像を記録できます。レコーダーやディスプレイの機能・操作については、それぞれの説明書などをご覧ください。音声については「音声出力を選択する」（🕮 188）をご覧ください。

*1 RAW出力時は2チャンネル、16ビット出力（伝送路は20ビット）となります。出力するチャンネルはメニューで選択できます（🕮 188）。

*2 主記録形式が「ProRes（CFast）」でCFastカードが入っていない場合、ファイル名情報は重畳しません。

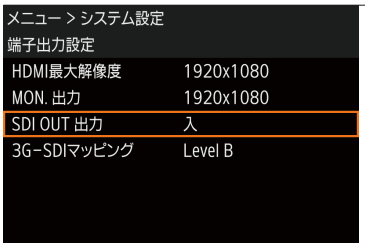


1 RAWを出力するとき　主記録形式に「RAW（SDI OUT）」を選ぶ

① MENU / EVF：「記録／メディア設定」▸「主記録形式」を順に選ぶ。
【代替操作】HOME：「S&F FPS」▸「OPTIONS」▸「主記録形式」

② 「RAW（SDI OUT）」を選ぶ ▸ SETを押す。

● SDI OUT端子の出力が自動的に有効になる。



2 動画形式が「RAW(SDI OUT)」以外のとき SDI OUT端子の出力を有効にする

① MENU / EVF：「システム設定」➤「端子出力設定」➤「SDI OUT出力」を順に選ぶ。
②「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
- SDI OUT端子を使用しないときは「切」を選ぶ。

3 必要に応じて、出力信号のマッピング方式を選ぶ（181）

MEMO

- 接続するレコーダーによっては、設定した記録信号形式で記録できないことがあります。
- 本機と外部レコーダーを接続後、必ずためし撮りをして正常に録画・録音されていることを確認してください。
- MENU：「記録／メディア設定」➤「記録コマンド」を「入」にして、本機と他機をSDI OUT端子またはMON.端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作（RECボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。

RAW出力時の動作について

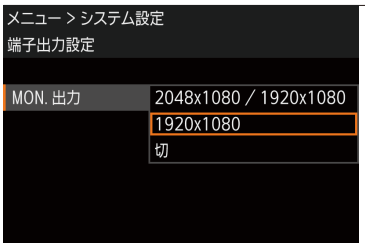
- ガンマはRAW用のガンマで出力されます。
- RAW映像とともに出力される音声は2ch リニアPCM（16ビット）です。音声は、4ch リニアPCM（24ビット）で記録可能なメイン動画／サブ動画での収録をおすすめします。
- 出力信号のマッピング方式はLevel Bです。

- SDI OUT端子から2K RGB4:4:4信号を出力時、MON.端子からの出力は2K YCbCr信号となります。

MON.端子を使用する

MON.端子から出力される映像信号には、オーディオ信号（4チャンネル）とタイムコード信号、メタデータ、クリップファイル名情報*が重畳されます。また、マーカー、ゼブラパターン、ピーキング、フォルスカラー、画面表示が重畳できるほか、拡大表示や白黒表示（231）を行うこともできます。

* 主記録形式が「ProRes（CFast）」でCFastカードが入っていない場合、ファイル名情報は重畳しません。



1 MON.端子の出力を有効にする

① MENU / EVF:「システム設定」➤「端子出力設定」➤「MON.出力」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

2048×1080 /1920×1080：
2048×1080または1920×1080の映像を出力する。

1920×1080：
常に1920×1080の映像を出力する。記録信号形式の水平解像度が4096または2048のときは、上下に黒い帯が追加される。

- MON.端子を使用しないときは、「切」を選ぶ。

2 必要に応じて、出力信号のマッピング方式を選ぶ

① MENU / EVF：「システム設定」➤「端子出力設定」➤「3G-SDIマッピング」を順に選ぶ。
② 「Level A」または「Level B」を選ぶ ➤ SETを押す。
- SMPTE ST 425規格のLevel AまたはLevel Bに準拠した信号が出力される。

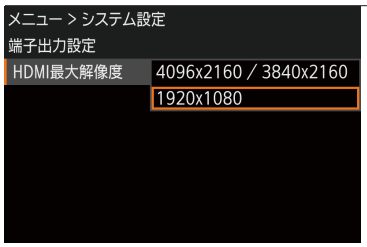
MEMO

- MENU：「記録／メディア設定」➤「記録コマンド」を「入」にして、本機と他機をSDI OUT端子またはMON.端子*でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作（RECボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。

*「センサーモード」が「フルサイズ」でかつフレームレートが59.94P/50.00Pのときを除く。

HDMI OUT端子を使用する

HDMI OUT端子を使用すると、映像と音声をデジタル信号で出力することができます。出力信号の最大解像度はメニューで設定できます。また、マーカー、ゼブラパターン、ピーキング、フォルスカラー、画面表示が重畳できるほか、拡大表示や白黒表示（231）を行うこともできます。音声は2チャンネル、リニアPCM（16ビット、48kHz）で出力されます。出力チャンネルはメニューで選択できます（188）。



1 出力信号の最大解像度を選ぶ

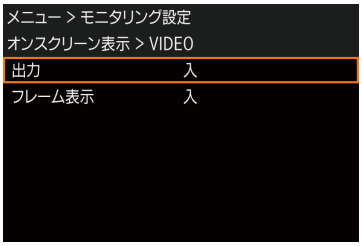
① MENU / EVF：「システム設定」➤「端子出力設定」➤「HDMI最大解像度」を選ぶ。
② 「4096×2160 / 3840×2160」または「1920×1080」を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

- MON.端子出力がOFFのときは、モニターの能力に応じた解像度で出力します。MON.端子出力がONで、モニターが出力信号を受けられないときは出力を停止します。
- HDMI OUT端子は出力専用です。他の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、他の端子を使って接続してください。

■ 出力映像に画面表示を重畳する

ビューファインダー（VIDEO端子）、MON.端子またはHDMI OUT端子から出力される映像に画面表示を重畳することができます。この設定は、記録映像とSDI OUT端子の出力映像には影響しません。



① MENU / EVF：「モニタリング設定」➤「オンスクリーン表示」➤「VIDEO」または「MON. + HDMI」➤「出力」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
【代替操作】「オンスクリーン表示」、「オンスクリーン表示：VIDEO」、「オンスクリーン表示：MON.+HDMI」アサインボタン
- モニター画面にDISP➡が表示される*。

* 撮影画面では、MENU / EVF：「モニタリング設定」➤「Custom Display 2」➤「オンスクリーン表示」が「入」のときのみ表示される。

MEMO

- HDMI OUT端子の出力解像度が4096×2160または3840×2160の場合、HDMI OUT出力映像に画面表示を重畳しません。

出力映像にLUTを適用する

カスタムピクチャーで特定のガンマ／色空間を選択している場合、SDI OUT端子、MON.端子、HDMI OUT端子、ビューファインダー（VIDEO端子）の出力映像にLUTを適用して、標準的なガンマ／色空間に変換できます。映像出力端子に接続した外部モニターなどで映像を確認する際に使用します。端子からの出力映像の確認には、各色空間に準拠した表示装置が必要です。Blackmagic Design DaVinci Resolveで作成したLUTファイル（.cube形式）を本機に読み込んで適用することもできます（🕮 184）。

選択できるLUT

LUT	ガンマ	色空間	内容
BT.709	Wide DR	BT.709	BT.709規格に準拠した外部モニターやビューファインダーで確認するためのLUT。
BT.2020*1	Wide DR	BT.2020	UHDTV（4K/8K）用に規定されたITU-R BT.2020規格に準拠した外部モニターで確認するためのLUT。
DCI*1	DCI	DCI-P3	DCI（Digital Cinema Initiatives）で規格化されている色空間とガンマに対応する外部モニターで確認するためのLUT。
ACESproxy*1	ACESproxy	ACESproxy	ACESproxyに準拠する外部モニターで確認するためのLUT。フルレンジで出力する。
HDR-PQ*1*2	PQ	BT.2020	HDR（High Dynamic Range）映像をITU-R BT.2100で定義されたPQ規格に準拠した外部モニターで確認するためのLUT。ナローレンジ（ビデオレンジ）で出力する。
HDR-HLG*1*2	Hybrid Log-Gamma	BT.2020	HDR（High Dynamic Range）映像をITU-R BT.2100で定義されたHLG規格に準拠した外部モニターで確認するためのLUT。ナローレンジ（ビデオレンジ）で出力する。
HDR 1600%*3	独自ガンマ	BT.709	ITU-R BT.2100のHDR映像をビューファインダーなどで確認するためのLUT。1600%、400%のいずれかの輝度領域をリニアに変換する。
HDR 400%*3			

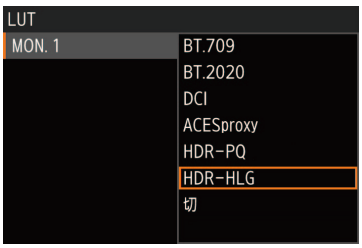
*1 ビューファインダー（VIDEO端子）では選択できない。
*2 HDMI OUT端子では、解像度が4096×2160または3840×2160でかつ、フレームレートが59.94Pまたは50.00Pの信号が出力可能な場合を除く（🕮 177、178）。
*3 VIDEO端子のみ。

LUTを適用できるガンマと色空間の組み合わせ

「基本的なガンマ／カラーを設定する」（🕮 97）で選択したガンマと色空間の組み合わせによって、LUTの適用可否と選択できるLUTが決まります。

カスタムピクチャー		選択できるLUT						
ガンマ	色空間	BT.709	BT.2020	DCI	ACESproxy	HDR-PQ	HDR-HLG	HDR 1600% / 400%
Canon Log 2 / Canon Log 3	Cinema Gamut	●	●	●	●*	●	●	●
	BT.2020 Gamut	●	●	—	—	●	●	●
	DCI-P3 Gamut	●	—	●	—	—	—	—
	BT.709 Gamut	●	—	—	—	—	—	—
Canon Log	BT.709 Gamut	●	—	—	—	—	—	—
Wide DR	BT.2020 Gamut	●	—	—	—	—	—	—

* HOME：「COLOR」➤「CP MAIN」➤「Preset」で「Canon Log 2 : C.Gamut」または「Canon Log 3 : C.Gamut」を選択したときのみ。



① HOME：「COLOR」➤「LUT」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「モニタリング設定」➤「LUT」
② いずれかの端子または「SD XF-AVC」*を選ぶ➤SETを押す。
* サブ記録（XF-AVC Proxy）の動画にLUTを適用するとき。
③ いずれかのLUTを選ぶ➤SETを押す。
● 出力映像のガンマと色空間が変更される。
● LUTを適用しないときは「切」を選ぶ。

MEMO

ACESproxyの映像を出力する（オンセット・グレーディング）

SDI OUT端子、MON.端子またはHDMI OUT端子に「ACESproxy」のLUTを適用すると、ACESproxy準拠の映像に変換して出力できます。対応する表示装置*でモニタリングすることにより、撮影現場でカラーグレーディング時の映像を確認しながら撮影できます（📖 21）。

* HDMI OUT端子で接続するときは、YCbCrフルレンジに対応していること。

● 「LUT」を割り当てたアサインボタンで、LUTの入／切を操作することもできます（📖 148）。
● カスタムピクチャーのPreset、Main Settingsのガンマ／色空間を変更すると、LUTの設定はすべて「切」になります。

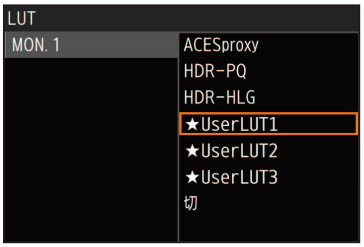
■ ユーザー LUTを使用する

Blackmagic Design DaVinci Resolveで作成したLUTファイル（.cube形式）を本機に登録して、出力端子の映像に適用することができます（ユーザー LUT）。カスタムピクチャーのガンマがLogガンマのときに適用でき、適用可能な出力端子はSDI OUT端子、MON.端子、HDMI OUT端子、ビューファインダー（VIDEO端子）です。サブ動画（XF-AVC Proxy）のクリップには適用できません。出力の色域やレンジを設定することもできます。
ユーザー LUTはSDカードを使用して本機に読み込み、4種類まで登録できます。

ユーザー LUTを登録する

① LUTファイル（.cube形式）が保存されているSDカードを本機のSDカードスロットに入れる。
② HOME：「COLOR」➤「USER LUT」➤「登録」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「モニタリング設定」➤「LUT」➤「User LUT」➤「登録」
③ SELECTダイヤルを回して、UserLUT1 ～ 4のいずれかを選ぶ➤SETを押す。
④ SDカード内のLUTファイルを選ぶ➤SETを押す。
⑤ 出力色空間（Color Space (Output)）を、「BT.709 Gamut」または「BT.2020 Gamut」から選ぶ➤SETを押す。
● 変換しないときは「変換しない」を選ぶ。
⑥ 出力レンジ（Range (Output)）を、「Narrow Range」または「Full Range」から選ぶ➤SETを押す。
⑦ 「LOAD」を2つ同時に押す（本体メニュー）か、「OK」を選んでSETを押す（モニタリングメニュー）。
● 選択したLUTファイルが本機に登録される。
⑧ 「OK」を押す（本体メニュー）か、SETを押す（モニタリングメニュー）。

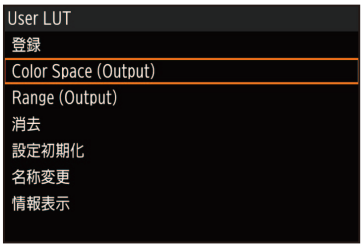
ユーザー LUTを適用する



① HOME：「COLOR」➤「LUT」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「モニタリング設定」➤「LUT」
② いずれかの出力端子を選ぶ➤ SETを押す。
③ 適用するUserLUT1 ～ 4のいずれかを選ぶ➤ SETを押す。
- UserLUT1 ～ 4は、ユーザー LUTを登録しているときのみ表示される。
- ユーザー LUTの名称には、先頭に★が付く。

出力色空間を選択する

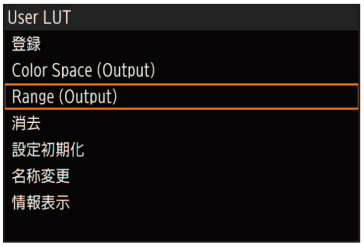
出力色空間を指定すると、ユーザー LUTの適用時に色空間を変換することができます。



① HOME：「COLOR」➤「USER LUT」➤「Color Space (Output)」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「モニタリング設定」➤「LUT」➤「User LUT」➤「Color Space (Output)」
② SELECTダイヤルを回して、UserLUT1 ～ 4のいずれかを選ぶ➤ SETを押す。
③「BT.709 Gamut」または「BT.2020 Gamut」を選ぶ➤ SETを押す。
- 変換しないときは「変換しない」を選ぶ。

出力レンジを選択する

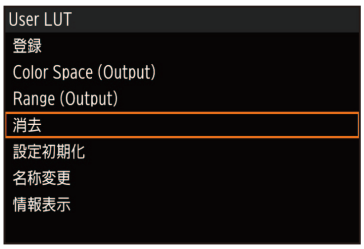
端子からの出力レンジを選択することができます。



① HOME：「COLOR」➤「USER LUT」➤「Color Space (Output)」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「モニタリング設定」➤「 LUT」➤「User LUT」➤「Range (Output)」
② SELECTダイヤルを回して、UserLUT1 ～ 4のいずれかを選ぶ➤ SETを押す。
③「Narrow Range」または「Full Range」を選ぶ➤ SETを押す。

ユーザー LUTを消去する

登録したユーザー LUTを、1つずつまたはすべて消去することができます。



① HOME：「COLOR」➤「USER LUT」➤「消去」または「設定初期化」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「モニタリング設定」➤「LUT」➤「User LUT」➤「消去」または「設定初期化」

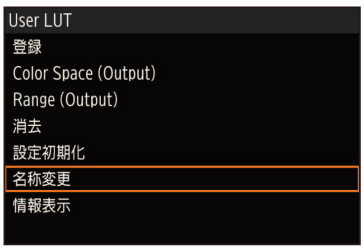
② 1つずつ消去するとき SELECTダイヤルを回して、消去するユーザー LUTを選ぶ➤SETを押す。

③ HOME：「消去」のときは「DELETE」を、「設定初期化」のときは「RESET」を2つ同時に押す。
モニタリングメニュー：「OK」を選ぶ➤SETを押す。
- 「消去」を選んだときは選んだユーザー LUT、「設定初期化」を選んだときは、登録したすべてのユーザー LUTが消去される。

④「OK」を押す（本体メニュー）か、SETを押す（モニタリングメニュー）。

ユーザー LUTの名前を変更する

4つのユーザー LUTそれぞれに名前を設定できます。

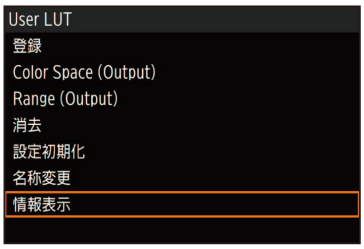


① HOME：「COLOR」➤「USER LUT」➤「名称変更」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「モニタリング設定」➤「LUT」➤「User LUT」➤「名称変更」

② SELECTダイヤルを回して、名称変更するユーザー LUTを選ぶ。

③ 8文字以内の英数字・記号で名前を入力する。
参考 ➤➤「文字入力のしかた」（🕮 41）

ユーザー LUTの情報を表示する



① HOME：「COLOR」➤「USER LUT」➤「情報表示」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「モニタリング設定」➤「LUT」➤「User LUT」➤「情報表示」

② SELECTダイヤルを回して、情報表示するユーザー LUTを選ぶ➤SETを押す。

MEMO

Blackmagic Design DaVinci Resolveで作成したLUT(.cube)ファイルについて

- 3D LUT 33GridのLUTファイルのみ読み込み可能。
- LUTファイルは、SDカードの直下（ルートディレクトリ）に保存してください。

● 以下のLUTファイルは読み込むことができません。
- 2MB以上のLUTファイル。
- ファイル名が「.cube」を含めて64文字を超えるとき。

● 色空間の変換が正しく選択されていないと、YCbCrで出力する際、正しく出力されません。
● ファイル名に使用可能な文字
0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、_（アンダーバー）、-（ハイフン）、.（ドット）、半角スペース
● ユーザー LUTは、登録済みのものに上書きして登録することはできません。一度消去してから登録してください。

音声出力を選択する

SDI OUT端子、MON.端子、HDMI OUT端子、🎧(ヘッドホン)端子から音声を出力できます。記録メディアに記録される4チャンネルの音声のうち、🎧(ヘッドホン)端子、SDI OUT端子 (RAW出力時)、HDMI OUT端子から出力される2チャンネルの音声は、メニューで選択します。

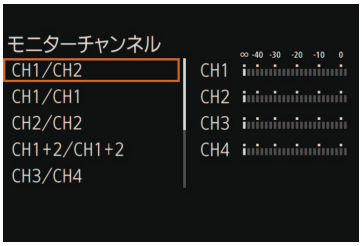
出力音声のチャンネル数とビット数

記録信号形式	SDI OUT端子		MON.端子	HDMI OUT端子*	ヘッドホン端子*
記録方式	RAW *	2K			
リニアPCM 4 ch、24 bit	2 ch、16 bit	4 ch、24 bit	4 ch、24 bit	2 ch、16 bit	2 ch

* 4chの記録音声から出力するチャンネルを選択可能。

音声出力チャンネルを選ぶ

🎧(ヘッドホン)端子の出力チャンネルを選ぶ

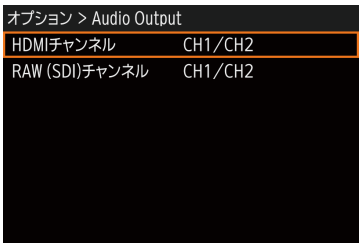


① ALT：「AUDIO」➤「MONITOR」を順に選ぶ。
【代替操作】PLAY：MENU ➤「オーディオ設定」➤「モニターチャンネル」
【代替操作】EVF:「オーディオ設定」➤「Audio Output」➤「モニターチャンネル」
【代替操作】「モニターチャンネル」アサインボタン
② SELECTダイヤルを回して、出力音声 (L / R)の組み合わせを選ぶ ➤ SETを押す。
● 「CH1+2」はCH1とCH2のミックスした信号であることを示す。「CH1+3」、「CH3+4」なども同様。

SDI OUT端子またはHDMI OUT端子の出力チャンネルを選ぶ

SDI OUT端子 (RAW出力時) とHDMI OUT端子は2チャンネルの音声を出力できます。4チャンネルで記録／再生*する音声のうち、これらの端子から出力するチャンネルをメニューで選択できます。

* HDMI OUT端子のみ。



① ALT：「AUDIO」➤「OPTIONS」を選ぶ。
【代替操作】EVF：「オーディオ設定」を選ぶ。
② 「Audio Output」➤「RAW (SDI) チャンネル」または「HDMIチャンネル」を順に選ぶ。
【代替操作】PLAY：MENU ➤「オーディオ設定」➤「HDMIチャンネル」
③ 「CH1/CH2」または「CH3/CH4」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

クリップを保存／現像する

撮影したXF-AVCクリップをパソコンに保存したり、RAWクリップをパソコンで現像したりすることができます。

■ クリップをパソコンに保存する

記録したクリップをパソコンに保存するときはCanon XF Utilityを、ノンリニア編集ソフトウェアに読み込むときはCanon XF Plugin*1を使用します。これらのソフトウェアは、キヤノンのホームページからダウンロードしてインストールします。ソフトウェアの動作環境および最新の情報については、キヤノンのホームページをご覧ください。ソフトウェアのインストールについては、ダウンロードしたソフトウェアの圧縮ファイルに含まれるPDFファイルをご覧ください。ソフトウェアの使いかたの詳細については、ソフトウェアの使用説明書（PDFファイル）*2をご覧ください。

*1 Avid社またはApple社のノンリニア編集ソフトウェア用のプラグインです。
*2 ソフトウェアと一緒にインストールされます。

Canon XF Utility（Windows用／ macOS用）

パソコンへの保存、クリップの確認・再生・管理、静止画の切り出しを行うソフトウェア

Canon XF Plugin for Avid Media Access（Windows用／ macOS用）

Avid Media Accessに対応したノンリニア編集ソフトウェアAvid Media Composer（Windows / macOS）から、カード内またはパソコンに保存したクリップを直接読み込むことができる。

C700 C700 GS PL Canon XF Plugin for Final Cut Pro X（macOS用）

ノンリニア編集ソフトウェアApple Final Cut Pro Xから、カード内またはパソコンに保存したクリップを直接読み込むことができる。

■ RAWクリップを現像する

本機で撮影／記録したRAW形式のクリップは、現像ソフトウェアCinema RAW Developmentで現像して、DPX形式などの標準的なファイル形式の素材データに変換することによって、カラーグレーディングが可能となります。また、Canon RAW Pluginでノンリニア編集ソフトウェアに直接読み込むこともできます。Cinema RAW DevelopmentとCanon RAW Pluginは、キヤノンのホームページからダウンロードできます。システム構成や最新の情報についてはキヤノンのホームページをご覧ください。ソフトウェアのインストールについては、ダウンロードしたソフトウェアの圧縮ファイルに含まれるPDFファイルをご覧ください。詳細な使いかたについては、ソフトウェアに付属の使用説明書（PDF）*をご覧ください。

* ソフトウェアと一緒にインストールされます。

Cinema RAW Development（Windows 用／ macOS 用）

RAW クリップを現像して再生、およびRAW クリップを現像してエクスポートすることができる。

Canon RAW Plugin for Avid Media Access（Windows用／ macOS用）

Avid Media Accessに対応したノンリニア編集ソフトウェアAvid Media Composer（Windows / macOS）から、RAWクリップを直接読み込むことができる。

MEMO

7 ネットワーク

ネットワークの接続設定をする... 192

ネットワーク機器でリモート
撮影する..... 200

映像をストリーミング
送信する..... 213

クリップをFTPで転送する 217

ネットワークの接続設定をする

本機の拡張システム端子（🕮 12）にワイヤレスファイルトランスミッターWFT-E6 / WFT-E8（別売）を取り付けてWi-Fi を使うか、品（イーサネット）端子を使って本機をネットワークに接続すると、以下のネットワーク機能を使用することができます。ここでは、ネットワークの接続設定のしかたについて説明します。ネットワークへの接続は、各ネットワーク機能を有効にしたときに行われます。ネットワークの接続設定の詳細は、それぞれ、「Wi-Fiで接続する」（🕮 193）、「イーサネットで接続する」（🕮 198）で説明します。

ネットワーク機能と接続方式

機能名	概要	イーサネット	Wi-Fi		🕮
			インフラストラクチャー *1	カメラアクセスポイント*2	
ブラウザーリモート	ネットワーク機器から本機をリモート操作して撮影する。	●	–	●	200
IPストリーミング	映像と音声をネットワーク経由で、映像伝送装置（デコーダー）にストリーミング送信する。	●	●	–	213
FTP転送	撮影したクリップをネットワーク機器にFTP*3で転送する。	●	●	–	217

*1 アクセスポイントを介してWi-Fiに接続する通信方式。
*2 本機がアクセスポイントの働きをして、Wi-Fi機器と直接接続する方式。
*3 ネットワークに接続した機器間でファイルを転送するための通信規約。File Transfer Protocolの略。

ネットワーク機能を使用する前に

本書は、ネットワーク機器およびWi-Fiのアクセスポイントの設定が完了し、正しく動作していることを前提に説明しています。アクセスポイントの設定方法については、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。

- ネットワークの接続の設定を行うには、ネットワーク（EthernetおよびWi-Fi）の設定方法に関する十分な知識が必要です。ネットワークの設定方法については、弊社ではサポートできませんので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- 送信するデータは暗号化されません。
- ネットワーク機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害、および本ネットワーク機能を使用した結果生じた損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- セキュリティーで保護されていないWi-Fiやネットワーク環境に接続することは避けてください。ネットワーク機能をすぐにお試しいただけるように、あらかじめパスワードなどが設定されていますが、パスワードを変更してからご使用ください（🕮 194）。お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。

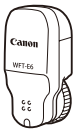
MEMO

- ネットワーク機能を使用中は、CFastカードカバー／ SDカードカバーを開けないでください。
- SDI OUT端子、MON.端子またはHDMI OUT端子に接続したケーブルを、ワイヤレスファイルトランスミッターの近くに配置しないでください。通信に影響することがあります。

Wi-Fiで接続する

ワイヤレスファイルトランスミッターを取り付ける

ワイヤレスファイルトランスミッターの取り付け方は、GPSレシーバーと同じです。「GPSレシーバーを取り付ける」(🕮 140)の手順に従って取り付けてください。



Wi-Fi接続について

Wi-Fiに接続するには、「カメラアクセスポイント」と「インフラストラクチャー」の2 つの方式があり、ネットワーク機能によって使用する方式が異なります。インフラストラクチャー方式のときは、さらに3 つの設定方法を選択できます。Wi-Fiへの接続方法については、お使いのWi-Fiネットワーク環境によって仕様や制限事項が異なります。

カメラアクセスポイント

屋外などアクセスポイントのない環境で、カメラとWi-Fi対応機器を直接接続します。カメラがアクセスポイントの働き*1をするので、Wi-Fi対応機器側はアクセスポイントに接続するのと同じ操作で接続できます。

インフラストラクチャー

WPS(プッシュボタン方式) *2:

パスワードなどの入力が不要な最も簡単な設定方法です。この方法で接続するときは、お使いのアクセスポイントがWPS用のボタンを備えていることを、あらかじめご確認ください。

WPS(PINコード方式) *2:

WPS用のボタンを備えていないアクセスポイントでも、PINコードを使って設定できるものがあります。接続は自動的に行われますが、アクセスポイントの設定画面を操作して、WPS機能を動作させるための一定の知識が必要です。詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。

アクセスポイント検索:

WPSに対応していないアクセスポイントに接続するときなどに、周囲のアクセスポイントを検索して設定できます。

*1 カメラとWi-Fi対応機器間の通信を行うのみで、市販のアクセスポイントの機能とは異なります。

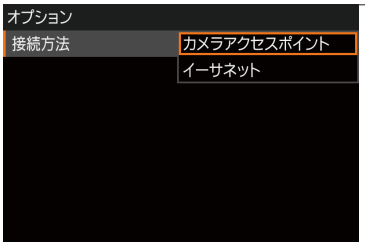
*2 WPSは、Wi-Fi Protected Setupの略で、アクセスポイントへの接続とセキュリティーの設定を簡単に行うための規格です。

ご注意

- IEEE802.11a/nの5 GHz帯の電波を使用する場合、地域によっては屋外またはカメラアクセスポイントでの使用に法律上の制限が定められていることがあります。お使いのワイヤレスファイルトランスミッターの使用可能地域をご確認ください。使用可能地域については、ワイヤレスファイルトランスミッターに付属している別紙の「使用可能な地域と制限事項」の記載をご覧ください。

カメラアクセスポイントで接続する

カメラアクセスポイントの設定（SSID、パスワードなど）は、初期状態であらかじめ設定されています。設定を変更するときは、以下の手順で操作します。

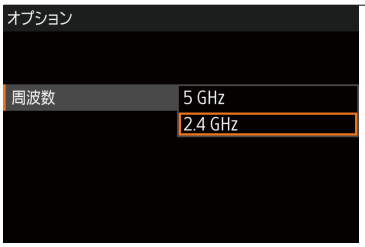


1 カメラアクセスポイントを選ぶ

① ALT：「NETWORK」➤「ブラウザーリモート」➤「OPTIONS」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「システム設定」➤「ネットワーク設定」➤「ブラウザーリモート」
②「接続方法」➤「カメラアクセスポイント」を選ぶ ➤ SETを押す。

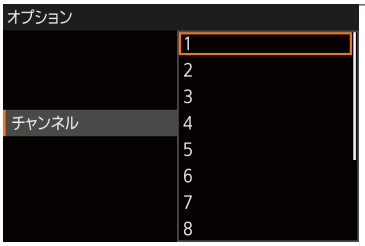
2 SSIDを入力する

①「SSID」を選ぶ ➤ SETを押す。
②「EDIT」（本体メニュー）またはSET（モニタリングメニュー）を押す ➤ SSID を入力する。
参考 »「文字入力のしかた」（🕮 41）



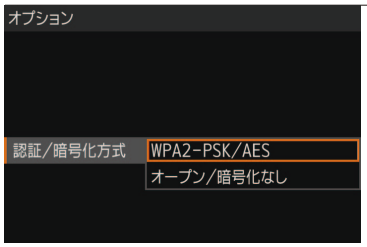
3 周波数を選ぶ

①「周波数」を選ぶ ➤ SET を押す。
②「5 GHz」または「2.4 GHz」を選ぶ ➤ SET を押す。



4 チャンネルを選ぶ

①「チャンネル」を選ぶ ➤ SET を押す。
② チャンネルを選ぶ ➤ SET を押す。
● 操作3で選んだ周波数によって、選択できるチャンネルが異なる。



5 認証方式と暗号化方式を選ぶ

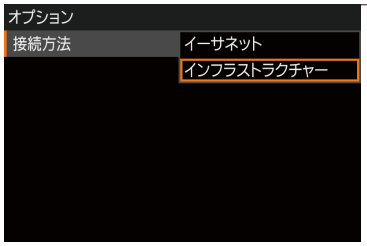
① 「認証／暗号化方式」を選ぶ ➤ SET を押す。
② 「WPA2-PSK／AES」または「オープン／暗号化なし」を選ぶ ➤ SET を押す。

6 パスワードを入力する

● 操作5で「オープン／暗号化なし」を選んだときは、この操作は不要。
① 「パスワード」を選ぶ ➤ SET を押す。
② モニタリングメニューのときは、「Input」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ パスワードを入力する。
参考 ➤➤「文字入力のしかた」(🕮 41)。
● 入力したパスワードは接続時に必要となるため、メモしておく。

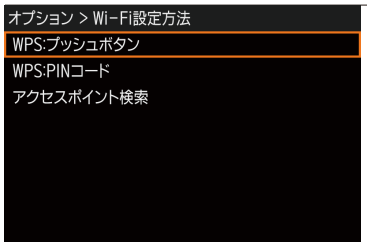
インフラストラクチャーで接続する

インフラストラクチャー方式で接続するにはアクセスポイントが必要です。



1 インフラストラクチャーを選ぶ

① ALT：「NETWORK」➤「IPストリーミング」または「FTP転送」➤「OPTIONS」を順に選ぶ。
【代替操作】HOME：EVF ➤「システム設定」➤「ネットワーク設定」➤「IPストリーミング」
【代替操作】PLAY：EVF ➤「システム設定」➤「ネットワーク設定」➤「FTP転送」
● 「FTP転送」に入るとメディアモードに切り換わる。
② 「接続方法」➤「インフラストラクチャー」を選ぶ ➤ SETを押す。



2 Wi-Fi設定方法を選ぶ

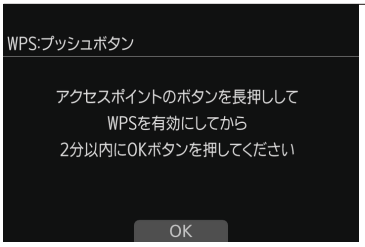
① 「Wi-Fi設定方法」を選ぶ ➤ SET を押す。
● 各設定方法のページを参照して、以降の操作を行う。
「WPS：プッシュボタン」(🕮 196)
「WPS：PIN コード」(🕮 196)
「アクセスポイント検索」(🕮 197)

WPSで接続する

WPSのプッシュボタン方式またはPINコード方式で接続します。プッシュボタン方式では、アクセスポイントのWPS用ボタンを押すことで、カメラとアクセスポイントを簡単に接続することができます。PINコード方式では、カメラの画面に表示される8桁の識別番号（PINコード）を、アクセスポイントの設定画面に設定して接続します。周囲に複数のアクセスポイントが稼動している状況でも、比較的接続しやすい方式です。

プッシュボタン方式の場合

1 本機 「WPS：プッシュボタン」を選ぶ ▶ SETを押す



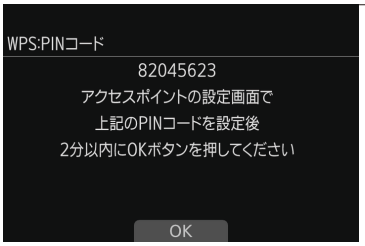
2 アクセスポイント WPS用のボタンを長押ししてWPSを起動する

- 長押しの時間はアクセスポイントによって異なります。必ず、アクセスポイントの説明書をご覧になってから操作を行い、アクセスポイントがWPS起動状態になったことを確認してください。
- 操作3に進む。

PINコード方式の場合

1 本機 「WPS：PINコード」を選ぶ ▶ SETを押す

- 7 ～ 8秒すると画面にPINコードが表示される。



2 アクセスポイント WPS（PINコード方式）の設定画面*に、操作1で表示されたPINコードを入力してWPSを起動する

* 多くのアクセスポイントは、Webブラウザーから設定します。

- アクセスポイントの操作については、アクセスポイントの説明書をご覧ください。

3 本機 操作2から2分以内に「OK」（本体メニュー）またはSET（モニタリングメニュー）を押す

- アクセスポイントへの接続を開始する。
- 「接続中です」の画面が出ているときに「CANCEL」（本体メニュー）またはSET（モニタリングメニュー）を押すと、接続を中止する。
- 接続が完了すると、メニュー画面が表示される。

MEMO

- 周囲に複数のアクセスポイントが稼働していると、WPS（プッシュボタン方式）でうまく接続できないことがあります。このときは、WPS（PINコード方式）またはアクセスポイント検索で接続してください。

アクセスポイントを検索して接続する

カメラが周囲のアクセスポイントを自動的に検出します。検出されたアクセスポイントの一覧から接続するアクセスポイントを選び、パスワードを入力して接続します。設定されているパスワードについては、アクセスポイントの説明書をご覧いただくか、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

アクセスポイントを選ぶ

1 「アクセスポイント検索」を選ぶ ➤ SETを押す

- 周囲のアクセスポイントが検索され、見つかったアクセスポイントのSSIDと暗号化状態などの情報が表示される。

2 アクセスポイントを選ぶ

① SELECTダイヤルを回して、接続するアクセスポイントのSSIDを選ぶ ➤「OK」(本体メニュー)またはSET(モニタリングメニュー)を押す。

3 パスワードを入力する

- アクセスポイントの認証方式／暗号化方式が「オープン／暗号化なし」のときは、この操作は不要。

① 「パスワード」を選ぶ ➤ SETを押す。
② モニタリングメニューのときは、「Input」を選ぶ ➤ SETを押す。

参考 ➤➤「文字入力のしかた」(🕮 41)

MEMO

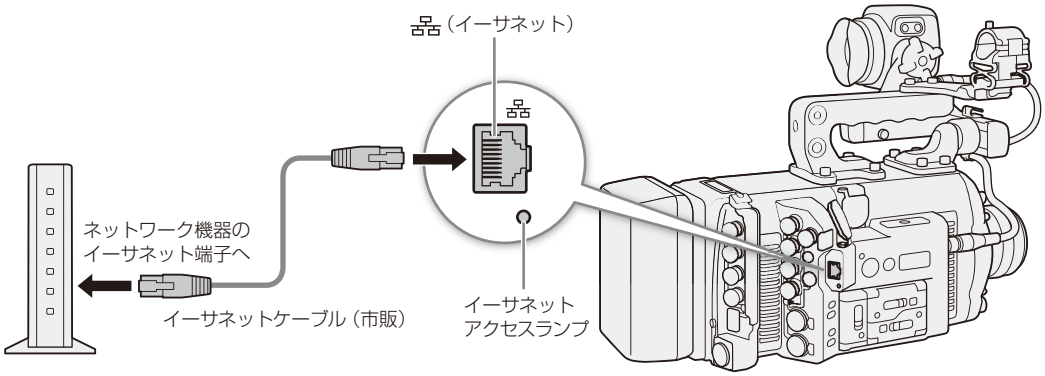
パスワードに使用可能な文字と文字数

パスワード	ASCII文字列*1	16進数*2
64ビットWEP	5文字	10文字
128ビットWEP	13文字	26文字
AES / TKIP	8 ～ 63文字	64文字

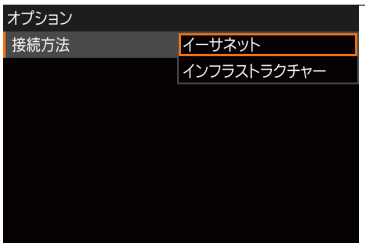
*1 0 ～ 9、a ～ z、A ～ Zおよび記号。
*2 0 ～ 9、a ～ f、A ～ F。

■ イーサネットで接続する

本機の 品 (イーサネット) とネットワーク機器をイーサネットケーブル (市販) で接続し、本機をネットワークに接続する方法です。イーサネットケーブルには、ギガビット対応でシールド性能の高い、カテゴリー 5e以上のSTP (Shielded Twisted Pair)ケーブルを使用してください。



1 本機とネットワーク機器をイーサネットケーブルで接続する



2 イーサネットを選ぶ

① ALT：「NETWORK」➤ 使用するネットワーク機能 ➤「OPTIONS」を順に選ぶ。

【代替操作】HOME：EVF ➤「システム設定」➤「ネットワーク設定」➤「ブラウザーリモート」または「IPストリーミング」

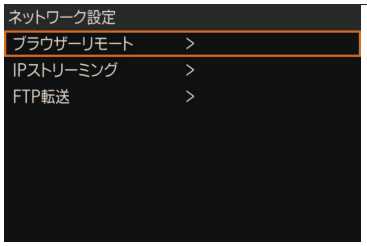
【代替操作】PLAY：EVF ➤「システム設定」➤「ネットワーク設定」➤「FTP転送」

● 「FTP転送」に入るとメディアモードに切り換わる。

② 「接続方法」➤「イーサネット」を選ぶ ➤ SETを押す。

ネットワーク設定を確認／変更する

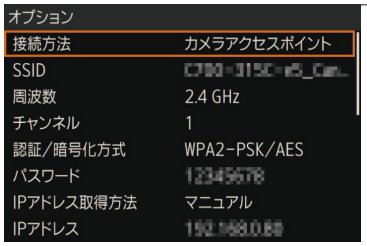
ネットワークに関する詳細な設定を確認し、必要に応じて手動で変更することができます。詳細な設定を行うにはネットワークに関する十分な知識が必要です。



1 ネットワーク設定を確認する

① ALT：「NETWORK」➤ 使用するネットワーク機能を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「システム設定」➤「ネットワーク設定」➤ 使用するネットワーク機能 ➤「情報表示」
- SELECTダイヤルを回してスクロールする（本体メニュー）か、ジョイスティックを上下に押して（モニタリングメニュー）、ネットワーク設定を確認できる。

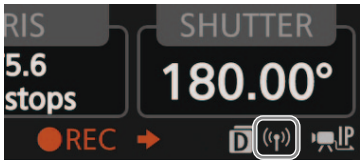
② 「OPTIONS」を押す（本体メニュー）。
③ 「情報表示」を選ぶ ➤ SETを押す（モニタリングメニュー）。



2 ネットワーク設定を変更する

① 「OPTIONS」を押す（本体メニュー）。
② 設定する項目を選ぶ ➤ SETを押す。
③ 設定を変更する。
- 選択項目の場合は、SELECTダイヤルで選んでSETを押す。入力項目の場合は「文字入力のしかた」（🕮 41）を参考にして設定する。

ネットワークの接続状態



ネットワーク機能を有効にすると、ネットワークへの接続を開始します。接続状態は、接続方式に応じてモニター画面に表示されるネットワーク接続アイコンで確認できます。ネットワーク機能を無効にすると、ネットワーク接続アイコンは消えます。

インフラストラクチャーのとき
ネットワークへの接続処理中は、画面に(黄色)が表示され、接続が完了すると(白色)に変わる。

カメラアクセスポイントのとき
接続準備中は画面にAP（黄色）が表示され、Wi-Fi対応機器から接続可能な状態になるとAP（白色）に変わる。

イーサネットのとき
ネットワークへの接続処理中は、画面に品（黄色）が表示され、接続が完了すると、画面の品が白色に変わる。イーサネットアクセスランプ*は、ブラウザーリモートとFTP転送のときは、接続処理中に点滅（緑）、動作中（データ転送中）に点灯（緑）する。IPストリーミングのときは、接続処理中／動作中ともに点滅（緑）する。エラー発生時は点滅（赤）になる。
* 点灯しないようにすることもできます（🕮 238）。

ネットワーク機器でリモート撮影する

Wi-FiまたはイーサネットでWebブラウザーから本機をリモートで操作して、動画を撮影することができます（ブラウザーリモート）。
撮影時は、ライブビューによる画角の確認、さまざまな撮影設定*2、メタデータ設定*3、各種マークの付加が可能なほか、記録メディアやDC入力／バッテリーの残量、タイムコードの確認を行うことができます。

*1 OS、Webブラウザーなどの情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。
*2 ホワイトバランス、ISO感度／ゲイン、シャッタースピード、NDフィルター、アイリス、フォーカス、ズームなどが調整可能。
*3 XF-AVC動画のみ。

設定する

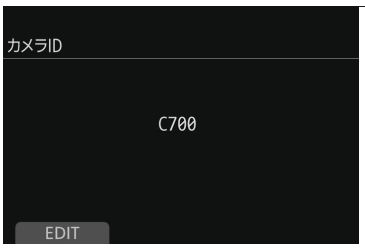
ネットワークに接続した機器のWebブラウザーからブラウザーリモートにアクセスするときに使用するカメラ設定や、ブラウザーリモートにログインするときの認証に使用するユーザー設定は、初期設定が保存されています。設定の内容（カメラID、ポート番号、ユーザー設定、ユーザー名、パスワードなど）は、ブラウザーリモートの設定画面（199）で確認できます。これらの設定は必要に応じて変更することもできます。

カメラ設定を変更する

ネットワークに接続した機器のWebブラウザーからブラウザーリモートにアクセスするときに使用するポート番号とカメラIDを設定します。

カメラID： カメラ固有の文字列を設定しておくと、ブラウザーリモートの画面にカメラIDが表示されるので、制御対象のカメラを識別することができます。

ポート番号： HTTPプロトコルのポート番号。通常は80を使用し、必要に応じて変更します。



1 カメラIDを入力する

① ALT：「NETWORK」➤「ブラウザーリモート」➤「OPTIONS」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「システム設定」➤「ネットワーク設定」➤「ブラウザーリモート」
② 「カメラID」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ 「EDIT」（本体メニュー）またはSET（モニタリングメニュー）を押す ➤ カメラ ID を入力する。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」（41）

2 ポート番号を選ぶ

① 「Port No.」を選ぶ ➤ SETを押す。
② ポート番号を入力する。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」（41）

ユーザー設定を変更する

ユーザーには次の3種類があり、用途に応じて1名（Fullのみ）か2名（CameraとMeta）かを選択できます。これらの設定は必要に応じて変更することもできます。なお、初期設定では、ユーザー設定は「1名(Full)」に設定されていますので、必要に応じて、ここで変更します。

Full： 詳細操作画面、メタデータ入力画面、簡易操作画面のすべてにアクセス可能。
Camera：詳細操作画面のみにアクセスできる。カメラの制御を行うユーザー用。
Meta： メタデータ入力画面のみにアクセスできる。メタデータの入力を行うユーザー用。

1 「ユーザー設定」を選ぶ

① ALT：「NETWORK」➤「ブラウザーリモート」➤「OPTIONS」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「システム設定」➤「ネットワーク設定」➤「ブラウザーリモート」
② 「ユーザー設定」➤「1名(Full)」または「2名(Camera/Meta)」のいずれかを選ぶ➤SETを押す。

2 ユーザー名とパスワードを変更する

① 「Full：ユーザー名」または「Camera：ユーザー名」を選ぶ➤SETを押す。
② 「EDIT」（本体メニュー）またはSET（モニタリングメニュー）を押す➤ユーザー名を入力する。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」（🕮 41）
③ 「Full：パスワード」または「Camera：パスワード」を選ぶ➤SETを押す。
④ モニタリングメニューのときは、「Input」を選ぶ➤SETを押す。
⑤ ユーザー名と同様に、パスワードを入力する。
⑥ 操作1で「2名(Camera/Meta)」を選んだとき
①～⑤と同じ要領で、「Meta：ユーザー名」と「Meta：パスワード」を入力する。

MEMO
● 「Full」、「Camera」、「Meta」の各ユーザー名に同じ名前を設定することはできません。

ブラウザーリモートを起動する

携帯端末などネットワークに接続した機器*1のWebブラウザー *2からブラウザーリモートを起動します。

*1 OS、Webブラウザーなどの情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。
*2 JavaScript（ジャバスクリプト）に対応し、Cookie（クッキー）が有効になっている必要があります。

1 ブラウザーリモートを選ぶ

① ALT：「NETWORK」➤「ブラウザーリモート」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「システム設定」➤「ネットワーク設定」➤「ブラウザーリモート」➤「機能」
② 「ACTIVATE」を押す（本体メニュー）か、「入」を選びSETを押す（モニタリングメニュー）。
● Wi-Fiのときは、本機がカメラアクセスポイントになる。イーサネットのときは、本機がネットワークに接続する。
● モニター画面にRemote（黄色）が表示され、ブラウザーリモートの接続準備が完了すると、白色に変わる。

2 必要に応じて、ブラウザーリモートのネットワーク設定を確認する（199）

- Wi-Fiのカメラアクセスポイントを使用するときはカメラのSSIDとパスワード*を、ブラウザーリモートを使うときはカメラのURLと使用するユーザーのユーザー名／パスワード*を、それぞれ確認します。

* 初期設定のパスワードのみ画面に表示される。

3 携帯端末など カメラに接続する

① Wi-Fiまたはイーサネットのネットワーク設定を行い、カメラに接続する。

- Wi-Fiのときは、操作2で確認したブラウザーリモートのSSID ／パスワードを使用して接続する。

4 携帯端末など Webブラウザーを起動する

5 携帯端末など 操作2で確認したURLを入力して、ブラウザーリモートを起動する

※ ログイン認証画面の例です。
表示される画面はWeb ブラウザーによって異なります。

6 携帯端末など 操作2で確認したユーザー名とパスワードを入力する

① 名前（またはユーザー名）入力欄に、ユーザー名を入力する。
② パスワード入力欄にパスワードを入力する。
③「ログイン」を選ぶ。

- ブラウザーリモートの画面が表示される。
- ブラウザーリモートに接続中は、ブラウザーリモートの画面上の●●●●が、順に点灯→消灯を繰り返す。
- ユーザー名とパスワードが不明のときは、カメラの管理者にお問い合わせください。

Fullユーザーでログインした場合の画面例

7 携帯端末など カメラIDを確認する

- ログインしたユーザーに応じたブラウザーリモート画面が起動し、画面中央にカメラIDが表示される。

① 表示されたカメラID がリモート撮影に使用するカメラのIDであることを確認する。

8 本機 撮影後、ブラウザーリモートを終了する

① ALT：「NETWORK」➤「ブラウザーリモート」を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「システム設定」➤「ネットワーク設定」➤「ブラウザーリモート」➤「機能」

② 「ACTIVATE」を押す（本体メニュー）か、「切」を選びSETを押す（モニタリングメニュー）。

- 画面のRemoteが消え、ブラウザーリモートが無効になる。

MEMO

ライブビュー映像が表示されないとき

- カラーバーの表示中。
- ALT：「F. ASSIST.」➤「OPTIONS」➤「Magnification」➤「記録時有効」が「入」のとき。

- ネットワーク環境や通信状態によっては、ライブビューの表示や各種設定などに遅延が発生することがあります。

リモート撮影する

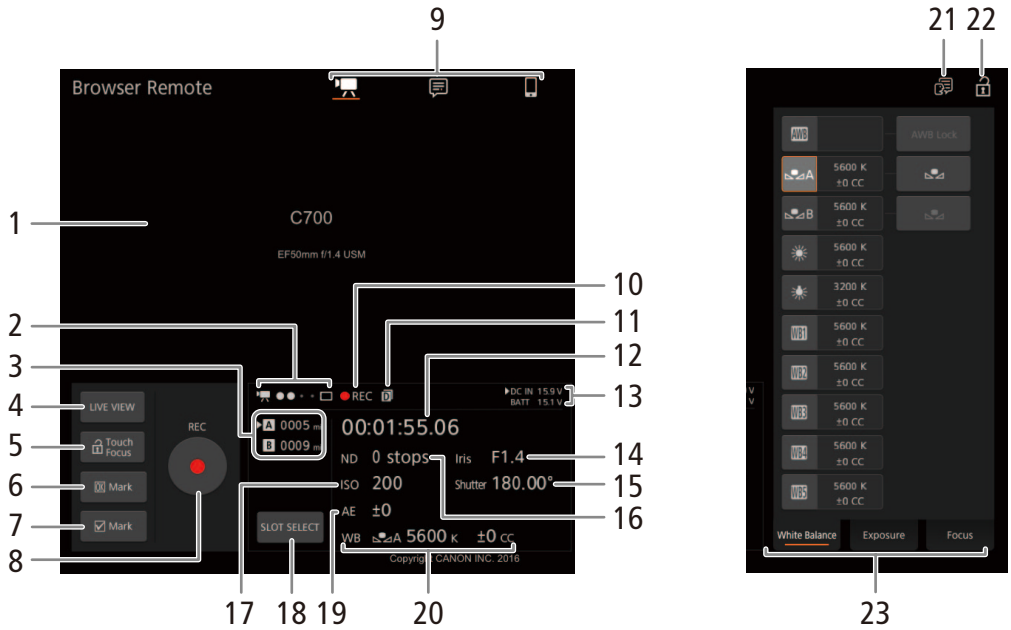
ブラウザーリモートの操作画面には、「詳細操作画面」、「簡易操作画面」、「メタデータ入力画面」があり、ログインしたユーザーによって操作できる画面が異なります。

MEMO

- ブラウザーリモートは、マルチタッチ操作には対応していません。

詳細操作画面（Full ／ Camera）

タブレットなど画面が比較的大きい携帯端末を使ってリモート撮影するときは、「詳細操作」画面を使えば、ブラウザーリモートで制御可能なすべての操作を行うことができます。撮影時の各設定項目の詳細については、各機能の説明ページをご覧ください。



1 ライブビュー映像表示エリア
- カメラのライブビュー映像を表示する。映像を表示していないときは、カメラID（239）とレンズ情報が表示される。

2 ブラウザーリモート接続状態表示*

3 CFastカードとSDカードの状態／撮影可能時間

4 LIVE VIEW（ライブビュー）ボタン
- 押すとライブビュー映像が表示される。

5 （）Touch Focus（タッチフォーカスロック）ボタン

6 Mark（OKマーク）ボタン

7 Mark（チェックマーク）ボタン

8 REC（記録開始／停止）

9 画面切り換えボタン（Fullユーザーのみ）
- （詳細操作画面）、（メタデータ入力画面）、（簡易操作画面）のいずれかに切り換える。

10 撮影状態（📖 67）／記録コマンド状態
11 ダブルスロット記録*（📖 60）
12 タイムコード*（📖 121）
13 DC入力／バッテリーの電圧*（📖 67）
14 F値／ T値
15 シャッタースピード
16 NDフィルター
17 ISO感度／ゲイン
18 SLOT SELECT（スロット選択）ボタン（📖 59）
19 AEシフト
20 ホワイトバランス
21 言語選択
- 一部の画面やメッセージの表示言語を選ぶ。

22 🔒（キーロック）ボタン
- ブラウザーリモートの操作ボタンをロックする。🔒を押すとロックは解除される。本体側の操作はロックされない。

23 カメラ設定変更エリア／切り換えタブ
- White Balance（ホワイトバランス ）、Exposure（ 露出）、Focus（フォーカス）、Zoom（ズーム）の各調整を切り換える。

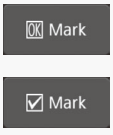
* 現在の設定を表示する。ブラウザーリモートで変更することはできない。

撮影する

1 REC（記録開始／停止）ボタンを押す

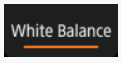
- 撮影が開始され、撮影状態表示が「● REC」に変わる。RECボタン中央の●が赤色に変わる。
- 撮影中は、タイムコードが歩進する。
- 再度、RECボタンを押すと撮影を終了し、撮影状態表示が「STBY」に変わる。

OKマーク／チェックマークを付加する



① 撮影が終了したあと 「OK Mark」または「☑Mark」を押す。
②「✕」を押す。

ホワイトバランスを調整する



1 White Balanceタブに切り換える

2 いずれかの設定方法を選ぶ

- 「AWB」を選んだときは、以降の操作は不要。

3 AまたはBを選んだとき　基準白色を取り込んで、登録する

① グレーカードや白い無地の被写体をモニター画面の中央に写し、「」を押す。
- 「A」または「B」が早く点滅し、点灯に変わったら調整完了。

4 AWB ／ A ／ B以外を選んだとき　微調整する

① 設定方法の右の色温度／色補正値を選ぶ。
② 「K」タブまたは「CC」タブを選ぶ。
③ 色温度または色補正値を選ぶ。

MEMO

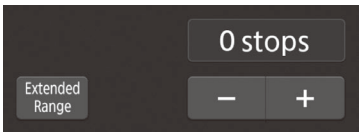
- 設定方法がAWBの場合、「AWB Lock」を押すと一時的にAWB動作を停止します。もう一度押すと再開します。

露出を調整する

Exposureタブに切り替える

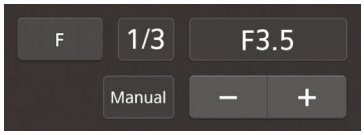
1 Exposureタブに切り換える

NDフィルターを切り換える



① 必要に応じて「Extended Range」を選んで、ND濃度拡張を有効にする。
② ND設定値を押してリストから選ぶか、「−」または「+」を押してNDフィルターを選ぶ。
- NDフィルターが変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。

アイリスを調整する



① 「Manual」を選んでアイリスモードをマニュアルにする
- オートアイリス対応レンズ装着時のみ設定可能。
- 「Automatic」を選ぶと自動調整になる。以降の操作は不要。

② 調整時の刻み幅（段）を「1/2」、「1/3」、「1/2 Fine」、「1/3 Fine」から選ぶ。
- 「1/2 Fine」または「1/3 Fine」を選ぶと、レンズの最小の刻み幅で調整できる（画面上は、選択した1/2または1/3の刻み幅で表示する）。

③ F値を押してリストから値を選ぶか、「−」または「+」を押してF値を調整する。
- F値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。
- F値を押したあと、「−」または「+」で調整することもできる。
- 「F」>「T」を押してT値で調整することもできる（EFシネマレンズのみ）。

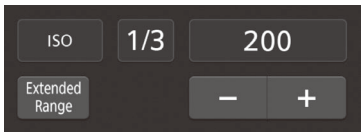
MEMO

- 「PUSH AUTO IRIS」を押すと、一時的にオートでアイリスを調整することができます。調整中はマニュアルでの調整はできません。

F値を選んで調整できないとき

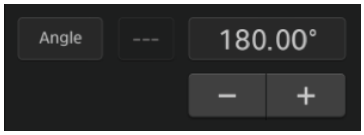
- 放送用レンズを装着しているとき。
- CN7×17 KAS S/P1、CN10×25 IAS S/P1またはCN20×50 IAS H/P1を装着しているとき。
- CN20×50 IAS H/E1で内蔵エクステンダーを使用しているとき。

ISO感度／ゲインを調整する



① 必要に応じて、「ISO」または「Gain」を選ぶ。
② 必要に応じて、「Extended Range」を選んで、感度拡張を有効にする。
③ 調整時の刻み幅を選ぶ。
④ ISO感度／ゲインの値を押してリストから値を選ぶか、「−」または「+」を押して値を調整する。
- ISO感度またはゲインの値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。

シャッタースピードを調整する



① シャッタースピードのモードを、「Speed」、「Angle」、「Clear Scan」、「Slow」、「Off」から選ぶ。
② 「Speed」を選んだときは、調整時の刻み幅（段）を「1/3」または「1/4」から選ぶ。
③ シャッタースピードの値を押してリストから値を選ぶ。
- リストの上部に表示される「Off」、「Speed」、「Slow」、「Clear Scan」、「Angle」を押して、シャッタースピードのモードを切り換えることもできる。

④ 必要に応じて、「−」または「+」を押して値を調整する。
- シャッタースピードの値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。

露出を調整する（AEシフト）

① 「AE Shift −」または「AE Shift +」を押す。
- AEシフトの値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。

フォーカスを調整する

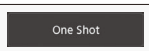
準備する

1 レンズのフォーカス設定をオートにする（📖 105）
- モニター画面にAFが表示される。

2 Focusタブに切り換える

MEMO
- レンズのフォーカス設定をマニュアルにしていると、ブラウザーリモートからフォーカス調整できません。なお、レンズによっては、フォーカス調整できないことがあります。

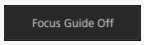
マニュアルで調整する



1 AFモードに「One Shot」を選ぶ

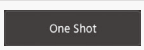
2 いずれかのフォーカス操作ボタンを押して、ピントを合わせる
- Nearのボタン（⌄、⌄⌄、⌄⌄⌄）を押すと至近方向に調整し、Farのボタン（⌃、⌃⌃、⌃⌃⌃）を押すと無限方向に調整します。
- 調整量は押すボタンによって異なり、⌄／⌃は小、⌄⌄／⌃⌃は中、⌄⌄⌄／⌃⌃⌃は大です。

C700 C700 FF デュアルピクセルフォーカスガイドを使う



1 「Focus Guide」を「On」にする
- 画面にフォーカスガイド枠（サブ枠を除く）が表示される。

C700 C700 FF ワンショットAFで調整する

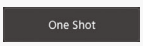


1 AFモードに「One Shot」を選ぶ

2 「ONE-SHOT AF」を押す

- 画面に白いAF枠が表示され、自動的にフォーカスが調整される。
- 枠は、ピントが合うと緑色に、フォーカス調整できないと赤色に変わり、その後数秒で消える。
- 必要に応じて、「AF Speed」からオートフォーカスのスピードを選択できる。

C700 C700 FF AFブーストMFで調整する

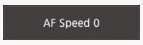


1 AFモードに「AF-Boosted MF」を選ぶ

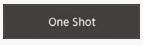
2 フォーカス操作ボタンを押して、ピントを調整する

- 「マニュアルで調整する」と同じ要領で操作する。
- フォーカス位置が自動調整領域に入ると、自動的にピント合わせ行う。
- 必要に応じて、「AF Speed」からオートフォーカスのスピードを選択できる。

C700 C700 FF コンティニュアスAFで調整する



1 必要に応じて、「AF Speed」からオートフォーカスのスピードを選ぶ



2 AFモードに「Continuous」を選ぶ

- 画面に白い枠（AF枠）が表示され、継続したピント合わせを行う。
- 「ONE-SHOT AF」ボタンが「AF Lock」に変わる。
- 「AF Lock」を押すと、ピントが固定される。もう一度押すと解除される。

C700 C700 FF AF枠の位置を変更する

ブラウザーリモートのライブビュー表示上でタッチした位置にAF枠を移動させることができます。

1 AF枠位置に「Selectable」を選ぶ

2 「Touch Focus」ボタンがロック解除状態であることを確認する

3 ライブビュー表示上で被写体をタッチする

- タッチした位置に、AFモードで選んだオートフォーカス機能に応じたAF枠が表示される。

C700 C700 FF 顔を検出してフォーカスを合わせる

Face Detection Off

1 「Face Detection Off」を「On」にして、顔検出を「On」にする

Face Priority

2 顔検出AFのモードを「Face Priority」または「Face Only」から選ぶ

3 カメラの画角に人物が入ると顔を検出する

- 検出したすべての顔に枠が表示され、メインの被写体と判断した顔の枠に◀と▶が付く。
- メインの被写体以外の枠をタッチすると、タッチした枠がメインの被写体になる。

4 マニュアルまたはAFモードで選んだオートフォーカスで調整する

C700 C700 FF 選んだ被写体を追尾する

Tracking

1 「Tracking」を選び、追尾を有効にする

2 ライブビュー画面上で被写体をタッチする

- タッチした被写体に追尾する。「Cancel Tracking」を選ぶと解除する。

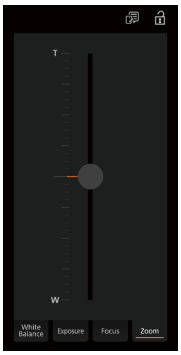
3 マニュアルまたはAFモードで選んだオートフォーカスで調整する

MEMO

- デュアルピクセルフォーカスガイドがONで、カメラ側でサブ枠表示を「入」にしていると、顔検出と追尾は使用できません。

ズームを調整する

ズーム調整に対応するEFシネマレンズ（🕮 285）を装着しているときは、ズームを調整できます。レンズの詳細についてはレンズの説明書をご覧ください。



① レンズのズーム設定をSERVOにする。
② Zoomタブに切り換える。
③ ズームスライダーを上下にドラッグして、ズームを調整する。

MEMO

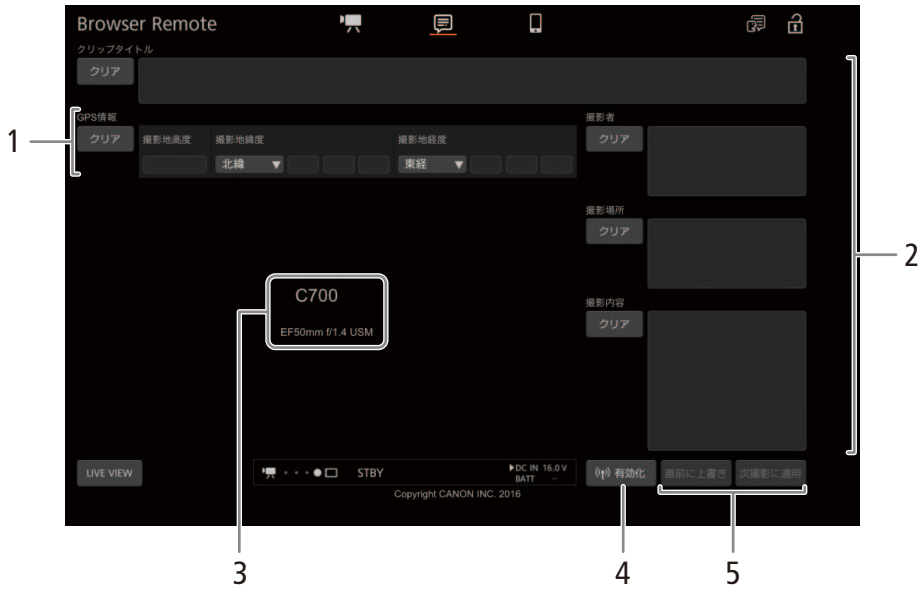
- 低速で操作すると、レンズの動き出しまでに時間がかかることがあります。

簡易操作画面 (Full)

画面切り換えタブで「簡易操作」を選ぶと表示されます。スマートホンなど画面が小さい機器を使ってリモート撮影するときに使用します。簡易操作画面では、REC (記録開始／停止)、LIVE VIEW(ライブビュー)の入／切、画面切り換え、(キーロック)のみ行うことができます。

メタデータ入力画面 (Full ／ Meta)

ネットワーク機器のブラウザーリモート画面からメタデータを設定することができます。設定可能なメタデータには、ユーザーメモ (クリップタイトル、撮影者、撮影場所、撮影内容)とGPS情報 (撮影地の高度／経度／緯度)があります。



1 GPS情報入力エリア

2 ユーザーメモ入力エリア

3 ライブビュー映像表示エリア／カメラID ／レンズ情報*

* 現在の設定を表示する。ブラウザーリモートで変更することはできない。

4 有効化ボタン

- ブラウザーリモートからのメタデータ設定を有効にする。

5 メタデータ設定操作ボタン

メタデータを入力する

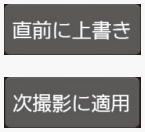
XF-AVCクリップに付加するメタデータを入力します。直前に記録したクリップや記録中のクリップ、これから記録するクリップにユーザーメモ／ GPS情報を付加できます。

1 ブラウザーリモートからのメタデータ設定を有効にする

① 「有効化」を押す。
- 本体で次の操作を行って有効にすることもできる。
  MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「メタデータ」➤「設定」➤「リモート」

2 ユーザーメモ／ GPS情報を入力する

① 「クリップタイトル」、「撮影者」、「撮影場所」、「撮影内容」、「GPS情報」をそれぞれ設定する。
- 各項目の左側の「クリア」を押すと、入力した内容を消去できる



3 ユーザーメモ／ GPS情報を本体に転送する

① 「直前に上書き」、「次撮影に適用」または「上書き」を押す。
直前に上書き*1：直前に記録したクリップに設定する。
次撮影に適用：　これから記録するクリップに設定する。
上書き*2：　　撮影中のクリップに設定する。
*1 直前にクリップを記録したときのみ。
*2 撮影中のみ。
- ユーザーメモ／ GPS情報の内容がカメラ本体に転送され、押したボタンに応じて設定される。

② 「✕」を押す。

MEMO

ブラウザーリモートから入力したメタデータ設定が解除される場合

- 本機の電源をOFF/ONしたとき。
- MENU：「記録／メディア設定」➤「メタデータ」➤「設定」で設定方法を切り換えたとき。

- ブラウザーリモートからのメタデータ設定を一端有効にすると、ブラウザーリモート画面で無効にすることはできません。SD カードから設定するときは、本機のMENU：「記録／メディア設定」➤「メタデータ」➤「設定」を「SDカード」にしてください。
- ブラウザーリモートを使って、リレー記録されたクリップにメタデータを設定する場合、リレー前のクリップにはメタデータは付加されません。

映像をストリーミング送信する

主記録形式が「XF-AVC (CFast)」のときに、本機をネットワークに接続して、ネットワーク経由で映像伝送装置のデコーダー (以下「デコーダー」と記載)*1またはパソコン*2に、本機の映像と音声 (2ch)*3をストリーミング送信します。ライブ中継に利用できるほか、ネットワーク環境が低速な取材現場からでも速報映像を送信することができます。

*1 対応するデコーダーについてはキヤノンのホームページなどでご確認ください。
*2 ストリーミング映像の受信に対応したパソコン用ソフトウェアが必要です。
*3 メイン動画の音声が4チャンネルの場合、送信するチャンネルはメニューで選択可能。

送信できる映像と音声の信号形式

メイン動画：XF-AVC(CFast)		ストリーミングの信号形式			
解像度／カラーサンプリング／フレームレート	センサーモード	映像			音声
		ビットレート	解像度	フレームレート	
3840×2160* YCC422 59.94P、50.00P 1920×1080 YCC422 59.94P/i、50.00P/i	Super 35mm Super 35mm (Crop) Super 16mm (Crop)	9 Mbps	1920×1080	59.94i 50.00i	形式： MPEG-2 AAC 2ch ビットレート： 256 Kbps
		4 Mbps	1920×1080		
		2 Mbps	1280×720	29.97P 25.00P	
		1.5 Mbps	720×480	59.94i	
			720×576	50.00i	

* 「センサーモード」が「Super 35mm」または「Super 35mm (Crop)」のときのみ。

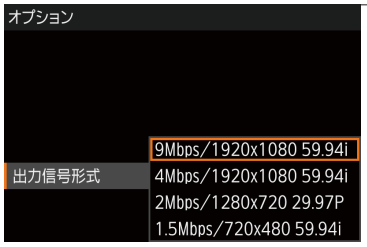
■ ストリーミング送信の準備をする

送信する映像のビットレートや解像度、プロトコルなど、ストリーミング送信に必要な設定を行います。

基本的な送信設定を行う

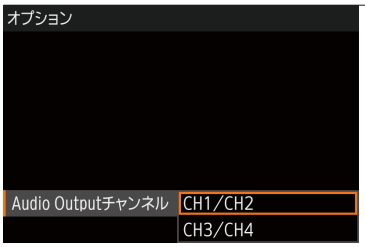
1 ネットワークの接続設定をする

- イーサネット (198)またはWi-Fiのインフラストラクチャー (195)で設定する。



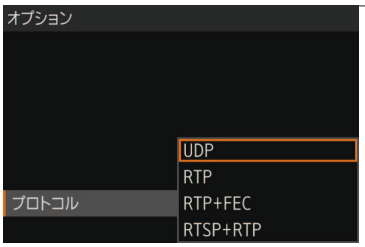
2 出力信号形式を選ぶ

① ALT：「NETWORK」➤「IP ストリーミング」➤ を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「システム設定」➤「ネットワーク設定」➤「IPストリーミング」
② 「OPTIONS」を押す (本体メニュー)。
③ 「出力信号形式」を選ぶ ➤ SETを押す。
④ いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。



3 音声の出力チャンネルを選ぶ

① 「Audio Outputチャンネル」を選ぶ ➤ SETを押す。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。



4 プロトコルを選ぶ

① 「プロトコル」を選ぶ ➤ SETを押す。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

UDP： 高速な伝送を重視し、信頼性／順序性を保証しない。喪失／遅延パケットは無視する。

RTP： 動画／音声のインターネット配信の標準的な方式。喪失／遅延パケットは無視する。

RTP+FEC： RTPによる伝送に、エラー訂正（FEC）*の制御を行うことにより、受信側で喪失／破損パケットをリカバリーする。Wi-Fiでストリーミング送信するときなどに使用する。

* FECによるエラー訂正制御に対応するデコーダーまたはパソコン用ソフトウェアが必要。

RTSP+RTP： RTSP（リアルタイム・ストリーミング・プロトコル）によるリアルタイムデータの配信制御を行って、RTPによる伝送を行う。受信側からストリーミングの開始／停止が制御可能。

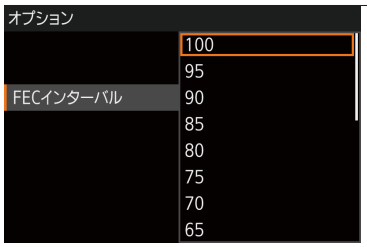
5 ストリーミング送信先のIPアドレスとポート番号を入力する

● 「RTSP+RTP」を選んだときは、この操作は不要。
① 「送信先IPアドレス」を選ぶ ➤ SETを押す。
② IPアドレスを入力する。
参考 ▶▶「文字入力のしかた」（🕮 41）
③ 必要に応じて、同じ要領で「送信先Port No.」を入力する。
● ポート番号は、通常は初期設定のまま使用する。

エラー訂正制御の設定を行う（「FEC」を含むプロトコルを選んだとき）

1 必要に応じて、FECのパケット用のポート番号を変更する

● ポート番号は、通常は初期設定のままの使用をおすすめします。
① 「FEC Port No.」を選ぶ ➤ SETを押す。
② ポート番号を入力する。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」（📖 41）



2 必要に応じて、FECインターバルを変更する

● FECインターバルは、通常は初期設定のまま使用する。
① 「FECインターバル」を選ぶ ➤ SETを押す。
② 値を選ぶ ➤ SETを押す。

RTSPのユーザー名／パスワードを設定する（「RTSP」を含むプロトコルを選んだとき）

1 RTSPのユーザー名とパスワードを入力する

① 「RTSP：ユーザー名」を選ぶ ➤ SETを押す。
② 「EDIT」（本体メニュー）またはSET（モニタリングメニュー）を押す ➤ ユーザー名を入力する。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」（📖 41）
③ 「RTSP：パスワード」を選ぶ ➤ SETを押す。
④ パスワードを入力する。

受信側のデコーダーまたはパソコンの設定をする

受信側のデコーダーまたはパソコンをネットワークに接続し、必要な設定を行ってください。デコーダーまたはパソコンの受信用ソフトウェアの詳細については、それぞれの説明書などをご覧ください。

■ ストリーミング送信を行う

1 受信側のデコーダーまたはパソコン ストリーミング受信の待機状態にする

2 IPストリーミングを有効にする

① ALT：「NETWORK」➤「IP ストリーミング」➤ を順に選ぶ。
【代替操作】EVF：「システム設定」➤「ネットワーク設定」➤「IPストリーミング」➤「機能」
② 「ACTIVATE」を押す（本体メニュー）か、「入」を選びSETを押す（モニタリングメニュー）。

- ネットワークに接続され、接続方法に応じたアイコンが表示される（199）。
- 画面に（黄色）が表示され、送信準備が完了すると白色に変わって、映像／音声のストリーミング送信が始まる。
- RECボタンを押して、ストリーミング送信と同時に本機に記録することもできる（XF-AVC動画のみ）。
- もう一度「ACTIVATE」を押す（本体メニュー）か、「切」を選んでSETを押す（モニタリングメニュー）と、送信が終了して画面のが消える。

記録信号形式の解像度／フレームレート／センサーモードの選択画面が出たとき

SELECTダイヤルを回していずれか選ぶ ➤ SETを押す。

- ここで選んだ解像度とフレームレートは、IPストリーミングを終了しても引き継がれる。

プロトコルにRTSP を使用する場合

3 受信側のデコーダーまたはパソコン 本機に接続する

① 本機の画面に表示されているURLを入力する。
② RTSPのユーザー名とパスワードを入力する。

- ストリーミング映像が再生される。

MEMO

- RTSPを使用しない場合、IPストリーミングは、受信側の状態にかかわらず、映像・音声データを送信します。IPアドレスを正しく設定し、受信側のデコーダーが正しく受信できることをあらかじめ確認してください。
- ネットワーク環境や通信状態によっては、パケットの喪失や遅延が発生することがあります。

IPストリーミングが使用できないとき

- システム周波数が24.00 Hzのとき。
- スロー &ファストモーション記録のとき。

クリップをFTPで転送する

本機に記録したサブ動画（XF-AVC Proxy）を、FTPサーバーにまとめて転送できます。以下では、FTPサーバーがあらかじめ起動され、正しく動作していることを前提に説明しています。

FTP転送の準備をする

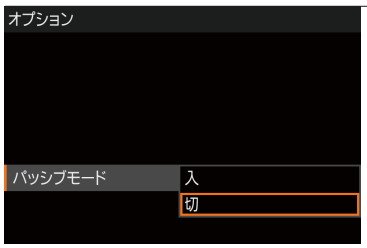
転送先となるFTPサーバーに接続するための設定や、転送先のフォルダー生成や同名ファイルの扱いなどの詳細設定を行います。設定内容の詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 ネットワークの接続設定をする

- イーサネット（📖 198）またはWi-Fiのインフラストラクチャー（📖 195）で設定する。

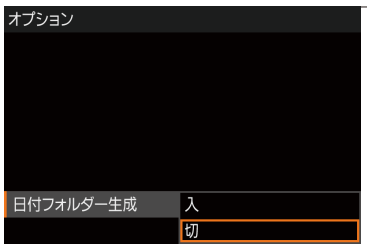
2 FTPサーバー、ユーザー名、パスワード、転送先フォルダー、ポート番号を入力する

① 「FTP サーバー」を選ぶ ➤ SET を押す。
② 「EDIT」（本体メニュー）またはSET（モニタリングメニュー）を押す。
③ FTP サーバー（IPアドレスまたはホスト名）を入力する。
参考 ➤➤「文字入力のしかた」（📖 41）
④ 同様に、「FTP：ユーザー名」、「FTP：パスワード」、「転送先フォルダー」、「Port No.」を入力する。
- 「FTP：パスワード」と「Port No」の入力時、②の操作は不要。



3 パッシブモードを選ぶ

① 「パッシブモード」を選ぶ ➤ SETを押す。
② いずれかを選ぶ ➤ 「SET」を押す。
入： パッシブモードで通信する。ファイアウォールの内側からFTP転送を行うときなどに使用する。
切： アクティブモードで通信する。通常はこのモードを使用する。



4 「日付フォルダー生成」を選ぶ

① 「日付フォルダー生成」を選ぶ。
② 「入」または「切」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 「入」にすると、FTPサーバーの転送先フォルダーに日付のフォルダー（「YYYYMMDD ￥HHMMSS」）を自動的に作成し、その中にファイルを転送する。

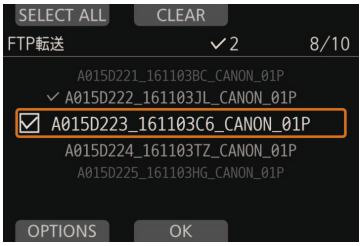
5 「同名ファイル」を選ぶ

① 「同名ファイル」を選ぶ ➤ SETを押す。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
スキップ： 転送先に同じ名前のファイルがあるとき、そのファイルを転送しない。
上書き： 転送先に同じ名前のファイルがあっても、上書きする。

6 BACKを押して、FTP転送画面に戻る

クリップをFTPで転送する

SDカードに記録されたXF-AVC Proxyクリップのファイルを、FTPサーバーに転送します。



● ALTボタンを押して、FTP転送の設定に入った場合、①、②の操作は不要。

① PLAY：「PB MEDIA」➤「SDカード（XF-AVC）」を順に選ぶ➤ SETを押す。

② 「OPTIONS」➤「FTP 転送」を順に選ぶ。

③ SELECT ダイヤルを回して、転送するクリップを選ぶ➤ SET を押す。

- 選んだクリップが選択される。もう一度押すと選択解除される。
- 「SELECT ALL」を押すと全クリップが選択され、「CLEAR」を押すとすべての選択が解除される。

④ ③を繰り返し、転送するクリップをすべて選ぶ➤「OK」を押す。

⑤ 「OK」を押す。

- FTPサーバーとの接続が完了すると、選択したクリップのファイルが転送される。イーサネットで接続した場合、転送中はイーサネットアクセスランプが速く点滅する。

転送を中止するとき

「CANCEL」を押す。

- FTP転送が中止される。

⑥ 「OK」を押す

ご注意

- ファイル転送中は、次のことを守ってください。通信が中断され、転送先に不要なファイルが残ることがあります。
  - SDカードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- 転送先に不要なファイルが残っているときは、内容を十分に確認してから、削除してください。

MEMO

- アクセスポイントの性能や設定、通信状態によっては、ファイルの転送に時間がかかることがあります。
- モニター画面でEVF：「システム設定」➤「ネットワーク設定」➤「FTP転送」➤「機能」を選ぶと、コントロールディスプレイで選んでいるクリップが1つ転送されます。

8 メニュー

設定画面／メニュー一覧 220

設定画面／メニュー一覧

本機のさまざまな機能を設定画面や本体メニュー、モニタリングメニューから設定できます。ここでは設定画面／メニューの階層と設定項目の詳細について説明します。設定の基本操作については「本機の設定を変える」（🕮 32）をご覧ください。

■ 設定画面／メニューの階層

設定画面

HOMEボタン
- S&F FPS
- IRIS
- SHUTTER
- ISO/GAIN
- COLOR
- WB

USERボタン
- USERアサインボタン（6個）の機能割り当てと実行

ALTボタン
- AF
- F.ASSIST.
- AUDIO
- CAM LVL
- NETWORK

TCボタン
- SET TC
- OPTIONS
- UB

PLAYボタン
- PB MEDIA
- OPTIONS
- STEP SIZE
- CLIP LIST

本体メニュー／モニタリングメニュー

MENU ／ EVF*1ボタン

カメラ設定メニュー（🕮 224）
- センサーモード
- 測光方式
- AE*2
- ISO/Gain*2
- Iris*2
- ND濃度拡張*2
- Shutter*2
- White Balance*2
- フォーカス*2
- ABB*3
- カラーバー
- マウントアダプター
- フォーカスコントロール
- フラッシュバンド補正
- 周辺光量補正
- 色収差補正
- レンズ情報

CP Custom Pictureメニュー（🕮 226）*2
- Preset
- Main Settings
- Other Settings
- ファイル

オーディオ設定メニュー（🕮 227）*2
- Audio Input
- Audio Output

記録／メディア設定メニュー（🕮 228）
- メディア初期化
- 主記録形式
- Slow & Fastモーション*2
- システム周波数
- フレームレート
- 解像度／サンプリング
- ビットレート
- サブ記録（XF-AVC）
- ダブル／リレー記録
- 記録コマンド
- メタデータ
- 静止画番号方式

モニタリング設定メニュー（🕮 230）
- コントロールディスプレイ
- EVF-V70*2
- サラウンディングエリア
- アナモフィック
- LUT*2
- 白黒
- オンスクリーン表示
- 表示単位系
- Custom Display 1
- Custom Display 2
- Custom Display

アシスト設定メニュー（🕮 233）
- フォーカスガイド*2
- ピーキング*2
- Magnification*2
- フォルスカラー
- ゼブラ
- Waveform Monitor
- マーカー

システム設定メニュー（🕮 235）
- リセット
- メニュー／ CP 設定保存
- 日時設定
- 言語
- 端子出力設定
- GENLOCK ／ SYNC OUT
- Time Code*2
- User Bit*2
- REMOTE端子
- アサインボタン
- CUSTOMスイッチ
- 電子ダイヤル方向
- SELECTダイヤル方向
- 🔒ボタン
- キーロック
- RECボタン
- qrND FILTERボタン
- LED
- ファン
- ファン速度
- 電源警告
- 記録時ビープ音
- スキャンリバース記録
- 水準器感度
- ネットワーク設定*2
- GPS
- 電源オフ時のレンズ収納
- アワーメーターリセット
- 認証マーク表示*3
- Firmware

★1マイメニュー（🕮 243）
- 選択
- 編集

*1 有機EL電子ビューファインダー EVF-V70（別売）のEVFボタン
*2 本体メニューにはない。　*3モニタリングメニューにはない。

■ 設定画面の設定項目

HOME画面

設定項目・設定値／内容	🕮
S&F FPS ／ スロー &ファストモーション記録の撮影フレームレートを選ぶ。	76
S&F FPS ➤ ACTIVATE 《 入、**切** 》	76
スロー &ファストモーション記録を有効にする。	
S&F FPS ➤ OPTIONS ➤ センサーモード、システム周波数、主記録形式、フレームレート、解像度／サンプリング、ビットレート	228
「センサーモード」は「カメラ設定」メニューの対応項目と、その他は「記録／メディア設定」メニューの対応項目と同様。	
IRIS ／ F値またはT値を選ぶ	92
IRIS ➤ AUTO IRIS ／ 押している間、絞りを自動的に調整する（プッシュオートアイリス）。	94
IRIS ➤ ND+、ND− ／ NDフィルターを切り換える。	91
IRIS ➤ OPTIONS ➤ AEシフト、AEレスポンス、モード、Irisステップ、Irisファイン、Iris表示、Zoom連動F値補正、ND濃度拡張	224
「カメラ設定」メニューの対応項目と同様。	
SHUTTER ／ シャッタースピードを調整する。 「≪」／「≫」（クリアスキャンのときに1/2段刻みで調整する）	84
SHUTTER ➤ OPTIONS ➤ モード、Shutterステップ	224
「カメラ設定」メニューの対応項目と同様。	
ISO/GAIN ／ ISO感度／ゲインを調整する。	87
ISO/GAIN ➤ OPTIONS ➤ 選択、感度拡張、ISOステップ、Gainステップ	224
「カメラ設定」メニューの対応項目と同様。	
COLOR ／ カスタムピクチャーの設定を行う。	97
COLOR ➤ CP MAIN ➤ Preset、Gamma、Color Space、Color Matrix	157
「Custom Picture」メニューの対応項目と同様。	
COLOR ➤ LUT ➤ MON.1、MON.2、SDI OUT 1/2/3/4、SDI OUT 1/2、SDI OUT 3/4、HDMI、VIDEO、SD XF-AVC	231
「モニタリング設定」メニューの対応項目と同様。「Proxy」は「記録／メディア設定」➤「サブ記録（XF-AVC）」➤「LUT設定」と同様。	
COLOR ➤ USER LUT ➤ 登録、Color Space (Output)、Range (Output)、消去、設定初期化、名称変更、情報表示	184
「モニタリング設定」メニューの対応項目と同様。	
COLOR ➤ CP OTHERS ➤ Other Settings、ファイル	157
「Custom Picture」メニューの対応項目と同様。	
WB 《 AWB AWB、セット A、セット B、太陽光、電球、WB1 USER_01、WB2 USER_02、WB3 USER_03、WB4 USER_04、WB5 USER_05 》	99
ホワイトバランスの設定を行う。	
WB ➤ RENAME 《 8文字以内の文字列（**USER_0x**）》 ／ ユーザー設定ホワイトバランスの名前を変更する。	102
WB ➤ OPTIONS ➤「ショックレスWB」、「AWBレスポンス」、「色温度ステップ」	225
「カメラ設定」メニューの対応項目と同様。	

設定項目・設定値／内容	🕮
WB ➤ WB SET ／ 基準白色を取り込む。	100
WB ➤ ADJUST 《色温度：2000 ～ 15000K、色補正値：－20 ～ +20 CC》	103
色温度と色補正値で微調整する。「≪」／「≫」（大まかな調整）、「RESET」（リセット）、「< >」（項目切り換え）。	

ALT画面

設定項目・設定値／内容	🕮
C700 C700 FF AF ➤ FACE ／ 顔検出を入／切する。	114
C700 C700 FF AF ➤ TRACKING ／ 追尾を入／切する。	116
C700 C700 FF AF ➤ ONE SHOT ／ ワンショットAFで調整する。	109
C700 C700 FF AF ➤ AF LOCK ／ オートフォーカス中のフォーカス位置を固定する。	113
C700 C700 FF AF ➤ OPTIONS ➤ AFモード、AF枠位置、AF枠サイズ、顔検出AF、AFスピード、AFスピード適用条件、AFレスポンス	224
「カメラ設定」メニューの対応項目と同様。	
C700 C700 FF AF ➤ ✣ FRAME	113
「▲」／「▼」／「◀」／「▶」（AF枠の位置を変更する）。「CENTER」（中央に戻す）。	
C700 C700 FF F.ASSIST. ➤ FACE ／ 顔検出を入／切する。	114
F.ASSIST. ➤ MAGN. ／ 拡大表示を入／切する。	106
F.ASSIST. ➤ PEAKING ／ ピーキングを入／切する。	106
F.ASSIST. ➤ OPTIONS ➤ 顔検出AF、フォーカスガイド、ピーキング、Magnification	233
「アシスト設定」メニューの対応項目と同様。	
F.ASSIST. ➤ ✣ FRAME	113
「▲」／「▼」／「◀」／「▶」（AF枠の位置を変更する）。「CENTER」（中央に戻す）。	
C700 C700 FF F.ASSIST. ➤ GUIDE ／ デュアルピクセルフォーカスガイドを入／切する。	106
AUDIO ➤ CH1/2 IN.、CH3/4 IN.、REC LEVEL、MONITOR、🎧	227
「オーディオ設定」➤「Audio Input」または「Audio Output」サブメニューの「CH1/CH2 Input選択」、「CH3/CH4 Input選択」、「録音レベル CH1」～「録音レベル CH4」、「録音レベル CH1/CH2」、「録音レベル CH3/CH4」、「モニターチャンネル」、「ヘッドホン音量」と同様。	
AUDIO ➤ OPTIONS ➤ Audio Input、Audio Output	227
「オーディオ設定」メニューの対応項目と同様。	
CAM LVL ／ カメラの水平（Tilt、Roll）を表示する。「SET」（現在のレベルを基準レベルに設定）	45
NETWORK ➤ ブラウザーリモート	200
ブラウザーリモートとネットワークの設定内容を表示する。	
NETWORK ➤ ブラウザーリモート ➤ ACTIVATE	201
ブラウザーリモートを有効にする	

設定項目・設定値／内容	🕮
NETWORK ➤ ブラウザーリモート ➤ OPTIONS	235
「システム設定」➤「ネットワーク設定」の対応項目と同様。	
NETWORK ➤ IPストリーミング	213
IPストリーミングとネットワークの設定内容を表示する。	
NETWORK ➤ IPストリーミング ➤ ACTIVATE	216
IPストリーミングを有効にする	
NETWORK ➤ IPストリーミング ➤ OPTIONS	235
「システム設定」➤「ネットワーク設定」の対応項目と同様。	
NETWORK ➤ FTP転送	217
メディアモードに切り換え、クリップを選んでFTP転送を行う。	
NETWORK ➤ FTP転送 ➤ OPTIONS	235
「システム設定」➤「ネットワーク設定」の対応項目と同様。	

TC画面

設定項目・設定値／内容	🕮
SET TC ／ 「システム設定」➤「Time Code」➤「設定」と同様。	235
OPTIONS ／ 「システム設定」➤「Time Code」と同様。	235
UB ➤ SET UB ／ 8桁のユーザービットを設定する。	123
UB ➤ OPTIONS ➤ 記録モード、タイプ ／ 「システム設定」➤「User Bit」と同様。	123

PLAY画面

設定項目・設定値／内容	🕮
PB MEDIA 《 CFast(XF-AVC)、CFast(ProRes)、CDX Capture Drive(ProRes)、CDX Capture Drive(RAW)、SDカード (XF-AVC)、SDカード (静止画) 》	167
再生メディアと記録形式を選ぶ。	
OPTIONS ➤ クリップ情報表示、OK Mark追加、OK Mark消去、✔ Mark追加、✔ Mark消去、消去、User Memo消去、CP ファイルコピー、クリップ修復、FTP転送	170
クリップ／静止画に対する操作を行う。	
STEP SIZE 《**1 フレーム**、1 sec、10% 》	167
フレームの送り量を設定する。「10%」はクリップの記録時間の1/10。	
CLIP LIST	167
選択中の記録メディア内のクリップ／静止画を選ぶ。	
CLIP LIST ➤ PB MEDIA ／ PLAY：「PB MEDIA」と同じ。	167

メニューの設定項目

各メニューで設定できる項目の機能と設定値について説明します。初期設定は太字で記載しています。メニューの項目は、他の機能の設定状態によっては表示されなかったり、使用できなかったりすることがあります。

カメラ設定メニュー

設定項目・設定値／内容	🕮
センサーモード 《 C700 FF C700 FF PL **フルサイズ**、Super 35mm (Crop)、Super 16mm (Crop) C700 C700 GS PL **Super 35mm**、Super 16mm (Crop) 》	73
CMOSセンサーの読み出し画角を選ぶ。センサーモードによって選択可能な映像の信号形式が異なる。B4マウントアダプター MO-4E / MO-4P（別売）を使用するときや、「Slow & Fastモーション」をCropで撮影するときなどは「Super 16mm (Crop)」を選ぶ。	
測光方式 《 バックライト、**スタンダード**、スポットライト 》	96
絞りを自動調整するときの測光方式を設定する。 バックライト： 逆光時の暗部をより明るく制御する。 スタンダード： 画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。 スポットライト： スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。	
AE ➤ AEシフト 《 +2.0、+1.75、+1.5、+1.25、+1.0、+0.75、+0.5、+0.25、**±0**、−0.25、−0.5、−0.75、−1.0、−1.25、−1.5、−1.75、−2.0 》	96
絞りを自動調整するときの明るさ目標値を設定して、17段階で露出補正を行う。	
AE ➤ AEレスポンス 《 ハイ、**ノーマル**、ロー 》	95
絞りを自動調整するときのAEの応答性を選ぶ。次のレンズ装着時を除く。 • CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S ／ CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S以外のEFシネマレンズ • 放送用レンズ（🕮 285）	
ISO/Gain ➤ 選択 《 **ISO**、Gain 》	88
感度の設定方法をISO感度とゲインから選ぶ。	
ISO/Gain ➤ 感度拡張 《 入、**切** 》	87
入にすると、設定できるISO感度／ゲインが拡張できる。	
ISO/Gain ➤ ISOステップ 《 1段、**1/3段** 》	88
ISO感度設定時の刻み幅を選ぶ。	
ISO/Gain ➤ Gainステップ 《 **ノーマル**、ファイン 》	88
ゲイン設定時の刻み幅をノーマル（3 dB）とファイン（0.5 dB）から選ぶ。	
Iris ➤ モード* 《 オート、**マニュアル** 》 * 対応EFレンズ装着時のみ（🕮 285）	93
アイリスのモードをオートとマニュアル（マニュアルまたはプッシュオートアイリスで調整）から選ぶ。	
Iris ➤ Irisステップ 《 1/2段、**1/3段** 》	93
アイリス設定時の刻み幅を設定する。	
Iris ➤ Irisファイン 《 入、**切** 》	93
装着しているレンズの最小の刻み幅で調整する。	

設定項目・設定値／内容	🕮
Iris ➤ Iris表示　《 **F**、T 》	94
Irisの表示をF値とT値で切り換える（EFシネマレンズのみ）。	
Iris ➤ Zoom連動F値補正　《 **入**、切 》	—
ズーム操作によりF値が変化するレンズを使用時、入にすると、設定したF値を保つように絞りを補正する。ただし、絞りが動作するのにともない、若干の輝度のちらつきと動作音が発生する。切にすると、望遠側にズームするに従って、徐々にF値が大きくなる（暗くなる）。輝度のちらつきはなく、絞りの動作音は発生しない。	
ND濃度拡張　《 入、**切** 》	91
入にすると、NDの濃度に8 stopsと10 stopsが追加される。	
Shutter ➤ モード　《 スピード、**アングル**、クリアスキャン、スロー、切 》	84
シャッタースピードのモードを、スピード（秒数）、アングル（開角度）、クリアスキャン（周波数）、スロー（1 ／フレームレートより低速の秒数）、切（フレームレートの基準シャッタースピード）から選ぶ。	
Shutter ➤ Shutterステップ　《 1/3段、**1/4段** 》	84
シャッタースピード設定時の刻み幅を設定する。	
White Balance ➤ ショックレスWB　《 入、**切** 》	99
入にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させる。	
White Balance ➤ AWBレスポンス　《 ハイ、**ノーマル**、ロー 》	100
ホワイトバランスを自動調整するときの応答性を選ぶ。	
White Balance ➤ 色温度ステップ　《 **ミレッド**、ケルビン 》	99
ホワイトバランスの色温度の調整単位を選ぶ。	
C700 **C700 FF** フォーカス ➤ AFモード　《 **ワンショット**、AFブーストMF、連続 》	104
オートフォーカスのモードを設定する。 ワンショット：　ワンショットAFによる自動調整が可能となる。 AFブーストMF：　手動で大まかに調整すると、合焦付近は自動的に調整される。 連続：　継続したAF動作による自動調整が可能となる。	
C700 **C700 FF** フォーカス ➤ AF枠位置　《 **可動**、中央固定 》	113
AF枠の移動可否を選ぶ。「可動」にするとAF枠の位置を移動可能。	
C700 **C700 FF** フォーカス ➤ AF枠サイズ　《 **大**、小 》	113
AF枠のサイズを選ぶ。	
C700 **C700 FF** フォーカス ➤ 顔検出　《 入、**切** 》	114
入にすると顔検出が有効になる。	
C700 **C700 FF** フォーカス ➤ 顔検出AF　《 **顔優先**、顔限定 》	114
顔検出AFで顔が検出されないときの動作を選ぶ。 顔優先：　AFモードの設定に応じた調整方法で調整する。 顔限定：　ピントが固定される（マニュアルフォーカス）。	
C700 **C700 FF** フォーカス ➤ AFスピード　《 +2、+1、**0**、−1 〜−7 》	112
オートフォーカスの調整速度を選ぶ。	

設定項目・設定値／内容	🕮
C700 C700 FF フォーカス ➤ AFスピード適用条件 《 **常時**、記録中 》	112
「AFスピード」の設定が常に有効か、記録中のみ有効かを選ぶ。	
C700 C700 FF フォーカス ➤ AFレスポンス 《 +3、+2、+1、**0**、−1、−2、−3 》	112
オートフォーカスの応答性を選ぶ。	
ABB	62
オートブラックバランスを実行する。	
カラーバー ➤ 表示 《 入、**切** 》	134
入にすると、カラーバーを表示する。	
カラーバー ➤ タイプ 《 **SMPTE**、EBU、ARIB 》	134
カラーバーのタイプを選ぶ。	
マウントアダプター 《 C700 C700 FF MO-4E、C700 GS PL C700 FF PL MO-4P、**切** 》	52
装着しているB4マウントアダプターを選ぶ。	
フォーカスコントロール 《 **カメラ**、レンズ 》	106
フォーカスの制御のしかたを選ぶ。「レンズ」にすると、レンズのアクセサリーを使ってフォーカスを調整できる。このとき、本機のオートフォーカス機能や、リモートコントローラー RC-V100（別売）のフォーカス調整は使用できない。	
C700 C700 FF C700 FF PL フラッシュバンド補正 《 入、**切** 》	86
入にすると、ストロボ発光によって生ずるフラッシュバンドを補正する。	
C700 C700 FF 周辺光量補正 《 入、**切** 》	53
入にすると、レンズの特性によって四隅が暗くなるのを補正する。	
色収差補正 《 入、**切** 》	53
入にすると、レンズの特性によって生じる色ずれや色にじみを補正する。	
レンズ情報	−
装着しているレンズの情報を表示する。	

CP Custom Pictureメニュー

設定項目・設定値／内容	🕮
Preset	97
あらかじめ用意された、プリセット（ガンマ、色空間、カラーマトリクスの組み合わせ）を選ぶ。	
Main Settings	157
プリセットを使用しないときに、ガンマ、色空間、カラーマトリクスを個別に選ぶ。	
Other Settings	158
PresetまたはMain Settingsで選んだ設定に対して、さらに詳細な調整を行う。	
ファイル	161
カスタムピクチャーファイルの操作を行う。	

♪))オーディオ設定メニュー

設定項目・設定値／内容	🕮
Audio Input ➤ CH1/CH2 Input選択、CH3/CH4 Input選択　《 **INPUT端子**、MIC端子、モノラルマイク 》	130
CH1 ／ CH2またはCH3 ／ CH4に録音する入力音声を選ぶ。	
Audio Input ➤ 録音レベルCH1 ～録音レベルCH4、録音レベルCH1/CH2、録音レベルCH3/CH4　《 **オート**、マニュアル 》	131
CH1、CH2、CH3、CH4またはCH1/CH2、CH3/CH4の録音レベルの調整方法を選ぶ。	
Audio Input ➤ CH1レベル～ CH4レベル、CH1/CH2レベル、CH3/CH4レベル　《 0 ～ 100（**50**）》	131
CH1、CH2、CH3、CH4またはCH1/CH2、CH3/CH4の録音レベルを手動で設定する。	
Audio Input ➤ CH2 Input　《 **INPUT 2**、INPUT 1 》	131
チャンネル2として記録する入力音声を選ぶ。 INPUT 2：　INPUT1入力をCH1にINPUT2入力をCH2に録音する。 INPUT 1：　INPUT1入力をCH1 ／ CH2の両方に録音する。	
Audio Input ➤ INPUT 1 Micトリミング、INPUT 2 Micトリミング　《 +12 dB、+ 6dB、**0 dB**、－6 dB、－12 dB 》	132
外部マイク（INPUT端子）のCH1またはCH2の入力感度を調整する。	
Audio Input ➤ INPUT 1 Mic Att.、INPUT 2 Mic Att.　《 入、**切** 》	132
入にすると、外部マイク（INPUT端子）のCH1またはCH2にアッテネーター（20 dB）がかかる。	
Audio Input ➤ INPUT 1/2 リミッター　《 入、**切** 》	132
録音レベルをマニュアルで調整する場合、入にすると過大な音声入力によるひずみを自動的に低減できる。	
Audio Input ➤ MIC Att.　《 入、**切** 》	133
入にすると、外部マイク（MIC端子）にアッテネーター（20 dB）がかかる。	
Audio Input ➤ MICローカット　《 入、**切** 》	133
外部マイク（MIC端子）の特性を選ぶ。入にすると、風の影響を受ける屋外で撮影するとき、風によるノイズを低減する。	
Audio Input ➤ CH1/CH2 ALCリンク、CH3/CH4 ALCリンク　《 連動、**独立** 》	132
録音レベルをオートで調整する場合、連動にすると、INPUT端子のCH1とCH2の録音レベル調整を連動させることができる。	
Audio Input ➤ 1 kHzトーン　《 －12 dB、－18 dB、－20 dB、**切** 》	134
カラーバーと同時にテストトーンを出力するときに設定する。	
Audio Output ➤ ヘッドホン音量　《 切、1 ～ 15（**8**）》	169
ヘッドホンの音量を調整する。	
Audio Output ➤ モニターチャンネル　《 **CH1/CH2**、CH1/CH1、CH2/CH2、CH1+2/CH1+2、CH3/CH4、CH3/CH3、CH4/CH4、CH3+4/CH3+4、CH1+3/CH2+4 》	188
ヘッドホンの出力チャンネル（L / R）を選ぶ。「CH1+2」はCH1とCH2のミックスした信号であることを示す。 「CH1+3」、「CH3+4」なども同様。	
Audio Output ➤ HDMIチャンネル　《 **CH1/CH2**、CH3/CH4 》	188
4チャンネルの音声のうち、HDMI OUT端子から出力するチャンネルを選ぶ。	
Audio Output ➤ RAW（SDI）チャンネル　《 **CH1/CH2**、CH3/CH4 》	188
4チャンネルの音声のうち、RAW映像とともにSDI OUT端子／ MON.端子から出力するチャンネルを選ぶ。	

記録／メディア設定メニュー

設定項目・設定値／内容	🕮
メディア初期化 ➤ CFast A、CFast B、SDカード、CDX Capture Drive 《[SDカード選択時] **完全初期化**、高速初期化 》	58 248
CFast A、CFast B、SDカード、Capture Driveの各スロットに入っているカードを初期化する。SDカードのときは、完全初期化と高速初期化を選択可能。	
主記録形式 《 **XF-AVC(CFast)**、ProRes(CFast)、ProRes(CDX Capture Drive)、RAW(CDX Capture Drive)、RAW(SDI OUT) * 》	73 249
メイン動画の記録形式と記録先 (出力先)を選ぶ。*「センサーモード」が「Super 35mm」または「Super 35mm (Crop)」のとき。	
Slow & Fastモーション 《 入、**切** 》	76
スロー &ファストモーション記録のモードを選ぶ。通常の記録に戻すときは「切」を選ぶ。	
システム周波数 《 **59.94 Hz**、50.00 Hz、24.00 Hz 》	73
システム周波数を選ぶ。	
フレームレート 《 [59.94 Hz時] 59.94i、**59.94P**、29.97P、23.98P ／ [50.00 Hz時] 50.00i、**50.00P**、25.00P 》	73
フレームレートを選ぶ。	
解像度／サンプリング 《 4096×2160 YCC 10 bit、**3840×2160 YCC 10 bit**、2048×1080 RGB 12 bit、2048×1080 RGB 10 bit、2048×1080 YCC 10 bit、1920×1080 RGB 12 bit、1920×1080 RGB 10 bit、1920×1080 YCC 10 bit、5952×3140 RAW(**C700 FF** **C700 FF PL**)、5952×2352 RAW(**C700 FF** **C700 FF PL**)、4512×2376 RAW(**C700**)、4272×2376 RAW(**C700 GS PL**)、4512×1920 RAW(**C700**)、4096×2160 RAW、2048×1080 RAW(**C700 FF** **C700 FF PL**) 》	73
解像度とカラーサンプリングを選ぶ。センサーモードと主記録形式によって選択できる項目が異なる。	
ビットレート 《 [XF-AVC] 810 Mbps Intra-frame、440 Mbps Intra-frame、410 Mbps Intra-frame、360 Mbps Intra-frame、310 Mbps Intra-frame、225 Mbps Intra-frame、210 Mbps Intra-frame、170 Mbps Intra-frame、160 Mbps Intra-frame、90 Mbps Intra-frame、50 Mbps Long GOP [ProRes] ProRes4444XQ(**C700 FF** **C700 FF PL**)、ProRes4444、ProRes422HQ、ProRes422 》	73
ビットレート (XF-AVC)またはコーデック (ProRes)を選ぶ。主記録形式、フレームレート、解像度／サンプリングの設定によって自動的に決まるか、または選択できる項目が異なる。	
サブ記録 (XF-AVC) ➤ 記録先 《 CFast、SDカード、**切** 》	80
メイン動画と同時に記録するサブ動画の記録先を選ぶ。CFastは主記録形式がRAWのときに選択でき、XF-AVC形式で記録する。SDカードには、XF-AVC Proxy形式で記録する。	
サブ記録 (XF-AVC) ➤ 解像度／サンプリング 《 4096×2160 YCC 10 bit、3840×2160 YCC 10 bit、2048×1080 YCC 10 bit、1920×1080 YCC 10 bit 》	80
主記録形式がRAWのときに、CFastに記録するサブ動画の解像度とカラーサンプリングを選ぶ。	
サブ記録 (XF-AVC) ➤ LUT設定 《BT.709、BT.2020、DCI、**切** 》	80
サブ動画 (XF-AVC Proxy)に適用するLUTを選ぶ。カスタムピクチャーのガンマ、色空間の設定によって、選択できる項目が異なる。	

設定項目・設定値／内容	🕮
ダブル／リレー記録 ➤ ダブルスロット記録 《 入、**切** 》	60
ダブルスロット記録の入／切を切り換える。	
ダブル／リレー記録 ➤ リレー記録 《 入、**切** 》	60
リレー記録の入／切を切り換える。	
記録コマンド 《 入、**切** 》	180
入にして、本機と他機をSDI OUT端子またはMON.端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作（RECボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができる。	
メタデータ ➤ カメラインデックス 《 **A** ～ Z 》	70
クリップファイル名を構成する「カメラインデックス」を設定する。カメラごとに異なる文字を設定する。	
メタデータ ➤ リール番号 《 **001** ～ 999 》	70
クリップファイル名を構成する「リール番号」の初期値を設定する。記録メディアごとに異なる番号を設定する。	
メタデータ ➤ クリップ番号 《 **001** ～ 999 》	70
クリップ番号方式が「通し番号」のときに、クリップファイル名を構成する「クリップ番号」の初期値を設定する。	
メタデータ ➤ ユーザー定義 《 5文字の文字列（**CANON**）》	70
クリップファイル名を構成する「ユーザー定義」を設定する。	
メタデータ ➤ シーン 《 16文字以内の文字列（未設定）》	138
シーンを識別する任意の文字列。	
メタデータ ➤ テイク 《 8文字以内の文字列（未設定）》	138
同一シーンにおけるテイクを識別する任意の文字列。	
メタデータ ➤ レンズスクイーズ 《 x2.0、x1.3、**切** 》	142
アナモフィックレンズを装着しているときに、スクイーズ倍率を選ぶ。	
メタデータ ➤ 設定 《 リモート、**SDカード** 》	138
メタデータの設定方法を選ぶ。 リモート： ブラウザーリモートから設定する。 SDカード： Canon XF Utilityを使って設定し、SDカードに保存したメタデータ（ユーザーメモ）を使用する。	
メタデータ ➤ User Memo 《 **切**、ファイル選択 》	138
SDカードに記録されているユーザーメモファイルを選ぶ。切にすると、ユーザーメモは記録されない。	
メタデータ ➤ 国コード 《 4文字の文字列 》	—
UMID所有権情報の国コード。ISO-3166-1で定義している短縮文字を左詰めで入力する。	
メタデータ ➤ 組織 《 4文字の文字列 》	—
UMID所有権情報の組織コード。各組織で運用する組織コード*を入力する。 * 組織コードは、SMPTE登録局に申請後、取得して初めて使用できる。取得していないときは「0000」を入力する。	
メタデータ ➤ ユーザーコード 《 4文字の文字列 》	—
UMID所有権情報のユーザーコード。ユーザーの識別用のコードを入力する*。 * 運用の方法は、ユーザーに任されているが、組織コードに「0000」を入力したときは、入力しない。	

設定項目・設定値／内容	🕮
メタデータ ➤ CP ファイル付加 《 **入**、切 》	156
入にすると、クリップと一緒にカスタムピクチャーファイルが保存される。	
メタデータ ➤ クリップ番号方式 ≪ **オートリセット**、通し番号 ≫	70
クリップ番号の付けかたを選ぶ。 オートリセット： 記録メディアの交換後、初回の記録時に自動的に「001」にリセットする。 通し番号： 記録メディアを交換しても連番を振る。	
静止画番号方式 《 オートリセット、**通し番号** 》	145
静止画番号の付けかたを選ぶ。 オートリセット： 静止画番号は100-0001またはSDカード内に記録されている静止画の続きの番号になる。 通し番号： 静止画番号は最後に記録した静止画の続きの番号になる。	

モニタリング設定メニュー

設定項目・設定値／内容	🕮
コントロールディスプレイ ➤ カメラ ➤ 明るさ 《 1 ～ 5(**3**) 》	33
カメラ本体のコントロールディスプレイの明るさを調整する。	
コントロールディスプレイ ➤ カメラ ➤ 消灯 《 **アサインボタン**、リモートOU-700接続時 》	33
カメラ本体のコントロールディスプレイの消灯のしかたを選ぶ。 アサインボタン： 「コントロールディスプレイ表示」を割り当てたアサインボタンで操作する。 リモートOU-700接続時： リモートオペレーションユニットOU-700(別売)接続時に自動的に消灯する。	
コントロールディスプレイ ➤ リモートOU-700 ➤ 明るさ 《 1 ～ 5(**3**) 》	33
リモートオペレーションユニットOU-700(別売)のコントロールディスプレイの明るさを調整する。	
EVF-V70 ➤ 明るさ、コントラスト 《 ±99(**±0**) 》	54
EVF-V70の明るさまたはコントラストを調整する。	
EVF-V70 ➤ カラー 《 ±20(**±0**) 》	54
EVF-V70のカラーを調整する。	
EVF-V70 ➤ シャープネス 《 1 ～ 4(**2**) 》	54
EVF-V70のシャープネスを調整する。	
EVF-V70 ➤ 輝度 《 **ノーマル**、ハイ 》	54
EVF-V70の輝度を選ぶ。	
EVF-V70 ➤ アイセンサー 《 **入**、切 》	46
入の場合、撮影時に約30秒間（再生時は約10秒間）接眼しないと、EVF-V70の輝度を下げる。	
サラウンディングエリア ➤ 設定 《 **入**、切 》	69
入にすると、記録領域の外側の映像（サラウンディングエリア）をモニター画面に表示する。 「センサーモード」が「Super 35mm (Crop)」または「Super 35mm」のときのみ。。	
サラウンディングエリア ➤ 選択 《 **ライン**、マスク 25%、マスク 50%、マスク 75% 》	69
サラウンディングエリアの背景のマスクの濃度を選ぶ。ラインは背景が黒で映像との境界線を表示する。	

設定項目・設定値／内容	🕮
サラウンディングエリア ➤ ラインカラー 《 イエロー、ブルー、グリーン、レッド、ブラック、グレー、**ホワイト** 》	69
サラウンディングエリアと映像の境界線の色を選ぶ	
アナモフィック ➤ モニタリング倍率 《 **レンズスクイーズ連動**、x2.0、x1.3 》	142
アナモフィックレンズ装着時、モニター画面に表示する映像（アシスト表示）の拡大方法（倍率）を選ぶ。「レンズスクイーズ連動」を選ぶと、装着しているアナモフィックレンズ応じた倍率で拡大する。	
アナモフィック ➤ VIDEO出力、MON.+HDMI出力 《 入、**切** 》	142
アナモフィックレンズ装着時の拡大映像（アシスト表示）を、ビューファインダー（VIDEO端子）またはMON.端子／HDMI OUT端子に出力する。	
LUT ➤ MON.1 、MON.2 、SDI OUT 1/2/3/4 、SDI OUT 1/2 、SDI OUT 3/4 、HDMI 《 BT.709 、BT.2020 、DCI 、ACESproxy、HDR-PQ、HDR-HLG、UserLUT1 ～ 4*、**切** 》 * ユーザー LUTを登録しているときのみ表示される。	183
カスタムピクチャーのPresetやMain Settingsで、特定のガンマ／色空間を選択しているときに、各出力先に適用するLUTを選ぶ。カスタムピクチャーのガンマ、色空間の設定によって、選択できる項目が異なる。	
LUT ➤ VIDEO 《 BT.709、HDR 1600%、HDR 400%、UserLUT1～4*、**切** 》 * ユーザーLUTを登録しているときのみ表示される。	183
ビューファインダー（VIDEO端子）の出力映像にLUTを適用する。	
LUT ➤ User LUT ➤ 登録（UserLUT1 ～ 4）	184
ユーザー LUTを登録する。	
LUT ➤ User LUT ➤ Color Space (Output) 《**BT.709 Gamut**、BT.2020 Gamut、変換しない》	185
ユーザー LUTの適用時に変換を選択する。	
LUT ➤ User LUT ➤ Range (Output) 《**Narrow Range**、Full Range》	185
出力レンジを選択する。	
LUT ➤ User LUT ➤ 消去	186
選択したユーザー LUTを消去する。	
LUT ➤ User LUT ➤ 設定初期化	186
登録したすべてのユーザー LUTを消去する。	
LUT ➤ User LUT ➤ 名称変更 《8文字以内の英数字》	186
選択したユーザー LUTの名前を変更する。	
LUT ➤ User LUT ➤ 情報表示	186
選択したユーザー LUTの設定内容を表示する。	
白黒 ➤ VIDEO出力、MON.+HDMI出力 《 入、**切** 》	54
ビューファインダー（VIDEO端子）またはMON.端子／ HDMI OUT端子の出力映像を白黒にする。	
オンスクリーン表示 ➤ VIDEO、MON.+HDMI ➤ 出力 《 **入**、切 》	182
入にすると、ビューファインダー（VIDEO端子）または映像出力端子（MON.端子、HDMI OUT端子）に画面表示を重畳する。	
オンスクリーン表示 ➤ VIDEO、MON.+HDMI ➤ フレーム表示 《 **入**、切 》	—
入にすると、周辺の画面表示に重ならないように映像をやや縮小して表示する。	

設定項目・設定値／内容	🕮
表示単位系 《C700 FF C700 FF PL Meters、**Feet** C700 C700 GS PL **Meters**、Feet 》	—
GPSの高度の表示単位を選ぶ。	
Custom Display 1 ➤ 測光方式、Custom Picture、焦点距離、ND Filter、フォーカスモード 《 **入**、切 》	67
[測光方式]： 測光方式がバックライトまたはスポットライトのときに、それぞれ🔆または🅰アイコンを表示する。 [Custom Picture]： カスタムピクチャーのプリセットや🎨アイコンを表示する。 [焦点距離]： 焦点距離を表示する。 [ND Filter]： NDフィルターの設定を表示する。 [フォーカスモード]：レンズのフォーカスモードスイッチの設定に応じてAFまたはMFアイコンを表示する。	
Custom Display 1 ➤ キーロック、White Balance、Exposure、Iris、ISO/Gain、Shutter 《 **入**、切 》	67
[キーロック]： 🔒（キーロック）アイコンを表示する。 [White Balance]：ホワイトバランスの設定を表示する。 [Exposure]： 露出バーを表示する。 [Iris]： アイリスの設定（F値、T値）を表示する。 [ISO/Gain]： ISO感度／ゲインの設定を表示する。 [Shutter]： シャッタースピードの設定を表示する。	
Custom Display 1 ➤ ピーキング、Magnification、LUT、レンズ、マウントアダプター、フラッシュバンド補正 《 **入**、切 》	67
[ピーキング]： PEAK1 ／ PEAK2（ピーキング）アイコンを表示する。 [Magnification]： MAGN. ／ MAG（拡大表示）アイコンを表示する。 [LUT]： LUTが有効のときにLUTアイコンを表示する。 C700 C700 FF [レンズ]：装着したレンズと通信を行えないときに LENS（レンズ）アイコンを表示する。 [マウントアダプター]： MO-4E（マウントアダプター）アイコンを表示する。 C700 C700 FF C700 FF PL [フラッシュバンド補正]：FBC（フラッシュバンド補正）アイコンを表示する。	
Custom Display 2 ➤ DC IN ／バッテリー、記録可能時間 《 警告、**ノーマル**、切 》	67
DC IN ／バッテリーの残量または記録可能時間の表示のしかたを、警告時のみ、常に、表示しない、から選ぶ。また、DC IN ／バッテリーが「切」以外のときは、🪙（コイン型リチウム電池警告）アイコンを表示する。	
Custom Display 2 ➤ 記録モード、Genlock、Time Code、カメラインデックス、リール番号／クリップ番号 《 **入**、切 》	67
[記録モード]： 撮影状態（記録モード）を表示する。 [Genlock]： Gen.（ゲンロック）アイコンを表示する。 [Time Code]： タイムコードを表示する。 [カメラインデックス]： カメラインデックスを表示する。 [リール番号／クリップ番号]：リール番号とクリップ番号を表示する。	
Custom Display 2 ➤ 静止画記録可能枚数 《 警告、**ノーマル**、切 》	67
静止画記録アイコンの表示のしかたを、警告時のみ、常に、表示しない、から選ぶ。	
Custom Display 2 ➤ 温度／ファン、フレームレート、オンスクリーン表示、記録コマンド、水準器 《 **入**、切 》	67
[温度／ファン]： 内部温度が高温時に 🌡 アイコンを、ファンが回転中に FAN アイコンを表示する。 [フレームレート]： フレームレートを表示する。 [オンスクリーン表示]：映像を出力する端子に画面表示を重畳する DISP➔（画面表示出力）アイコンを表示する。初期値は「切」。 [記録コマンド]： 記録コマンド状態を表示する。 [水準器]： 水準器のインジケーターを表示する。初期値は「切」。	

設定項目・設定値／内容	🕮
Custom Display 2 ➤ Audioレベル、ネットワーク機能、GPS 《 **入**、切 》	67
[Audioレベル]： オーディオレベルメーターとLIM(オーディオリミッター)アイコンを表示する。 [ネットワーク機能]： ネットワーク接続アイコン（、AP、品）とネットワーク機能アイコン（Remote、） [GPS]： (GPS)アイコンを表示する。	
Custom Display ➤ カメラインデックス、Audioレベル、日付／時刻、カメラデータ 《 入、**切** 》	168
[カメラインデックス]：クリップの再生画面にカメラインデックスを表示する。初期値は「入」。 [Audioレベル]： オーディオレベルメーターを表示する。初期値は「入」。 [日付／時刻]： クリップ／静止画の再生画面に日時を表示する。 [カメラデータ]： 入にすると、クリップの再生画面にカメラデータ（シャッタースピード、F値、ISO感度／ゲイン）を表示する。	

アシスト設定メニュー

設定項目・設定値／内容	🕮
C700 C700 FF フォーカスガイド ➤ 設定 《 入、**切** 》	106
デュアルピクセルフォーカスガイドを表示する。	
C700 C700 FF フォーカスガイド ➤ サブ枠表示 《 入、**切** 》	106
入にすると、フォーカスガイドのサブ枠を表示する。	
ピーキング ➤ VIDEO出力、MON.+HDMI出力 《 入、**切** 》	106
ビューファインダー（VIDEO端子）またはMON.端子／ HDMI OUT端子にピーキングを出力する。	
ピーキング ➤ 選択 《 **ピーキング 1**、ピーキング 2 》	106
表示するピーキングの種類を選ぶ。	
ピーキング ➤ ピーキング 1 ➤ カラー 《 **ホワイト**、レッド、イエロー、ブルー 》	106
ピーキング1の色を選ぶ。	
ピーキング ➤ ピーキング 1 ➤ Gain 《 切、1 ～ 15(**8**) 》	106
ピーキング1のゲインを選ぶ。	
ピーキング ➤ ピーキング 1 ➤ 周波数 《 1 ～ 4(**2**) 》	106
ピーキング1の周波数を選ぶ。	
ピーキング ➤ ピーキング 2 ➤ カラー 《 ホワイト、**レッド**、イエロー、ブルー 》	106
ピーキング2の色を選ぶ。	
ピーキング ➤ ピーキング 2 ➤ Gain 《 切、1 ～ 15(**15**) 》	106
ピーキング2のゲインを選ぶ。	
ピーキング ➤ ピーキング 2 ➤ 周波数 《 1 ～ 4(**1**) 》	106
ピーキング2の周波数を選ぶ。	
ピーキング ➤ フォーカスアシスト白黒 《 入、**切** 》	—
入にすると、ピーキング使用時に、画面の映像を自動的に白黒にする。記録される映像や外部出力には影響しない。	

設定項目・設定値／内容	🕮
Magnification ➤ 記録時有効　《 入、**切** 》	108
入にすると、記録中に拡大表示を使用できる。このとき、顔検出／追尾と、ブラウザーリモートのライブビュー映像表示は使用できない。	
Magnification ➤ VIDEO出力、MON.+HDMI出力　《 入、**切** 》	108
ビューファインダー（VIDEO端子）またはMON.端子／ HDMI OUT端子に拡大表示を出力する。	
Magnification ➤ フォーカスアシスト白黒　《 入、**切** 》	—
入にすると、拡大表示使用時に、画面の映像を自動的に白黒にする。記録される映像や外部出力には影響しない。	
フォルスカラー ➤ VIDEO出力、MON.1 出力、MON.2 出力、HDMI 出力　《 入、**切** 》	120
ビューファインダー（VIDEO端子）、MON.1端子、MON.2端子またはHDMI OUT端子にフォルスカラーを出力する。	
フォルスカラー ➤ インデックス表示	120
フォルスカラーのカラーインデックス（凡例）をモニター画面に表示する。	
ゼブラ ➤ VIDEO出力、MON.+HDMI出力　《 入、**切** 》	119
ビューファインダー（VIDEO端子）またはMON.端子／ HDMI OUT端子にゼブラを出力する。	
ゼブラ ➤ 選択　《 **ゼブラ 1**、ゼブラ 2、ゼブラ 1+2 》	119
表示するゼブラパターンの種類を選ぶ。 ゼブラ 1：　設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターンを表示する。 ゼブラ 2：　設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターンを表示する。 ゼブラ 1+2：ゼブラパターン1と2を同時に表示する。	
ゼブラ ➤ ゼブラ 1 レベル　《 5 ±5% ～ 95 ±5%（**70 ±5%**）》	119
ゼブラパターン1の輝度レベルを5%刻みで選ぶ。	
ゼブラ ➤ ゼブラ 2 レベル　《 0% ～ **100%** 》	119
ゼブラパターン2の輝度レベルを5%刻みで選ぶ。	
Waveform Monitor ➤ VIDEO出力、MON.+HDMI出力　《 入、**切** 》	135
波形モニターの出力先を選ぶ。	
Waveform Monitor ➤ 位置　《 **右**、左 》	135
波形モニターの表示位置を選ぶ。	
Waveform Monitor ➤ タイプ　《 **ライン**、ライン+スポット、ラインセレクト、フィールド、RGB、YPbPr 》	135
波形モニターのタイプを選ぶ。	
Waveform Monitor ➤ Gain　《 **1x**、2x 》	135
波形モニターの波形の倍率を選ぶ。	
Waveform Monitor ➤ Yポジション　《 **0%**、15%、30%、45%、50% 》	135
波形モニターの倍率が2xのときに、縦軸（輝度）の表示開始輝度（%）を選択する。	
Waveform Monitor ➤ ラインセレクト　《 0 ～ **540** ～ 1079（1ライン刻み）、0 ～ **1080** ～ 2158（2ライン刻み）、0 ～ **1266** ～ 2530（2ライン刻み）、0 ～ **1570** ～ 3138（2ライン刻み）》	135
波形を表示するライン（赤い横線）の位置を選ぶ。機種、記録解像度、撮影／再生によって、設定範囲と初期値が異なる。	

設定項目・設定値／内容	🕮
マーカー ➤ VIDEO 出力、MON.+HDMI 出力 《**入**、切》	117
ビューファインダー（VIDEO 端子）またはMON.端子／ HDMI OUT 端子にマーカーを出力する。	
マーカー ➤ センター、水平、グリッド、アスペクトマーカー 《 イエロー、ブルー、グリーン、レッド、ブラック、グレー、ホワイト、**切** 》	117
各マーカーの色を選ぶ。切にすると、そのマーカーは表示されない。	
マーカー ➤ アスペクト比 《 4:3、13:9、14:9、16:9、1.375:1、1.66:1、1.75:1、1.85:1、1.90:1、2.35:1、**2.39:1**、カスタム 》	117
アスペクトマーカーの縦横比を選ぶ。「カスタム」を選ぶと「カスタムアスペクト比」で選んだ縦横比になる。	
マーカー ➤ カスタムアスペクト比 《 **1.00:1** ～ 9.99:1 》	117
アスペクトマーカーの任意の縦横比を設定する。	
マーカー ➤ セーフティーゾーン 《 イエロー、ブルー、グリーン、レッド、ブラック、グレー、ホワイト、**切** 》	117
セーフティーゾーンを表示する。	
マーカー ➤ セーフティーゾーン基準 《 **映像全体**、アスペクトマーカー領域 》	117
セーフティーゾーンの基準領域を選ぶ。	
マーカー ➤ セーフティーゾーン面積 《 80%、90%、92.5%、**95%** 》	117
セーフティーゾーンの面積（基準領域に対する割合）を選ぶ。	
マーカー ➤ サブ記録領域 《 イエロー、ブルー、グリーン、レッド、ブラック、**グレー**、ホワイト、切 》	117
サブ記録領域を表示する。	

システム設定メニュー

設定項目・設定値／内容	🕮
リセット ➤ 全設定、アサインボタン、水準器	266 148
[全設定]： アワーメーターを除く本機の設定を初期状態に戻す。 [アサインボタン]： アサインボタンの機能割り当て設定を初期状態に戻す。 [水準器]： 水準器の基準レベルを出荷状態に戻す。	
メニュー／ CP 設定保存 ➤ 保存 ➤ カメラ本体へ、SD へ	163
メニュー設定とカスタムピクチャーファイル（本機に保存されている9セット）を、カメラ本体またはカードに保存する。	
メニュー／ CP 設定保存 ➤ 読み出し ➤ カメラ本体から、SD から	163
メニュー設定とカスタムピクチャーファイルを、カメラ本体またはカードから読み出す。	
日時設定 ➤ 日付／時刻 《 日付・時間 》	30
日付と時間を設定する。	
日時設定 ➤ 日時スタイル 《 YMD、YMD/24H、**MDY**、MDY/24H、DMY、DMY/24H 》	30
日時の表示のしかたを選ぶ。	

設定項目・設定値／内容	🕮
日時設定 ➤ タイムゾーン 《 UTC −12:00 ～ +14:00 (C700 FF C700 FF PL **UTC-05:00 ニューヨーク** C700 C700 GS PL **UTC+09:00 トウキョウ**) 》	—
タイムゾーンを設定する。	
言語 《 C700 FF C700 FF PL Deutsch、**English**、Español、Français、Italiano、Polski、Português、Русский、简体中、한국어、日本語 C700 C700 GS PL **日本語**、English 》	—
表示されるメニューやメッセージなどの言語を選ぶ。	
端子出力設定 ➤ HDMI最大解像度 《 4096×2160 ／ 3840×2160、**1920×1080** 》	181
HDMI OUT 端子に出力する信号の最大解像度を選ぶ。	
端子出力設定 ➤ MON.出力 《 2048×1080 ／ 1920×1080、**1920×1080**、切 》	180
MON.端子に出力する信号を選ぶ。	
端子出力設定 ➤ SDI OUT出力 《 **入**、切 》	179
入にすると、SDI OUT端子から信号を出力する。	
端子出力設定 ➤ 3G-SDIマッピング 《 Level A、**Level B** 》	180
SDI OUT端子／ MON.端子の出力信号のマッピング方式を選ぶ。SMPTE ST 425規格のLevel AまたはLevel Bに準拠した信号が出力される。RAW出力時はLevel Bとなる。	
GENLOCK ／ SYNC OUT ➤ 端子機能 《 HD Sync出力、**Genlock入力** 》	124
GENLOCK ／ SYNC OUT端子の機能を選ぶ。「Genlock入力」にするとGENLOCK端子として、「HD SYNC出力」にするとSYNC OUT端子として動作する。	
GENLOCK ／ SYNC OUT ➤ Genlock調整 《 −1023 ～ 1023(**000**) 》	124
ゲンロックのH位相を、位相差0を中心として約±0.4H(HD換算)の範囲で調整する。	
GENLOCK ／ SYNC OUT ➤ SYNCスキャンモード 《 **P**、PsF 》	126
SYNC OUT端子から出力する同期信号の走査方式を選ぶ。	
Time Code ➤ モード 《 **Preset**、Regen. 》	121
タイムコードのカウントアップ方式を選ぶ。 Preset： 「設定」で設定した任意のタイムコードから歩進する。 Regen.： メディアに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。	
Time Code ➤ Run 《 **Rec Run**、Free Run 》	121
モードがPresetのときの歩進方法をRec Run(記録時に歩進)とFree Run(常に歩進)から選ぶ。	
Time Code ➤ DF ／ NDF 《 **DF**、NDF 》	122
ドロップフレーム (DF)またはノンドロップフレーム (NDF)を切り換える。なお、フレームレートが29.97P、59.94i、59.94P以外のときはNDFに固定される。	
Time Code ➤ 設定 《 **00:00:00:00** ～ 23:59:59:29(59.94 Hz時)、23:59:59:24(50.00 Hz時)または23:59:59:23(24.00 Hz時) 》	121
タイムコードの初期値を設定する。	
Time Code ➤ TC In ／ Out 《 **In**、Out 》	125
TIME CODE端子の入力 (In)と出力 (Out)を切り換える。	

設定項目・設定値／内容	🕮
User Bit ➤ 記録モード 《 **Internal**、External 》	125
記録するユーザービットを、本機内設定 (Internal)または外部入力 (External)から選ぶ。	
User Bit ➤ タイプ 《 **設定**、時刻、日付 》	123
ユーザービットを、8桁の任意の16進数 (設定)、時刻、日付のいずれかで設定する。	
REMOTE端子 《 RC-V100 (REMOTE B)、RC-V100 (REMOTE A)、**スタンダード** 》	143
REMOTE A端子またはREMOTE B端子に接続するリモコンのタイプを選ぶ。リモートコントローラー RC-V100(別売)を使用するときは、RC-V100を接続したREMOTE A端子またはREMOTE B端子を、市販のリモコンをREMOTE A端子に接続するときは「スタンダード」を選ぶ。	
アサインボタン ➤ カメラ ➤ 1 ～ 5 アサインボタン ➤ EVF-V70 ➤ 1 ～ 4 アサインボタン ➤ グリップSG-1 ➤ 1 アサインボタン ➤ リモートRC-V100 ➤ 1 ～ 4	148
本体のアサインボタンに機能を割り当てる。 初期値： [カメラ] 1：**Magn.：MON.+HDMI**、2：**ピーキング：MON.+HDMI**、3：**フォルスカラー：MON.+HDMI**、4：**WFM：MON.+HDMI**、5：**One-Shot AF** [EVF-V70] 1：**FUNC**、2：**EVF-V70設定** (EVF)、3：**Magn.：VIDEO**、4：**フォルスカラー：VIDEO** [グリップSG-1] 1：**One-Shot AF** [リモートRC-V100] 1：**Magn.：MON.+HDMI**、2：**ピーキング：MON.+HDMI**、3：**フォルスカラー：MON.+HDMI**、4：**Waveform Monitor** 設定値： 各アサインボタンに機能を割り当てる。次の機能を割り当てることができる。各機能の詳細について (🕮 148)。 (未設定)、C700 C700 FF One-Shot AF、C700 C700 FF AFロック、C700 C700 FF 顔検出AF、C700 C700 FF 顔検出、C700 C700 FF 追尾、C700 C700 FF フォーカスガイド、ピーキング、ピーキング：VIDEO、ピーキング：MON.+HDMI、Magnification、Magn.：VIDEO、Magn.：MON.+HDMI、Push Auto Iris、Irisモード、Iris +、Iris－、ND +、ND －、AEシフト +、AEシフト －、バックライト、スポットライト、ゼブラ、ゼブラ：VIDEO、ゼブラ：MON.+HDMI、フォルスカラー、フォルスカラー：VIDEO、フォルスカラー：MON.+HDMI、フォルスカラー：MON.1、フォルスカラー：MON.2、フォルスカラー：HDMI、フォルスカラーインデックス表示、Waveform Monitor、WFM：VIDEO、WFM：MON.+HDMI、LUT、LUT：VIDEO、LUT：MON.1、LUT：MON.2、LUT：HDMI、LUT：SDI OUT 1/2/3/4、LUT：SDI OUT 1/2、LUT：SDI OUT 3/4、White Balanceセット、AWBホールド、AWB AWB、セット A、セット B、太陽光、電球、WB1 USER_01 ～WB1 USER_05、コントロールディスプレイ設定、コントロールディスプレイ表示、EVF-V70設定、オンスクリーン表示、オンスクリーン表示：VIDEO、オンスクリーン表示：MON.+HDMI、マーカー、マーカー：VIDEO、マーカー：MON.+HDMI、アナモフィック、アナモフィック：VIDEO、アナモフィック：MON.+HDMI、カラーバー、Photo、Time Code、Time Codeホールド、OK Mark追加、☑ Mark追加、ヘッドホン+、ヘッドホン－、モニターチャンネル、Audioレベル、FUNC、Slow&Fastフレームレート、Shutter、ISO/Gain、White Balance、Custom Picture、マイメニュー、メディア初期化、ユーザー設定	
CUSTOMスイッチ ➤ 1 《 **Iris**、ISO/Gain、切 》 CUSTOMスイッチ ➤ 2 《 Iris、ISO/Gain、**切** 》	89 93
CUSTOM(電子ダイヤル切り換え)スイッチのポジション1、2の機能を選ぶ。	
電子ダイヤル方向 ➤ カメラ、グリップ SG-1 《 リバース、**ノーマル** 》	—
カメラまたはショルダースタイルグリップユニットSG-1(別売)の電子ダイヤルの操作方向を選ぶ。	
SELECTダイヤル方向 ➤ カメラ、リモート OU-700、EVF-V70 《 リバース、**ノーマル** 》	—
カメラ、リモートオペレーションユニットOU-700(別売)または有機EL電子ビューファインダー EVF-V70(別売)のSELECTダイヤルの操作方向を選ぶ。	

設定項目・設定値／内容	🕮
🔒ボタン 《 **連動**、独立 》	65
リモートオペレーションユニットOU-700（別売）装着時、カメラ本体とOU-700の🔒（キーロック）ボタンを連動させるか、独立で動作させるかを選択する。	
キーロック 《 すべてのボタン、**RECボタン以外** 》	65
🔒（キーロック）中にRECボタンを有効にするかどうかを設定する。	
RECボタン ➤ コントロールディスプレイ側、前面、メディアスロット側、グリップ SG-1、リモート OU-700 《 無効、**有効** 》	65
カメラ本体（コントロールディスプレイ側、前面、メディアスロット側）、ショルダースタイルグリップユニットSG-1（別売）またはリモートオペレーションユニットOU-700（別売）のRECボタンを有効にするかどうかを、個別に設定する。	
ND FILTERボタン ≪ 無効、**有効** ≫	91
ND FILTERボタンを有効にする。	
LED ➤ ボタン照明 ➤ カメラ／ EVF-V70、リモートOU-700 《 **ハイ**、ロー、切 》	—
カメラ本体／有機EL電子ビューファインダー EVF-V70（別売）、またはリモートオペレーションユニットOU-700（別売）上の自照式ボタン明るさを選ぶ。	
LED ➤ タリーランプ ➤ カメラ、リモートOU-700 《 **入**、切 》	—
カメラ本体またはリモートオペレーションユニットOU-700（別売）上のタリーランプの入／切を選ぶ。入にすると、本機の起動後は緑色に点灯し、撮影中は赤色に点灯します。なお、この設定にかかわらず、本機の起動時、POWER（電源）ボタンを押した直後は、赤色に点灯します。	
LED ➤ メディアアクセス 《 **入**、切 》	56
入にすると、CFastカード／ SDカードにアクセスしたときに、それぞれのアクセスランプが点灯する。	
LED ➤ LAN（イーサネット） 《 **入**、切 》	199
入にすると、イーサネットによるネットワーク処理中に点灯／点滅する。	
ファン ➤ モード 《 オート、**常時** 》	71
カメラモードにおける冷却ファンの動作方法を選ぶ。	
ファン ➤ ファン速度(STBY) 《 強制冷却、ハイ、ミドル、**ロー** 》	71
ファンモードが「オート」のときの、撮影一時停止中における、冷却ファンの回転速度を選ぶ。	
ファン ➤ ファン速度(REC) 《 ハイ、ミドル、**ロー** 》	71
ファンモードが「オート」のときの、撮影中における冷却ファンの回転速度を選ぶ。	
ファン ➤ ファン速度(常時) 《 ハイ、ミドル、**ロー** 》	71
ファンモードが「常時」のときの、冷却ファンの回転速度を選ぶ。	
ファン速度 《 ハイ、ミドル、**ロー** 》	71
メディアモードのときの、冷却ファンの回転速度を選ぶ。	
電源警告 ➤ バッテリー（%） 《 1% ～ 10%（**5%**） 》	—
BMS（Battery Management System）対応バッテリーの警告（%を赤色で表示）の残量を、1%刻みで設定する。	
電源警告 ➤ バッテリー（V）、DC IN（V） 《 12.0V ～ 15.0V（**13.0V**） 》	—
バッテリーまたはDC IN 12V端子の警告（電圧を赤色で表示）の電圧を、それぞれ0.1V刻みで設定する。	
記録時ビープ音 《 開始／終了時、終了時、開始時、**切** 》	—
記録の開始／終了時にビープ音を鳴らす。	

設定項目・設定値／内容	🕮
スキャンリバース記録 ➤ 設定 《 両方、垂直、水平、**切** 》	—
映像を、垂直（上下）、水平（左右）、両方（上下左右）のいずれかに反転させる。RAW記録／出力時を除く。	
スキャンリバース記録 ➤ 3D記録モード 《 入、**切** 》	—
入にすると、本機を2台使用して3D撮影するときに、SDI OUT端子／ MON.端子から出力される映像信号と音声信号のずれを補正する。C700 / C700 GS PLとC700 FF / C700 FF PLを組み合わせるときは、SDI OUT端子のみ補正可能。	
水準器感度 《 x16、x8、x4、x2、**標準** 》	45
水準器の感度を選ぶ。	
ネットワーク設定 ➤ ブラウザーリモート ➤ 情報表示	199
ブラウザーリモートとネットワークの設定内容を表示する。	
ネットワーク設定 ➤ ブラウザーリモート ➤ 機能 《 入、**切** 》	201
ネットワーク機器からのリモート撮影を有効にする。	
ネットワーク設定 ➤ ブラウザーリモート ➤ 接続方法 《 **カメラアクセスポイント**、イーサネット 》	194
ブラウザーリモート動作時のネットワークへの接続方法を選ぶ。	
ネットワーク設定 ➤ ブラウザーリモート ➤ SSID 《 32文字以内の文字列（**C700** **C700 GS PL** **C700-xxxx-xx_Canon0C** **C700 FF** **C700 FF PL** **C700FF-xxxx-xx_Canon0C**）》	194
本機がカメラアクセスポイントになるときのSSIDを設定する。	
ネットワーク設定 ➤ ブラウザーリモート➤ 周波数 《 5GHz、**2.4GHz** 》	194
ネットワーク接続時の周波数を選ぶ。	
ネットワーク設定 ➤ ブラウザーリモート ➤ チャンネル 《 1 ～ 13(**1**) 》	194
ネットワーク接続時のチャンネルを選ぶ。周波数によって選択できるチャンネルは異なる。	
ネットワーク設定 ➤ ブラウザーリモート ➤ 認証／暗号化方式 《 **WPA2-PSK** ／ **AES**、オープン／暗号化なし 》	194
ネットワーク接続時の認証方式／暗号化方式を選ぶ。	
ネットワーク設定 ➤ ブラウザーリモート➤ パスワード 《 **12345678** 》	194
ネットワークのパスワードを設定する。入力可能文字と文字数は認証／暗号化方式によって異なる。	
ネットワーク設定 ➤ ブラウザーリモート➤ IPアドレス取得方法 《 オート、**マニュアル** 》	199
ネットワーク接続時のIPアドレスの取得方法を選ぶ。	
ネットワーク設定 ➤ ブラウザーリモート➤ IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ 《 0 ～ 255の数字4つ、IPアドレス：**192.168.0.80**、サブネットマスク：**255.255.255.0**、デフォルトゲートウェイ：**0.0.0.0** 》	199
ネットワーク接続時のIPアドレスの取得方法にManualを選んだ場合、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ（イーサネットのとき）を手動で設定する。	
ネットワーク設定 ➤ ブラウザーリモート ➤ Port No. 《 1 ～ 65535の数字（**80**）》	200
ネットワークに接続した機器のWebブラウザーからブラウザーリモートを起動するときに使用するポート番号を設定する。	
ネットワーク設定➤ ブラウザーリモート ➤ カメラID 《 8文字以内の文字列（**C700** **C700 GS PL** **C700** **C700 FF** **C700 FF PL** **C700FF**）》	200
カメラ固有の文字列を設定する。	

設定項目・設定値／内容	🕮
ネットワーク設定 ➤ ブラウザーリモート ➤ ユーザー設定 《 **1名 (Full)**、2名 (Camera ／ Meta) 》	200
ログインできるユーザーの数と権限を選ぶ。各ユーザーのユーザー名とパスワードの初期値は、必要に応じて変更できる。 1名(Full)： 全画面を操作できるFullユーザーのみログイン可能。 2名(Camera/Meta)： 詳細操作画面のみ操作できるCameraユーザーとメタデータ入力画面のみ操作できるMetaユーザーがログイン可能。	
ネットワーク設定 ➤ ブラウザーリモート ➤ Full: ユーザー名、Camera: ユーザー名、Meta: ユーザー名 《 8文字以内の文字列 (**Full**)、(**Camera**)、(**Meta**) 》	200
ブラウザーリモートのFull、CameraまたはMetaの各ユーザーのユーザー名を設定する。	
ネットワーク設定 ➤ ブラウザーリモート ➤ Full: パスワード、Camera: パスワード、Meta: パスワード 《 8文字以内の文字列 (**12345678**) 》	200
ブラウザーリモートのFull、CameraまたはMetaの各ユーザーのパスワードを設定する。	
ネットワーク設定 ➤ ブラウザーリモート ➤ MACアドレス確認	199
イーサネットと本体に装着しているワイヤレスファイルトランスミッター (別売)のMACアドレスを表示する。	
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ 情報表示	199
IPストリーミングとネットワークの設定内容を表示する。	
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ 機能 《 入、**切** 》	216
IPストリーミングを有効にする。	
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ 接続方法 《 **イーサネット**、インフラストラクチャー 》	213
IPストリーミング動作時のネットワークへの接続方法を選ぶ。	
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ Wi-Fi設定方法 《 WPS: プッシュボタン、WPS: PINコード、アクセスポイント検索 》	193
接続方法にインフラストラクチャーを選んだときの、Wi-Fiの設定方法を選ぶ。	
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ SSID 《 32文字以内の文字列 (未設定) 》	199
アクセスポイントのSSIDを設定する。	
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ 認証／暗号化方式 《 WPA,WPA2-PSK ／ TKIP,AES、**オープン**／**暗号化なし**、オープン／ WEP 1 ～ 4、共有キー／ WEP 1 ～ 4 》	199
ネットワーク接続時の認証方式／暗号化方式を選ぶ。	
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ パスワード 《 未設定 》	197
ネットワークのパスワードを設定する。入力可能文字と文字数は認証方式／暗号化方式によって異なる。	
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ IPアドレス取得方法 《 **オート**、マニュアル 》	199
ネットワーク接続時のIPアドレスの取得方法を選ぶ。	
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ 《 0 ～ 255の数字4つ (**0.0.0.0**) 》	199
ネットワーク接続時のIPアドレスの取得方法にManualを選んだ場合、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で設定する。	
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ プロトコル 《 **UDP**、RTP、RTP+FEC、RTSP+RTP 》	213
トランスポートプロトコルを選ぶ。	

設定項目・設定値／内容	🕮
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ 送信先IPアドレス　《 0 ～ 255の数字4つ（**0.0.0.0**）》	213
ストリーミング先のデコーダーのIPアドレスを設定する。	
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ 送信先Port No.　《 1024 ～ 65530の数字（**5000**）》	213
ストリーミング先のデコーダーのポート番号を設定する。	
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ FEC Port No.　《 1026 ～ 65532の数字（**5002**）》	215
エラー訂正制御（FEC）ありのプロトコルを選んだ場合、FECパケットのポート番号を設定する。	
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ FECインターバル　《 10 ～ **100** 》	215
エラー訂正制御（FEC）の値を5刻みで設定する。	
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ RTSP: ユーザー名　《 24文字以内の文字列（**user**）》	215
RTSPのユーザー名を設定する。	
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ RTSP: パスワード　《 32文字以内の文字列（**12345678**）》	215
RTSPのパスワードを設定する。	
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ 出力信号形式 《 [59.94Hz時] **9Mbps/1920×1080 59.94i**、4Mbps/1920×1080 59.94i、2Mbps/1280×720 29.97P、1.5Mbps/720×480 59.94i、 [50.00Hz時] **9Mbps/1920×1080 50.00i**、4Mbps/1920×1080 50.00i、2Mbps/1280×720 25.00P、1.5Mbps/720×576 50.00i 》	213
ストリーミング映像のビットレートと解像度、フレームレートを選ぶ。	
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ Audio Outputチャンネル　《 **CH1/CH2**、CH3/CH4 》	213
4チャンネルの入力音声のうち、ストリーミングする2チャンネルを選ぶ。	
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミング ➤ MACアドレス確認	199
ネットワーク設定 ➤ ブラウザーリモート ➤ の同項目と同様。	
ネットワーク設定 ➤ FTP転送 ➤ 機能	217
FTP転送を実行する。	
ネットワーク設定 ➤ FTP転送 ➤ 接続方法 ネットワーク設定 ➤ FTP転送 ➤ Wi-Fi設定方法 ネットワーク設定 ➤ FTP転送 ➤ SSID ネットワーク設定 ➤ FTP転送 ➤ 認証／暗号化方式 ネットワーク設定 ➤ FTP転送 ➤ パスワード ネットワーク設定 ➤ FTP転送 ➤ IPアドレス取得方法 ネットワーク設定 ➤ FTP転送 ➤ IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ	—
ネットワーク設定 ➤ IPストリーミングの同項目と同様。	
ネットワーク設定 ➤ FTP転送 ➤ 優先DNSサーバー、代替DNSサーバー　《 0 ～ 255の数字4つ（**0.0.0.0**）》	199
優先DNSサーバーと代替DNSサーバーのIPアドレスを設定する。	
ネットワーク設定 ➤ FTP転送 ➤ FTPサーバー　《 32文字以内の文字列（未設定）》	217
FTPサーバー名を設定する。	
ネットワーク設定 ➤ FTP転送 ➤ FTP: ユーザー名　《 32文字以内の文字列（未設定）》	217
FTPサーバーのユーザー名を設定する。	

設定項目・設定値／内容	🕮
ネットワーク設定 ➤ FTP転送 ➤ FTP: パスワード 《 32文字以内の文字列（未設定）》	217
FTPサーバーのパスワードを設定する。	
ネットワーク設定 ➤ FTP転送 ➤ 転送先フォルダー 《 152文字以内の文字列（/）》	217
FTPサーバー側の転送先となるフォルダーパスを設定する。	
ネットワーク設定 ➤ FTP転送 ➤ Port No. 《 1 ～ 65535の数字（**21**）》	217
FTPのポート番号を設定する。	
ネットワーク設定 ➤ FTP転送 ➤ パッシブモード 《 入、**切** 》	217
FTPの通信モードを選ぶ。	
ネットワーク設定 ➤ FTP転送 ➤ 日付フォルダー生成 《 **入**、切 》	217
入を選ぶと、FTP転送を行ったときにFTPサーバーに日付フォルダーを作成する。	
ネットワーク設定 ➤ FTP転送 ➤ 同名ファイル 《 **スキップ**、上書き 》	217
転送先に同じ名前のファイルがあるときの動作を、スキップ（そのファイルを転送しない）と上書き（同名ファイルを上書きする）から選ぶ。	
ネットワーク設定 ➤ FTP転送 ➤ MACアドレス確認	199
ネットワーク設定 ➤ ブラウザーリモート ➤ EDIT の同項目と同様。	
GPS*1 ➤ 設定 《 入、**切** 》	140
クリップに付加するメタデータにGPS情報が設定される。	
GPS*1 ➤ 自動時刻設定 《 入、**切** 》	141
GPSから得られる時刻情報を使って、本機の「日付/時刻」を自動的に設定する。	
GPS*1 ➤ 情報表示	141
GPSレシーバーから取得した位置情報（緯度、経度、標高）、UTC（協定世界時）、衛星補足状態／信号強度を表示する。	
電源オフ時のレンズ収納*1 《 **入**、切 》	—
次のレンズを使用時、レンズのフォーカスモードスイッチをAFにして電源を切ると、自動的にレンズの全長を最短に収納できる。 • EF40mm F2.8 STM　• EF-S 24mm F2.8 STM　• EF50mm F1.8 STM	
アワーメーターリセット	—
カメラ本体の使用時間として、購入時からの使用時間と、最後にこの設定でリセットしたときからの使用時間とがある。アワーメーターリセットでは、最後にリセットしたときからの使用時間をリセットする。	
認証マーク表示	—
本機が対応している認証マークの一部を表示する。	
Firmware ➤ カメラ	—
ファームウェアのバージョン。	
Firmware ➤ リモート OU-700	—
接続しているリモートオペレーションユニットOU-700（別売）のファームウェアを更新する。	
Firmware ➤ レンズ	51
本機に装着したEFレンズのファームウェアの更新を行う。	

設定項目・設定値／内容	🕮
Firmware ➤ CDX-36150	—
接続しているCDX-36150レコーダーのファームウェアを更新する。	

*1 GPSレ シーバー GP-E1(別売)装着時のみ。

★1マイメニュー

設定項目・設定値／内容	🕮
選択　本体メニュー：《 **1:CAMERA-1**(マイメニュー 1)、2:CAMERA-2(マイメニュー 2)、3:CAMERA-3(マイメニュー 3) 》 モニタリングメニュー：《 **1:CAMERA-4**(マイメニュー 1)、2:CAMERA-5(マイメニュー 2)、3:CAMERA-6(マイメニュー 3) 》	38
マイメニューを選ぶ。	
編集 ➤ 登録	39
マイメニューに任意のメニュー項目を登録する。	
編集 ➤ 並べ換え	39
マイメニュー内で、選択したメニュー項目を並べ換える。	
編集 ➤ 消去	40
マイメニュー内の選択したメニュー項目を消去する。	
編集 ➤ 設定初期化	40
マイメニュー内のすべてのメニュー項目を消去する。	
編集 ➤ メニュー名変更　《 8文字以内の文字列 ([本体メニュー] **CAMERA-1**、[モニタリングメニュー] **CAMERA-4**) 》	40
選択しているマイメニューの名前を設定する。	

MEMO

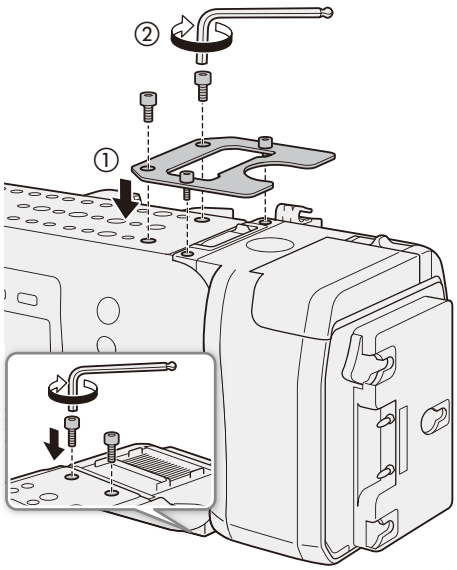
RAWレコーダー

準備する..... 246
記録する..... 249
再生する..... 255

準備する

Codex社製CDX-36150レコーダーを使用するときのレコーダーの取り付け／取り外し、記録メディアの初期化などの準備について説明します。CDX-36150レコーダーは、必ず補強板（カメラに付属）を使用して取り付けてください。なお、CDX-36150の安全上の注意や詳細については、CDX-36150のGetting Started Guideをご覧ください。

CDX-36150レコーダーをカメラに取り付ける／取り外す



1 カメラの電源を切る

2 拡張ユニットを取り外す

参考 ▶▶「拡張ユニットを取り外す」（📖 24）

3 「拡張ユニットを取り付ける」（📖 26）の操作1 ～ 4を行って、CDX-36150を取り付ける

- 拡張ユニットレバーを引き起こしながらCDX-36150を取り付ける。

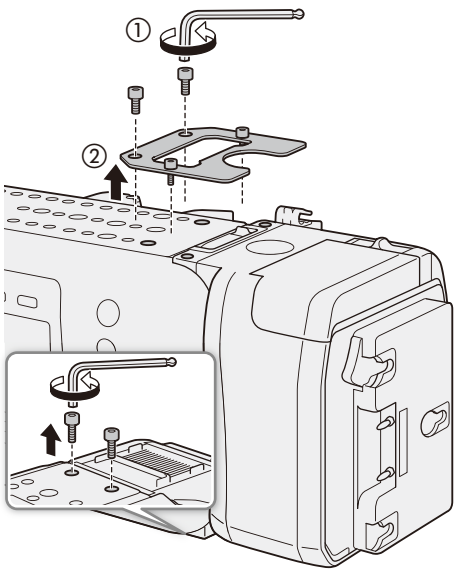
4 補強板（カメラに付属）を取り付ける（①）

5 六角穴付きボルト（上面4箇所、下面2箇所）を取り付けて拡張ユニットと補強板を固定する（②）

- 上面のボルトのうち前面側の2本は1/4インチの六角レンチを、上下面の残りの4本はM4の六角レンチを使用する。

参考 ▶▶「拡張ユニットを取り付ける」（📖 26）の操作5

CDX-36150レコーダーを取り外す



1 カメラの電源を切る

2 CDX-36150の電源（DC電源とバッテリー）を取り外す。

3 六角穴付きボルト（全6箇所）を取り外す（①）

- 上面のボルトのうち前面側の2本は1/4インチの六角レンチを、上下面の残りの4本はM4の六角レンチを使用する。

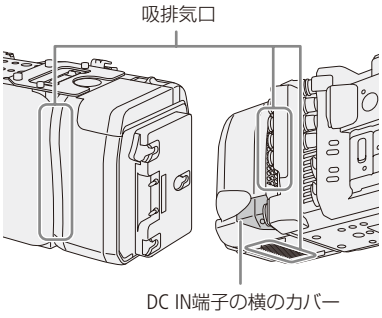
4 補強板を取り外す（②）

5 「拡張ユニットを取り外す」（📖 24）の取り外し操作1 ～ 5を行って、CDX-36150を取り外す

- 拡張ユニットレバーを引き起こしながらCDX-36150を取り外す。

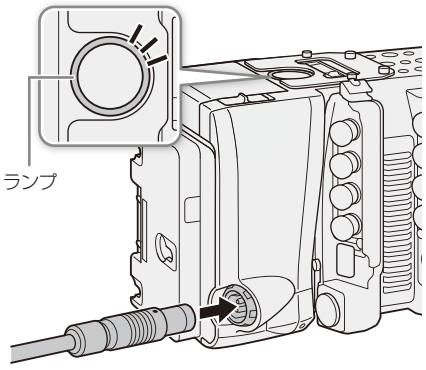
MEMO

- CDX-36150の吸排気口をテープなどで塞がないでください。
- CDX-36150を装着時に、カメラのDC IN 12V端子を使用するときは、CDX-36150のDC IN端子の横のカバーを取り外します。



■ 電源を入れる

CDX-36150レコーダーに電源を取り付けたあとカメラの電源を入れます。CDX-36150の装着時は、CDX-36150からカメラに電源を供給します。カメラのDC IN 12V端子からカメラに電源を供給することもできます。



1 カメラの電源を切る

2 CDX-36150に電源（DC電源またはバッテリー）を取り付ける

参考 ▶▶CDX-36150のGetting Started Guide

3 カメラの電源を入れる

- CDX-36150の状態に応じて上面のランプが点灯する。

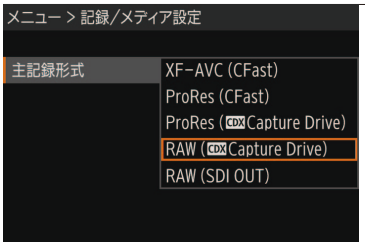
上面のランプの光りかた

光りかた	意味
消灯	カメラの電源がOFFのとき、または主記録形式が「RAW(CDX Capture Drive)」／「ProRes(CDX Capture Drive)」以外のとき。
点灯（青）	記録待機中
点灯（赤）	記録中。またはCDX-36150の入力電圧が低下している。
点灯（緑）	再生中

ランプの中央のボタンを押すと、ランプの明るさを3段階で変更でき、点灯しないようにすることもできます。
なお、点灯しないようにしても、CDX-36150の入力電圧が低下したときは赤色に点灯します。

Capture Driveを初期化する

カメラのメニュー操作でCDX-36150レコーダー内のCapture Driveを初期化できます。カメラに取り付けたCDX-36150のCapture Driveベイに、Capture Driveを装着し、カメラの電源を入れてから操作してください。Capture Driveの装着のしかたは、CDX-36150 Getting Started Guideをご覧ください。



1 主記録形式を「RAW(CDX Capture Drive)」または「ProRes(CDX Capture Drive)」にする

【操作】MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「主記録形式」

参考 ➤➤「映像の信号形式を選ぶ」(📖 73)

2 Capture Driveを初期化する

【操作】MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「メディア初期化」➤「CDX Capture Drive」➤「FORMAT」(2つ同時押し)

参考 ➤➤「記録メディアを準備する」➤「初期化する」(📖 58)

- Capture Driveが、操作1で設定した主記録形式用のフォーマットで初期化される。

ご注意

- 初期化すると、Capture Drive内のすべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたいデータがあるときは、バックアップしてから初期化してください。
- Capture Driveにアクセス中は、次のことを必ず守ってください。データを破損することがあります。
  - カメラとCDX-36150の電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - Capture Driveベイを開けない。

MEMO

- Capture Driveの総容量や使用量、記録可能時間が、INFO画面のメディア情報画面で確認できます。
- 1つのCapture Driveに、RAW形式とProRes形式を混在して記録することはできません。
- 記録信号形式を「ProRes(CDX Capture Drive)」に設定して初期化すると、多重化による信頼性の高いフォーマットを行うため、記録可能な総容量がCapture Driveの容量の約半分になります。

記録する

CDX-36150レコーダーに映像を記録します。通常記録のほかにスロー &ファストモーション記録を行うこともできます。記録設定やカメラ設定は、CFastカードに記録する場合と同様にHOME画面や本体メニュー、モニタリングメニューで行えます。

■ メイン動画をCDX-36150レコーダーのCapture Driveに記録する

記録の開始／停止は、カメラのREC（記録開始／停止）ボタンで操作します。

映像の信号形式を選ぶ

CDX-36150レコーダーに記録する映像の信号形式を設定します。音声は、リニアPCM、4 ch 、24 bit、サンプリング周波数48 kHzで記録します。

通常記録時の記録信号形式

記録信号形式				
主記録形式	センサーモード	解像度	コーデック	フレームレート
RAW (CDX Capture Drive)	フルサイズ	5952×3140 C700 FF C700 FF PL 5952×2532 C700 FF C700 FF PL	—	59.94P 50.00P 29.97P 25.00P 24.00P 23.98P
	Super 35 mm	4512×2376 C700 4272×2376 C700 GS PL 4512×1920 C700		
	Super 35 mm Super 35 mm (Crop)	4096×2160		
	Super 16 mm (Crop)	2048×1080		
ProRes (CDX Capture Drive)	フルサイズ Super 35 mm Super 35 mm (Crop)	4096×2160 3840×2160	ProRes422 HQ 10 bit	
	フルサイズ Super 35 mm Super 35 mm (Crop) Super 16 mm (Crop)	2048×1080 1920×1080	ProRes4444 XQ 12 bit ProRes4444 12 bit ProRes422 HQ 10 bit	

C700 C700 GS PL スロー &ファストモーション記録時の記録信号形式（RAW（CDX Capture Drive）形式）

フレームレート		スロー &ファストモーション記録時の撮影フレームレート		
59.94P		1、2、3、6、15、30、60、90	120	150、180、210、240
29.97P		1、2、3、6、15、30、32、36、40、44、48、52、56、60、90	120	150、180、210、240
23.98P 24.00P		1、2、3、6、12、24、26、28、30、32、36、40、44、48、52、56、60、72、96	120	144、168、192、216、240
50.00P		1、5、15、25、50、54、58、75、100	—	125、150、175、200
25.00P		1、5、15、25、26、28、30、34、38、42、46、50、54、58、75、100	—	125、150、175、200
Super 35 mm	4512×2376 C700 4272×2376 C700 GS PL	●	—	—
	4512×1920 C700 4096×2160	●	●	—
Super 16 mm (Crop)	2048×1080	●	●	●
センサーモード	解像度	解像度に応じて使用できる撮影フレームレート		

C700 FF C700 FF PL スロー &ファストモーション記録時の記録信号形式（RAW（CDX Capture Drive）形式）

フレームレート		撮影フレームレート		
59.94P		1、2、3、6、15、30、60	—	90、120、150
29.97P		1、2、3、6、15、30、32、36、40、44、48、52、56、60	—	90、120、150
23.98P 24.00P		1、2、3、6、12、24、26、28、30、32、36、40、44、48、52、56、60	72	96、120、144、168
50.00P		1、5、15、25、50	54、58、75	100、125、150
25.00P		1、5、15、25、26、28、30、34、38、42、46、50	54、58、75	100、125、150
フルサイズ	5952×3140 5952×2532	●	—	—
Super 35mm (Crop)	4096×2160	●	●	—
Super 16mm (Crop)	2048×1080	●	●	●
センサーモード	解像度	解像度に応じて使用できる撮影フレームレート		

C700 C700 GS PL スロー &ファストモーション記録時の記録信号形式（ProRes（CDX Capture Drive）形式）

フレームレート			スロー &ファストモーション記録時の撮影フレームレート		
59.94P			1、2、3、6、15、30、60	90、120	150、180、210、240
29.97P			1、2、3、6、15、30、32、36、40、44、48、52、56、60	90、120	150、180、210、240
23.98P 24.00P			1、2、3、6、12、24、26、28、30、32、36、40、44、48、52、56、60	72、96、120	144、168、192、216、240
50.00P			1、5、15、25、50	54、58、75、100	125、150、175、200
25.00P			1、5、15、25、26、28、30、34、38、42、46、50	54、58、75、100	125、150、175、200
Super 35 mm	4096×2160 3840×2160	ProRes422 HQ	●	–	–
	2048×1080 1920×1080	ProRes4444 XQ ProRes4444	●	–	–
	2048×1080 1920×1080	ProRes422 HQ	●	●	–
Super 16 mm (Crop)	2048×1080 1920×1080	ProRes422 HQ	●	●	●
センサーモード	解像度	コーデック	解像度／コーデックに応じて使用できる撮影フレームレート		

C700 FF C700 FF PL スロー &ファストモーション記録時の記録信号形式（ProRes（CDX Capture Drive）形式）

フレームレート			撮影フレームレート		
59.94P			1、2、3、6、15、30、60	–	90、120、150
29.97P			1、2、3、6、15、30、32、36、40、44、48、52、56、60	–	90、120、150
23.98P 24.00P			1、2、3、6、12、24、26、28、30、32、36、40、44、48、52、56、60	72	96、120、144、168
50.00P			1、5、15、25、50	54、58、75	100、125、150
25.00P			1、5、15、25、26、28、30、34、38、42、46、50	54、58、75	100、125、150
フルサイズ Super 35mm (Crop)	4096×2160 3840×2160	ProRes422 HQ	●	–	–
	2048×1080 1920×1080	ProRes4444 XQ ProRes4444	●	–	–
	2048×1080 1920×1080	ProRes422 HQ	●	●*	–
Super 16 mm (Crop)	2048×1080 1920×1080	ProRes422 HQ ProRes422	●	●	●
センサーモード	解像度	コーデック	解像度／コーデックに応じて使用できる撮影フレームレート		

* 「Super 35 mm (Crop)」のときのみ。

撮影時の記録信号形式とSDI OUT端子の出力信号形式

記録信号形式			各SDI OUT端子の出力*3*4				必要な端子数	信号
主記録形式*1	解像度／カラーサンプリング	フレームレート*2	1	2	3	4		
RAW（CDX Capture Drive）	5952×3140 C700 FF C700 FF PL 5952×2532 C700 FF C700 FF PL	—	出力停止					
	4512×2376 C700 *5 4272×2376 C700 GS PL *5 4512×1920 C700 *5 4096×2160 RAW	120P以下	フレームシーケンシャル RGBA1	RGBA2	RGBA3	RGBA4	4	3G
		60P以下	フレームシーケンシャル RGBA1	RGBA2			2	
		30P以下	RGBA				1	
	2048×1080 RAW	240P以下	フレームシーケンシャル RGBA1/RGBA5	RGBA2/RGBA6	RGBA3/RGBA7	RGBA4/RGBA8	4	3G
		120P以下	フレームシーケンシャル RGBA1/RGBA3	RGBA2/RGBA4			2	
		60P以下	RGBA1/RGBA2				1	
ProRes（CDX Capture Drive）	4096×2160 3840×2160 YCbCr 4:2:2 10 bit	60P以下	スクウェアディビジョン 左上	右上	左下	右下	4	3G
		30P以下	スクウェアディビジョン 左上	右上	左下	右下	4	HD
	2048×1080 1920×1080 RGB 4:4:4 12 bit	60P以下	RGB				2	Dual link 3G
		30P以下	RGB				1	3G
	2048×1080 1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit	240P以下	フレームシーケンシャル YCC1	YCC2	YCC3	YCC4	4	3G
		120P以下	フレームシーケンシャル YCC1	YCC2			2	
		60P以下	YCC				1	
		30P以下、59.94i*6、50.00i*6	YCC				1	HD

*1 MENU：「記録／メディア設定」➤「主記録形式」の設定。
*2 出力信号形式のフレームレートは、記録信号形式と同じ（スロー &ファストモーション記録時を除く）。
*3 カラーサンプリングは「解像度/サンプリング」の設定と同じ。
*4 必要な端子数が1本または2本の場合、残りの端子にも同じ信号が出力される（表中の網掛け部）。
*5 出力解像度は4096×2160となる。
*6 1920×1080のみ。

撮影時の記録信号形式と出力信号形式（SDI OUT端子以外）

<table>
<tr><th colspan="3">記録信号形式</th><th colspan="4">出力信号形式</th></tr>
<tr><th rowspan="3">「主記録形式」*1</th><th rowspan="3">フレームレート*2</th><th rowspan="3">解像度</th><th colspan="2">MON.端子*3</th><th colspan="2">HDMI OUT端子*3*5*6</th></tr>
<tr><th colspan="2">「MON.出力」*4</th><th colspan="2">「HDMI最大解像度」*7</th></tr>
<tr><th>2048×1080 / 1920×1080</th><th>1920×1080</th><th>4096×2160 / 3840×2160</th><th>1920×1080</th></tr>
<tr><td rowspan="2">RAW（CDX Capture Drive）</td><td rowspan="2">59.94P
50.00P
29.97P
25.00P
24.00P
23.98P</td><td>5952×3140
C700 FF C700 FF PL *8
5952×2532
C700 FF C700 FF PL *8
4512×2376 C700
4512×1920 C700
4096×2160
2048×1080</td><td>2048×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td rowspan="6">1920×1080
YCbCr4:2:2 10 bit</td><td colspan="2" rowspan="2">1920 x 1080、
720×480（59.94Pのみ）、
720×576（50.00Pのみ）</td></tr>
<tr><td>4272×2376 C700 GS PL</td><td>1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ProRes（CDX Capture Drive）</td><td rowspan="4">59.94P
50.00P
29.97P
25.00P
24.00P
23.98P</td><td>4096×2160</td><td>2048×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td>4096×2160</td><td rowspan="4">1920 x 1080、
720×480
（59.94Pのみ）、
720×576
（50.00Pのみ）</td></tr>
<tr><td>3840×2160</td><td>1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td>3840×2160</td></tr>
<tr><td>2048×1080</td><td>2048×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td><td rowspan="2">1920 x 1080、
720×480
（59.94Pのみ）、
720×576
（50.00Pのみ）</td></tr>
<tr><td>1920×1080</td><td>1920×1080
YCbCr 4:2:2 10 bit</td></tr>
</table>

*1 MENU：「記録／メディア設定」➤「主記録形式」の設定。

*2 出力信号形式のフレームレートは、記録信号形式と同じ（スロー &ファストモーション記録時を除く）。

*3 画面表示の重畳、ピーキング／ゼブラパターンなどアシスト表示が出力可能。

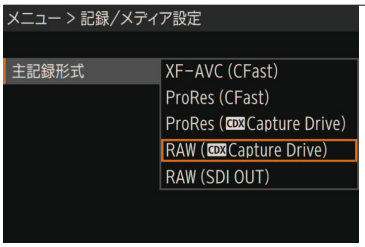
*4 MENU：「システム設定」➤「端子出力設定」➤「MON.出力」の設定。

*5 MON.端子出力がOFFのときはモニターの能力に応じた解像度で出力する。MON.端子出力がONで、モニターが出力信号を受けられないときは出力を停止する。記録信号形式の水平解像度が2048のときは、映像の両端が切り取られる。

*6 カラーサンプリングは、モニターに応じてYCbCr 4:2:2 10 bit、YCbCr 4:4:4 8 bit、RGB 8 bitから自動的に選ばれる。

*7 MENU：「システム設定」➤「端子出力設定」➤「HDMI最大解像度」の設定。

*8 C700 FF C700 FF PL フレームレートが59.94Pの場合、MON.端子からの出力信号は59.94Pだが、映像の更新は29.97P相当となる。フレームレートが50.00Pの場合も同様に、映像は25.00P相当で更新される。



1 主記録形式を「RAW(CDX Capture Drive)」または「ProRes(CDX Capture Drive)」にする

【操作】MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「主記録形式」

参考 ▸▸「映像の信号形式を選ぶ」(📖 73)

2 センサーモード、システム周波数、フレームレートを選ぶ

参考 ▸▸「映像の信号形式を選ぶ」(📖 73)

3 スロー &ファストモーション記録を行うとき スロー &ファストモーション記録を「入」にして、撮影フレームレートを選ぶ

【操作】HOME：「S&F FPS」

参考 ▸▸「スロー &ファストモーション記録を行う」(📖 76)

MEMO

- 主記録形式がRAW(CDX Capture Drive)のときは、RAW用のガンマで記録します。

■ サブ動画をCFast ／ SDカードに記録する

CDX-36150レコーダーに映像を記録しながら、同時にCFast ／ SDカードにサブ動画 (XF-AVC形式*) を記録することができます。サブ動画の記録形式や設定のしかたなど詳細については、「サブ動画を同時に記録する」(📖 80)をご覧ください。

* SDカードにはXF-AVC proxy形式で記録。

MEMO

- 主記録形式が「RAW(CDX Capture Drive)」または「ProRes(CDX Capture Drive)」で、CDX-36150が装着されていない場合、CFast ／ SDカードには記録しません。そのため、タイムコードの歩進モードが「Regen.」でも、CFast ／ SDカードに記録されている最後のタイムコードは読み出しません。
- C700 C700 GS PL メイン動画の解像度が4512×2376または4272×2376の場合、サブ記録領域マーカーを表示すると、サブ動画 (CFast)に記録される画角を確認できます。
  参考 ▸▸「マーカー／ゼブラ／フォルスカラーを表示する」(📖 117)

再生する

PLAY（再生）ボタンを押すとカメラがメディアモードに切り換わりPLAY画面が表示されます。再生時の操作については「PLAY（再生操作）画面」（🕮 166）をご覧ください。また、RAWクリップの再生時の画質（ガンマ、色空間、カラーマトリクス）は、それぞれCanon Log 2、Cinema Gamut、Neutralです。

【操作】PLAY：「PB MEDIA」➤「RAW（CDX Capture Drive）」または「ProRes（CDX Capture Drive）」

再生時の出力信号形式

再生信号形式			出力信号形式				
記録形式	解像度	フレームレート	SDI OUT端子*1	MON.端子「MON.出力」*2		HDMI OUT端子*3*4「HDMI最大解像度」*5	
				2048×1080 / 1920×1080	1920×1080	4096×2160 / 3840×2160	1920×1080
RAW（CDX Capture Drive）	5952×3140 C700 FF C700 FF PL 5952×2532 C700 FF C700 FF PL 4512×2376 C700 4512×1920 C700 4096×2160 2048×1080	59.94P 50.00P 29.97P 25.00P 24.00P 23.98P	2048×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit	2048×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit	1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit	–	1920×1080、720×480（59.94Pのみ）、720×576（50.00Pのみ）
	4272×2376 C700 GS PL			1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit			
ProRes（CDX Capture Drive）	4096×2160		4096×2160 YCbCr 4:2:2 10 bit	2048×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit		4096×2160*6	
	3840×2160		3840×2160 YCbCr 4:2:2 10 bit	1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit		3840×2160*6	
	2048×1080		2048×1080 ／ RGB 4:4:4 12 bit YCbCr 4:2:2 10 bit	2048×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit		1920×1080、720×480（59.94Pのみ）、720×576（50.00Pのみ）	
	1920×1080		1920×1080 ／ RGB 4:4:4 12 bit YCbCr 4:2:2 10 bit	1920×1080 YCbCr 4:2:2 10 bit			

*1 RAWクリップの再生時、MON.端子に画面表示を重畳すると、SDI OUT端子にも重畳される。
*2 MENU：「システム設定」➤「端子出力設定」➤「MON.出力」の設定。
*3 MON.端子が「切」のときはモニターに応じてHDまたはSDが出力される。MON.端子が有効で、モニターが出力信号を受けられないときは出力を停止する。
*4 カラーサンプリングは、モニターに応じてYCbCr 4:2:2 10 bit、YCbCr 4:4:4 8 bit、RGB 8 bitから自動的に選ばれる。
*5 MENU：「システム設定」➤「端子出力設定」➤「HDMI最大解像度」の設定。
*6 SDI OUT端子が「切」のときのみ出力可能。

MEMO

- RAWクリップの再生時、MON.端子に画面表示を重畳すると、SDI OUT端子にも重畳されます。
- RAWクリップの再生時、モニター画面に次の情報は表示されません。
  - シャッタースピード
  - F値
  - ISO感度／ゲイン
  - 収録日と記録開始時間
  - 撮影フレームレート
  - カスタムピクチャー
  - リレー記録
  - OKマーク／チェックマーク

クリップを操作する

PLAY画面で選んでいるクリップに対して、以下の操作が可能です。操作方法については、「クリップ／静止画を操作する」（🕮 170）をご覧ください。

メニュー項目	内容	動画形式	
		RAW（CDX）	ProRes（CDX）
クリップ情報表示	クリップ情報画面を表示する。	●	●
OK Mark追加／ OK Mark消去	OKマークを付加／消去する。	—	—
☑ Mark追加／ ☑ Mark消去	チェックマークを付加／消去する。	—	—
消去	クリップを消去する。	●	●
User Memo消去	クリップに付加されているユーザーメモ／ GPS情報を消去する。	—	—
CP ファイルコピー	カスタムピクチャーファイルを本機にコピーする。	—	—
クリップ修復	クリップを修復する。	—	●
FTP転送	クリップをFTPで転送する。	—	—

10 その他

INFO画面を表示する 258

トラブルシューティング 263

エラーメッセージ 270

安全上のご注意 275

取り扱い上のご注意／
日常のお手入れ 276

アクセサリー紹介 279

主な仕様 280

索引 295

INFO画面を表示する

本機の設定内容や状態をINFO画面に表示して確認することができます。また、コントロールディスプレイにINFOが表示されたときは、INFO画面の「LIVE」で内容を確認できます。

操作のしかた

1 INFO画面を表示する

2 いずれかのスクリーンボタンを押して、見たいINFO画面に切り換える

LIVE情報画面（258）
COLOR情報画面（259）
CP情報画面（259）
SYSTEM情報画面（261）
VIDEO情報画面（261）
MEDIA情報画面（262）

- 情報が多いときは、SELECTダイヤルを回してスクロールさせる。

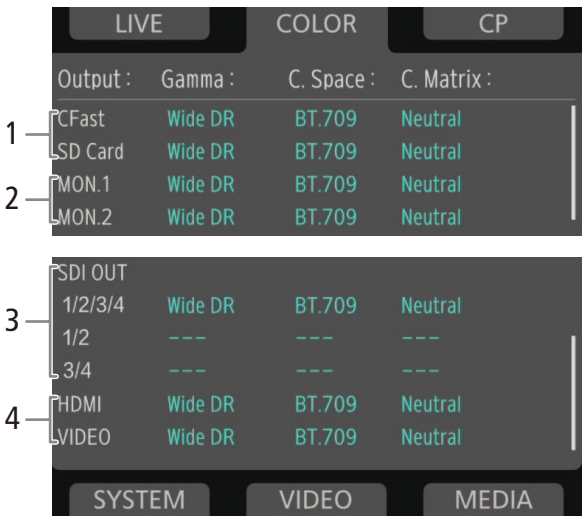
LIVE情報画面

本機の現在の状態やエラーメッセージを表示します。コントロールディスプレイにINFOが表示されたときは、この画面を表示してください。発生している警告やエラーを確認できます。エラーメッセージの詳細については「エラーメッセージ」（270）で確認してください。

1 カメラの現在の状態
正常時：「System Status: Good」
異常時：エラーメッセージを表示

COLOR情報画面

記録メディア（CFast、SDカード）や映像出力端子に適用されるガンマ、色空間、カラーマトリクスの設定内容を表示します。



1 CFastカード／ SDカードのガンマ／色空間／カラーマトリクス

2 MON.端子のガンマ* ／色空間／カラーマトリクス

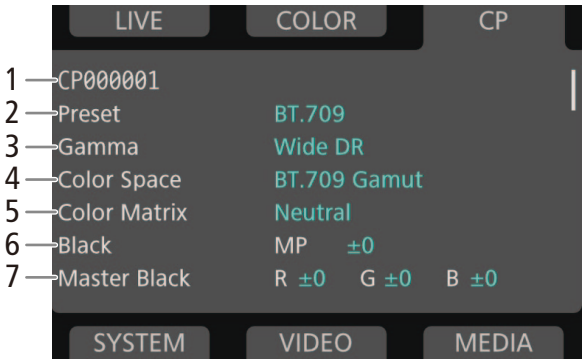
3 SDI OUT端子のガンマ* ／色空間／カラーマトリクス

4 HDMI OUT端子* ／ビューファインダーのガンマ* ／色空間／カラーマトリクス

* ユーザー LUTを適用しているときは、ユーザー LUTの名称が表示される。

CP情報画面

現在選択しているカスタムピクチャーファイルの設定内容を表示します。



1 カスタムピクチャーファイル名 ▶▶ 97

2 プリセット ▶▶ 97

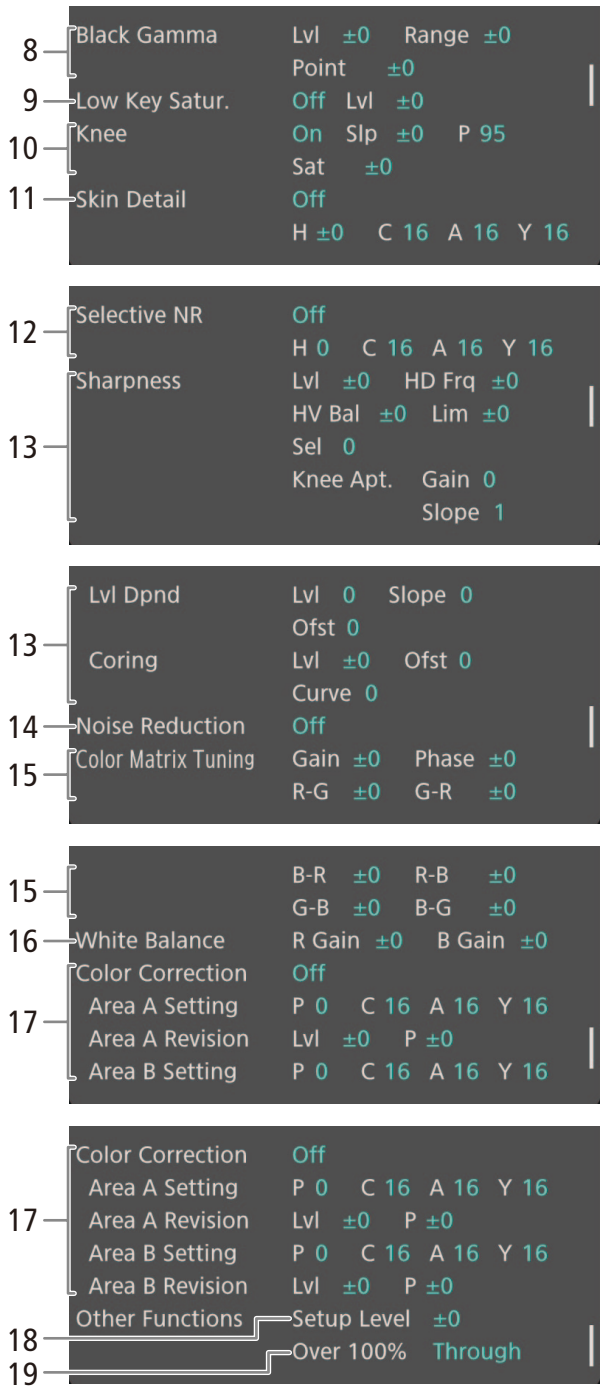
3 ガンマ ▶▶ 97

4 色空間 ▶▶ 97

5 カラーマトリクス ▶▶ 97

6 ブラック ▶▶ 158

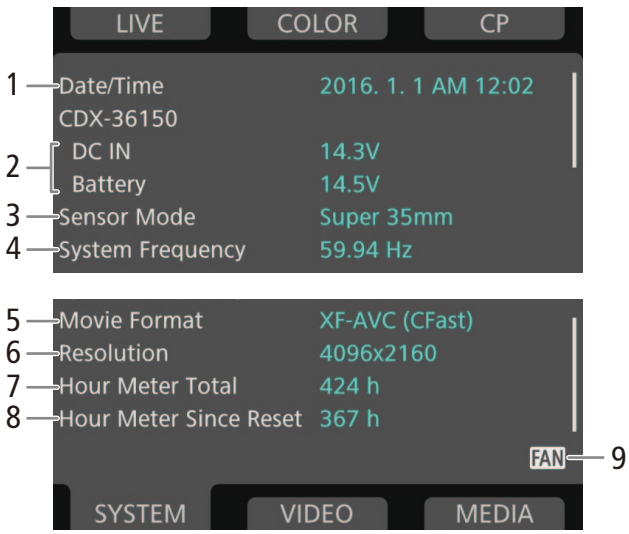
7 マスターブラック ▶▶ 158



8 ブラックガンマ ▶▶ 🕮 159
9 ローキーサチュレーション ▶▶ 🕮 159
10 ニー ▶▶ 🕮 159
11 スキンディテール ▶▶ 🕮 160
12 セレクティブNR ▶▶ 🕮 160
13 シャープネス ▶▶ 🕮 159
14 ノイズリダクション ▶▶ 🕮 160
15 カラーマトリックスチューニング ▶▶ 🕮 161
16 ホワイトバランス ▶▶ 🕮 161
17 カラーコレクション ▶▶ 🕮 161
18 セットアップレベル ▶▶ 🕮 161
19 オーバー 100 % ▶▶ 🕮 161

SYSTEM情報画面

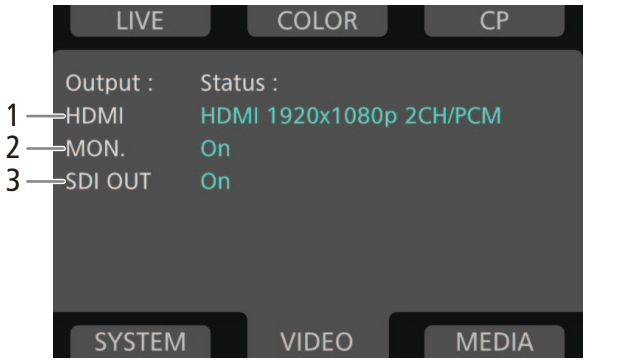
日時やCDX-36150に取り付けた電源の電圧、システム周波数、主記録形式、解像度などを表示します。



1 日付／時刻 ▶▶ 30
2 CDX-36150のDC IN ／バッテリーの電圧
3 センサーモード ▶▶ 73
4 システム周波数 ▶▶ 73
5 主記録形式 ▶▶ 73
6 解像度 ▶▶ 73
7 購入時からの使用時間
8 リセット後の使用時間 ▶▶ 242
9 高温警告／ファン ▶▶ 71

VIDEO情報画面

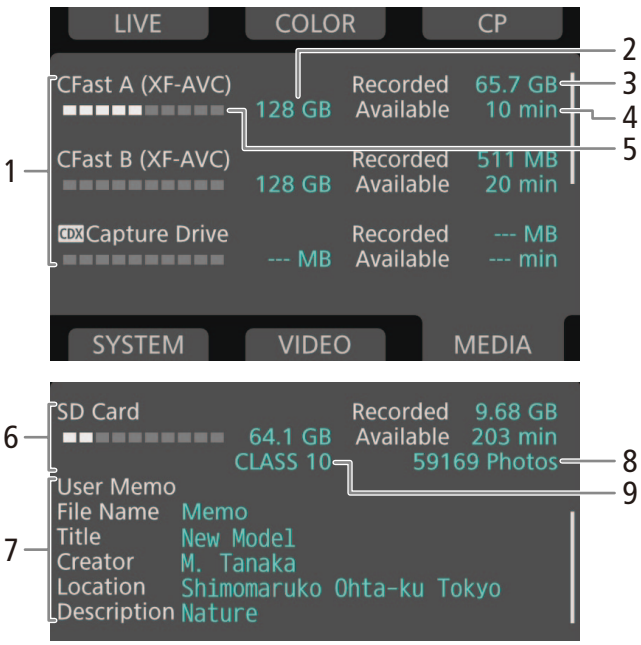
映像出力端子の設定内容を表示します。



1 HDMI OUT端子の出力状態 ▶▶ 181
2 MON.端子出力 ▶▶ 180
3 SDI OUT端子出力 ▶▶ 179

MEDIA情報画面

2つのCFastカードスロットとSDカードスロットなどの記録メディアの状態を表示します（55）。



1 CFastカードA ／ B、CDX Capture Drive
2 カードの総容量
3 カードの使用量
4 カードの記録可能時間
5 カードの使用量の目安
6 SDカード
7 ユーザーメモ ▶▶ 138
8 静止画記録可能枚数
9 スピードクラス

MEMO

● カードによっては、CFastカードまたはSDカードの総容量が、カードに記載の容量より少なく表示されることがあります。

トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、お客様相談センター（裏表紙）にご相談ください。

電源

こんなときは	どうするの？	🕮
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーまたはDC IN 12V端子の入力電圧が低下した。入力電源を確認する。 ● レンズの過電流を検知した。カメラとレンズの接点を清掃して、レンズを取り付け直す。	27

撮影中

こんなときは	どうするの？	🕮
カメラ本体の操作が利かない。	● キーロックをONにしていると、すべての操作またはRECボタン以外の操作が無効になる*。🔒（キーロック）ボタンを約4秒間押し続けてキーロックを解除する。 * MENU / EVF：「システム設定」➤「キーロック」で変更可能。	65
ND FILTERボタンが利かない。	● ND FILTERボタンが無効になっている。MENU / EVF：「システム設定」➤「ND FILTERボタン」を「有効」にする。	91 238
RECボタンを押しても録画しない。	● CFastカードに空き容量がない。または999クリップ記録されている。別のCFastカードと入れ換える。または不要なクリップを消すか、記録されているクリップをバックアップして初期化する。 ● MENU / EVF：「システム設定」➤「RECボタン」で、操作しているRECボタンが無効になっている。有効にする。 ● 電源（BMS対応／非対応バッテリーまたはDC IN 12V端子）の入力電圧／残量（%）が、電源警告の設定値に達していると、記録開始できない。電源を確認する。 ● リモートコントローラー RC-V100（別売）を操作中は、記録を開始／停止できないことがある。RC-V100の操作を中断してから、RECボタンを押す。	56 172 189 — — — —
RECボタンを押した時点と、記録されたクリップの始めと終わりの時点が異なる。	● RECボタンを押してから、録画の開始／終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
ピントが合わない。	● オートフォーカスでフォーカスを調整するとき、被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● AFモードがAFブーストMFのときは、合焦付近（AFブーストMF枠が白色に変わる）まで手動で調整する。 ● ビューファインダーの視度が合っていない。視度調整ダイヤルで画面がはっきり見えるように調整する。 ● レンズが汚れているのでお手入れする。	104 110 47 278
C700 C700 FF C700 FF PL 被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—

こんなときは	どうするの？	🕮
モニター画面に赤、緑、青の輝点が出る。	● ブラックバランス調整を行うと改善することがある。高度な精密技術で作られている撮像素子（CMOSセンサー）が、宇宙線などの影響を受けると、まれに画面上に小さな輝点（赤、緑、青）ができることがある。これは、撮像素子の原理によるもので、故障ではない。なお、次の場合は画面上に生じる輝点が見えやすくなる。 • 高温の場所で使用するとき。 • ISO感度／ゲインが高いとき。 • シャッタースピードのモードがスローのとき。	62
動画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。記録メディアに記録されているクリップをバックアップしたあと、記録メディアを初期化（SDカードのときは完全初期化）する。	189 58
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使い続けると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。お客様相談センターにご相談ください。	裏表紙

■ 再生中

こんなときは	どうするの？	🕮
クリップの消去ができない。	● OKマークが付加されたXF-AVCクリップは、本機では消去できない。OKマークを消去してからクリップを消去する。 ● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。	172 57
クリップの消去に時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。クリップをバックアップしてカードを初期化する。	189 58
静止画を消せない。	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 ● 他機でプロテクトされた静止画は、本機では消去できない。	57

■ 表示やランプ

こんなときは	どうするの？	🕮
コントロールディスプレイにINFOが出る。	● 本機にエラーや何らかの異常が発生している。INFOボタンを押してLIVE情報画面で内容を確認する。	258
タリーランプが点灯しない。	● MENU / EVF：「システム設定」➤「LED」➤「タリーランプ」➤「カメラ」または「リモートOU-700」を「入」にする。	238

こんなときは	どうするの？	🕮
タリーランプが速く点滅（赤色）する。	（1秒に4回の点滅） ● 電源の入力電圧が低下した。電源を交換する。 ● CFast AとCFast B に空き容量がない。別のCFastカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。 ● システムエラーが発生している。電源を入れなおしても解決しないときは、故障の可能性がある。お客様相談センターにご相談ください。	27 56 172 裏表紙
タリーランプがゆっくり点滅（赤色）する。	（1秒に1回の点滅） ● CFast AとCFast Bを合わせた空き容量が少なくなっている。記録中でないスロットのCFastカードを別のカードと入れ換える。	56
画面に SD（赤色）が出る。	● SDカードエラー。電源を切り、SDカードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、クリップ／静止画をバックアップしてSDカードを初期化する。 ● SDカードに空き容量がない。別のSDカードと入れ換えるか、サブ動画（XF-AVC Proxy）クリップと静止画を消す。	57 58 172
撮影を中断してもアクセスランプが赤く点灯している。	● 撮影したクリップを記録メディアに書き込んでいる。故障ではない。	—
画面に 警（黄色）が出る。	● 本機内部の温度が高くなり一定の温度に達した。そのまま使用しても問題ない。	—
画面に 警（赤色）が出る。	● 画面に 警（黄色）が出ている状態で、さらに内部温度が高くなった。 ● ファンが常時回転する設定のときは、本機の電源を切り、温度が下がるまで使用を中止する。 ● カメラモードでMENU / EVF：「システム設定」➤「ファン」➤「モード」が「オート」の場合、撮影中に冷却ファンが停止しているときは自動的に冷却ファンが起動する（モニター画面に FAN が出る）。	71 —
モニター画面に LENS が出る。	● レンズと正常に通信できない。	—
画面に（赤色）が出る。	● コイン型リチウム電池の残量が少ない。 ● 本機を1か月以上使用していないときは、内蔵の充電式リチウム電池が完全に放電しているおそれがあるので、メニューやカスタムピクチャーの設定をSDカードに保存してから、コイン型リチウム電池を交換する*。そのあと、メニューなどの設定データを本機に読み込む。 * 交換後 が消えることを確認してください。	25 163
モニター画面に MAG（赤色）が出る。	● ALT：「F.ASSIST.」➤「OPTIONS」➤「Magnification」➤「記録時有効」が「切」のときは、記録中に拡大表示できない。「記録時有効」を「入」にする。	234
画面のF値（T値）が灰色で出る。	● アイリス調整に対応するEFシネマレンズや放送用レンズ使用時、絞りがクローズする可能性があるときに灰色に変わる。さらに絞って絞りがクローズすると、表示が「closed」に変わる。	—
C700 FF C700 FF PL 画面のNDフィルターの表示が、赤色または「－－」になる。	● NDフィルターのユニットが故障した可能性がある。お客様相談センターにご相談ください。	裏表紙
C700 FF C700 FF PL リモートコントローラー RC-V100のNDフィルターランプが点滅する。		

■ 画面や音

こんなときは	どうするの？	🕮
ビューファインダーの画面がつかない。	● 本体とビューファインダーのVIDEO端子をユニットケーブルで正しく接続する。	46
外部モニターに映像が出ない。	● 本機と外部モニターとの接続が正しく行われていない。ケーブルの接続を確認する。 ● 外部モニターの設定を、接続した端子に切り換える。	179
SDI OUT端子に映像と音が出ない。	● MENU / EVF：「システム設定」➤「端子出力設定」➤「SDI OUT出力」を「入」に設定する。 ● 本機の出力信号に合わせて、外部機器の設定を行う。	179
MON.端子に映像と音が出ない。	● MENU / EVF：「システム設定」➤「端子出力設定」➤「MON.出力」を「切」以外に設定する。 ● 本機の出力信号に合わせて、外部機器の設定を行う。	180
HDMIケーブルで接続しているときに、外部モニターに映像や音が出ない。	● HDMIケーブルを抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。 ● MON.端子出力がONで、モニターが出力信号を受けられないときは出力を停止する。MON.端子出力をOFFにするか、出力信号に対応するモニターを接続する。	— 181
モニター画面に、ピーキング／ゼブラ／WFM ／マーカー／フォルスカラーの表示、拡大表示、白黒表示が行われない。アナモフィック、LUTが適用されない。	● 各アシスト設定項目の出力設定を行う。 ● 画面表示が出力映像に重畳されていない。画面表示の重畳を「入」にする。	233 182
HDR出力映像が、ファームウェア更新前よりも明るく表示される。	● 本ファームウェアでは、ITU-R BT.2408レポートに基づいた基準輝度で出力するため。記録した映像には影響しない。	—
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーまたはDC IN 12V端子の入力電圧が低下した。入力電源を確認する。 ● レンズの過電流を検知した。カメラとレンズの接点を清掃して、レンズを取り付け直す。	27 —
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。それでも解決しないときは、MENU / EVF：「システム設定」➤「リセット」➤「全設定」➤「RESET」（2つ同時押し）を行う。アワーメーター（リセット後の使用時間）を除く本機の設定が初期状態に戻る。	235
画面に縦線のノイズが出る。	● 本機を高温下で使用すると、このようになることがある。ブラックバランス調整を行うと改善することがある。	62
画面にノイズが出る。	● 磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所から離れて本機を使用する。	—
C700 **C700 FF** **C700 FF PL** モニター画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。故障ではない。電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると軽減することがある。電源周波数が50 Hzのときは1/50秒*または1/100秒を、60 Hzのときは1/60秒または1/120秒を設定する。 * フレームレートによっては選択できない。	84

こんなときは	どうするの？	🕮
音声が記録されない。	● INPUT端子をAES/EBUにしてアナログ信号を入力したか、またはINPUT端子をANALOGにしてデジタル信号を入力した。INPUT 1 ／ INPUT 2端子切り換えスイッチを正しく設定する。 ● INPUT端子をANALOGにしてファンタム電源が必要な外部マイクを取り付けたときに、INPUT端子ANALOG（アナログ）入力切り換えスイッチを「MIC＋48V」に切り換えていない。	130 130
音声が極端に小さい。	● ALT:「AUDIO」➤「REC LEVEL」で、該当チャンネルの録音レベル調整方法を「マニュアル」に設定していて、そのチャンネルの録音レベルの値が小さすぎる。画面のオーディオレベルメータで確認しながら適正なレベルに調整する。 ● マイクのアッテネーターを「入」にしている。アッテネーターを「切」にする。	131 —
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、このようになることがある。マイクアッテネーターを使うか、録音レベルを手動で調整する。	131

■ アクセサリー

こんなときは	どうするの？	🕮
メモリーカードが入らない。	● CFastカードはCFastカードスロットに、SDカードはSDカードスロットにそれぞれ正しい向きで入れる。	56 57
CFastカードに動画を記録できない。	● 対応しているCFastカードを確認する。 ● はじめて使用するときは、CFastカードを本機で初期化する。 ● CFastカードに空き容量がないか、または記録可能なクリップ数（999個）を超えた。CFastカードの不要なクリップを消すか、別のCFastカードと入れ換える。	55 58 172 56
SDカードにサブ動画や静止画を記録できない。	● 対応しているSDカードを確認する。 ● はじめて使用するときは、SDカードを本機で初期化する。 ● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 ● SDカードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なサブ動画（XF-AVC Proxy）クリップと静止画を消す。 ● 静止画番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいSDカードを入れて、MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「静止画番号方式」を「オートリセット」にする。	55 58 57 172 145
CFastカードへの書き込み／読み出しが遅くなった。	● 記録や消去を繰り返すとこのようになることがある。CFastカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、CFastカードを初期化する。	189 58
SDカードへの書き込み／読み出しが遅くなった。	● 記録や消去を繰り返すとこのようになることがある。SDカードに記録されているサブ動画（XF-AVC Proxy）クリップと静止画をバックアップしたあと、SDカードを完全初期化する。	189 58

こんなときは	どうするの？	🕮
リモートコントローラーRC-V100（別売）または市販のリモコンが動作しない。	● MENU / EVF：「システム設定」➤「REMOTE端子」を、RC-V100のときは「RC-V100（REMOTE B）」または「RC-V100（REMOTE A）」に、市販のリモコンのときは「スタンダード」に設定する。 ● 本機の電源を切ってリモコンを再接続したあと、本機の電源を入れる。 ● HOME：「COLOR」➤「CP OTHERS」➤「Other Settings」➤「Activate」が「Off」、または選択しているカスタムピクチャーファイルがプロテクトされていると、RC-V100からカスタムピクチャーの設定を調整できない。「Activate」を「On」にしてプロテクトを解除する。	143 — 153

■ ネットワーク接続

ネットワーク接続に関するトラブルについては、ここで説明する内容をご確認ください。お使いのネットワーク機器の説明書も合わせてご覧ください。

はじめに確認してください

□ アクセスポイントやパソコンなどのネットワーク機器と本機の電源は入っていますか？
□ ネットワークの設定が完了し、正しく動作していますか？
□ パソコンなどのネットワーク機器は、本機と同じネットワークに正しく接続していますか？
□ Wi-Fi接続の場合、本機をアクセスポイントまたはパソコンなどWi-Fi対応機器から見通しの良い場所に置いていますか？

こんなときは	どうするの？	🕮
アクセスポイントに接続できない。	● (( ))が黄色から白色に変わらないときは、本機の電源を切り、ワイヤレスファイルトランスミッターを取り付け直す。 ● 本機が接続しようとしているネットワーク機器の設定が正しいか確認する。 ● 保存しておいたメニュー設定を本機に読み込むと、パスワードが解除される。再度、ネットワーク設定を行う。 ● 電波状況が悪いか、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。	192 — — 269
カメラアクセスポイントで、本機に接続できない。	● APが黄色から白色に変わらないときは、本機の電源を切り、ワイヤレスファイルトランスミッターを取り付け直す。 ● 本機の全設定をリセットすると、ネットワーク設定が解除される。初期設定で接続するか、再度設定を行う。 ● 電波状況が悪いか、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。	192 — 269
イーサネットに接続できない。	● イーサネットケーブルには、カテゴリー 5e以上のSTPケーブルを使用する。 ● 別のイーサネットケーブルで接続する。 ● 本機の全設定をリセットすると、ネットワーク設定が解除される。初期設定で接続するか、再度設定を行う。 ● 本機と接続しているネットワーク機器が正しく動作しているか確認する。1000BASE-Tで通信するときはギガビットに対応したネットワーク機器を使用する。	— — 198 —
イーサネットアクセスランプが赤色に点灯した後、消灯する	● イーサネットケーブルが抜けたか、接続先のネットワーク機器と通信できない。イーサネットケーブルの接続とネットワーク機器を確認する。	—

こんなときは	どうするの？	🕮
ブラウザーリモートが起動できない。	● ALT:「NETWORK」➤「ブラウザーリモート」➤「ACTIVATE」でブラウザーリモートを有効にする。	201
	● ネットワーク機器のWebブラウザーに入力したURLが間違っている。コントロールディスプレイに表示されたURLを入力する。	201
ネットワーク機器のWebブラウザーで、ブラウザーリモートの画面が正しく表示されない。	● ブラウザーリモートが対応していないOSやWebブラウザーを使用した。キヤノンのホームページで動作環境を確認する。	—
	● Webブラウザーの設定で、CookieとJavaScriptが無効になっているときは、有効にする。	—
IPストリーミングが「入」にできない。	● 主記録形式が「XF-AVC（CFast）」になっていない。「XF-AVC（CFast）」に設定する。	73
	● システム周波数が「24.00 Hz」になっている。「59.94 Hz」または「50.00 Hz」に設定する。	73
	● スロー &ファストモーション記録が「入」になっている。「切」にする。	76
	● IPストリーミングのプロトコルが「RTSP+RTP」以外のときは、「送信先IPアドレス」を設定する。	213

Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法

ここでは、Wi-Fi接続に関する注意点と、トラブル発生時の一般的な対応方法を説明します。Wi-Fiを使用しているときに「通信速度が遅くなる」、「接続が途切れる」などの現象が起きたときには、以下の例を参考に対応してください。

ネットワーク機器（アクセスポイント／携帯端末）の設置のしかたについて

- Wi-Fiを室内で使用するときは、本機とネットワーク機器を同じ部屋に設置してください。
- 本機とネットワーク機器の間に人や遮蔽物が入らない、見通しの良い場所に設置してください。
- 本機とネットワーク機器をできるだけ近付けて設置してください。必要に応じて、設置する高さや向きを変えてください。

周囲の電子機器について

- 周囲にある電子機器の影響（電波の干渉）で通信速度が遅くなるときは、5 GHz帯の電波を使用するか、チャンネルを変更すると、問題を解消できることがあります。
- IEEE 802.11b/g/nのWi-Fiでは、電子レンジやコードレス電話機、ワイヤレスマイク、Bluetooth機器などと同じ2.4 GHz帯の電波を使用します。このため、周囲にこれらの機器があると通信速度が遅くなります。
- 装着しているワイヤレスファイルトランスミッターと同じ周波数帯を使用するアクセスポイントが近くで稼動していると、通信速度が遅くなります。

ワイヤレスファイルトランスミッターやアクセスポイントを複数台使用するとき

- 同一ネットワーク内の機器のIPアドレスが重複しないようにしてください。
- 同じアクセスポイントに本機を2台以上接続すると、通信速度が遅くなります。
- IEEE 802.11b/gまたはIEEE 802.11n（2.4 GHz帯）のアクセスポイントを複数台使用するときは、電波干渉を少なくするため、Wi-Fiのチャンネルの間隔を、「1、6、11」、「2、7、12」、「3、8、13」のように4チャンネル分空けてください。5 GHz帯の電波を使用するIEEE 802.11a/nが使用可能なときは、IEEE 802.11a/nに切り換え、異なるチャンネルを設定してください。

エラーメッセージ

本機の状態によってはコントロールディスプレイにINFOが表示されることがあります。このときは、INFO画面（🕮 258）のLIVE情報画面で、本機の状態を確認します。メッセージが表示されたときは次のような対処をしてください。モニター画面にメッセージが出たたときも同様です。また、ワイヤレスファイルトランスミッター（別売）を取り付けているときに出るメッセージについては、「ネットワーク機能使用時」（🕮 273）をご覧ください。なお、メッセージの冒頭に、「CFast A」、「CFast B」、「SD」、「Capture Drive」などが表示されることがあります。これは、エラーが発生した記録メディアを表わします。

メッセージ	原因と対処	🕮
空き容量がありません	● メモリーカードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。 ● CFast A（CFast B）に空き容量がないため記録を開始できない。もう一方のスロットに切り換えてから撮影する。	56 172 —
空き容量がわずかです	● CFast AとCFast Bを合わせた空き容量が少なくなっている。記録中でないスロットのCFastカードを別のカードと入れ換える。 ● SDカードの空き容量が少なくなっている。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。	56 172
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	58
拡張システム端子に接続した機器を確認してください	● 拡張システム端子に取り付けたアクセサリーでエラーが発生した。 ● アクセサリーを拡張システム端子に取り付け直す。それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。	裏表紙
画像がありません	● SDカードに静止画が記録されていない。静止画を記録してから再生する。	144
カバーがあいています	● カメラモードに切り換えたときに、CFastカードカバーまたはSDカードカバーが開いていた。メモリーカードを入れたらカードカバーを閉じる。	56
カメラとレンズの通信不良です レンズの接点を清掃してください	● レンズ接点が汚れているので、本機とレンズが通信できない。画面にLENSアイコンが表示される。レンズの接点を柔らかい布などでふく。	—
管理ファイルエラー	● XF-AVCクリップの管理情報に書き込みできないため、記録できない。他の機器でカード内のファイルを操作すると、このようになることがある。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。	189 58
記録を中止しました	● XF-AVCクリップの管理情報が壊れた*1か、またはエンコーダーにエラーが発生したため、記録できない。電源を入れなおしてカードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。	56 裏表紙
クリップがありません	● メモリーカードにクリップが記録されていない。クリップを記録してから再生する。	64
クリップ数がいっぱいです	● 記録中のメモリーカードがクリップ数の上限（999個）に達した。もう一方のスロットに切り換える（CFastカードのとき）か、別のカードと入れ換える。 ● ダブルスロット記録時に、両CFastカードのクリップ数がいっぱいで記録できない。	59 56 —
このカードでは動画記録できないことがあります	● SDスピードクラスに対応していないカードまたはスピードクラス2 ／ 4のSDカードを入れた。SDスピードクラス6または10のカードを使用する。	55
再生できない画像です	● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした静止画は再生できないことがある。	—
再生できません	● XF-AVCクリップの管理情報が壊れた*1か、またはデコーダーにエラーが発生したため、再生できない。電源を入れなおしてカードを出し入れする。それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。	56 裏表紙

*1 破損した管理情報は修復できません。また、管理情報が破損したメモリーカードやXF-AVCクリップを、ソフトウェア（Canon XF Utility）で読み込むことはできません。

メッセージ	原因と対処	🕮
システムエラー	● システムエラーが発生したため動画が記録できない。お客様相談センターにご相談ください。	裏表紙
修復が必要なクリップがあります	● 記録中に停電したり、記録中にカードを取り外したりしたことにより、クリップに異常が発生した。クリップを修復する。	61
使用中のレンズにこの機能が対応していません	● 選択中の機能がレンズに対応していないため、この機能を使用できない。	—
信号形式の設定が変わりました 設定を確認してください	● 記録/メディア設定メニューの変更に伴い、信号形式（フレームレート、解像度／サンプリング、ビットレート、S&F FPS）のいずれかが自動的に変更された。設定を確認する。	73
セットできる色／明るさの範囲を超えています	● ホワイトバランスセットで基準白色が取り込めなかった。モニター画面の中央に、グレーカードや白い無地の被写体を写して、もう一度行う。	100
操作は無効です	● 次にあげる無効な操作を行った。 • OKマーク、チェックマークを同じクリップに付加しようとした。 • 記録メディアが入っていないときに、RECボタンを押した。	—
データの確認と初期化をお勧めします	● 次の理由によりカードを使用できない。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。 • カードに異常があるため、記録・再生できない。 • カードの情報が取得できない。 • パソコンなど他の機器で初期化されている。 • カード内にパーティションが設定されている。 • Capture Driveが別の主記録形式用にフォーマットされている。	189 58
データを修復できませんでした	● クリップを修復できなかった。記録メディアに記録されているクリップをバックアップしたあと、修復に失敗したクリップを消去する。 ● カードの空き容量がないと修復できないことがある。不要なクリップを消去する。	189 172
電圧が低下しました 電源を確認してください	● 電源（BMS対応／非対応バッテリーまたはDC IN 12V端子）の入力電圧／残量（%）が、電源警告の設定値に達した。電源を確認する。 ● 電源が上記の状態のときに、RECボタンを押した。	27 —
バッファオーバーです 記録を中止しました	● メモリーカードの書き込み速度が遅いため、記録を中断した。推奨のカードを入れる。 ● 記録メディアに記録されているクリップをバックアップしたあと、記録メディアを初期化する。	55 189 58
非対応メディアです	● 容量が512MB以下のCFastカード、または128MB以下のSDカードは使用できない。別のカードと入れ換える。 ● CDX-36150に非対応のCapture Driveが挿入された。Capture Driveを確認する。	55 —
ファイル名が作成できません	● クリップ番号が最大になった。クリップをバックアップしてカードを初期化するか、クリップをすべて消す。 ● 静止画番号が最大になった。MENU / EVF：「記録／メディア設定」➤「静止画番号方式」を「オートリセット」にしてカードを初期化するか、静止画をすべて消す。	189 58 172 145
ファンエラー	● 冷却ファンが故障した可能性がある。お客様相談センターにご相談ください。	裏表紙
リチウム電池を交換してください	● コイン型リチウム電池の残量が少ない。 ● メニューやカスタムピクチャーの設定をSDカードに保存して、コイン型リチウム電池を交換する。メニューなどの設定データを本機に読み込む。	25 163

メッセージ	原因と対処	🕮
リモート OU-700 ファームウェアのアップデートに失敗しました リモート OU-700のHOMEボタンを押して、しばらくお待ちください	● リモートオペレーションユニットOU-700のファームウェアの更新に失敗した。OU-700のHOMEボタンを押して待つ。更新中は、電源、OU-700を取り外したり、カメラ／ OU-700を操作したりしない。	—
レンズエラー 電源を入れなおしてください	● 本機とレンズの通信エラーが発生した。本機の電源を入れ直す。	—
レンズエラー フレームレートを変更してください	● 現在設定しているフレームレートに非対応のレンズが装着された。フレームレートを変更する。	73
50.00 Hz（24.00 Hz）（59.94 Hz）（ProRes動画形式）（RAW動画形式）で記録されています CFast A（CFast B）（SD）（Capture Drive）データの確認と初期化をお勧めします	● メモリーカード内のクリップが異なるシステム周波数または動画形式で記録されている。このカードに記録するときは、カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。このカードを再生するときは、本機のシステム周波数を、記録されているクリップと同じにする。	189 58 73
Capture Drive バッテリー残量が少ないため、記録を中止しました	● CDX-36150に装着したバッテリーの残量が少なくなったため、記録を停止した。	—
Capture Driveベイが開いています	● CDX-36150のCapture Driveベイが開いている。Capture Driveを入れたら閉じる。	—
CFast A（CFast B）（CFast A / CFast B）（SD）（Capture Drive）にアクセス中です 取り出さないでください	● メモリーカードにアクセス中に、カードカバーをあけた。カードカバーを閉める。	56
CFast A（CFast B）（SDカード）（Capture Drive）を確認してください	● メモリーカードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 ● メモリーカードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。 ● マルチメディアカードを入れた。推奨のSDカードを入れる。 ● 「カードを確認してください」が4秒後に消えてA / B / SD または CDX が赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。A / B / SD または CDX が緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。	56 57 — 55 189 58
CFast A→CFast B（CFast B→CFast A）切り換えました	● リレー記録またはスロット切り換え操作（SLOT SELECTボタンを押す）により、記録先がCFast AからCFast B（CFast BからCFast A）に切り換わった。	—
CFast A→CFast B（CFast B→CFast A）まもなく切り換えます	● CFast A（CFast B）の空き容量が少なくなったため、リレー記録によって、約1分後に記録先スロットが切り換わる。	—
CFastスロット切り換えできません	● 撮影中など、CFastスロットの切り換えができないときにSLOT SELECT（スロット選択）ボタンを押した。撮影終了後にCFastスロットを切り換える。	59
Firmware version mismatch error. Change the Remote OU-700's firmware using the camera. （リモートオペレーションユニット OU-700の画面に表示）	● カメラとOU-700のファームウェアのバージョンが一致していない。MENU/EVF：「システム設定」➤「Firmware」➤「リモート OU-700」から、OU-700のファームウェアを更新する。	—

メッセージ	原因と対処	🕮
Lens Firmware update error. Try to update the firmware again.	● レンズのファームウェアの更新が正常に終了しなかった。再度アップデートを行う。	51
NDの枚数が変わりました フォーカスを確認してください	● 8 stopsと10 stopsは、NDフィルターの枚数が他の濃度と異なるため、ピントがずれることがある。フォーカスを調整する。	91
RAW以外への出力／サブ記録映像のノイズが増えます	● 主記録形式がRAWで、ガンマが「Canon Log 2」、「Canon Log 3」以外に設定されている。この設定では、サブ動画（CFast）、SDI OUT端子出力（RAW以外）、MON.端子出力およびHDMI OUT端子出力の映像にノイズが増えることがある。RAW以外で記録するときは、主記録形式を記録する形式に設定する。	73

■ ネットワーク機能使用時

インフラストラクチャーの場合は、お使いのアクセスポイント（無線親機）の説明書も合わせてご覧ください。

メッセージ	原因と対処	🕮
アクセスポイントが見つかりませんでした	● アクセスポイント検索を実行したが見つからなかった。 アクセスポイントが正常に動作しているか確認して、もう一度接続を行う。 ● アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると、見つからない。ステルス機能を無効にする。 ● アクセスポイントのMACアドレスフィルタリングを有効にしていると見つからないことがある。カメラのALT：「NETWORK」➤いずれかのネットワーク機能➤「OPTIONS」➤「MACアドレス確認」で装着しているワイヤレスファイルトランスミッターのMACアドレスを確認し、アクセスポイントに設定する。	— — 240 241 242
拡張システム端子に接続した機器を確認してください	● ワイヤレスファイルトランスミッターにハードウェアエラーが発生した。本機の電源を切ってワイヤレスファイルトランスミッターを取り付け直した後、本機の電源を入れ直す。それでも解決しないときは、お客様相談センターにご相談ください。	裏表紙
カバーがあいています	● ネットワーク機能がカードにアクセス中に、カードカバーが開けられた。ネットワーク機能を中止し、ネットワーク接続を切断する。	—
これ以上調整できません	● ブラウザーリモートでフォーカスを調整するとき、レンズが無限端または至近端に達しても、さらに操作を行った。	—
接続できませんでした	● アクセスポイントなどのネットワーク機器に接続できなかった。 ● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。	—
ネットワーク設定を確認してください	● ネットワークに接続できない。ネットワークの接続設定を確認する。	199
複数のアクセスポイントが検出されました　もう一度操作してください	● 他のWi-Fi機器がWPS のプッシュボタン方式で接続を行っている。しばらくしてから操作するか、「WPS：PINコード」または「アクセスポイント検索」で接続する。	193
FTPサーバーに接続できません	● FTPサーバーに接続できなかった。本機のFTPサーバー設定の「FTPサーバー」を確認する。	217

メッセージ	原因と対処	🕮
FTPサーバーにファイルを転送できません	● FTPサーバーにファイルを転送できなかった。FTPサーバーの記憶装置（ハードディスクなど）に空き容量があるか確認する。 ● FTPサーバーにフォルダーを作成できなかった。FTPサーバーのアクセス権限を確認する。	—
FTPサーバーにログインできません	● FTPサーバーにログインできなかった。本機のFTPサーバー設定の「FTP：ユーザー名」と「FTP：パスワード」を確認する。	217
FTP通信中にエラーが発生しました	● FTP転送中に、通信エラーが発生した。ネットワーク機器と本機の電源を入れ直し、再度FTP転送を行う。	—
IP アドレスが重複しています	● 本機と同じIPアドレスの機器が、同一ネットワーク内にあった。IPアドレスが重複している他機または本機のIPアドレスを変更する。	—
IP アドレスを取得できませんでした	● DHCP サーバーを使用していないときは、IPアドレスを「マニュアル」で設定する。 ● DHCP サーバーを確認する。 • DHCP サーバーは、電源が入っていて正常に動作しているか。 • DHCP サーバーに割り当てられるアドレスに余裕はあるか。	199 —
LANケーブルが接続されていません	● イーサネットで接続時に、イーサネットケーブルが接続されていなかった。本機またはネットワーク機器のイーサネット端子にケーブルが接続されていることを確認する。	—
WFTの温度が上昇したため、Wi-Fiが使用できません	● ワイヤレスファイルトランスミッターの温度が上昇したため、Wi-Fi機能を停止した。カメラから取り外すか、直射日光が当たらないようにするなどして、温度を下げてから使用する。	—
Wi-Fiのパスワードが違います	● 認証／暗号化方式に「オープン／暗号化なし」以外を選んだとき、入力したパスワードが、アクセスポイントのパスワードと一致しなかった。アクセスポイントのパスワードを確認して、再度入力する。	197
Wi-Fi の暗号化方式が違います	● 本機とアクセスポイントの認証／暗号化方式が異なる。本機をアクセスポイントの設定に合わせる。	199
Wi-Fi の認証ができませんでした	● アクセスポイントへの認証ができなかった。アクセスポイントの認証／暗号化方式を確認して、本機の接続設定をやり直す。	199
Wi-Fi の認証方式が違います	● 本機とアクセスポイントの認証／暗号化方式が異なる。本機をアクセスポイントの設定に合わせる。	199
WPSで接続できませんでした もう一度操作してください	● WPS起動後に2分経過したため、アクセスポイントに接続できなかった。もう一度、WPS接続を行う。 ● WPS（プッシュボタン方式）で接続するときは、あらかじめアクセスポイントの説明書をご覧になり、アクセスポイントがWPS起動状態になるまで、WPSのボタンを押してください。 ● 本機とアクセスポイントの電源を入れ直して、設定し直す。それでも解決しないときは、「アクセスポイント検索」で接続する。 ● アクセスポイントの暗号化方式がWEPに設定されている。WPSで接続する場合、暗号化方式がWEPのアクセスポイントには接続できない。アクセスポイントの暗号化方式を変更するか、WPS以外の接続方法で接続する。	— — 197 195

ネットワーク機器の画面に表示されるメッセージ

メッセージ	原因と対処	🕮
A User is already accessing the server. Try again later.　[Retry]	● 他のネットワーク機器が、すでに本機に接続している。他機の接続を解除してから「Retry」をタッチする。	—

安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

⚠ 警告　死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。

破損したときは、内部に触れない。

液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。

雷が鳴り出したら、コンセントにつながれた製品に触れない。
感電の原因となります。

分解や改造をしない。

強い衝撃や振動を与えない。

指定外の電源は使わない。

電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。

コードを引っ張って電源プラグを抜かない。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工したりしない。

電源に長時間つないだままにしない。

バッテリーや電池を使うときは、次のことに注意する。

- 液漏れしたものは使わない。
  液漏れして身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐ医師に相談してください。
- 熱したり、火中投入しない。
- 端子に他の金属や金属製のピンやゴミを触れさせない。

ファインダーで強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）を見ない。

レンズやレンズを付けたカメラは、レンズキャップを外した状態で放置しない。
光がレンズを通して焦点を結び、火災の原因となります。

使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。

長時間、身体の同じ部位に触れさせたまま使わない。
熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。

乳幼児の手の届くところに置かない。

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。

使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意　傷害を負う可能性がある内容です。

製品を高温や低温となる場所に放置しない。
製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。

三脚を使うときは、十分に強度があるものを使う。

取り扱い上のご注意／日常のお手入れ

ここでは本機や電源とメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことや、カメラ本体の日常のお手入れについて説明しています。

カメラ本体

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。レンズにホコリや砂が付くのを防ぐため、使用後は、ホコリなどの少ない場所でレンズフードを外してレンズキャップを取り付けてください。また、水滴が付いたときは乾いたきれいな布で、潮風にあたったときは固くしぼったきれいな布で、よくふき取ってください。万一、本機が水に濡れてしまったときは、早めにお客様相談センター（裏表紙）にご相談ください。

強い磁気の発生する場所では使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ったりすることがあります。

強い光源にレンズやビューファインダーを向けない

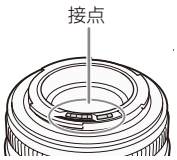
カメラやビューファインダーを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。特に三脚を使用しているときや本機を持ち運ぶときは、本体またはビューファインダーの角度を変えて直射日光などが入らないようにしてください。本機を使用しないときは、レンズを外して、ボディキャップを取り付けてください。

カメラのレンズ接点に手で触れない

接触不良や腐食の原因になることがあります。接点が腐食するとカメラが正しく動作しなくなることがあります。

レンズを取り外したときは・・・

接点やレンズ面を傷つけないように、取り付け面を上にして置き、ダストキャップを取り付けてください。接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となり、カメラやレンズが正確に動作しないことがあります。



長期間使わないときは・・・

製品を長期間ご使用にならない場合は、ホコリが少なく、湿度の低い、30℃以下の場所に保管してください。

電源

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。Vマウントバッテリー装着部の端子は、乾いた布または綿棒などで定期的に清掃してください。

■ メモリーカード

データはバックアップする

カメラ本体／メモリーカードの故障や静電気などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

メモリーカード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまるおそれがあります。

ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

■ コイン型リチウム電池（CR2025）

破棄するときは、燃えないゴミとして処理してください（地域によって異なりますので指示に従ってください）。

■ その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

メモリーカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡･廃棄するときは、データを復元できないように、一度メモリーカードの完全初期化／初期化（🕮 58）を行った後、本機にボディキャップを取り付けて最後まで撮影し、再度完全初期化／初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき

- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、メモリーカードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

■ カメラ本体を清掃する（日常のお手入れ）

大切なカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

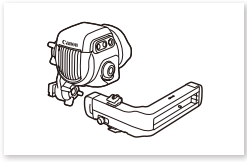
レンズは常にきれいに保つようにしてください。レンズにホコリや汚れがついたときは、最初にブロアーで表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

液晶画面について

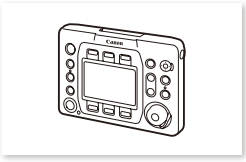
- 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

アクセサリー紹介

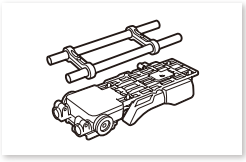
本機に対応する別売アクセサリーは次のとおりです。



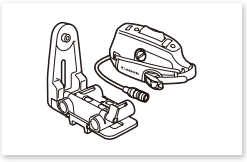
有機EL電子ビュー
ファインダー EVF-V70



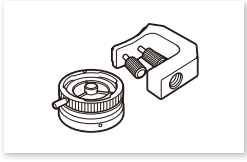
リモートオペレーション
ユニット OU-700



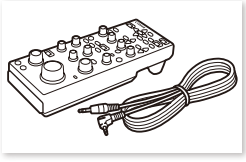
ショルダーサポート
ユニット SU-15



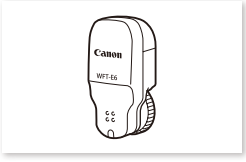
ショルダースタイル
グリップユニット SG-1



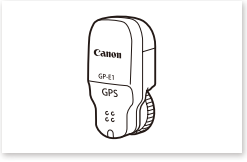
B4マウントアダプター
MO-4E / MO-4P



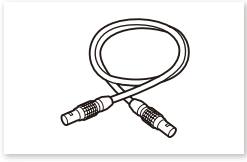
リモートコントローラー
RC-V100



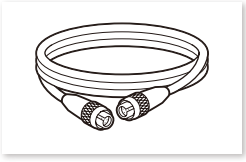
ワイヤレスファイルトランス
ミッター WFT-E6 / WFT-E8



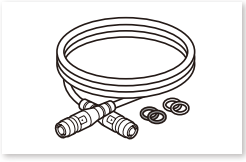
GPSレシーバー
GP-E1



リモートオペレーションユニッ
トケーブル UC-V75(75 cm) /
UC-V1000(10 m)



8ピン リモートケーブル
RR-10 (10 m) ／
RR-100(100 m)



ユニットケーブル
UN-5(50 cm) / UN-10(100 cm)

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

MEMO

レンズマウント交換サービスについて

本機のEFレンズマウント（シネマロックタイプ）をPLレンズマウントに交換することができます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

C700 GS PLモデルへの変更サービスについて

C700 / C700 FF / C700 FF PLをC700 GS PLに変更することができます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

フルサイズセンサーへの交換サービスについて

C700 / C700 GS PLのCMOSセンサーをフルサイズセンサーに交換することができます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

主な仕様

C700 / C700 GS PL / C700 FF / C700 FF PL本体

システム		
記録方式	動画：	映像圧縮方法：MPEG-4 AVC / H.264、Intra-frame / Long GOP Apple ProRes 音声記録方式：リニアPCM、24 bit、48kHz、4 ch ファイルフォーマット：MXF、QuickTime File Format
	静止画：	DCF準拠、Exif Ver2.3準拠、静止画圧縮方法：JPEG
記録／再生信号形式	メイン／サブ動画（CFast）：	
	動画形式：	XF-AVC、ProRes
	ビットレート（XF-AVC）：	810 Mbps / 440 Mbps / 410 Mbps / 360 Mbps / 310 Mbps / 225 Mbps / 210 Mbps / 170 Mbps / 160 Mbps / 90 Mbps Intra-frame、50 Mbps Long GOP
	コーデック（ProRes）：	Apple ProRes 4444 / ProRes 422 HQ / ProRes 422
	解像度：	4096×2160、3840×2160、2048×1080、1920×1080
	カラーサンプリング：	YCbCr 4:2:2 10 bit、RGB 4:4:4 12 bit / 10 bit
	フレームレート：	59.94P/i、50.00P/i、29.97P、23.98P、25.00P、24.00P
	サブ動画（SDカード）：	
	動画形式：	XF-AVC Proxy
	ビットレート：	35 Mbps / 24 Mbps Long GOP
	解像度：	2048×1080、1920×1080
	カラーサンプリング：	YCbCr 4:2:0 8 bit
	フレームレート：	59.94P/i、50.00P/i、29.97P、23.98P、25.00P、24.00P
記録メディア	メイン／サブ動画：	CFastカード（2スロット）、CFast 2.0規格準拠
	サブ動画／静止画：	SD / SDHC / SDXCメモリーカード*
	* カスタムピクチャーファイル、設定データ、ユーザーメモの保存／読み込みにも使用。	
撮像素子	C700 スーパー 35mm相当のCMOSセンサー C700 GS PL スーパー 35mm相当のCMOSセンサー（グローバルシャッター機能搭載） C700 FF C700 FF PL フルサイズCMOSセンサー 有効画素： 解像度が4096×2160 / 2048×1080のとき： C700 C700 GS PL 約885万画素（4096×2160） C700 FF C700 FF PL 約1869万画素（5952×3140）* 解像度が3840×2160 / 1920×1080のとき： C700 C700 GS PL 約829万画素（3840×2160） C700 FF C700 FF PL 約1752万画素（5580×3140）* 主記録形式がRAW（CDX Capture Drive）のとき： C700 約1072万画素（4512×2376） C700 GS PL 約1015万画素（4272×2376） C700 FF C700 FF PL 約1869万画素（5952×3140） * センサーモードがフルサイズのとき。	
コントロールディスプレイ	カラー液晶、3.0型（対角7.66cm）、約103.6万ドット、アスペクト比3：2	

システム	
レンズマウント	C700 C700 FF キヤノンEFマウント（シネマロックタイプ）、キヤノンEFレンズ群対応（EF-Sレンズ、EFシネマレンズを含む） C700 GS PL C700 FF PL PLマウント、キヤノンEFシネマレンズ（PLレンズ）対応、Cooke社の通信規格「/i Technology」に対応
35mmフィルム換算時の焦点距離	C700 FF C700 FF PL センサーモード：フルサイズ 水平解像度が3840 / 1920のとき：　実焦点距離* × 約1.056** 解像度が5952×2532のとき：　実焦点距離* × 約1.045** 上記以外のとき：　実焦点距離* × 約1.000** センサーモード：Super 35mm / Super 35 mm (Crop) 水平解像度が4096 / 2048のとき：　実焦点距離* × 約1.460** 水平解像度が3840 / 1920のとき：　実焦点距離* × 約1.534** * レンズの焦点距離　** 変換係数
周辺光量補正／倍率色収差補正	キヤノンのEFレンズ、EFシネマレンズ、放送用レンズで可能* * 一部のレンズは対応していません。
シャッタースピード	スピード（1/3段ステップ、1/4段ステップ）、アングル、クリアスキャン、スロー、切
アイリス	マニュアル、プッシュオートアイリス、オートアイリス ステップ（1/2段、1/3段）、ファイン
ISO感度／ゲイン	ISO感度：　C700 C700 FF C700 FF PL 100 ～ 102400、C700 GS PL 400 ～ 102400、ステップ（1段、1/3段） ゲイン：　ノーマル：3 dBステップ C700 C700 FF C700 FF PL −6 dB ～ 54 dB、C700 GS PL −6 dB ～ 42 dB ファイン：0.5 dBステップ C700 C700 FF C700 FF PL −2 dB ～ 54 dB、C700 GS PL −2 dB ～ 42 dB
NDフィルター	内蔵（OFF、2 stops、4 stops、6 stops、8 stops、10 stops）、電動式
露出	AEシフト、測光方式（スタンダード、スポットライト、バックライト）
ホワイトバランス	AWB、セットA、セットB、ユーザー設定（2000K ～ 15000K）、プリセット設定（太陽光 約5600K、電球 約3200K）*　* 色温度は目安です。 色温度（K）／色補正値（CC）による微調整（AWB以外）
フォーカス	調整方法：　マニュアル C700 C700 FF ワンショットAF、AFブーストMF、コンティニュアスAF、顔検出AF、追尾 AF方式：　デュアルピクセルCMOS AF、コントラストAF
感度	C700 C700 FF C700 FF PL 59.94 Hz F10（2048×1080 / 59.94P / ISO800時） 50.00 Hz F11（2048×1080 / 50.00P / ISO800時） C700 GS PL 59.94 Hz F20（2048×1080 / 59.94P / ISO1600時） 50.00 Hz F22（2048×1080 / 50.00P / ISO1600時） いずれも、2000ルクス、反射率89.9 %時
S/N	C700 C700 FF C700 FF PL 68 dB、C700 GS PL 67 dB （Typical、59.94 Hz 1920×1080 / 29.97P時、50.00 Hz 1920×1080 / 25.00P時） いずれもCanon log 2ガンマ使用時で、 C700 C700 FF C700 FF PL ISO800（ダイナミックレンジ1600%） C700 GS PL ISO3200（ダイナミックレンジ1600%） のとき

システム	
被写体照度	59.94 Hz：0.45ルクス（シャッタースピード1/30秒時） 50.00 Hz：0.38ルクス（シャッタースピード1/25秒時） いずれもISO25600、F1.2レンズ装着時でかつ100%出力時
マイク	モノラルエレクトレットコンデンサーマイク
静止画サイズ	2048×1080、2048×872、1920×1080

入・出力端子	
SDI OUT 1端子 SDI OUT 2端子 SDI OUT 3端子 SDI OUT 4端子 MON. 1端子 MON. 2端子	BNCジャック（出力のみ）、0.8 Vp-p ／ 75 Ω、不平衡 3G-SDI（SMPTE 424、425、ST 299-2準拠） HD-SDI（SMPTE 292、ST 299-1準拠） エンベデッドオーディオ、タイムコード（VITC / LTC） LUT（BT.709、BT.2020、DCI、ACESproxy、HDR-PQ、HDR-HLG、UserLUT1 ～ 4） アシスト表示（画面表示、ピーキング、ゼブラ、拡大表示、白黒表示、WFM、フォルスカラー、アナモフィック）* * MON.端子のみ。
HDMI OUT端子	HDMIコネクター、出力のみ LUT（BT.709、BT.2020、DCI、ACESproxy、HDR-PQ、HDR-HLG、UserLUT1 ～ 4） アシスト表示（画面表示、ピーキング、ゼブラ、拡大表示、白黒表示、WFM、フォルスカラー、アナモフィック）
VIDEO端子	有機EL電子ビューファインダー EVF-V70（別売）接続用。出力のみ。 LUT（BT.709、HDR 1600%、HDR 400%、UserLUT1 ～ 4） アシスト表示（画面表示、ピーキング、ゼブラ、拡大表示、白黒表示、WFM、フォルスカラー、アナモフィック）
INPUT 1端子 INPUT 2端子	XLR 3ピンジャック（バランス）（①シールド、②ホット、③コールド）、2系統 アナログ（MIC時）：　感度：－60 dBu（ボリュームセンター、フルスケール－18 dB）／ 600 Ω／ Att.：20 dB アナログ（LINE時）：　感度：＋4 dBu（ボリュームセンター、フルスケール－18 dB）／ 10 kΩ デジタル（AES/EBU）：AES3規格（48 kHz、24 bit、2 ch）／ 110Ω
MIC（マイク）端子	φ3.5mmステレオミニジャック －72 dBV（ボリュームセンター、フルスケール－18 dB）／ 1.2 kΩ／ Att.：20 dB
∩（ヘッドホン）端子	φ3.5 mmステレオミニジャック －∞～－8 dBV（16 Ω負荷、ボリュームMin ～ Max）／ 50 Ω以下
GENLOCK/SYNC OUT端子	BNCジャック、1.0 Vp-p ／ 75 Ω GENLOCK時：入力のみ ／ SYNC OUT時：出力のみ、HD三値信号
TIME CODE IN/OUT端子	BNCジャック（入出力兼用）、入力時：0.5 -18 Vp-p ／ 100 kΩ、出力時：1.3 Vp-p ／ 50 Ω以下
REMOTE A端子	φ2.5 mmステレオミニミニジャック
REMOTE B端子	丸型8ピンジャック。RC-V100（別売）接続用（RS-422通信用）
CTRL端子	LEMO社製7ピンジャック。リモートオペレーションユニット OU-700（別売）接続用
品（イーサネット）端子	Ethernet（イーサネット）、1000BASE-T対応
LENS端子	丸型12ピンジャック、12ピンシリアル通信用
拡張システム端子	別売の拡張アクセサリー接続用

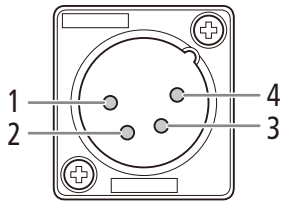
電源その他	
バッテリー	入力：DC 12V ～ 20V。 Vマウントタイプバッテリー
DC IN 12V端子	入力：DC11.5V ～ 20V、10A(許容最大負荷電流)。XLR 4ピン コネクター
DC OUT 24V 2A端子	出力：公称DC 24V　2.0A(最大出力電流)。フィッシャーコネクターズ社製3ピン コネクター
DC OUT 12V 2A端子	出力：公称DC 12V　2.0A(最大出力電流)。LEMO社製2ピン コネクター
D-TAP端子	出力：公称 最大50W。D-TAPコネクター
消費電力	XF-AVC、4K、59.94P / 50.00P記録時： C700 C700 GS PL 約49.3 W、C700 FF C700 FF PL 約50.5 W ProRes422 HQ、4K、29.97P / 25.00P記録時： C700 C700 GS PL 約59.1 W、C700 FF C700 FF PL 約61.0 W いずれも、EF24-70mm F2.8L Ⅱ USMレンズ装着、EVF-V70(別売)装着・点灯、 SDI OUT端子／ MON.端子出力ON時。 ● カメラからアクセサリーに電源供給する場合、全体の消費電力は、アクセサリーの消費電力分増えます。
動作温度	0 ºC ～ ＋40 ºC
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	C700 C700 FF 約167×154×327 mm C700 GS PL C700 FF PL 約167×154×336 mm
質量	本体のみ： C700 約3440 g、C700 GS PL 約3600 g、C700 FF 約3450 g、C700 FF PL 約3610 g 本体、ハンドルユニット、クランプベース、マイクホルダーを含む： C700 約3900 g、C700 GS PL 約4060 g、C700 FF 約3910 g、C700 FF PL 約4070 g

CDX-36150レコーダー

システム		
記録方式	映像記録方式：　Cinema RAW、Apple ProRes 音声記録方式：　リニアPCM、24 bit、48 kHz、4 ch	
記録／再生信号形式	Cinema RAW：	
	解像度：	C700 FF C700 FF PL 5952×3140、 C700 FF C700 FF PL 5952×2532、 C700 4512×2376、C700 GS PL 4272×2376、 C700 4512×1920、4096×2160、2048×1080
	最大フレームレート：	C700 C700 GS PL 240P、C700 FF C700 FF PL 168P
	Apple ProRes：	
	解像度：	4096×2160、3840×2160、2048×1080、1920×1080
	コーデック：	ProRes4444 XQ、ProRes4444、ProRes422 HQ、 C700 FF C700 FF PL ProRes422
	最大フレームレート：	C700 C700 GS PL 240P、C700 FF C700 FF PL 168P
記録メディア	Codex Capture Drive 2.0	

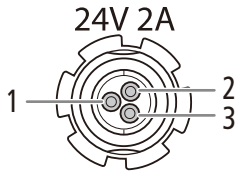
■ 電源入出力端子のピン配置

DC IN 12V端子



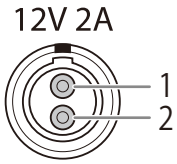
1 GND
2 未結線
3 未結線
4 DC 11.5V ～ 20V

DC OUT 24V 2A端子



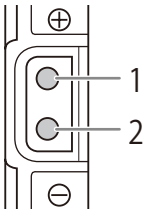
1 未結線
2 GND
3 ＋24V

DC OUT 12V 2A端子



1 GND
2 ＋12V

D-TAP端子



1 ＋
2 －

■ 対応レンズと機能

ご購入いただいた時期によっては、レンズのファームウェアのアップデートが必要になることがあります。詳細については、お客様相談センター（裏表紙）にお問い合わせください。

レンズ		12ピン接続	B4マウントアダプター *1	カメラからのアイリス調整			カメラからのズーム調整
		要否	要否	マニュアル	プッシュオート	オート	
EFレンズ				●	●	–	–
	オートアイリスに対応するEFレンズ			●	●	●	–
EFシネマレンズ	CN7×17 KAS S/E1	要*2		●	●	●	●
	CN7×17 KAS S/P1	要		●	●	●	●
	CN10×25 IAS S/E1	要*2		●	●	●	●
	CN10×25 IAS S/P1	要		●	●	●	●
	CN20×50 IAS H/E1	要*2		●	●	●	●
	CN20×50 IAS H/P1	要		●	●	●	●
	CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S			●	●	●	●
	デュアルピクセルフォーカスガイドが使用可能なマニュアルフォーカスレンズ			–	–	–	–
放送用レンズ		要	要	●	●	●	●

レンズ		カメラからのフォーカス調整					フォーカスガイド
		マニュアル	ワンショット	コンティニュアス	顔検出AF	追尾	
EFレンズ		●	●	●	●	●	●
	オートアイリスに対応するEFレンズ	●	●	●	●	●	●
EFシネマレンズ	CN7×17 KAS S/E1	●	●	●	●	●	●
	CN7×17 KAS S/P1	●	–	–	–	–	–
	CN10×25 IAS S/E1	●	●	●	●	●	●
	CN10×25 IAS S/P1	●	–	–	–	–	–
	CN20×50 IAS H/E1	●	–	–	–	–	–
	CN20×50 IAS H/P1	●	–	–	–	–	–
	CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	●	●	●	●	●	●
	デュアルピクセルフォーカスガイドが使用可能なマニュアルフォーカスレンズ	–	–	–	–	–	●
放送用レンズ		●	–	–	–	–	–

*1 B4マウントアダプター MO-4E / MO-4P（別売）のこと。
*2 レンズのドライブユニットに電源供給されていれば、本機との接続は不要。

放送用レンズ

- HJ14e×4.3B IASE S
- HJ17e×7.6B IASE S
- CJ45e×13.6B IASE-V H
- CJ14e×4.3B IRSE S / IASE S
- HJ18e×7.6B IASE S
- HJ22e×7.6B IASE S
- CJ24e×7.5B IRSE S / IASE S
- HJ24e×7.5B IASE S
- CJ45e×9.7B IASE-V H
- CJ18e×7.6B IRSE S / IASE S

オートアイリスに対応するEFレンズ

- EF-S10-18mm F4.5-5.6 IS STM
- EF-S55-250mm F4-5.6 IS STM
- EF-S35mm F2.8 MACRO IS STM
- EF70-300mm F4-5.6 IS II USM
- EF-S18-55mm F3.5-5.6 IS STM
- EF24-105mm F3.5-5.6 IS STM
- EF85mm F1.4L IS USM
- EF70-200mm F4L IS II USM
- EF-S18-135mm F3.5-5.6 IS STM
- EF-S18-135mm F3.5-5.6 IS USM
- EF-S18-55mm F4-5.6 IS STM

デュアルピクセルフォーカスガイドが使用可能なマニュアルフォーカスレンズ

- CN-E14mm T3.1 L F
- CN-E50mm T1.3 L F
- CN-E20mm T1.5 L F
- CN-E24mm T1.5 L F
- CN-E85mm T1.3 L F
- CN-E35mm T1.5 L F
- CN-E135mm T2.2 L F

■ 動画の記録可能時間の目安

XF-AVC動画（CFastカード）

容量＼ビットレート	810 Mbps Intra-frame	440 Mbps Intra-frame	310 Mbps Intra-frame	225 Mbps Intra-frame	160 Mbps Intra-frame	50 Mbps Long GOP
64 GB	約10分	約15分	約25分	約35分	約50分	約165分
128 GB	約20分	約35分	約50分	約75分	約105分	約335分
256 GB	約40分	約75分	約105分	約150分	約210分	約680分

ProRes動画（CFastカード）

フレームレート	59.94P	29.97P		23.98P / 24.00P	
解像度	2048×1080	4096×2160	2048×1080	4096×2160	2048×1080
容量＼コーデック	ProRes 4444	ProRes 422 HQ	ProRes 4444	ProRes 422 HQ	ProRes 4444
64 GB	約10分	約5分	約20分	約10分	約25分
128 GB	約20分	約15分	約40分	約20分	約55分
256 GB	約40分	約35分	約85分	約40分	約110分

フレームレート	50.00P	25.00P	
解像度	2048×1080	4096×2160	2048×1080
容量＼コーデック	ProRes 4444	ProRes 422 HQ	ProRes 4444
64 GB	約10分	約10分	約25分
128 GB	約25分	約20分	約50分
256 GB	約50分	約40分	約105分

XF-AVC Proxy動画（SDカード）

容量＼ビットレート	35 Mbps Long GOP	24 Mbps Long GOP
16 GB	約60分	約85分
32 GB	約120分	約175分

RAW動画（Codex製Capture Drive 2.0、2 TB）

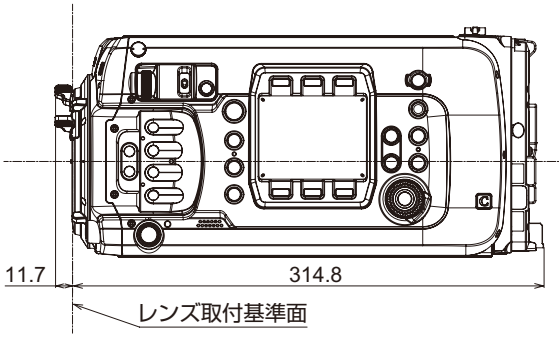
記録形式	解像度	フレームレート*	記録時間
RAW（CDX Capture Drive）	5952×3140	59.94P	21分
		24.00P	46分
		50.00P	25分
	5952×2532	59.94P	26分
		24.00P	58分
		50.00P	31分
	4512×2376	59.94P	32分
		24.00P	81分
		50.00P	39分
	4272×2376	59.94P	34分
		24.00P	86分
		50.00P	41分
	4512×1920	59.94P	40分
		24.00P	100分
		50.00P	48分
	4096×2160	59.94P	39分
		24.00P	98分
		50.00P	47分

記録形式	解像度／コーデック	フレームレート*	記録時間
ProRes（CDX Capture Drive）	4096×2160 ProRes422 HQ 10 bit	59.94P	67分
		24.00P	169分
		50.00P	81分
	3840×2160 ProRes422 HQ 10 bit	59.94P	72分
		24.00P	180分
		50.00P	86分
	2048×1080 ProRes4444 XQ 12 bit	59.94P	113分
		24.00P	282分
		50.00P	135分
	2048×1080 ProRes422 HQ 10 bit	59.94P	254分
		24.00P	636分
		50.00P	305分
	1920×1080 ProRes4444 XQ 12 bit	59.94P	129分
		24.00P	322分
		50.00P	154分
	1920×1080 ProRes422 HQ 10 bit	59.94P	290分
		24.00P	726分
		50.00P	348分

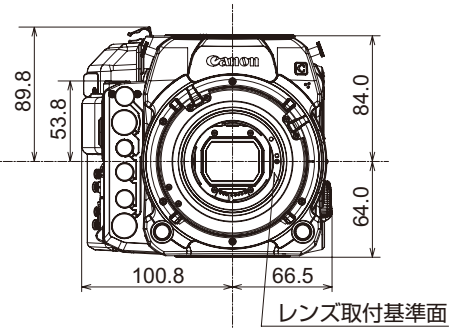
* フレームレートが29.97P、25.00Pのときの記録時間は、それぞれ59.97P、50.00Pの記録時間の約2倍です。23.98Pのときの記録時間は24.00Pと同等です。

■ 寸法図（単位：mm）

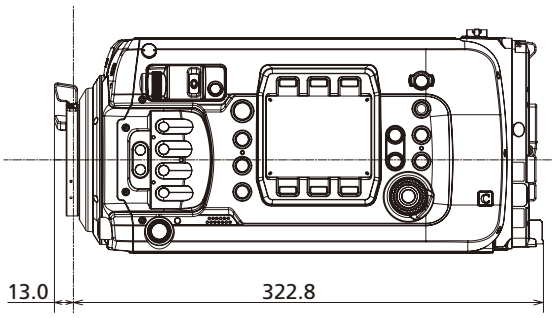
左面 **C700** **C700 FF**



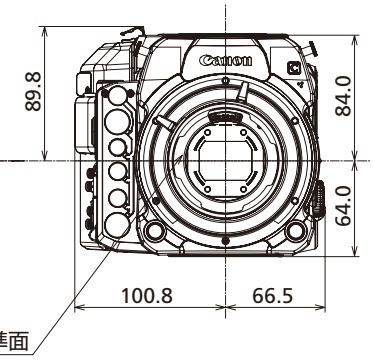
前面 **C700** **C700 FF**



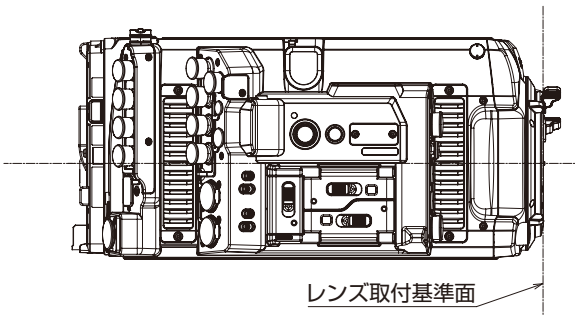
左面 **C700 GS PL** **C700 FF PL**



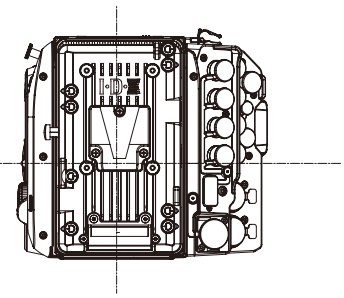
前面 **C700 GS PL** **C700 FF PL**



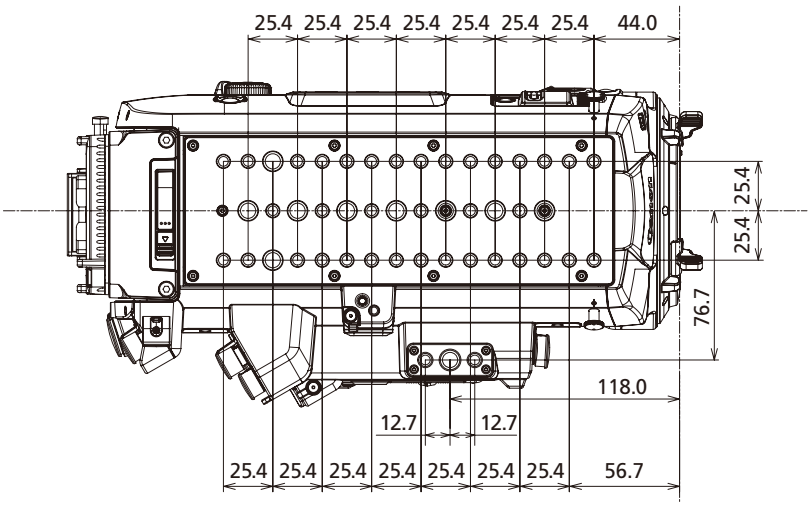
右面



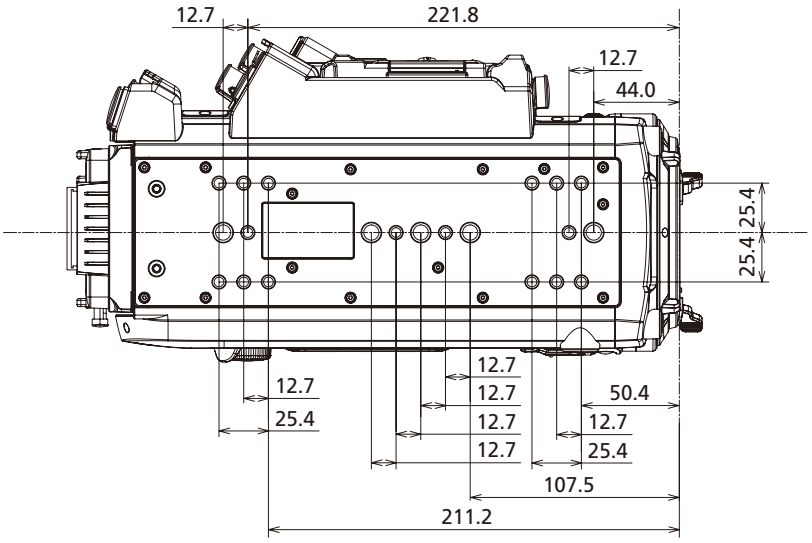
背面



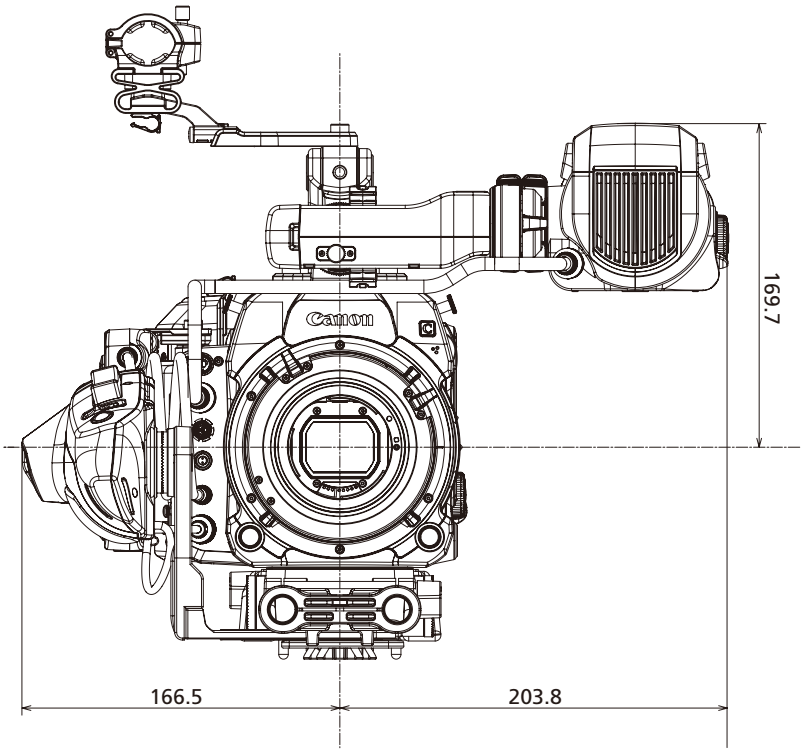
上面


25.4 25.4 25.4 25.4 25.4 25.4 25.4 44.0
25.4
25.4
76.7
118.0
12.7
12.7
25.4 25.4 25.4 25.4 25.4 25.4 25.4 56.7

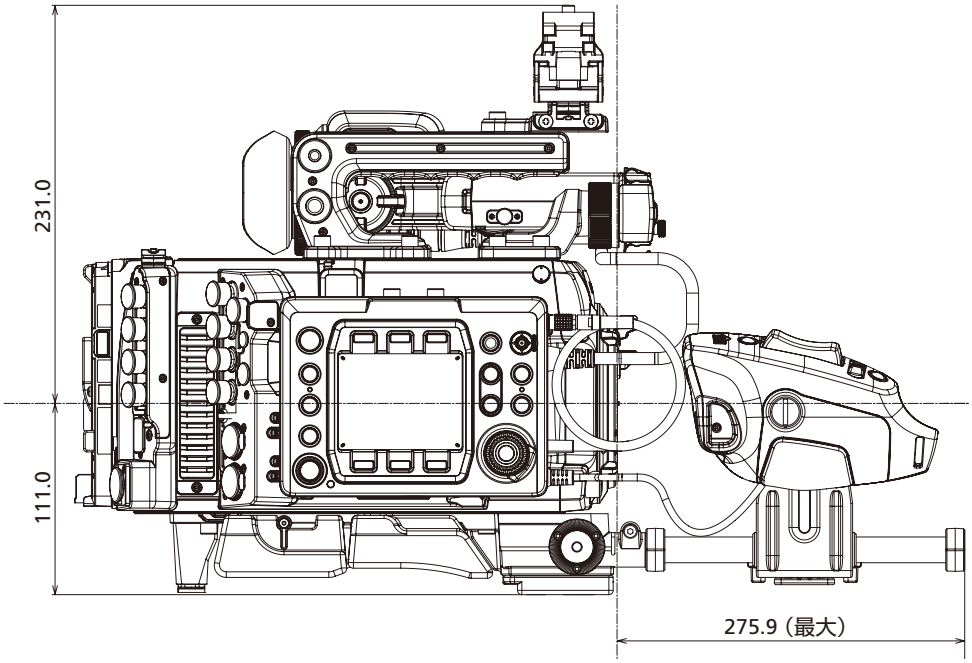
底面


12.7
221.8
12.7
44.0
25.4
25.4
12.7
12.7
12.7
12.7
12.7
50.4
12.7
25.4
25.4
12.7
12.7
25.4
107.5
211.2

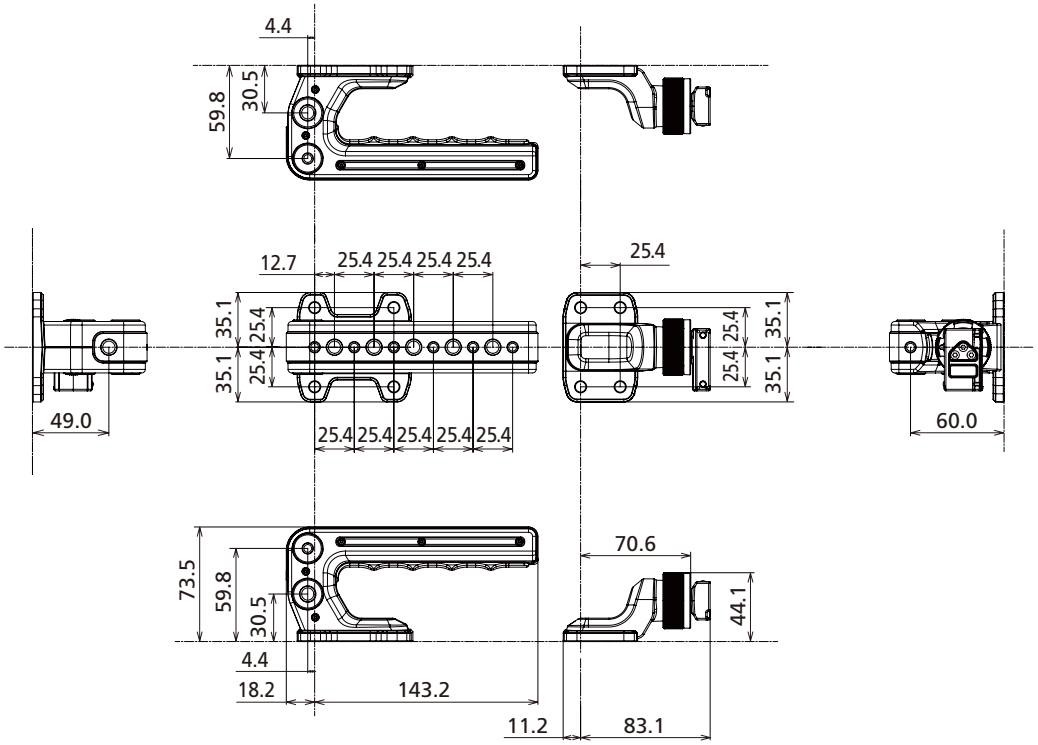
前面（アクセサリー装着時）



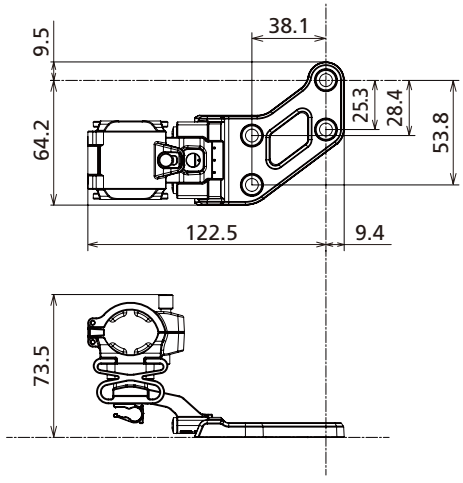
右面（アクセサリー装着時）



ハンドルユニットとクランプベース



マイクホルダー



索引

ア

アイセンサー……18、54
アイリス……92
アクセサリー……279
アサインボタン……148
アナモフィックレンズ……142
アワーメーター……242
イーサネット……192
色空間……97
色収差補正……53
インデックス表示……120
インフラストラクチャー……193
映像伝送装置……213
液晶カバー……33
エラーメッセージ……270
オーディオリミッター……132
オートアイリス……95
音声出力チャンネル……188
音声を記録する……127
音声をモニターする……133
オンセット・グレーディング……21、184

カ

解像度……73
外部マイク／外部ライン入力機器を接続する……129
外部レコーダーを接続する……179
カウントアップ方式……121
顔検出AF……114
拡大表示……108
拡張システム端子……12
拡張ユニットを取り外す／取り付ける……24
カスタムディスプレイ……232
カスタムピクチャー……97、153
カメラアクセスポイント……193
カメラインデックス……70
カメラダイレクト設定……83
カラーサンプリング……73
カラーバー……134
カラーマトリクス……97
ガンマ……97
吸気口……12
記録時ビープ音……238
記録信号形式……73
記録メディア
：初期化する……58
：CFastカードスロット記録方式を選ぶ……60
：CFastカードスロットを切り換える……59
：CFastカードを入れる……56
：CFastカードを取り出す……57
：SDカードを入れる／出す……57
クランプベース……46
クランプレール……46
クリップ
：クリップ情報を表示する……171
：再生する……167
：修復する……61
：消去する……172
：OKマーク／チェックマークを付加／消去する……172
：PLAY画面……166
グリップ……42
クリップ番号……70
クリップファイル名……70
ゲイン……87
結露……277
現像……189
コンティニュアスAF……111
コントロールディスプレイ……32

サ

再生
：クリップ／静止画を再生する……166
撮影
：静止画を撮影する……144
：動画を撮影する……64
撮影フレームレート……76
サブ動画……80
サブ枠……106
サラウンディングエリア……69
三脚に取り付ける……44
シーン……138
自照式ボタン……11
システム周波数……73
シャッタースピード……84
修復……61
周辺光量補正……53

修理対応 ·····300、301
主記録形式 ····· 73
出力信号形式 ····· 176
仕様 ····· 280
使用時間 ····· 242
焦点距離 ····· 67
水準器 ····· 45
ズーム ····· 210
スクリーンボタン ····· 32
スロー &ファストモーション記録 ····· 76
静止画
：記録する ····· 144
：再生する ····· 166
：消去する ····· 172
：静止画番号の付けかたを選ぶ ····· 145
接続
：外部モニター／レコーダーを接続する ····· 179
：パソコンに保存する ····· 189
：ヘッドホンでモニターする ·····133、188
設定データ ····· 163
ゼブラパターン ····· 119
センサーモード ····· 224
底面足 ····· 16
測光方式 ····· 96

タ

タイムコード ····· 121
タイムコードホールド ····· 122
タイムコードを外部同期する ····· 124
ダブルスロット記録 ····· 60
タリーランプ ····· 64
端子カバーを取り外す ····· 13
チェックマーク ····· 137
追尾 ····· 116
テイク ····· 138
デジタル入力（音声） ····· 127
テストトーン ····· 134
デュアルピクセルCMOS AF ····· 3
デュアルピクセルフォーカスガイド ····· 106
電源
：バッテリーを使う ····· 27
：DC IN 12V端子を使う ····· 28
：電源を出力する ····· 29
電源オフ時にレンズを収納する ····· 242
電源警告 ····· 28
電源を入れる／切る ····· 29
トラブルシューティング ····· 263
ドロップフレーム ····· 122

ナ

認証／暗号化方式 ····· 195
ノンドロップフレーム ····· 122

ハ

排気口 ····· 12
倍率色収差補正 ····· 53
波形モニター ····· 135
パスワード ····· 194
バッテリー
：本体に取り付ける／取り外す ····· 27
ハンドルユニット ····· 44
ピーキング ····· 108
日付・時刻 ····· 30
ビットレート ····· 73
ビューファインダー ·····46、54
ファームウェア ·····51、242
ファン ····· 71
ファンタム電源 ····· 130
フォーカス ····· 104
フォーカスアシスト ····· 106
フォーカスガイド ····· 106
フォルスカラー ····· 120
プッシュオートアイリス ····· 94
ブラウザーリモート ····· 200
ブラックバランス ····· 62
フラッシュバンド補正 ····· 86
フリーラン ····· 121
プリセット ····· 97
フリッカーを抑える ····· 85
フレーム表示 ····· 69
フレームレート ····· 73
プロキシ ····· 20
ヘッドホン端子 ····· 133
保存
：パソコンに保存する ····· 189

ホワイトバランス ・・・

Color Space····158
Crop····76
CTRL(コントロール)端子 ····13
DC IN 12V端子····28
DCI-P3 ····158
DC OUT 12V 2A ／ DC OUT 24V 2A出力端子····29
D-TAP端子 ····29
EFレンズマウント ····49
Ethernet ····282
EVF(モニタリングメニュー表示)ボタン····36
FEC(エラー訂正)····215
FTP転送 ····217
Fullユーザー ····200
F値····92
Gamma····157
GENLOCK/SYNC OUT端子····124
GPS ····140
HDMI OUT端子····179
HDR ····183
HOME画面 ····32
INFO画面 ····258
INPUT端子 ····127
IPストリーミング····213
ISO感度 ····87
LENS(レンズ)端子····49、52
LUT····183
Main Settings ····157
MENU(本体メニュー表示)ボタン····34
Metaユーザー ····200
MIC(マイク)端子····129
MON.端子 ····179
MXF ····280
ND濃度拡張····91
NDフィルター····91
OKマーク····137
PLAY(再生操作)ボタン ····32、166
PLレンズマウント ····52
POWER(電源)ボタン····29
Preset····97
ProRes ····73
PUSH AUTO IRIS ····94
RAW····189、245
REMOTE(リモート) A / B端子····143
SDI OUT端子····179
SDカード····57
SSID ····194
TC(タイムコード)ボタン····32、121
TIME CODE IN / OUT端子 ····124
T値····94
User Memo····139
USERアサインボタン ····152
USER(ユーザー)ボタン····32、152
VIDEO端子 ····13、18、46
Vマウント ····27
Waveform Monitor ····135
Wi-Fi····192
WPS ····193
XF-AVC Intra····55
XF-AVC Proxy ····55
XF-AVC Proxy記録 ····20、80
XF Utility····189
品品(イーサネット)端子····198
🎧(ヘッドホン)端子····133

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- キヤノンは、様々な国/地域で登録されている CFast 2.0™ 商標の公認ライセンシーです。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、macOSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- Apple ProResフォーマットは、アップル社から使用許諾を得ています。
- Avid、Media Composerは、米国および／またはその他の国におけるAvid Technology, Inc.またはその子会社の商標または登録商標です。
- IDX、IDX(ロゴ)、V-Mountは、(株)アイ・ディー・エクスの登録商標です。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2とWi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- カメラの設定画面と本書内で使用されている「WPS」は、Wi-Fi Protected Setupを意味しています。
- JavaScriptは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- DaVinci Resolve™ は、Blackmagic Design Pty Ltd.の商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and noncommercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

C700 / C700 GS PL / C700 FF / C700 FF PLは、DCFに準拠しています。DCFは、(社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

本機器は、Microsoftからライセンスされたexfat技術を搭載しています。

アクセサリーは、キヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

修理対応について

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。
2. 本製品の修理対応期間は、製品製造打切り後7年間です。なお、弊社の判断により、修理対応として同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、見本となる撮影データを記録した記録メディアを添付するなど、修理箇所を明確にご指示の上、十分な梱包でお送りください。

修理を依頼されるときは

修理についてはお買い求めの販売店、もしくはお客様相談センター（裏表紙）にお問い合わせください。

- 購入年月日、製品の型名、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理品を送付される場合は十分な梱包でお送りください。

使用方法／修理に関するご相談窓口

キヤノンお客様相談センター

050-555-90006（全国共通）

平日 9:00～17:00

※土・日・祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。

※上記番号をご利用になれない方は03-5428-1208をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらないことがあります。

CINEMA EOS SYSTEMホームページ

CINEMA EOS SYSTEMのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、ぜひお立ち寄りください。

CINEMA EOS SYSTEM製品情報
canon.jp/cinema-eos

キヤノン サポートページ
canon.jp/support

■保証書は製品の箱に添付されています

保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

■本書の記載内容は2020年6月現在のものです

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の使用説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

PUB. DIJ-0458-001B

© CANON INC. 2020